

9区第11号井戸跡

探跡番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
575-10 204-2	竹 篋	欠損あり	竹 長・11.7		上方は旧時欠損。表皮残存。尖部に削り目あり。尖部の平面片切状、横断面も外面側を削り込む片切状。	
575-11 204-2	竹 篋	欠損あり	竹 長・13.8		欠損は旧時か不明。表皮残存。尖部は黒色変あり、削り目不明瞭。裏面下方にも削り目およぶ。	
575-12 204-2	竹 篋	完存	竹 長・16.1		ほとんど旧態とどめる。表皮残存。尖部は削りによる。下尖部は尖るが黒色変あり、削り不明瞭。裏面にも削り目あり。	
575-13 204-2	竹 篋	近完存	竹 長・17.2		表皮残存。尖部は削りによる。側部は面取り。全体に薄い。	
575-14 204-2	竹 篋	完存	竹 長・14.6		欠損ほとんどなく、表皮とどめる。両側部・両側部に削り目あり。上・下方に黒づむ色変あり。	
575-15 204-2	竹 篋	完存	竹 長・14.7		表皮残存。下部尖部と側部裏側に削り目。下方の平面は丸い断面尖る。黒づむ色変。	
575-16 204-2	竹 棒状		竹 長・20.2		両小口とも旧時欠損。下方の表皮少しはがれる。削りの側部なめらかで道具として使用か。表皮に縞状なし。	
575-17 204-2	竹 棒状	欠損あり	竹 長・22.3+α		上方旧時欠損。節1カ所。表皮残存。先端に削り目。中程より上方に使用摩擦の消耗と表皮欠損あり。内面は削れたまま。	
575-18 204-11	木製品 棒状	欠損あり	ヤマウルシ 長・22.9		上方欠損、新古欠損か不明。下小口は切斷断。摩擦か消耗があり切斷法不明。下小口中央に芯の空部あり、自然。	
575-19 203-5	竹 加工材	完存	竹 長・54.4		表皮残存。丸尖部の先端は色変黒づむ。片尖部に削り目。側部は削り込み後面取り。道具か。	
576-1 204-7-1a	木製品 板状	欠損あり	スギ 長・15.6		旧時欠損大。裏面も消耗大。厚さのみあろうじてわかる。側部と下方小口は旧材の一部。	
576-2 204-3-1a	木製品 板	欠損大	スギ 長・11.7		全体消耗大と旧時欠損。全体に木目浮き立つ。左側部残存。右側部欠。木取り痕。平面右上に筋あり。	
576-3 204-4-1a	木製品 鴨居転用		アカマツ 幅・11.0		全体消耗あり。木量少し浮き出。工作台に転用か。裏面に小穴あり。裏面は凸凹部。両小口削れ目あり。	
576-4 204-9-1a	木製品 加工材	欠損あり	スギ 長・17.25		全体に消耗大。両小口とも旧時より多大に消耗。木理浮き立つ。側部も旧状を残すか不明。平面砥目、断面も砥目。	
576-5 204-10-1a	木製品 半截木	欠損あり	スギ 長・20.6		半截は新古か不明。下小口も不明。表皮なし。半截は削り木による。両小口旧存か不明であり、消耗している。	
577-1 205-3-1a	木製品 板材	欠損大	クリ 長・37.7		旧時欠損多。消耗大。欠損消耗側に炭化部あり。片側部のみ明瞭で他方は消耗。年輪粗。	
577-2 204-6-1a	木製品 枕か	埋土 旧欠あり	ヒノキ 長・8.5		上方と右側部は旧欠であり、大きき不明。左側部と先端は削り目あり。先端尖るため枕か。節部もあり、材質不明瞭。	
577-3 205-1-1a	木製品 樹皮転用	近完存	ヒノキ 長・19.1		根株部近を思わせる節状。材質硬そうで消耗少。大きな節あり。片面は剛硬を思わせる。使用の痕跡薄。	
578-1 205-2-1a	木製品 板	欠損あり	ヒノキ 長・29.2		全体に消耗大。裏面剛硬。平面木目流れる。下方に小孔を設け、釘目は見えないが小口剛硬か。	
578-2 205-4	木製品 枕	近完存	ヒノキ 長・40.4		側部に旧状をとどめる。節多い。尖部にかろうじて削り目見えるが消耗多く削い。尖部最端部小穴。	
578-3 205-5	木製品 転用枕か	欠損あり	ヒノキ 長・45.2		表皮なし。全体に消耗大。先端斜に切斷。筋か不明。2カ所に削り受あり、未完。上方に受けの削り込みあり。	

9区第12号井戸跡

探跡番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
579-1	土師器 壺	破片	口・(18.2)		酸化。並。他5YR7/6。並。軽。口縁部の内・外面に横溝あり。体部外面縦溝。内面に接合面と貫通あり。	
579-2	土師器 壺	口縁部片	口・(25.0)		酸化。並。および他5YR6/4。並。軽。褐粒多、他少。口縁部内・外面横溝。外面縦溝。内面縦と縦溝。内・外面に少し横ししかる。	シルト質
579-3 206-1	土師器 壺	埋土 口縁部3/4	口・(19.8)		酸化。並。他7.5YR6/6。口縁部に粘土帯2条。器外面は削り目、器内面は荒焼で、口縁部は横溝を施す。	接合7片

9区第14号井戸跡

探跡番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
580-1 206-2	土師器 皿	埋土 1/3	口・(8.6) 高・1.3		還元。硬。灰黄2.5YR7/2。並。口縁部周辺横溝。内面剛。底指正気。成形は手びねりか部分型作。底面に凹凸多い。	13Cか 粘

9区第15号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
581-1	軟質陶器 甕	埋土 1/6	□・(28.0)	黄一中。並。灰黄褐10YR5/2。 並。白・褐粒含、鉱物少。	小形である。外面に接合面2つあり。内面に8条1単位の間目、小ハゼあり。焼5層気味。	接合2片 小泉焼か
581-2	軟質陶器 内耳拵格	埋土 破片	□・(28.0)	還元。並。灰5YR1.7。並。軽。 白・褐粒含、鉱物微。	内耳付く外面粘土帯接合面、横溝。下方に型腐様。焼成は外面で5層気味。外面焼。	17・18C 小泉焼か
581-3 206-5	無釉陶器 埴	埋土 底部片	底・(5.6)	還元。緑。釉無(鉄粉)。胎土 淡灰白。	外面下半以下を除き施され、天目軸。露部 部右回転彫。高台削り出し。	18C 瀬戸系
581-4 206-4	無釉陶器 埴	埋土 底部片	底・(4.6)	還元。緑。釉無(鉄粉)。透明 調。胎土灰。	外面に透明調、内面に緑色釉。内面蛇目。高 台は削り出し。外面下方彫。	18C前 唐津系
581-5 206-3	無釉陶器 埴	埋土 1/2	□・(12.6) 高・4.5	中性。緑。釉淡黄透明調。黒。 胎土白。	内面に鉄絵に上り風景文あり。外面露胎部を 除き透明釉塗す。	18C 京焼系
582-1	軟質陶器 内耳拵格	埋土 破片	□・(39.6) 底・(36.2)	還元。並。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。白・黒粒、他鉱物含。	底から体部外面下方に型腐。体部外面に粘土 帯接合面、ハゼ。焼成は弱く、単一気味。	接合2片 小泉焼か
582-2	瓦 女瓦	埋土 破片	縦・(8.0) 横・(6.0)	還元。軟。灰5Y6/1。粗。軽。 質母粒、シルト質。	表面に雪母粒見える。裏面に型様の滑と細砂 付着。焼成は煙黒色がかかり3層気味。	小泉か藤 岡
582-3	瓦 女瓦	埋土 破片	縦・8.1 横・8.5	還元。並。灰10Y5/1。並。やや 重。金雲母、灰円粒含、他少。	表面は滑らかで、裏面には寛整形痕あり。滑 わずかにかかる。割れ口旧欠。	深谷か
582-4	瓦 女瓦	埋土 1/4	縦・11.0 横・11.4	還元。並。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。雪母粒含、鉱物少。	表面に雪母粒見えるが縦灰不明。裏面に撫 と型痕らしき滑あり。裏面のみ煙される。	深谷か
582-5	石器 砥石	埋土 完形	砥石石 240g	遺存長・13.65 幅・3.6 厚・5.0	写付紙で、使用主面は表1面で、他3面は削 り痕とその後の摩耗加わる。	
582-6	石器 砥石 瓦砥	埋土 2/3	粗粒輝石安山岩 1250g	長・13.8	横断面六角柱の形状。研磨主体は、結晶鉱物 が削られ金属。小口は寛割面と旧欠面。	
582-7	石製品 敷白下白	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 2050g	径・(31.4)	石質は重く、硬い。裏面の整形は大まか。側 部は整う。割れは旧欠。厚さの消耗は少。	
582-8	石製品 敷白下白	埋土 1/4	粗粒輝石安山岩 5900g	径・(30.0)	石質は重く、硬質。側目大まか。軸穴あり。 裏面の整形が最も良く、他はやや整う。	

9区第16号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
583-1	埴輪 円筒	埋土内 破片	厚・1.4	酸化・硬。鈍黄橙10Y6/3。	外面縦刷毛後、横刷毛目。内面縦作痕と接合 面あり。割れ口に接合面、消耗少。	古様埴輪

9区第17号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
583-2	須恵器 坏か	埋土内 口縁部	厚・0.4	還元・硬。灰10Y5/1。密。 やや重。白粒含、他微。	口縁部は外傾する。輪縁成形。外面に輪縁目 あり。割れ口消純微。	笠・太田

9区第18号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
583-3 206-6	須恵器 坏	埋土内 底部片	底・(6.4)	還元・硬。灰7.5YR5/1。 密、やや重。白色微、鉱物微。	口縁部は欠損する。輪縁成形(右回転)。底部 は回転切断切り。	笠・太田

9区第19号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
583-4	須恵器 坏か	埋土内 破片	厚・0.5	還元・軟。灰白5Y8/2。粗。 軽。白粒含、他鉱物少。	外面に輪縁目、割線不明墨字あり。内外面に 炭灰わずかにあり。	墨書-139

9区第20号井戸跡

押込番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
583-5	土師陶 内耳拵	埋土内 破片	□・(14.0)	酸化・硬。明褐7.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒含、他微。	型作り。内面に研磨。外面に置削。黒色化は 口縁部外面におよぶ。	

9区第21号井戸跡

探出番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
583-6	土師器 環	覆土内 口縁部	口・(12.0)	酸化・硬。橙7.5Y6/6。並、やや重。金雲母含。他少。	口縁部は内湾気味。型作りか。底部覆削り。口縁部・内面は横溝で整形。割れ口消耗大。	

9区第23号井戸跡

探出番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
584-1	土師器 環(平底)	覆土 1/3	口・(13.0) 高・4.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4。粗。軽。褐・白色粒含。	体部へ口縁部に粘土帯。底部は覆削り。体部に接合面を残し。口縁部・器内面は横溝で。	粘
584-2	土師器 台付甕	覆土 台部片	脚・8.6	酸化・並。明赤褐5YR5/6。並。褐・白色粒含。灰物粒含。	腰部は旧時欠損。脚部内面に赤色物質付着。その割れ口は被熱色変。顔料の取り皿か。	赤色物質付着
584-3	土師器 内黒環	覆土 1/4	口・(12.4) 底・(5.2)	酸化・硬。鈍橙7.5YR6/4。粗。軽。白色粒含。	型作り。器内面に研磨を施す。器外面・底面には覆削りを残す。内面黒色処理。	粘
584-4	須恵器 甕	覆土 一部欠損	口・15.2 底・7.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3。並。やや軽。白・褐粒含。他少。	内面内黒と研磨あり。横溝成形(右回転)。底部は高台貼付後、寛と無整形。体部外面に「申」の墨字あり。内面未使用に近い。	墨書-140
584-5	土師器 内黒環	覆土 破片	口・(12.5)	酸化・硬。鈍赤褐2.5YR5/4。並。やや重。白・褐粒含。	型作り。内面に研磨。外面には厚層・指頭痕。口縁部は外傾する。横溝成形(右回転)。底部は回転糸切り。割れ口は旧時。	接・2片 粘
584-6	須恵器 環	覆土 一部欠損	口・12.4 底・5.4	還元・硬。灰5Y6/1。並。白色粒。灰物粒多。	横溝成形(右回転)。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り。底面糸切りそこね既。	接・2片 粘
584-7	須恵器 内黒環	覆土 底部片	底・6.0	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗。軽。赤褐粒含。灰物粒。	横溝成形(右回転)。糸切り後、付け高台。口縁部外周。内面摩耗平滑。	粘
584-8	須恵器 高台付甕	覆土 1/4	口・12.8 底・(7.8)	還元・並。灰5Y6/1。並。やや重。白色粒。灰物粒含。	外面施釉。釉面生ずる。内面無胎。横溝目あり。割れ口消耗大。	東海陶入
584-9	須恵器 甕	覆土 破片	厚・0.6	還元・硬。灰7.5Y5/1。密。重。白・赤物含。他灰物含。	内・外面横溝目。横溝右回転。極めて薄作り。割れ口消耗少。	西毛へ東海

9区第23号井戸跡

探出番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
584-11	灰釉陶器 甕	覆土 破片	厚・0.5	還元・締。釉薄緑(灰釉)。胎土灰。	外面のみ灰釉あり。内面無胎。横溝目。割れ口消耗大。	東海陶入
584-12	灰釉陶器 甕	覆土 破片	厚・0.4	還元・締。釉淡黄緑(灰釉)。胎土灰。	外面施釉。内面無胎。横溝目あり。割れ口消耗大。	東海陶入
584-13	灰釉陶器 甕	覆土 破片	厚・0.4	還元・締。釉淡黄緑(灰釉)。胎土灰。	内外面横溝目あり。外面施釉。内面無胎。割れ口消耗大。	東海陶入
584-14	緑釉陶器 段皿	覆土 口縁片	口・(14.0)	酸～中性・並。釉淡黄緑(緑釉。弱輪)。胎土黄灰。	内面に段あり。内外面施釉。細かい研磨が削りあり。回転か不明。割れ口消耗大。	西陶入
584-15	緑釉陶器 皿	覆土 破片	厚・0.5	酸～中性・並。釉淡黄緑(緑釉。弱輪)。胎土白。	胎土はチェック状。内外面に手か回転か不明ながら研磨あり。割れ口消耗大。	
584-16	木製品 土製品	覆土 ほぼ完存	長・4.4 12.71g	酸化・並。鈍黄橙10Y5/3。並。やや重。灰物少。	外面磨りか。手前小口に欠欠あり。旧欠。小口は覆削。煙少しかかる。	
585-1	木製品 206-14-1	漆料 小欠損あり	クマギ節 長・34.1	部分的に調査時欠損あり。やや堅木のためか消耗少ない。	側面上方に鎌の挿入孔あり。割り抜き。削り目は目立ず。全体に重量感あり。	
585-2	木製品 206-16	漆料 欠損あり	アカメガシノ の根? 長・7.2	上方の欠損時の新古不明。表皮の遺存なし。消耗あり。	先端は削り目がわずか見える。その端部使用摩耗あり。外面に放射状組織が見える。	
585-3	木製品 206-15-1	木製 欠損少	ナシ製材 長・10.7	全体に消耗あり。表皮の残存なし。	両小口の切断面は消耗不明瞭。右側部は旧時の割れの状態。	
585-4	木製品 206-17	針葉樹 欠損少	針葉樹 長・4.7	全体の消耗少ない。	圓平面が表側。松の樹皮に見える。厚さは6mmと薄い。	
585-5	木製品 206-17	針葉樹 欠損少	針葉樹 長・12.0	全体の消耗少ない。	松の樹皮に見える。厚さは9mmあり。圓平面は裏側。	

9区第24号井戸跡

探出番号 図版番号	種 別 器 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
586-1	土師器 環	埋土 1/2	口・(11.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。白・褐粒含。灰物少。	口縁部は外反気味。型作りか。底部は覆削り。体部に灰溝。口縁部・器内面は横溝で整形。	接合3片

9 区第24号井戸跡

押出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
586-2	土師器 壺台付か	埋土 破片	口・(11.0)	酸化。硬。褐7.5Y4/3。並。 やや重。胎土含。	回転シャープ。器外面は寛削り、器内面は寛削り、口縁部は横削りを施す。内・外小し稜状。	
586-3	土師器 壺	埋土 口縁部片	口・(15.2)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。他、少。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は寛削り、内面は削り、口縁部は横削り、内・外に接合見え。	
586-4	土師器 壺台付か	埋土 口縁部片	口・(19.0)	酸化。並。いよ赤褐5YR1/4。 並。やや重。金雲母・白色粒含。	「コ」の字状口縁。型作りか。外面は寛削り、内面は削り、口縁部は横削り、内・外に接合見え。	少し稜状
586-5 206-19	須恵器 環	埋土 1/3	口・(12.8) 底・(6.6)	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 軽。白色粒、胎土含。	輪軸成形。底部は手持ち寛削り。口縁部周辺は砂粒左回転を示す。内面にケール状付着。	粘
586-6 206-20	須恵器 環	埋土 2/3	口・(13.0) 底・(6.4)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや重。白色粒、胎土含。	輪軸成形(右回転)。底部は回転未切り。口縁部の内・外面、重焼色実。	笠型か
586-7 206-21	須恵器 環	埋土 1/2	口・(13.0) 底・(7.0)	還元。軟。灰7.5YR6/1。並。 軽。白色粒含、胎土多。	輪軸成形(右回転)。底部は回転未切り。口縁部重焼色実あり。	粘
586-8 206-22	須恵器 環	埋土 破片	口・(13.6) 底・(8.0)	還元。締。灰10Y4/1。密。重。 黒粒少。胎土含。	輪軸成形(右回転)。底部は回転未切り。口縁部周辺に被焼色実あり。	笠型
586-9	須恵器 環	埋土 1/4	底・(8.0)	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。 やや重。白・黒粒含。他、少。	口縁部は矢張り。輪軸成形(右回転)。底部は回転未切り後周りを回転削削り。	笠型か
586-10	須恵器 甕	埋土 口縁部片	口・(12.4)	還元。締。灰5Y4/1。密。重。 白胎土含。他、少。	紐作り後輪軸成形か。極めて薄作り。内・外面に自然釉。割れ消耗較。	東海圏入
586-11 206-23	須恵器 甕	埋土 頸部片	最・(6.2)	還元。締。隆状か不明。胎土 灰へ少し粘。	外面は少し隆状があり、隆状か不明の灰粒見え。さらに酸化気味で原始灰粒を思わせる。	9・10C 東海圏入
587-1	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 径・(約7.0)		2穴1対の指手穴が3か所あり、大穴1対、小穴2対であり、小穴中に継残穴あり。	接合22片
587-2	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 径・(約7.5)		厚・0.6 小孔2穴あり。容器端部らしき箇所見当たらず。	
587-3	木製 容器	埋土 破片	ひょうたん 厚・0.4		厚・0.5 出土後の乾燥化により、小さくなる。	
587-4	木製 容器	埋土 破片	ふくべ		長・3.3 出土後の乾燥化により、小さくなる。小孔2穴あり。容器端部らしき箇所見当たらず。	
587-5	木製 曲物割板	埋土 調査多し	ヒノキ 幅3種		欠損は各々、調査時以降。断面の自然消耗少。	
587-6 207-3-1-2	木製 曲物割板	埋土 部分欠あり	ヒノキ 径・約18.0		両端部残存し、調査時以降の欠損少ない。	
587-7 207-4	木製品 割板	埋土 欠損少	ヒノキ 測定困難		消耗ややあり。端部の少欠損を除き旧態。	
587-8 207-5-1-2	木製品 割板	埋土 欠損大	ヒノキ 長・5.1		調査時欠損大。	

9 区第25号井戸跡

押出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
588-1	土師器 壺	埋土 口縁部片	口・(20.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白・褐粒含。他、少。	口縁部は外反。外面は寛削り、内面は寛削り、口縁部は横削りを施す。内・外小し稜状。	

9 区第26号井戸跡

押出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
589-1	焼締陶器 大甕	埋土 口縁部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含。他、少。	内・外自然釉?かか。築部丸味おびる。割れ口消耗較。	2片12C 瀬美か
589-2	焼締陶器 大甕	埋土 口縁部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含。密ける。	内・外面に自然釉かか。割れ口に紐付痕見え。割れ口消耗較。	12C 瀬美
589-3	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.6	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含むが密ける。	外面に厚い自然釉。斜格子叩きあり。内面に紐付痕。割れ口消耗較。	12C 瀬美
589-4	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.0	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含。他、少。	外面に叩あり。さらに整形磨痕あり。内面に自然釉と接合痕の高まり。割れ口消耗較。	常滑か
589-5	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.0	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含。他、少。	外面に斜格子叩あり。内面に自然釉。割れ口消耗少。	瀬美
589-6	焼締陶器 大甕	埋土 胴部片	厚・1.2	還元。締。灰黄2.5Y6/2。密。 重。白胎土含。他、少。	外面に斜格子と自然釉。内面に紐付痕。割れ口に片付痕。割れ口消耗較。	12C 瀬美

9区第27号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-1	土師器 台付甕か	埋土 脚部片	底・(8.4)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒炭物多。他含。	台付甕脚部か。器面消耗大。内・外面被熱。 横線あり。	
590-2	須恵器 坏か	埋土 破片	厚・0.4	還元。並。灰7.5Y6/1。並。 やや軽。白色粒含。	口縁部周辺に重城色皮。内・外面に火痺様の 吸状あり。割れ口消耗。	粘・陶 黒書-141
590-3	須恵器 埴	埋土 底部片	底・(6.2)	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。黒物少。	口縁部は外縁。轡輪成形(右回転)。高台は付 け高台。割れ口消耗大。	粘・陶
590-4	須恵器 埴	埋土 底部片	厚・1.0	酸化。軟。にぶい褐7.5YR5/4。 粗。軽。黒物少。	高台は貼付。外面被熱吸戻し。内面酸化気味。 轡輪成形(右)。高台は欠損(付け高台)。	割れ口消 耗大

10区第1号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-5	土師器 坏	埋土 破片	厚・0.4	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並。重。白・褐粒含。他微。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は寛削り。 体部に型溝。口縁部・器内面は横線で整形。	泉外兼入 焼3層
590-6	石製品 敷臼(下)	埋土 破片	粗粒輝石安山岩 1253g	口・28.8 高・7.65 底・28.4	割れ口消耗。溝消耗目無し。安山岩中位1cm 石英稜2コ入る。供給孔ろしき溝。質軟。軽。	中世か

10区第2号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-7	須恵器 埴	下層一括 底部片	底・(8.8)	酸。軟。にぶい黄褐10YR6/3。 並。やや重。黒・褐粒。他多。	轡輪成形(右回転)。高台は大平欠損する(付 高台)。割れ口。器面消耗大。	粘・陶
590-8	麻輪陶器 鉢	下層一括 体部片	厚・1.3	中性。細。暗茶褐色(光沢弱。 鉄粒)。胎土黄灰。	内・外面鉄袖。小ハゼあり。内面節目。少し 摩耗。外面回転磨製。割れ口消耗微。	
590-9	軟質陶器 内耳筒格	下層一括 口縁部片	厚・1.0	中性。並。黒褐10YR3/1。粗。 軽。黒粒。白色粒含。他少。	外面石目状の型溝。接合溝。横線。内面横線。 内・外面白色色調。割れ口消耗微。	19C 小泉焼か
590-10	石製品 石臼	埋土 粗粒輝石安山岩 1/4	3199g	底・27.0 高・12.45	石質は重く硬い。整形は各面とも整う。供給 孔あり。溝は消耗。割れ口少し消耗。	
590-11	石製品 石鉢	埋土 粗粒輝石安山岩 破片	740g	底・13.5 高・10.3	割れ口消耗少。外面下方整形が最も整い。底 面と外面上方がやや荒い。内面摩耗。	中世か
590-12 207-9-1-2	木製品 木椀	針葉樹 欠損少		外面に樹皮部分的にあり。全体 に消耗少なく、残存良好。	上・下方切断面。側部・裏面とも割り木欠損 の面。弁使用時の木端か。	

10区第4号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-13 207-6	軟質陶器 内耳	埋土 破片	厚・0.9	酸～中。硬。暗赤褐5YR3/2。 並。軽。褐粒含。黒物少。	底面石目状の型溝あり。体部外面保付着。内 面回転磨あり。焼成5層気味。	18・19C 小泉焼か

10区第3-5号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-14 207-7	土師質土器 破片	埋土 破片	底・(5.8)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒。黒物少。	底部は右回転糸切り。底面に板状圧痕。内面 底に一方向の指痕。白色味強い。	中世 粘
590-15 207-8	土師質土器 皿	埋土 破片	底・(5.4)	酸。並。にぶい黄橙10YR7/4。 粗。軽。白・褐粒。黒物少。	底部は右回転糸切り後。板状圧痕あり。内面 不定方向指痕。白色味強い。	中世 粘
590-16	軟質陶器 内耳筒格	埋土 破片	厚・1.0	還元。硬。黒褐5YR3/1。並。 やや軽。白・褐粒含。他微。	内・外面に回転の指痕あり。外面に指圧痕と。 煤付着。割れ口消耗微。	
590-17	軟質陶器 細鉢	埋土 脚部片	厚・1.0	酸。並。にぶい黄褐10YR5/3。 粗。やや軽。白・褐粒含。他含。	内面に節目状刻みあるものも摩耗なし。外面 轡輪目あり。割れ口の消耗少。	17Cか

10区第6号井戸跡

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
590-18 207-10-1-2	木製品 鎌柄	埋土 自然消耗大。	ヒノキ属 長・12.8+α	鎌先側は調査時欠損。柄部端は 自然消耗。	鎌茎残存。茎は剛発掘済みを推定。黄金一部 残存。目釘穴の小孔に目釘なし。	

土坑遺物観察表

第1区土坑

探出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
596-1	縄文土器 深鉢	1-3 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/3 砂粒・細礫・赤褐色粒子	口縁部は内湾気味。LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-2	縄文土器 深鉢	1-7 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	地紋に RL 原体を横転施文し、横位の平行沈 線文を2段に施す。	接・無し
596-3	縄文土器 深鉢	1-8 覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐5YR5/6 細砂粒・チャート	縁状に刷毛遣を施し、3節・1節の粘付 文を施文する。	接・無し
596-4	縄文土器 深鉢	1-9 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒・白色鉱物・白色微粒子	口唇部は平肌。口唇部直下に半裁竹管の押引 文、沈線を介し三叉文・押引文を施す。	接・無し
596-5	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-6	縄文土器 深鉢	1-15 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐7.5YR3/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
596-7	縄文土器 深鉢	1-16 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙2.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
596-8	縄文土器 深鉢	1-20 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色鉱物・粗粒砂	横位の隆帯を施し、隆帯上下端に列点文を 施文する。	接・無し
596-9	縄文土器 破片	1-21 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄2.5Y8/3 砂粒・赤褐色粒子	波状口縁。口唇部は肥厚し、口唇部直下に帯 織文を施す。原体は LR。	接・無し
596-10	縄文土器 深鉢	1-25 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・シルト粒・白色微粒子	口縁部内湾気味で口唇部は丸い。口唇部直下 に横位の沈線を施し、下に LR 原体を横転。	接・無し
596-11	石器 打製石片	1-25 覆土内 完存	ホルンフェルス 重・119	長・9.9。幅・5.1。厚・1.7 ホルンフェルス	短冊形。表面の風化顕著。磨面残し側部の加 は粗い。	
596-12	縄文土器 深鉢	1-26, №1 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	LR 原体を横転施文する。	接・4点
596-13	縄文土器 深鉢	1-30 覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾気味。RL 原体を横転施文する。	接・無し
596-14	縄文土器 深鉢	1-30, №29 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 砂粒・白色鉱物・白色微粒子	南円沈線区画無いに LR 原体を完裏施文す る。	接・無し
596-15	縄文土器 深鉢	1-30, №17 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6 砂粒・白色微粒子	懸垂文を並下させ、RL 原体を縦位施文す る。	接・無し
596-16	縄文土器 深鉢	1-30, 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂・白色鉱物・角粒粗粒砂	弘線が入り組み RL 原体を施文する。	接・無し
596-17	縄文土器 深鉢	1-30, №19 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 砂粒・細礫	口縁部は内湾し口唇部はやや尖り気味。口唇 直下に横位の沈線を施し、LR 原体を横転。	接・無し
596-18	縄文土器 破片	1-34, №25 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鉱物・白色粒	地紋の LR 原体を縦位に施し、4 本位単位の半 裁竹管により横線を施文する。	
596-19	石器 磨石か	1-34, 覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 280	遺存長7.9。幅・5.5。 厚・4.3。粗粒輝石安山岩	扁平面が磨減する。側部には、風化剝離面が 認められる。	
596-20	縄文土器 深鉢	№17・15・38 +81・76・79・88 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鉱物・白色粒	地文に RL 原体を横転施文し、条線を横位・斜 位に施文する。	接・22点 1-34枚
596-21	縄文土器 深鉢	1-34, №11 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	半裁竹管による沈線施文を、菱形構成に施す。	接・無し
596-22	石器 板状石皿か	1-34 覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 170	長・6.9。幅・6.3。厚・2.5 粗粒輝石安山岩	板状に割削した一方の磨面が磨減し、側部も 磨減する。	
596-23	石器 磨石	1-34 覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 340	長・8.3。幅・6.2。厚・4.4 粗粒輝石安山岩	全体に磨減が顕著で、裏面に孔を穿つ。 磨減する。	
597-1	縄文土器 深鉢	1-35 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 金雲母・白色鉱物多	文様の施文は認められない。	接・無し
597-2	縄文土器 深鉢	1-35 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 含繊維・白鉱物・雲母石英片岩	羽状織文を施文する。	接・無し
597-3	縄文土器 深鉢	1-38 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR5/1 白色微粒子	無彫 L を横転施文する。	接・無し
597-4	縄文土器 破片	1-39 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 白色微粒子・褐色粒子	口唇部は肥厚する。口唇部直下に横線を施し、 下に LR 原体を横転施文する。	接・無し
597-5	縄文土器 深鉢	1-43 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 砂粒・白色鉱物・角粒粗粒砂	横位の隆帯の直上に RL 原体を横転施文す る。	接・無し

第1区土坑

探頭番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 重量 (g)	焼物・色土・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
597-6	縄文土器 深鉢	1-43覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐色5YR5/3 含繊維・白色微粒子	半蓋竹管により逆弧文を施す。 2595純褐色	接・無し
597-7	縄文土器 深鉢	1-43覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐色5YR5/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾し口唇部は尖る。口唇部から幅 広の竹管で山形文を施し、直下に逆弧文施す。	接・5点
597-8	縄文土器 深鉢	1-44覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐色5YR4/6 砂粒・白色微物	横位の条線を施す。	接・無し
597-9	縄文土器 深鉢	1-45覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。褐色5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
597-10	縄文土器 深鉢	1-45覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。純褐色5YR6/4 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。LR(?)原体の横転施文か。	接・無し
597-11	縄文土器 深鉢	1-49覆土内 把手片	厚・1.0	酸化・硬。純黄褐色10YR7/2 白色微物粒子・赤褐色粒子	波状口縁部の把手部。山形状を呈し、器内面 側に嚙状に表出。	接・2点
597-12	縄文土器 深鉢	1-55覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐色5YR6/6 砂粒・白色微物	RL 原体を横転施文する。	接・無し
597-13	縄文土器 深鉢	1-56覆土内 破片	厚・1.9	酸化・並。純黄褐色10YR6/3 砂粒・白色微物・白色粒子	把手部の冠部と考えられる。	接・無し
597-14	縄文土器 深鉢	1-57覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 角粒粗砂・雲母石英片岩	文様は不鮮明。 多野地区からの搬入品。	接・無し
597-15	縄文土器 深鉢	1-60覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。純褐色7.5YR6/4 砂粒・白色粒子	RL 原体を横転施文する。	接・無し
597-16	縄文土器 深鉢	1-61覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐色7.5YR6/4 砂粒・白色微粒子	弧線状條文を施す。	接・無し
597-17	石器 刺片	1-61覆土内 刺片石片 実存	黒色頁岩 重・26.9g	長・6.7。幅・3.75。厚・1.1 黒色頁岩	縦長刺片の1側面に刃部加工を施す。	
597-18	縄文土器 深鉢	1-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐色7.5YR3/3 含繊維・白色微粒子	地文に LR 原体を横転施文し、半蓋竹管により 縦・横・斜位に逆弧爪形文を施す。	接・無し
597-19	縄文土器 深鉢	1-62、No 5	厚・0.8	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 含繊維・白色微粒子	縦位の竹管条痕を施す。	接・無し
597-20	縄文土器 深鉢	1-63覆土内 把手片	厚・0.6	酸化・並。純黄褐色10YR6/3 粗粒砂・含繊維・白色微粒子	縦位の弧線文区内に RL 原体を充焼施文す る。	接・無し
597-21	縄文土器 深鉢	1-64覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 白色微粒子・白色微物	地文に LR 原体を横転施文し、横位に竹管条 線を施す。	接・無し
597-22	縄文土器 深鉢	1-64、No 4 破片	厚・0.8	酸化・並。褐色5YR4/1 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	羽状縄文を施文し、半蓋竹管による横位の 條文を施す。	接・無し
597-23	縄文土器 深鉢	1-64、No 2 破片	厚・1.1	酸化・並。純黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無筋 L 原体を横転施文する。	接・無し
597-24 208-3	縄文土器 深鉢	1-64覆土内 破片	底・9.0	酸化・並。褐色7.5YR6/6 含繊維・白色粒子	1 原体を縦転施文する。	接・無し
597-25	縄文土器 深鉢	1-67覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐色7.5YR6/4 砂粒・白色微物	横門区龍帯帯を施す。	接・無し
597-26	縄文土器 深鉢	No 1 + 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	口縁部は傾やかに外反し口唇部は平坦。RL 原体を横転施文する。多野地区からの搬入品。	接・2点
597-27	縄文土器 深鉢	1-69覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 含繊維・白色微粒・夾雜物少	羽状縄文か。RL 原体の横転施文は明確。	接・無し
597-28	縄文土器 深鉢	1-70覆土内 把手片	厚・0.8	酸化・並。純黄褐色10YR7/3 砂粒・白色微粒子	弧線状條文が入り組む。	接・無し
597-29	縄文土器 深鉢	1-70覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。褐色5YR6/6 砂粒・白色微粒子	口唇部は丸い。口唇部直下に横位の條文を施 し、直下に RL (?) 原体を横転施文する。	接・無し
597-30	縄文土器 深鉢	1-71、No 1 破片	厚・1.0	酸化・並。純黄褐色10YR7/3 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦転施文する。	接・無し
597-31	縄文土器 深鉢	1-71、No 2 破片	厚・1.1	酸化・並。褐色7.5YR6/6 粗粒砂・赤褐色粒・白色微物	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦転施文する。	接・無し
597-32	縄文土器 深鉢	1-73覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。純黄褐色10YR5/4 含繊維・白色微粒子	LR 原体を縦転施文する。	接・無し
598-1	縄文土器 深鉢	1-75、No 2 破片	厚・0.7	酸化・並。褐色7.5YR4/1 含繊維・白色微粒子	無筋 R 原体を横転施文施文し、付加結節縄文 を施文する。	接・9点
598-2	縄文土器 深鉢	75、No 1 + 3 破片	厚・1.0	酸化・並。純褐色7.5YR5/3 含繊維・雲母石英片岩	LR 原体を横転施文する。	接・無し

第1区土坑

探頭番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
598-3	縄文土器 深鉢	1-77覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 白色微粒子・白色鉱物	LR 原体を横転施文する。	接・無し
598-4	縄文土器 深鉢	1-78、No2 把手片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 含繊維・白色微粒子	軸原体は不詳。L・Rを付加する原体を斜位 施文する。	接・3点
598-5	縄文土器 深鉢	1-83覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗粒砂・角粒粗粒砂・白色鉱物	口唇部は肥厚し丸い。孤線沈線を施し、RL 原体を充果施文する。	接・無し
598-6	縄文土器 深鉢	1-87覆土内 把手片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 砂粒・チャート・白色粒子	細かいRL原体を横位施文する。	接・無し
598-7	石器 磨石	1-88覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 440	長・8.8、幅・8.0、厚・4.7 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨減が顕著。両面の中央部に集中打 痕を残し、右側部にも顕著に敲打痕を残す。	
598-8	石器 磨石	1-88覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 225	長・9.5、幅・7.9、厚・2.8 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨減が顕著。表面に2孔を穿ち、裏 面に打痕。側部に敲きによる割傷がある。	
598-9	縄文土器 深鉢	1-93覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 細砂粒	精肉隆帯を施し、内側に押引文を施文する。	接・3点
598-10	縄文土器 深鉢	1-94覆土内 把手片	厚・0.8	酸化・並。灰白2.5Y8/2 粗粒砂・白色鉱物	胴状の沈線区画を施し、LR原体を充果施文 する。	接・無し
598-11	縄文土器 深鉢	1-94覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰青褐10YR5/2 粗粒砂・白色鉱物	口縁部は外反し、口唇部は直立。沈線による 区画帯縄文を施文するが、原体は風化で不詳。	接・2点
598-12	縄文土器 深鉢	1-49覆土内 把手片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色粒子・角粒チャート・砂粒	上面は瘤状に表出し沈線施文を施す。器外面 は重下する刻み隆帯・新突文・沈線を施す。	接・無し
598-13	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR8/1 粗粒砂・角粒粗粒砂・白色鉱物	RL原体を充果施文する。	接・4点
598-14 208-5	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	底・(10.9)	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂・赤褐色粒子	外縁して立ち上がる。 文様は認められない。	接・3点
598-15 208-4	縄文土器 深鉢	1-97覆土内 破片	底・5.1	酸化・並。橙5YR6/6 白色粒子・粗粒砂	括れを有し立ち上がる。器厚は薄い。 文様は認められない。	
598-16	縄文土器 深鉢	1-99覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 砂粒・白色粒子	孤線沈線内にRL原体を充果施文する。	接・無し
598-17	縄文土器 深鉢	1-99覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 粗粒砂・白色鉱物	胴部下半部は丸味を帯、上半部内傾する。文 様は山形沈線文を配置する。	接・2点

第2区土坑

探頭番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
598-18	縄文土器 深鉢	2-4覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 角粒粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
598-19	縄文土器 深鉢	2-5覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/8 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
598-20	縄文土器 深鉢	2-8覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	RL原体を横位施文する。	接・無し
599-1	縄文土器 深鉢	2-11覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒多	LR原体を縦転施文する。	接・無し

第2区土坑

探頭番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
599-2	縄文土器 深鉢	2-12覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗粒砂・白色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
599-3	石器 石鏃	2-12覆土内 破片	チャート 重・0.35	遺存長1.1、残存幅・1.45 厚・0.35。チャート	有基平根三角形形式。	
599-4	縄文土器 深鉢	2-15覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/8 石英・砂粒多・繊維	RL原体を縦位施文する。	
599-5	石器 磨石	2-15覆土No1 完存	重・710	長・11.3、幅・8.5、厚・4.8 粗粒輝石安山岩	扁平面の磨減が顕著で、両面の中央部に集中、 打痕を残し側部にも敲打痕を顕著に残す。	
599-6	縄文土器 深鉢	2-17覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子・母粒	口縁部隆帯内は横位、隆帯下位は斜位にLR 原体を施文する。	接・無し
599-7	縄文土器 深鉢	2-20覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無筋L原体を横転施文する。	接・無し

第2区土坑

探図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備考
599-8	縄文土器 深鉢	2-17覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 白色鉱物・細礫・粗粒砂	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
599-9	縄文土器 深鉢	2-21覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	無筋R原体を横転施文する。	接・無し
599-10	縄文土器 深鉢	2-22覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 砂粒・白色微粒子	隆帯のみが残存する。	接・無し
599-11	縄文土器 深鉢	2-23覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	無筋L原体を横転施文する。	接・無し
599-12	石器 石核	2-23覆土内 完存	チャート 重・95	長・5.9。幅・4.6。厚・3.4。 チャート	3面構成で、1面は自然面を残す。節理が多い ため、節理面での剥離が目立つ。	
599-13	縄文土器 深鉢	2-24覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 砂粒・赤褐色粒子	RL 原体を充填施文する。	
599-14	石器 削片石鏃	覆土内 完存	ホルンフェルス 重・82	長・7.2。幅・5.8。厚・1.7 ホルンフェルス	削片の1縁辺に割離(加工か)が認められる。	
599-15	縄文土器 深鉢	2-25覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種 LR+2Rの横転施文と考えら れる。	
599-16	縄文土器 深鉢	2-28覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	弧線帯状文を施す。原体はLR。	接・無し
599-17	縄文土器 深鉢	2-28覆土内 破片	厚・1.7	酸化・並。淡黄2.5Y7/3 粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
599-18	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	半鉄竹管による平行比線文を變形構成する様に 施文する。	接・無し
599-19	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子	無筋R原体を横転施文する。	接・無し
599-20	縄文土器 深鉢	2-31覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	無筋L原体を横転施文する。	接・無し
599-21	縄文土器 深鉢	2-32覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。褐7.5YR4/4 白色鉱物粒子・白色砂子	刻みを伴う湾曲帯状隆帯の縁辺に、連続爪形 文を施す。	接・無し
599-22	石器 削片石鏃	2-28覆土内 完存	珪質頁岩 重・8.39	長・4.4。幅・2.8。厚・0.85 珪質頁岩	削片の1縁辺に刃加工を施す。	
599-23	縄文土器 深鉢	2-33覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 含繊維・白色粒子・砂粒	半鉄竹管による押引文を施す。	接・無し
599-24	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐色10YR7/6 粗粒砂・白色鉱物	弧線平行比線文を施し、列点文を施文する。	接・無し
599-25	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 粗粒砂角粒砂・白色鉱物	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
599-26	縄文土器 深鉢	2-34覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	弧線沈線区画文内にRL 原体を充填施文す る。	接・無し
599-27	土製品 円盤	2-34覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/8 白色微粒子・白色鉱物	深鉢の胴部片を転用する。文様はRL 原体を 施文する。	接・無し
599-28	土製品 円盤	2-34覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/8 砂粒	半鉄竹管による平行比線文が認められる。 深鉢の胴部片を転用する。	接・無し
600-1	縄文土器 深鉢	2-37覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・砂粒	RL 原体を横転施文する。	接・無し
600-2	縄文土器 深鉢	2-38覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	無筋L原体を横転施文する。	接・無し
600-3	縄文土器 深鉢	2-38覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を施文する。破片の縁辺を加工して 円盤にする。	接・無し
600-4	縄文土器 深鉢	2-43覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	無筋R原体を横転施文する。	接・無し
600-5	縄文土器 深鉢	2-44覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖り気味。RL 原体を横位施文する。	接・無し
600-6	縄文土器 深鉢	2-47覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 雲母石英片岩・白色微粒子	口縁部は外傾し、口唇部は短く外側に折れる。	接・無し
600-7	縄文土器 深鉢	2-45覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。黄褐色10YR8/6 砂粒	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-8	縄文土器 深鉢	2-46覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 白色微粒子・細砂粒	縦位方向の研磨を施すが、文様の施文は認め られない。	接・無し

第2区土坑

博覧番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備要
600-9	縄文土器 深鉢	2-47覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-10	縄文土器 深鉢	2-48覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐色5YR5/4 粗粒砂・白色粒子	懸垂文とRL原体による施文。	接・無し
600-11	土製品 円盤	2-54覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒角粒砂・粗粒砂・白色粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は7本1単位の 帯歯条歯を施文する。	接・無し
600-12	縄文土器 深鉢	2-55覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/4 粗粒砂・白色微物	文様の施文は認められない。	接・無し
600-13	縄文土器 深鉢	2-56覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 粗粒砂・細粒・チャート	縦位・斜位の沈線区画内にRL原体を縦位施文する。	接・無し
600-14	縄文土器 深鉢	2-56覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙2.5Y6/8 砂粒・白色微粒子・白色粒子	肩飾で等の削痕か。	接・無し
600-15	土製品 円盤	2-66覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 砂粒・赤褐色粒子・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は縦位の横円 帯と、RL原体の施文が認められる。	接・無し
600-16	縄文土器 深鉢	2-66覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 砂粒	縦位の細い隆帯を垂下させ、5+α本の帯歯 条歯を縦位に転用施文する。	接・無し
600-17	縄文土器 深鉢	2-66覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 細粒砂・白色微物	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・無し
600-18	石器 磨石	2-25覆土№1 充存	粗粒輝石安山岩 重・1160	長・16.5、幅・10.1、厚・5.7 粗粒輝石安山岩	表面の扁平面が顕著に磨減し、小口・中央寄 りに鋭直痕が集中する。	
600-19	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色粒子・細砂粒	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。口唇部 直下に横線を施文する。	接・無し
600-20	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・1.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子・砂粒・赤褐色粒	高台状に上辺を表出。 文様の施文は認められない。	接・無し
600-21	縄文土器 深鉢	2-78覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子・細砂粒少	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-22	縄文土器 深鉢	2-83覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色微粒子	RL原体を縦位施文する。	接・無し
600-23	須恵器	2-83覆土 破片	厚・1.1	還元・緑。灰5Y4/1、密、重。 白色微物、黒色粒、他少。	焼き不明。内外面自然輪あり。外面平行叩。 内面当て目見えず、組作痕。割れ口消耗少。	
600-24	縄文土器 深鉢	2-84覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色微物	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。口唇部 直下に横円沈線文を施し、RL原体を充填。	接・無し
600-25	縄文土器 深鉢	2-84覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色微物	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚する。地紋に RL原体を施し、横円沈線文を施す。	接・無し
600-26	縄文土器 深鉢	2-92覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒	懸垂文を垂下させ、RL原体を充填施文する。	接・無し
600-27	縄文土器 深鉢	2-96覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂・赤褐色粒子・白色粒	縦位の沈線文が認められるのみ。	接・無し
600-28	縄文土器 深鉢	2-96覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 砂粒	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
600-29	土製品 円盤	2-95覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 白色微物・砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様の施文は認め られない。	接・無し
600-30	縄文土器 深鉢	2-97覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐色5YR5/8 含繊維・白色微粒子・砂粒	RL原体を横位施文する。	接・無し
601-1	須恵器 壺	2-98覆土 破片	厚・0.7	還元・緑。灰N5/0、密、重。 針状物質含、白色微物含。	焼き不明。内面素文当て目と磨削。外面平行叩。 割れ口少し消耗。	北埼玉
601-2	土製品 円盤	2-98覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 白色微粒子・細砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様はLR原体を 縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
601-3	縄文土器 深鉢	2-103覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐色5YR4/6 白色微物・赤褐色粒子	横位の隆帯を施文し、上位に帯目条歯を斜位 に施す。	接・無し
601-4	縄文土器 深鉢	2-104覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。褐色7.5YR4/4 白色微物・白色微粒子	15本1単位の帯目条歯を縦位に施す。	接・無し
601-5	縄文土器 深鉢	2-105覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐色10YR6/6 砂粒	胴部隆帯を施し、LR原体を縦位施文する。	接・無し
601-6	瓦 枕瓦	2-106覆土	厚・1.7	還元・並。灰N4/0、粗、 やや重。白色・灰粒含。	裏面石目状の型痕。裏面留母状の光沢あり。 割れ口消耗あり。	深谷か
601-7	縄文土器 深鉢	2-108覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/4 砂粒・白色微粒子	帯目施文。LR原体を横位施文する。	接・無し

第2区土坑

検出番号 図収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備要
601-8	土師器土器 皿	2-112覆土 口縁破片	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6 粗・軽。金雲母。白色。褐粒含。	轆轤成形（左回転か）。底部は回転糸切り。 内面に不定方向の溝。	中世
601-9	軟質陶器 深鉢	2-112覆土 口縁破片	厚・1.0	還元・酸化、並。7.5YR5/6 粗・軽。白色。褐粒含、他含。	外面に横溝、石目状の型痕。内面横溝。 割れ口消耗あり。焼成3層。	17~19C
601-10	縄文土器 深鉢	2-113覆土 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍黄褐10YR6/4 砂粒・白色微粒子	無彫り原体を縦位施文する	接・無し
601-11	縄文土器 深鉢	2-119覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含繊維・白色微粒・赤褐色粒	無彫りL原体を横縦施文する。	接・無し
601-12	縄文土器 深鉢	2-120覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。黒褐10YR3/1 含繊維・白色微粒・白色鉱物	連続爪彫文を3段に施す。	接・無し
601-13	縄文土器 深鉢	2-120覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐10YR4/6 含繊維・白色微粒子	口唇部直下に連続爪彫文を2段施す。	接・無し
601-14	縄文土器 深鉢	2-125覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。土2.5Y6/4 粗粒砂・白色鉱物	弧線文沈線文を施し、LR原体を充填施文する。	接・無し
601-15	縄文土器 深鉢	2-129、№1 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 粗粒砂・白色鉱物・赤褐色粒	弧線沈線文を施し、RL原体を縦位施文する。	接・無し
601-16	縄文土器 深鉢	2-136覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明黄褐10YR6/6 砂粒・白色微粒子	唇部文を垂下させ、LR原体を縦位施文する。	接・無し
601-17	石器 石器	2-136覆土 一部欠損	粗粒輝石安山岩 3910g	遺存長・29.3。巾・17.85 厚・5.6	平坦面が摩滅する。	
601-18	縄文土器 深鉢	2-142覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明黄褐10YR6/6 金雲母・白色鉱物・白色微粒	隆帯を施文するが、欠損している。	接・無し

第3区土坑

検出番号 図収番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備要
601-19	土師器 土器	3-4覆土内 底部破片	底・7.5	酸化・並。橙7.5YR6/6 並、やや重。白色粒含、鉱物含	底面削削。体部横。内面縦溝。吸灰あり。割 れ口少し消耗。	5~6C 初
601-20	縄文土器 深鉢	3-8覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 角粒粗粒砂・白色微粒子	9+α単位の磨毛状工具による縦位施文。 割れ口消耗。	接・無し
601-21	須恵器 深鉢	3-26覆土 破片	厚・0.7	酸化・鈍褐7.5YR6/4。粗・軽。 褐粒含、他鉱物含。	内外面に回転線あり。底面切り難し見え ず。割れ口消耗。	
601-22	軟質陶器 燗壺	3-27覆土 破片	厚・0.7	還元・並。灰黄2.5Y7/2。並、 軽。白色・黒・褐粒含、他含。	底面に石目状の型磨あり。内面に回転糸 切り。割れ口少し消耗。	18~20C 小泉か
602-1	瓦 煉瓦	3-27 破片	厚・0.6	酸化・締。赤褐5YR4/6。 密、重。鉱物微。	三州瓦のような質で煉瓦かもしれない。曲 率は低い。割れ口消耗微。	東海か 20C
602-2	土師器土器 皿	3-32 体部片	厚・0.4	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4。	轆轤成形。内面に轆轤目あり。割れ口消耗 あり。黄色味強い。	15・16C
602-3	施釉陶器 壺	3-33覆土 体部片	厚・0.6	還元・酸化。締。釉灰黄褐10YR 4/2。胎土暗黒灰。	耳垂。外面上方に茶褐鉄胎。下方轆轤右回 転。内面に轆轤目。図産か始載か不明。	15~17C
602-4	土師器 土器	3-36覆土 口縁破片	口・(12.4)	酸化・並。鈍黄褐10YR6/4。 並、軽。褐粒含、他含。	口縁のみで、下方は直か。内外面横溝。焼 成芯黒3層状。割れ口消耗。	
602-5	土師器土器 皿	3-37 口・(10.4)	口・(10.4)	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4。 粗・軽。粗粒、鉱物含、他含。	轆轤成形（左回転）。内外焼成色変あり。割 れ口消耗少。	
602-6 208-7	土師器土器 皿	3-38覆土№1 完形	口・12.7 底・6.5	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4。 並。金雲母、褐粒含。	底部は左回転糸切り。全体の色調は灰色。 内面は轆轤目。	15Cか
602-7	須恵器 壺	3-41 破片	厚・0.7	還元・並。灰5Y4/1。密、 やや重。白色粒含、鉱物含。	内外面当て目、甲目は無でられ不明。割れ口 消耗大。	笠・太田 か
602-8	須恵器 深鉢	3-66覆土 口縁破片	厚・0.2	還元・硬。灰N4/。密、重。 白色粒少。他微。	口縁部はやや肥厚。割れ口の消耗微。口作は 埼玉県北部を思わせるが東海かも。	埼玉北部 ~東海
602-9	土師器 深鉢	3-80覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	器内と破片の積りは裏のようであるが誤かも しない。外面横。内面縦溝。消耗あり。	
602-10	土師器 土器	3-81 破片	厚・0.4	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4。	口縁部の内外面横溝。外面下方型磨。割れ口 消耗微。	
602-11	土師器 土器	3-83-84覆土 破片	厚・0.4	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4。 並、やや軽。白色粒、鉱物含。	内外面横溝。割れ口少し消耗。外面被熱の吸 灰か少し黒ずむ。	
602-12	須恵器 壺	3-83・84 破片	厚・0.7	還元・軟。灰黄2.5Y6/2。 並、軽。白色粒少、他鉱物少。	内面に回転。頸部に轆轤目あり。底面は高台粘 付後、回転転。割れ口の消耗大。	粘

第3区土坑

探訪番号 図帳番号	種別 種別	出土位置 遺存度	成目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
602-13	須恵器 坏	3-84 破片	厚・0.4	酸化・並。浅黄2.5Y7/3。並、 やや紅。白色胎含、他灰物少。	内外面に輪轆による回転の横線あり。割れ口 の酒粒少。	10・11C
602-14	石器 削片(石彫)	3-313覆土内 不詳	ホルンフェルス 重・12.4	長・3.2。幅・4.1。厚・0.9 ホルンフェルス	打製石屑の破片とも考えられる。縁辺に刃部 加工とも考えられる割線が認められる。	

第4区土坑

探訪番号 図帳番号	種別 種別	出土位置 遺存度	成目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
602-15	縄文土器 深鉢	4-2覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 粗粒砂・白色胎物	「S」字状縄文の一部と考えられる。 LR 原体を充填施文する。	接・無し
602-16	縄文土器 深鉢	4-5覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂・白色胎物	文様は認められない。	接・無し 中期
602-17	縄文土器 深鉢	4-8覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5YR7/2 白色胎物・赤褐色粒・砂粒	縦位の帯縄文が残る LR 原体を縦位充填す る。	接・無し
602-18	土製品 円盤	4-8覆土内 完存	長・4.4 幅・4.2	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 赤褐色粒子・砂粒	文様は認められない。 土器片を転用する。	接・無し
602-19	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 粗粒砂・細粒	文様は認められない。	接・無し
602-20	縄文土器 深鉢	4-11覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/9 含繊維・夾雑物少	LR 原体を横転施文する。	接・無し
602-21	縄文土器 深鉢	4-15覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色胎物	器面の風化顯著。無筋LR原体の横転施文と思 われる。	接・無し
602-22	縄文土器 深鉢	4-8覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明黄褐10YR7/6 シルト粒・白色胎物・砂粒	波状口縁の一部。縦位の区画縄文が残る。	接・無し
602-23	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙5YR6/6 白色胎物・砂粒・白色胎物	「S」字状縄文。RL 原体を充填施文する。 2766・2768と同一個体。	接・無し
602-24	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄7.5YR5/3 白色胎物・砂粒・白色胎物	口縁部は内湾し、口唇部直下に隆帯を巡らす。 沈線区画内に RL 原体を充填する。	接・無し
602-25	縄文土器 深鉢	4-17覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 白色胎物・砂粒・白色胎物	「S」字状縄文。RL 原体を充填施文する。 2767・2768と同一個体。	接・無し
602-26	縄文土器 深鉢	4-18覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 白色胎物・粗粒砂	4本1単位の条帯を縦位に施文する。	接・無し
603-1	縄文土器 深鉢	No.6 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 含繊維・白色胎物	付加条第2種 RL+2Lの施文と考えられる。	接・無し
603-2	縄文土器 深鉢	4-16、No.8 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 含繊維・白色胎物	無筋LR原体を横転施文する。	接・無し
603-3 208-8	縄文土器 深鉢	4-16覆土内 破片	径・37.4	酸・硬。鈍橙7.5YR7/3 含繊維・白色胎物・粗粒砂	口縁部は直立か。口縁部に半炭竹管による平行 く沈線。胴部は RL 原体の疑似羽状縄文。	接・16点
603-4	縄文土器 深鉢	4-19、No.1+2 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 雲母石英片岩・チャート	RL 原体を羽状施文する。	接・2点
603-5	縄文土器 深鉢	4-19、No.3 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色胎物	付加条第2種 LR+2R 原体を横転施文する。	接・無し
603-6	縄文土器 深鉢	4-19、No.8 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 含繊維・白色胎物・白色胎物	RL 原体を横転施文し、上位に半炭竹管による 平行条帯を施文する。	接・無し
603-7 208-9	縄文土器 深鉢	4-24覆土内 破片	口・(27.0)	酸・硬。鈍赤褐2.5YR5/4 山土・金雲母・円粒チャート	口縁部は「く」字状に屈曲開口唇部は肥厚す る。口縁部に連続羽状文を5段に施文する。	接・16点
604-1	縄文土器 深鉢	4-25覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色胎物	作りは薄い。半炭竹管による3段の平行波状 文が施すされる。	接・無し
604-2	縄文土器 深鉢	4-26覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色胎物・チャート	円形状の隆帯区画の下端に押引文を施す。	接・無し
604-3	縄文土器 深鉢	4-27、No.7 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト質・白色胎物	沈線による「S」字状区画および、縦位の沈 線区画内に列点刺文を施す。	接・無し
604-4	石器 石鏃	4-27、No.10 完存	チャート 重・0.63	長・1.7。幅・1.4。厚・0.6	無茎長平根三角形片式。	
604-5	石器 石匙	4-27覆土内 一部欠損	チャート 重・10.56	長・3.45。幅・4.3+α。	直刃を呈する。	
604-6	石器 石皿	4-27底面直 完存	粗粒輝石安山岩 重・4790	長・27.2。幅・20.7。厚・6.5 粗粒輝石安山岩	形状は碗状。使用面も安定していない。	

第4区土坑

探訪番号 図説番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼跡・色調・粘土	形状・技法等の特徴	備 考
604-7	縄文土器 深鉢	4-28覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR8/2 白色微粒子・細砂粒	沈線による「J」字乃至「S」字状文の一部 と考えられる。	接・無し
604-8	縄文土器 深鉢	4-28覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・石英・粗粒砂	沈線による「J」字乃至「S」字状文の一部 と考えられる。	接・無し
604-9	石器 石核	4-28覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・200	長・9.15、幅・3.65、 厚・4.85。粗粒輝石安山岩	小口の両端からの割離が行われ、側部にも割 離が行われている。	
604-10	石器 燧石	4-28覆土内 完存	黒色頁岩 重・1150	長・12.5、幅・10.5、厚・5.7 黒色頁岩	表面中央部・裏面小口寄り・側部に集中打痕 を残す。	
604-11	縄文土器 深鉢	4-32覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色粒子	弧線帯縄文にLR原体を充填施文する。	接・無し
604-12	縄文土器 深鉢	4-33、No.1 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横紋施文する。	接・無し
604-13	縄文土器 深鉢	4-35覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色粒・赤褐色粒	RL原体を横紋施文する。	接・3点
604-14	縄文土器 深鉢	4-36覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐色粒子	文様は認められない。	接・無し
604-15	縄文土器 深鉢	4-37覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR5/4 砂粒・白色微粒子	無糸Rを縦位施文する。	接・無し
604-16	縄文土器 深鉢	4-37覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・赤褐色粒子	懸垂文を垂下させ、地紋にRL原体を縦位に 施文する。	接・無し
605-1	石器 燧石	4-38覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・342	長・6.6、幅・6.2、厚・4.9 粗粒輝石安山岩	割面全面が磨減し、扁平面の磨減は顕著。	
605-2	縄文土器 深鉢	4-39覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横紋施文する。	接・無し
605-3	縄文土器 深鉢	4-40覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。濁7.5YR4/3 粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦位充填する。 2796と同一個体。	接・無し
605-4	縄文土器 深鉢	4-40覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色粒子	口縁部は内湾し把手を備える。口唇部は丸い。 2794同一	接・3点
605-5	縄文土器 深鉢	4-40覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄濁10YR6/2 含繊維・白色粒子・砂粒	付加糸第2種LR+2L原体を横紋施文する。	接・無し
605-6	縄文土器 深鉢	4-42覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄濁10YR7/4 粗粒砂	文様は認められない。	接・無し
605-7	土製品 円盤	4-42覆土内 破片	長・3.7 残存幅・2.4	酸化・並。淡黄橙10YR8/4 砂粒	深鉢の割片を転用する。文様は認められない。	接・無し
605-8	縄文土器 深鉢	4-43覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。濁7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	波状口縁。連続爪形文を4条口縁に沿い施文 する。	接・無し
605-9	縄文土器 深鉢	4-44覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 細線・チャート・粗粒砂	縦位の沈線文が残存するのみ。	接・無し
605-10	縄文土器 深鉢	4-49覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色微粒子・細線	縦位の沈線区画文と斜位の沈線文を施す。	接・無し
605-11	縄文土器 深鉢	4-51、No.3 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細線・白色微粒子	口縁部は無文帯を有し、直下に横位の刺突隆 帯を施す。	接・無し
605-12	縄文土器 深鉢	4-43・47覆土 破片	口・24.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細線・白色微粒子・軽石	キャリパー形の口縁に、LR多糸原体を縦位 施文する。	接・2点
605-13	石器 叩石	4-52、覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・162	長・8.0、幅・4.2、厚・3.2 粗粒輝石安山岩	片側の小口に敲打痕が認められる。	
605-14	石器 燧石	4-52、覆土 完存	粗粒輝石安山岩 重・448	長・9.6、幅・6.9、厚・4.8 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面が磨減し、孔を施す。小口・ 側部に敲打痕が認められる。	
605-15	縄文土器 深鉢	4-52覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子	波状口縁。口唇部直下に突起状の把手を備え、 把手の左右に微隆帯を施し、LR原体を施文。	接・無し
605-16	縄文土器 深鉢	4-53覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
605-17	石 スリバー	4-53覆土内 完形	ホルンフェルス 92g	長・5.9、幅・6.7、厚・1.7	片面に自然面を残し、周縁を加工する。	
606-1	縄文土器 深鉢	4-55覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤濁5YR5/4 細線（無繊維）	RL原体を横紋施文する。	接・16点
606-2	縄文土器 深鉢	4-58覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白2.5Y8/2 砂粒	口縁部は「く」字状に外反し、口唇部に刺突 文・刺突沈線文を加飾を施す。	接・無し

第4区土坑

探検番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	直径 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
606-3	縄文土器 深鉢	4-56覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 砂粒・白色粒子	口縁部は複合口縁を表出し、口唇部は平坦。 文様は認められない。	接・無し
606-4	縄文土器 深鉢	4-56、№1 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子（無繊維）	RL 原体を横断施文する。 2810と同一個体。	接・無し
606-5	縄文土器 深鉢	4-59覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	口縁部は丸い。区画比線文を施し、LR 原体を 横断施文する。	接・無し
606-6	縄文土器 深鉢	4-60、№15 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	2815・2814と同一個体。	接・無し
606-7	縄文土器 深鉢	4-60、№29 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	2816・2814と同一個体。	接・無し
606-8	縄文土器 深鉢	4-60、№2 破片	厚・1.3	酸化・並。把手7.5YR7/6 粗粒砂・白色微粒子	平放竹管による縦位の糸痕を施し、波状隆帯を 垂下させる。2816・2815と同一個体。	接・無し
606-9	縄文土器 深鉢	4-60、№8 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色微粒子・砂粒・赤褐色粒	口縁部は内湾し把手を施す。渦巻き隆帯を施し、 懸垂文を垂下させる。LR 原体を施文する。	接・無し
606-10	石器 磨石	4-60、№30 完存	胆状輝石安山岩 重・779	長・11.3。幅・9.9。厚・4.9 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨減し、中央部に集中打痕を 残す。小口・側部にも線打痕が認められる。	
606-11	石器 磨石	4-60、№24 完存	胆状輝石安山岩 重・930	長・13.5。幅・9.3。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨減する。裏面に被熱による 割離が認められる。	
606-12	石器か	4-60、№26	実質玄武岩 重・311	長・14.2。残存幅・4.5。 厚・3.7。実質玄武岩	被熱による割離が認められる。石磨として機能 は被熱による2次のものと考えられる。	
606-13	石器 磨石	4-60、№32 完存	溶結凝灰岩 重・1069	長・13.0。幅・12.1。厚・5.6 溶結凝灰岩	両面の扁平面が磨減し、部分的に割離が認め られる。被熱にひび割れも認められる。	
607-1	縄文土器 深鉢	4-61覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	孤線帯縄文を施す。LR 原体を充填施文する。	接・無し
607-2	縄文土器 深鉢	4-61覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄橙10YR8/3 粗粒砂・白色微粒子	横位の波線文のみが認められる。	接・無し
607-3	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐色粒子	孤線帯縄文を施す。LR 原体を充填施文する。	接・無し
607-4	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色微粒子・粗粒砂	胴部の括れ部分。平行孤線内に列点刺突文を 施す。	接・無し
607-5	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 砂粒・白色微粒子・白色微粒子	口唇部に刺突突起を加飾し、突起の直下に垂 する刺突隆帯を施す。	接・無し
607-6	縄文土器 深鉢	4-62覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 細砂粒・白色微粒子	孤線帯縄文を施す。LR 原体を充填施文する。	接・無し
607-7	縄文土器 深鉢	4-66、№1 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 金雲母・白色微粒子・黒雲母	扇状把手。縁辺に刻みを施す。	接・無し
607-8	縄文土器 深鉢	4-64、№8 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 白色微粒子微・夾雑物少	孤線帯縄文を施す。LR 原体を充填施文する。	接・無し
607-9	縄文土器 深鉢	4-64、№4 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄橙10YR8/3 白色微粒子・粗粒砂	上下2段に帯口面を施文する。	接・無し
607-10	縄文土器 深鉢	4-67、№5 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子・白色微粒子	「X」字状の波線区画内に LR 原体を充填施 文する。	接・無し
607-11	縄文土器 深鉢	4-72覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。黄橙10YR5/8 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
607-12	縄文土器 深鉢	4-73覆土№2 破片	底・9.4	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3 角粒粗粒砂・石英・赤褐色微粒子	器外面は粗い横位の隆帯で施す。 文様の施文は認められない。	接・無し
607-13	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 細砂粒・夾雑物少	口縁部は外反し口唇部は内側に短く折る。 「X」字状文を施文するが原体の施文は無。	接・無し
607-14	縄文土器 深鉢	4-73、№1 破片	底・(8.9)	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色微粒子・粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
607-15	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・黒色微粒子・白色微粒子	口唇部は内側に折り曲げる。「X」乃至「S」 字状文の一部。LR 原体を充填施文する。	接・無し
607-16	縄文土器 深鉢	4-76、№5 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y7/4 砂粒・白色微粒子	口唇部は丸い。横位の平行波線内に列点刺突 文を施す。	接・無し
607-17	縄文土器 深鉢	4-77覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒	孤線波線文の内側に LR 原体を充填施文す る。	接・無し
607-18	縄文土器 深鉢	4-75覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	口唇部は短く内側に折り、貼付文を施す。 「X」・「S」字状縄文を施す。原体は LR。	接・7点

第4区土坑

探頭番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存内 寸法	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
607-19	縄文土器 深鉢	4-78覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。濁10YR4/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加糸第2種 RL+2L 原体を横断施文する。 2842と同一個体。	接・無し
608-1	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。濁7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	無断原体を羽状施文する。	接・4点
608-2	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。濁10YR4/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	付加糸第2種 RL+2L 原体を横断施文する。 2840と同一個体。	接・5点
608-3	縄文土器 深鉢	4-79覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明濁7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	波状口縁。口唇部は沈線状の施文。口唇部直 下にループ文を施文し、無断原体の羽状施文。	接・7点
608-4	石器 打製石斧	4-85覆土内 完存	ホルンフェルス 重・270	長・15.0。幅・8.8。厚・2.2。 ホルンフェルス	楕円形の分割筋を呈し比較的扁平である。 使用痕は比較的顕著。	
608-5	縄文土器 深鉢	4-86覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6 砂粒・白色微粒子	横位の隆帯を施文する。	接・無し
608-6	石器 多孔石	4-86、No2 完存	粗粒輝石安山岩 重・10900	長・23.6。幅・20.8 厚・17.0。粗粒輝石安山岩	碑の表面に孔が認められ、両小口に大きな孔 がそれぞれに認められる。	
608-7	石器 敲石	4-86覆土内 破片	雲母石英片岩 重・430	残存長・11.8。残存幅・5.1 雲母石英片岩	3面を欠損す。先端側に集中敲打痕を残す。	
608-8	縄文土器 深鉢	4-90覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明濁7.5YR5/8 細砂粒・白色微粒子	斜位の帯条隆文を施す。原体はLR。	接・無し
608-9	縄文土器 深鉢	4-92覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・細白色微粒子	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
608-10	縄文土器 深鉢	4-93覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 粗粒砂・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦断施文する。	接・無し
608-11	縄文土器 深鉢	4-93覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。濁灰10YR4/1 細砂粒・白色微粒子	器面の風化顕著。LR 原体を縦断施文する。	接・無し
608-12	石器 敲石	4-97覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・250	長・6.3。幅・5.7。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	全体がすべすべしているが、加工に伴うとは 思われない。一部に打痕が認められる。	
608-13	縄文土器 深鉢	4-95覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	上げ底。無断原体を施文する。	接・無し
608-14	縄文土器 深鉢	4-96覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横位施文する。	接・無し
608-15	石器 スバル	4-98覆土内 1/2	ホルンフェルス 重・43	長・7.8。残存幅・4.4。 ホルンフェルス	表面に磨面を残す。縁辺に刃部加工を施す。	
608-16	縄文土器 深鉢	4-98覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子・チャート	無断L 原体によるループ文を施文する。	接・無し
608-17	縄文土器 深鉢	4-99覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 含繊維・白色微粒子	羽状施文を施す。	接・無し
609-1	縄文土器 深鉢	4-82覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明濁7.5YR5/6 粗粒砂・白色微粒子・泥粒	無断L 原体を横断施文する。	接・無し
609-2 208-11	縄文土器 深鉢	4-82覆土下層 破片	口・(28)	酸化・軟。鈍赤褐5YR5/4 金雲母・白色微粒子・黒雲母	胴部下平部に「T」字状に隆帯を施し、口縁 部は楕円区画隆帯内に、連続押引文を施文。	接含34片
609-3 208-10	縄文土器 深鉢	4-82覆土下層 1/5	口・25.0	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 金雲母・白色微粒子・黒雲母	口縁に4単位の把手を施す。器面全体に斜位 の溝を施す。	
610-1	縄文土器 深鉢	4-100覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・赤褐・白色微粒子	縦位の沈線文が認められる。	接・2点
610-2	縄文土器 深鉢	4-102覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰濁7.5YR4/2 細砂粒・透明微粒子	弧線帯条隆文を施す。原体はLR。	接・無し
610-3 208-12	縄文土器 深鉢	No1+4+5+8 口縁1/4	口・(32.9)	酸化・並。鈍橙5YR6/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	絡条体Lを縦位施文する。	接・15点
610-4	石器 磨石	4-103覆土内 破片	粗粒輝石安山岩 重・215	残存長・7.6。残存幅・7.0。 残存厚・3.0。粗粒輝石安山岩	器面の扁平面を利用する。中央部に集中打痕 を残す。	
610-5	縄文土器 深鉢	4-107覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒	深鉢の底部。縄文中期(藤原・阿玉台)。	接・無し
610-6	縄文土器 深鉢	4-109覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。濁7.5YR4/3 金雲母・白色微粒子	横位の隆帯を施し、刻み貼付文を施す。隆帯 の下位に縦位の押引文を施文する。	接・無し
610-7	縄文土器 深鉢	4-111覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄橙7.5YR8/4 砂粒・赤褐色微粒子・白色微粒子	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
610-8	縄文土器 深鉢	4-112覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄濁10YR7/6 砂粒・白色微粒子	横位隆帯を施し、上位に連続刻突文を施す。	接・無し

第4区土坑

探検番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
610-9	縄文土器 深鉢	4-119覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 砂粒・白色粒子・白色鉱物	5本1単位の帯曲条直文を縦位施文する。	接・無し
610-10	縄文土器 深鉢	4-120覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。浅黄褐色7.5YR8/4 粗粒砂・細礫	文様の施文は認められない。	接・無し
610-11	縄文土器 深鉢	4-121覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/6 細砂粒少	縦位・弧線帯織文を施す。原形はRL原体を充 填施文する。	接・無し
610-12	縄文土器 深鉢	4-122覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 粗粒砂・細礫	LR原体を縦位施文する。	接・無し
610-13	縄文土器 深鉢	4-126覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y3/8 砂粒・赤褐色粒子	LR原体を縦位施文する。	接・無し
610-14	縄文土器 深鉢	4-130覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 細砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾し、口唇部横撫でに把手を具備 する。把手部の左に弧状に押引文を施文する。	接・無し
610-15	縄文土器 深鉢	4-132覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄褐色10YR8/4 粗粒砂・赤褐色粒子	横位弧線帯施し、口唇部から縦位に「8」の字 貼付文を施す。下位はLR原体を縦位施文。	接・無し
610-16	縄文土器 深鉢	4-133覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種の羽状施文する。	接・無し
610-17	縄文土器 深鉢	4-134覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。5YR7/6 粗粒砂・赤褐色粒・白色粒	波状口縁。波頂部を欠損する。文様の施文は は認められない。	接・無し
610-18	縄文土器 深鉢	4-135覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・白色鉱物	口縁部隣帯区画の部分と考えられる。RL原 体を充填施文する。	接・無し
610-19	縄文土器 深鉢	4-137覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は平坦。RL原体を横位施文する。	接・無し
610-20	縄文土器 深鉢	4-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 砂粒・白色粒子	微線帯区画内にRL原体を充填施文する。	接・無し
610-21	縄文土器 深鉢	4-143覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄7.5YR6/3 砂粒多	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
611-1	縄文土器 深鉢	4-147覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐色5YR4/6 含繊維・白色微粒子	付加条第2種の横位施文か。	接・無し
611-2	石磨 磨石	4-147覆土 重・335	溶結凝灰岩	残存長・6.6。幅・7.7。 厚・5.0。溶結凝灰岩	小口に敲打痕を顕著に残す。磨面の扁平面を 磨石としても利用。両面中央部に集中打痕。	接・無し
611-3	縄文土器 深鉢	4-153覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子少	竹管の菱形構成とRL原体を横位施文する。	接・無し
611-4	縄文土器 深鉢	4-188覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄褐色10YR8/4 含繊維・白色微粒子・砂粒	磨面の風化顕著。無胎原体の横位施文だが、 風化のため原体の詳細は不詳。	接・無し
611-5	縄文土器 深鉢	4-192覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 雲母石英片岩	地紋にRL原体を横位に施文し、円管刺突文 を施す。	接・無し
611-6	縄文土器 深鉢	4-193覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 細砂粒・白色微粒子	胎帯を施し、RL原体を充填施文する。	接・無し
611-7	縄文土器 深鉢	4-212覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
611-8	縄文土器 深鉢	4-214覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明黄7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-9	縄文土器 深鉢	4-216覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐色2.5YR5/8 粗粒砂・細礫	微線帯を施し、LR原体を縦位施文する。	接・無し
611-10	縄文土器 深鉢	4-217覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂多	LR原体を縦位施文する。	接・無し
611-11	縄文土器 深鉢	4-222覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙5YR6/6 粗粒砂・細礫	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-12	縄文土器 深鉢	4-224覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙5YR7/6 含繊維・白色微粒子	RL原体を横位施文する。	接・無し
611-13	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 粗粒砂・赤褐色粒・白色粒子	口縁部は外反する。横位の弧線状の比線区画 内にLR原体を充填施文する。	接・無し
611-14	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黄褐色10YR7/3 白色粒子・砂粒	弧線帯織文を施す。LR原体を施文する。	接・無し
611-16	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂・角粒粗粒砂	弧線帯織文を施す。RL原体を施文する。	接・無し
611-17	縄文土器 深鉢	4-225覆土内 完存	一	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 細砂粒・白色粒子	4単位の波状口縁の把手部。冠部を「S」字 状に胎帯加飾し、洗滌文を施す。	接・無し

第4区土坑

探四番号 国際番号	種別 砂	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼周・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
611-18	縄文土器 深鉢	4-238覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2。 砂粒多、白色粒・角粒粗砂。	LR 原体を縦軸施文する。	接・無し
611-19	縄文土器 深鉢	4-241覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/3。 粗粒砂・赤褐色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
611-20	縄文土器 深鉢	4-233覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。オリーブ黒5Y2/2 含繊維・白色微粒子	粗い LR 原体を縦軸施文する。	接・無し
611-21	石器 剥片石器	4-236覆土内 破片	珪質頁岩 重・32	長・6.5、幅・4.5、厚・1.3 球質頁岩	剥片の1側縁に微細な割縁が認められる。	
611-22	縄文土器 深鉢	4-243覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・繊維・粗粒赤褐色粒子	器面の風化顯著。口唇部を肥厚様にする。 下に燃赤と思われる瓦楕が認められる。	接・無し 早瀬系
611-23	縄文土器 深鉢	4-245覆土内 把手片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色粒子・赤褐色粒子	表面・上下に孔を穿ち、中空状になっている。	接・無し
611-24	縄文土器 深鉢	4-250覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂・繊維	「J」字状文等を施す。原体はLRを施文する。	接・無し
612-1	縄文土器 深鉢	4-259覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂多・細白色微粒子	文様の施文は認められない。 縦位の無で整形を施している。	接・無し
612-2	縄文土器 深鉢	4-260覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色微粒子・粗粒砂	LR 原体を縦軸施文する。	接・無し
612-3	縄文土器 深鉢	4-266覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色微粒子	小把手を具備し、口唇部の左側に刻みを施す。 文様の施文は認められない。	接・無し 296跡一
612-4	縄文土器 深鉢	4-268覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR4/3 金雲母・白色微粒子	文様の施文は認められない。 612-3と同一個体。	接・2点
612-5	縄文土器 深鉢	4-271覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
612-6	縄文土器 深鉢	4-272覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 細砂粒・白色微粒子	縦位の沈線間に LR 原体を縦位充填する。	節・2点
612-7	縄文土器 深鉢	4-269覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 細砂粒・白色微粒子	器面の風化顯著。文様が山形押形文とも組織 原体の施文とも見られる。	接・無し
612-8	縄文土器 深鉢	4-273覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細白色微粒子	RL 原体を横位施文する。	接・無し
612-9	縄文土器 深鉢	4-274覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明暗7.5YR5/6 白色粒子・砂粒	三又状隆帯を中心に縦横に隆帯を施す。隆帯 下は半杖状管の平行沈線文と連続刺突を施す。	接・無し
612-10	縄文土器 深鉢	4-275覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。5YR4/6 金雲母・白色微粒子・粗粒砂	波状口縁。波頂部に刻みを施す「8」の字貼 付文を施し、口唇部を肥厚させ刻みを施す。	接・無し
612-11	縄文土器 深鉢	4-280覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子・白色微粒子・砂粒	把手部の破片。キャタピラ文を横位、逆「U」 字状に施文する。	接・無し
612-12	石器 敲石	4-282覆土内 先端欠損	粗粒輝石安山岩 重・510	残存長・8.7、幅・7.5、 厚・5.1。粗粒輝石安山岩	器面の扁平面の両面中央部に集中打痕を残す。	
612-13	縄文土器 深鉢	4-288覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	羽状縦文を施文する。	接・無し
612-14	縄文土器 深鉢	4-286覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・赤褐色粒子	口縁部隆帯。RL 原体を光軸施文する。	接・2点
612-15	縄文土器 深鉢	4-296覆土内 把手片	—	酸化・並。灰白2.5Y8/2 白色粒子	冠状の中空把手。3方を窓状でブリッチに表出 する。上部に輪状の小把手を施す。	接・無し
612-16	縄文土器 深鉢	4-302覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	LR 原体を縦軸施文する。	接・2点
612-17	土製品 内盤	4-288覆土内 破片	長・4.5 幅・4.3	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含繊維・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。 0段多牽 LR 原体を横軸施文する。	接・無し
612-18	縄文土器 深鉢	4-306覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐色10YR3/1 含繊維・白色微粒子	羽状縦文を施文し、半杖状管によるループ文 を施す。	接・無し
612-19	縄文土器 深鉢	4-307覆土内 破片	底・(12.0) 厚・0.9	酸化・並。赤褐5YR4/8 粗粒砂・繊維・白色粒子	口縁部の立ち上がり部に、波状隆帯を施文する。	接・無し
612-20	縄文土器 深鉢	4-308覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
612-21	縄文土器 深鉢	4-309覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。坑7.5YR4/4 白色微粒子・砂粒	口縁部は外傾し、口唇部は平坦で短く外に折 れる。文様の施文は認められない。	接・無し
612-22	縄文土器 深鉢	4-310覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 砂粒・細白色微粒子	「X」字状文。RL 原体を充填施文する。	接・無し

第4区土坑

発掘番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	厚度 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
612-23	縄文土器 深鉢	4-311覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 粗粒砂・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・2点
612-24	縄文土器 深鉢	4-313覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。坑7.5YR4/3 粗粒砂・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
612-25	縄文土器 深鉢	4-315覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR4/3 金雲母・白色微粒子	押引文による文様構成。	接・無し
612-26	石器 打製石片	4-315覆土内 部分欠損か	黒色頁岩 25g	長・7.5、幅・3.15、厚・1.0	側縁に加工を施す。	
613-1	縄文土器 深鉢	覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5YR8/3 含繊維・白色微粒子	0段多条原体による羽状施文。	接・無し
613-2	縄文土器 深鉢	4-318覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 細砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、LR原体を縦転施文する。	接・2点
613-3	縄文土器 深鉢	4-318覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR4/3 砂粒・白色微粒子・	「X」字状文か。帯状縄文による文様構成。 原体はLR。	接・3点
613-4	石器 打製石片	4-318覆土内 破片	ホルンフェルス 重・65	残存長・7.6、幅・4.6、 厚・1.8、ホルンフェルス	両端を欠損する。基部側込みの浅い分銅形を 呈すと考えられる。	
613-5	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐色2.5Y3/1 含繊維・白色微粒子	無彫LR原体を横転施文する。	接・無し
613-6	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色7.5YR5/4 細砂粒・細白色微粒子	横位の連続爪形文を施文する。 2927・2937・2941同一	接・2点
613-7	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 白色微粒子・砂粒	連続爪形文を施文する。 2927・2935・2937同一	接・2点
613-8	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色7.5YR6/4 砂粒・白色微粒子	口唇部は肥厚し丸く外に折れる。横位の連続 爪形文を施文する。2935・2937・2941同一	接・2点
613-9	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色7.5YR6/4 細砂粒・白色微粒子	口唇部は丸く外側に折れる。連続爪形文を横 位に施文する。2927・2937・2941同一	接・無し
613-10	縄文土器 深鉢	4-320覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 砂粒・白色微粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し
613-11 209-2	縄文土器 深鉢	4-319覆土内 5/1	底・7.8	酸化・硬。鈍黄褐色7.5YR7/4 白色微粒子・白色微粒子	筒形状を呈する。上位に横位、下位に波状に 上半部に刻みを施す隆帯を施文する。	接・12点
613-12	土製品 円盤	4-321覆土内 破片	長・4.6 幅・4.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 砂粒・白色微粒子	LR原体を横転施文する。 深鉢の割断片を転用する。	接・無し
613-13	縄文土器 深鉢	4-322覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。明黄褐色10YR7/6 含繊維・白色微粒子	器面の風化顕著。文様は不詳。	接・無し
613-14	縄文土器 深鉢	4-326覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 粗粒砂・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
613-15	縄文土器 深鉢	4-328覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 粗粒砂・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
613-16	縄文土器 深鉢	4-332覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。黄褐色10YR4/4 含繊維・白色微粒子	口唇部は平直。RL原体を横位施文する。	接・2点
613-17	縄文土器 深鉢	4-334覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5YR8/3 赤褐色粒・角粒粗粒砂	波状口縁。文様の施文は認められない。	接・無し
613-18	縄文土器 深鉢	4-335覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 白色微粒子・夾雑物	キョウビラ文を弧状に施文する。	接・無し
613-19	縄文土器 深鉢	4-335覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 砂粒多	弧線沈線文が認められるのみ。	接・無し
613-20	縄文土器 深鉢	4-336覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 角粒粗粒砂・細粒・粗粒砂	窟位の沈線文が認められるのみ。	接・無し
613-21	縄文土器 深鉢	4-337覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。黄褐色10YR6/3 角粒粗粒砂	LR原体を縦転施文する。	接・無し
613-22	土師器 口縁部片	4-339覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化・並。橙7.5YR6/6、並、 紅。白色・褐色粒、他多。	内外、断面ともに消耗大。小片のため器種不 明瞭。	
613-23	縄文土器 深鉢	4-340覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/2 砂粒・赤褐色微粒子・白色微粒子	窟位の帯状縄文及び弧線沈線文を施文する。 原体はLR。	接・無し
613-24	縄文土器 深鉢	4-340覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰5Y5/1 粗粒砂	帯状の弧状区画内に連続羽状文を施す。	接・無し
613-25	縄文土器 深鉢	4-342覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 粗粒砂・細粒白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し 加付E16

第4区土坑

発掘番号 図面番号	種別	出土位置 遺存度	寸目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
613-26	縄文土器 深鉢	4-343覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。焼7.5YR6/8 含繊維・白色微粒子	無彫L原体を横転施文する。	接・無し
613-27	縄文土器 深鉢	4-344覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙2.5YR4/3 白色鉱物・白色微粒子	横位の條帯を施し、LR原体を充満させる。	接・無し
614-1	縄文土器 深鉢	4-345覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白7.5Y7/2 粗粒砂・白色微粒子	LR原体を充満させる。	接・無し
614-2	縄文土器 深鉢	4-347覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/8 含繊維・白色微粒子	無彫L原体を横転施文する。	接・無し
614-3	縄文土器 深鉢	4-348覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 細砂粒	口縁部隆帯区画内にLR原体を充満させる。	接・無し
614-4	縄文土器 深鉢	4-353覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	口縁部は「く」の字状に外傾する。針状の繊維を含む。内面は強い横縞で乃至粗い条痕。	接・無し
614-5	縄文土器 深鉢	4-355、No.8 破片	厚・0.7	酸化・並。5YR6/8 セリサイト・白色鉱物	LR原体を斜転施文する。	接・無し
614-6	石器 砥石	4-355覆土No.4 充存	溶結凝灰岩 重・190	長・8.7、幅・7.3、厚・3.7。 溶結凝灰岩	5面を利用するが、1面以外の風化が顕著。 各断面が湾曲するため磨製石片用の砥石か。	接・無し
614-7	縄文土器 深鉢	4-356覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
614-8	縄文土器 深鉢	4-358覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。黒褐10YR3/2 粗粒砂・白色微粒子	1単位6+ α 条の條帯による条痕施文。	接・2点
614-9	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10Y7/1 細砂粒・白色微粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充満する。	接・9点
614-10	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR8/4 白色微粒子・細砂粒	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充満する。	接・8点
614-11	縄文土器 深鉢	4-359覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。焼7.5YR7/6 白色微粒子・細砂粒	底部片。懸垂文を垂下させるが縄文の施文認められない。	接・2点
614-12	土師器土器 皿	4-361覆土 1/2	口・9.1 底・5.8	酸化・並。鈍黄橙7.5YR8/3 並、粒。	縦縞成形(左回転)。底部は回転糸切り。口縁部の内外に油煙灰あり。並縞あり。	接・2点 近世か
614-13	石器 打製石斧	4-361覆土内 破片	ホルンフェルス 重・30	遺存長3.7、幅・5.0。 厚・1.6、ホルンフェルス	下端面のみの破片。両面に磨減する。	
614-14	石器 割片石器	4-361覆土内 破片	チャート 重・2.78	遺存長1.4、残存幅・2.2+ α 厚・0.7、チャート	割片の2個縁に加工施す。	
614-15	縄文土器 深鉢	4-363覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂・白色微粒子	波状口縁か。口縁部は内湾する。口唇部は肥厚し、口唇部直下に連続刺突文を施す。	接・無し
614-16	縄文土器 深鉢	4-364、No.2 破片	厚・0.8	酸化・並。焼 YR6/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	無彫 RL原体を横転施文する。	接・無し
614-17	縄文土器 深鉢	4-363、No.16 破片	厚・0.9	酸化・並。焼5YR6/6 含繊維・白色微粒子	半篋竹管による連続爪形文を横位に施文する。	接・無し
614-18	縄文土器 深鉢	4-363、No.3 破片	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細砂粒	無彫 LR原体を横転施文する。	接・無し
614-19	縄文土器 深鉢	4-363、No.7 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	多条LR原体を横転施文する。	接・無し
614-20	縄文土器 深鉢	4-363、No.8 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。 破片の下側に埋孔が認められる。	接・無し
614-21	縄文土器 小型深鉢	4-363覆土内 1/4	口・(13.4)	酸化・並。焼7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子・細砂粒	口唇部は尖る。地紋原体はLR。原体は粗粒、まばらに押擦る。	接・16点
614-22	縄文土器 深鉢	4-363、No.9 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 含繊維・白色微粒子	多条原体を羽状施文する。	接・無し
614-23	縄文土器 深鉢	4-363、No.10 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	RL原体和、付加条第2種無彫LR+L原体を施文する。	接・無し
614-24	縄文土器 深鉢	4-363、No.6 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は外傾し口唇部は平坦。無彫 RL原体を横転施文する。	接・11点
615-1	縄文土器 深鉢	4-364覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 セリサイト・粗粒砂	縦位の押引文と横位の連続爪形文を施す。	接・無し
615-2	石器 打製石斧	4-364覆土内 充存	黒色頁岩 重・199	長・12.0、幅・4.6、厚・2.4 黒色頁岩	磨製。表面に磨面を残す。表面の先端側は磨減が認められるが、裏面には認められない。	接・無し
615-3	縄文土器 深鉢	4-368覆土内 破片	底・(14.0)	焼・硬。鈍橙2.5YR6/4 金雲母・白色微粒子・白色微粒子	胴部から浮腫連続状文が垂下する。	接・10点

第4区土坑

探四番号 因版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
615-4	縄文土器 深鉢	4-365覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐色5YR4/6 セリサイト	横位の半截竹管による平行波線文を施し、半 截竹管の連続刺突文を施す。	接・無し
615-5	縄文土器 深鉢	4-369覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/4 白色微粒子	LR 原体を横転施文する。	接・無し
615-6	縄文土器 深鉢	4-370覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐 YR3/3 粗粒砂多・高温石英	口縁部は内湾する。横位の波線文区画の帯 刺突文を施文する。原体は LR。	接・無し
615-7 208-13	縄文土器 浅鉢	4-371覆土内 5/1	底・(9.0)	酸化・並。鈍褐色5YR6/4 白色粒子・砂粒	強く外傾して立ち上がる。無文。	接・13点
615-8	縄文土器 深鉢	4-377覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄5Y8/3 砂粒・白色鉱物	縦位の波線文1条(懸垂文か)が認められる。	接・無し
615-9	縄文土器 深鉢	4-379覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒・白色鉱物	丸味の強い胴部がやや直立し外反して口縁部 がたちあがる。無筋原体の施文と考えられる。	接・無し
615-10	縄文土器 深鉢	4-384覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 含繊維・白色微粒子	付加条第2種原体を施文するが、輪原体は不 明。付加原体はL。	接・無し
615-11	縄文土器 深鉢	4-384覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐色10YR3/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種L+2L原体を横転施文する。	接・無し
615-12	縄文土器 深鉢	4-386覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し
615-13	縄文土器 深鉢	4-383覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子	無筋L原体を横転施文施文する。	接・無し

第5区土坑

探四番号 因版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
615-14	縄文土器 深鉢	5-4 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 細砂粒・白色粒子	沈線による文様表出を施すが、文様構成は不 詳。称名寺式の文様構成が考えられる。	接・無し
615-15	縄文土器 深鉢	5-6 覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
615-16	縄文土器 深鉢	5-8, No1 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/4 雲母石英片岩	口縁部は外傾し、口縁部に半截竹管による楕 円状の区画内に、縦位に平行波線文を施す。	接・無し
615-17	土器土器 皿	5-10, No1 底部のみ	底・6.2	酸化。鈍黄橙10YR7/3	縦線成形(左回転)。底部は回転未切り。	
615-18	土製品 円盤	5-10覆土内 破片	長・3.3 幅・3.0	酸化・並。浅黄橙10YR8/4 含繊維・夾雑物少	深鉢胴部片を転用する。文様は RL 原体の施 文。	接・無し
615-19	縄文土器 深鉢	5-12覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄褐10YR7/6 粗粒砂多	4+e1 単位の帯歯条文を施文する。	接・無し
615-20	縄文土器 深鉢	5-12覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。明黄褐10YR7/6 粗粒砂多	4+e1 単位の帯歯条文を施文する。 615-19と同一体。	接・無し
616-1	土器器 口縁部 片	5-13覆土 破片	厚・0.5	酸化・軟。橙5YR6/8, 粗・軽。鉱物多。	内外面、割れ口とも消滅大。口縁部周辺の横 筋をわずかに見える。	接・無し
616-2	石器 刮片石器	5-13覆土内 1/2か	黒色頁岩 重・57	遺存長7.3, 残存幅・3.8, 厚・1.8, 黒色頁岩	碑を扁平に打ち欠き側面に刃部加工を施す。	接・無し
616-3	施釉陶器 德利	5-17覆土内 破片	厚・0.7	還元・締。釉オリーブ黄5Y6/4 (胎土質、胎土灰)	外面のみ鉛釉調施釉。内面無釉目。割れ口小 欠、少し消滅あり。	18・19C 瀬戸美濃
616-4	縄文土器 深鉢	5-18覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 細砂・粗粒砂	横位の微隆帯を施し、LR 原体を縦転施文 する。	接・無し
616-5	縄文土器 粗粒深鉢	5-18, No1 底部片	底・8.2	酸化・硬。鈍褐色7.5YR5/4 白色鉱物・角粒粗粒砂	縦位の微隆帯を施す。	接・無し
616-6	縄文土器 粗粒深鉢	No1+3+覆土 破片	口・(46.8)	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 角粒粗粒砂・黒色鉱物粒	複合口縁。器面は斜位の寛帯で・寛削りを施 す。	接・8点
616-7	縄文土器 深鉢	5-25覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 砂粒	RL 原体を横位施文する。	接・無し
616-8	縄文土器 深鉢	5-31, No1 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 砂粒・透明鉱物	0段3条(?)多条施文 RL 原体を縦位施文 し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
616-9	縄文土器 深鉢	5-32覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 含繊維・白色微粒子	無筋R原体を縦位施文する。	接・無し
616-10	縄文土器 深鉢	5-34, No1 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚し丸い。口縁 部隆帯を施し、RL 原体を充填施文する。	接・無し

第5区土坑

採回番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼跡・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
616-11	縄文土器 深鉢	5-35覆土内 破片	厚・1.3	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	RL原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
616-12	縄文土器 深鉢	5-40覆土内 破片	厚・1.3	酸化・差。明褐7.5YR5/6 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
616-13	縄文土器 深鉢	5-41覆土内 破片	厚・1.1	酸化・差。鈍黄橙10YR5/4 含繊維・白色微粒子	付加条第2種(?) RL(?) + 2L原体を横位 施文する。	接・無し
616-14	縄文土器 深鉢	5-42覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。橙7.5YR7/6 含繊維・白色微粒子・砂粒	羽状縄文を施文する。	接・無し
616-15	縄文土器 深鉢	5-43覆土内 破片	厚・1.2	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・細粒	文様の施文は認められない。	接・無し
617-1 209-5	縄文土器 深鉢	5-44覆土内 4/3	口・18.7	酸化・硬。明褐色7.5Y5/6 含繊維・赤褐色・チャート内粒	直立する口縁部の両端に平行沈線区画を施 し、区画内に菱形・渦巻文を配する。地文はL。	接・40点
617-2 209-6	縄文土器 深鉢	No1 + 覆土 部分欠損	口・25.0 底・7.8	酸化・差。褐色7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子・赤褐色微粒子	口唇部は水平。地文Rを横転する。	
618-1	縄文土器 深鉢か	5-47覆土内 破片	厚・0.7	酸化・差。鈍黄橙10YR6/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	外面は横位の隆帯を施し研磨を施す。内面は 無てを施す。	接・無し
618-2	縄文土器 深鉢	5-47覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。赤褐2.5YR4/6 白色微粒子・砂粒	口縁部は内湾し把手を施す。口唇部は無文で 沈線を介しLR原体を充塞施文させる。	接・2点
618-3	縄文土器 深鉢	5-49覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。黄褐10YR5/6 含繊維・白色微粒子	LR原体を横位施文し、付加結節R原体を施 文する。	接・無し
618-4	縄文土器 深鉢	5-50覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
618-5	縄文土器 深鉢	5-51、No1 破片	厚・1.2	酸化・差。明赤褐2.5Y5/6 粗粒砂	器面の風化顕著。RL原体を縦位施文する。	接・無し
618-6	縄文土器 深鉢	5-52覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。5YR6/8 白色微粒子	横位の竹管引き隆帯を2段施す。	接・無し
618-7	縄文土器 深鉢	5-55覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。5YR6/6 砂粒多	擦糸L原体を縦位施文する。	接・無し
618-8	縄文土器 深鉢	5-55覆土内 破片	厚・1.1	酸化・差。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種無節L + 0段1条原体を横位施 施文する。	接・無し
618-9	縄文土器 深鉢	5-57覆土内 破片	厚・1.2	酸化・差。淡黄橙7.5YR8/4 砂粒・白色鉱物	11本1単位の帯面糸痕を縦位施文する。	接・無し
618-10	縄文土器 深鉢	5-59覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。橙5YR6/8 砂粒・細粒	懸垂文を垂下させる。	接・無し
618-11	縄文土器 深鉢	5-60覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。明赤褐2.5Y5/6 砂粒・白色鉱物	LR原体を縦位施文する。	接・5点
618-12 209-8	縄文土器 深鉢	5-61覆土内 3/2	口・31.6 底・32.6	酸化・差。鈍橙7.5YR7/4 赤褐色微粒子・砂粒	強く外傾して立ち上がる。口唇部は平型で肥 厚する。無文。	接・42点
618-13	縄文土器 深鉢	5-63覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。暗褐10YR3/3 含繊維・白色微粒子	横位の平行沈線を施す。	接・無し
618-14	縄文土器 深鉢	5-64覆土内 破片	厚・1.3	酸化・差。橙5YR6/8 粗粒砂・細白色鉱物	口縁部は内湾する。口唇部直下に横位の隆帯 を施し、10本1単位の帯面糸痕を弧線表出。 文様の施文は認められない。	接・無し
618-15	縄文土器 深鉢	5-66覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。橙5YR6/6 粗粒砂多	文様の施文は認められない。	接・無し
618-16	縄文土器 深鉢	5-67覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。橙7.5YR6/6 粗粒砂	8本1単位の条痕を縦位施文する。	接・無し
618-17	縄文土器 深鉢	5-68覆土内 破片	厚・1.4	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	微隆帯の弧線区画内にRL原体を充塞施文す る。618-21と同一個体。	
618-18	縄文土器 深鉢	5-71覆土内 破片	厚・1.3	酸化・差。橙5YR6/6 粗粒砂	口縁部は内湾する。口唇部直下に横線を施し、 下位にRL原体を横位施文する。	接・無し
618-19	縄文土器 深鉢	5-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・差。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	口縁部は内湾する。口唇部直下に横線を施す。 弧線区画を施し、LR原体を充塞施文する。	接・無し
618-20	石器 打製石斧	5-72覆土内 充存	頁岩 重・69	長・10.8。幅・3.7。厚・1.5 頁岩	短冊形。裏面が主体に加工が施される。先端 刃部の磨減が顕著。	
618-21	縄文土器 深鉢	5-68覆土内 破片	厚・1.4	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 砂粒	微隆帯の弧線区画内にRL原体を充塞施文す る。618-17と同一個体。	接・2点
619-1	縄文土器 深鉢	5-74覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂多	文様の施文は認められない。	接・無し

第5区土坑

探図番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
619-2	縄文土器 深鉢	5-75覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。紺7.5YR6/8 金雲母・白色鉱物	口唇部は内屈し平坦。文様の施文は認められない。	接・無し
619-3	縄文土器 深鉢	5-76覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。紺10YR4/4 粗砂・黒色鉱物粒	波状口縁。口唇部直下に押引文を施し、LR原体を横転施文する。	接・無し
619-4	縄文土器 深鉢	5-78、No.7 破片	厚・0.9	酸化・並。明黄紺10YR6/6 含繊維・白色微粒子	付加条第2種乃至半輪結条体。2無節Rを付加し、羽状施文する。	接・無し
619-5	縄文土器 深鉢	5-78、No.3 破片	厚・0.8	酸化・並。明紺7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は尖る。無節1原体を横転施文する。	接・無し
619-6	縄文土器 深鉢	5-78、No.1 破片	厚・0.8	酸化・並。紺10YR4/6 含繊維・白色微粒子・粗粒砂	無節1原体を横転施文する。	接・無し
619-7	縄文土器 深鉢	5-79覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄紺10YR7/4 粗粒砂・白色鉱物	口縁部は内湾する。微隆帯区画を縦横に施し、LR原体を充填施文する。	接・無し
619-8	縄文土器 深鉢	5-80覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄紺10YR7/3 砂粒・白色鉱物・黒色鉱物粒	沈線区画内にLR原体を充填施文する。	接・無し
619-9	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。赤黒5YR5/6 白色微粒子・細砂粒	RL原体に無節原体を付加結節(付加条第2種)した原体を横転施文する。	接・4点種
619-10	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄紺10YR4/3 含繊維・白色微粒子・細砂粒	付加条第2種LR+2R原体を横転施文する。	接・無し
619-11	縄文土器 深鉢	5-82覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄紺10YR4/3 含繊維・白色微粒子	疑似羽状縄文。原体はLR。	接・無し
619-12	土製品 円盤	5-82覆土内 破片	長・3.7 幅・3.4	酸化・並。鈍黄紺10YR5/4 含繊維・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は認められない。	接・無し
619-13	縄文土器 深鉢	5-83覆土内 破片	厚・1.6	酸化・並。淡黄2.5Y7/4 砂粒・白色微粒子	波状口縁乃至把手。口唇部は丸く直下に沈線を施す。	接・無し
619-14	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄紺10YR6/4 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	「S」字状縄文の一部か。区画内にLR原体を充填させ、更に内側に列点刺突文を施す。	接・無し
619-15	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄紺10YR5/4 白色粒子・粗粒砂	口縁部は外傾する。「X」字状縄文の一部か。区画内にRL原体を充填施文する。	接・無し
619-16	縄文土器 深鉢	5-84覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄紺10YR7/4 白色粒子・細砂粒	沈線を楕円状に施す。4本+α1単位の条痕が認められる。	接・無し
619-17	縄文土器 深鉢	5-85覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。褐灰7.5YR6/1 砂粒・白色鉱物	縦位の沈線間に列点刺突文を施す。	接・無し
619-18	縄文土器 深鉢	5-87覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄紺10YR6/3 含繊維・白色微粒子	半軟竹管による施文。	接・無し
619-19	縄文土器 深鉢	5-88覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	縦位帯縄文LRを施文する。	接・無し
619-20	縄文土器 深鉢	5-90覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄7.5YR5/4 含繊維・白色微粒子	半軟竹管の横位施文。	接・無し
619-21	縄文土器 深鉢	90~92覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。暗灰紺2.5Y5/2 白色微粒子・砂粒	懸垂文を垂下させ、LR原体を充填させる。	接・無し
619-22	縄文土器 深鉢	5-92覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。紺7.5YR6/6 細砂粒・白色粒子	器面の風化顯著なため、文様不明。	接・無し
619-23	縄文土器 深鉢	5-92覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。紺7.5YR4/4 粗粒砂・白色鉱物	横位の隆帯を造らし、直下に半軟竹管による押引文を施す。	接・無し
619-24	土製品 円盤	5-93覆土内 2/3	遺存長・2.9 幅・3.6	酸化・並。7.5YR7/6 砂粒・白色微粒子	文様は認められない。	接・無し
619-25	縄文土器 深鉢	5-94覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄7.5YR6/4	文様は認められない。	接・無し
619-26	縄文土器 深鉢	5-95覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。黄灰2.5Y4/1 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	横位の隆帯を施し、直下に縦位の条痕を施す。	接・無し
619-27	胎土陶器 碗	5-96覆土 体部破片	厚・0.4	中性・緑。釉洗黄箱10YR8/4 (透明調)。胎土浅黄灰。	内外面施釉。組入あり。割れ口消耗少。使用傷らしき摩耗あり。	18C 京焼等
619-28	縄文土器 深鉢	5-100覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 砂粒・白色鉱物・白色粒子	RL原体を縦位に施文する。	接・無し
619-29	縄文土器 深鉢	5-101覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄紺10YR5/4 粗粒砂・白色鉱物・白色粒子	沈線を縦線表出し、RL原体を充填施文する。	接・無し
619-30	縄文土器 深鉢	5-105覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤7.5YR5/4 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。	接・無し

第5区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	深目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
619-31	縄文土器 深鉢	5-109覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 粗粒砂・白色鉱物・細塵	縦位の帯文を2条施す。原体はLR原体を 縦位充填する。	接・無し
619-32	縄文土器 深鉢	5-110覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。褐灰10YR6/1 砂粒	LR原体を横転施文する。	接・無し
619-33	縄文土器 深鉢	5-114覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含鐵塵・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
619-34	縄文土器 深鉢	5-111覆土内 破片	厚・1.3・3.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 粗粒砂・白色鉱物	口縁部の帯文と考えられる。	接・無し
619-35	縄文土器 深鉢	5-115、№1 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒。3071と同一個体	披頂部から板状に垂下する刻隆部により三角 形状の区画をなし、蓮華・三叉文を施す。	接・無し
620-1	縄文土器 深鉢	5-122覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含鐵塵・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
620-2	縄文土器 深鉢	5-125覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 含鐵塵・白色微粒子	無部L原体を横転施文する。	接・2点
620-3	縄文土器 深鉢	5-127覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5Y5/6 含鐵塵・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-4	縄文土器 深鉢	131、№10+19 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	口縁部は内湾し、口唇部は広く平坦。口唇部 に横線2条を施し、直下に波状隆部を施す。	接・4点
620-5	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5YR4/2 含鐵塵・白色微粒子	羽状縄文を施す。	接・無し
620-6	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 含鐵塵・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-7	縄文土器 深鉢	5-129覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 含鐵塵・白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し
620-8	縄文土器 深鉢	131、№6+15 破片	厚・1.0	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒 3079と同一個体。	619-35と同一個体。	接・無し
620-9	石器 凹石	5-134、№1 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・418	残存長・10.7、幅・7.7 厚・3.8。粗粒輝石安山岩	表面面の平坦面が磨減する。小口・側部は縦 打により成立している。	
620-10	縄文土器 深鉢	5-136覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 含鐵塵・白色微粒子	口縁部は緩やかに外反する。縦位に黒赤R を施文する。	接・無し
620-11	縄文土器 深鉢	5-137覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 粗粒砂・白色鉱物・細塵	口縁部は内湾し口唇部は丸い。口唇部直下に 低い隆部を施文。直下にLR原体を横転施文。	接・無し
620-12	縄文土器 深鉢	5-138覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色鉱物	文様は認められない。 中期勝坂・阿玉台	接・2点
620-13	縄文土器 深鉢	5-138覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 砂粒・白色粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し
620-14	施物陶器 破片	5-138覆土 破片	底・(6.2)	酸化・締。物染青(染付)、 透明、茶褐。胎土黄灰。	内面にべらこに草文、透明釉。外面に茶褐釉 施釉。	19・20C 産不明
620-15	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含鐵塵・白色微粒子	口縁部は外反気味。口唇部直下にRL原体の ループ文を挿入する。	接・無し
620-16	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 細粒砂・白色微粒子	断面の風化顯著。縦位に帯縄文を施す。原体 はLRか。	接・無し
620-17	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 粗粒砂・細塵	縦位の渦線帯縄文を施す。原体はLR。	接・無し
620-18	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 粗粒砂・白色微粒子	波状口縁。口唇部は平坦。口唇部直下に押引 文を施す。山形状の押引文を施す。	接・無し
620-19	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR6/3 砂粒・白色微粒子・チャート	弧状平行沈線区画を施し、内面に列点刺突文 を施す。	接・無し
620-20	縄文土器 深鉢	5-139下層 破片	口・(15.4)	酸化・並。暗5YR6/6 含鐵塵・白色微粒子	胴部上部でくびれ、口縁部は外傾して開く。 器面は、無磨しを充填する。	接・3点
620-21	縄文土器 深鉢	5-139覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色微粒子・細塵・赤褐色粒子	LR原体を縦転施文する。	接・2点
620-22	石器 削片石器	5-139覆土内 完存	チャート 重・6.6	長・3.5、幅・2.7、厚・0.9	菱形の削片の上半部に刃部加工を施す。	
620-23	縄文土器 深鉢	5-140覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 含鐵塵・白色微粒子	粗いLR原体を横転施文する。	接・4点
621-1	縄文土器 深鉢	5-149覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色鉱物	LR原体を横転施文する。	接・無し

第5区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
621-2	縄文土器 深鉢	5-151覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 砂粒・白色粒子・白色胎物	文様は認められない。	接・無し
621-3	縄文土器 深鉢	5-152覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・シルト粒・細塵	懸垂文を垂下させ、LR原体を横転施文する。	接・無し
621-4	縄文土器 深鉢	5-135覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒	破片のため不明。	接・無し
621-5	陶器 碗	5-158覆土 1/2	口・(12.2) 底・(5.0)	中性・締。釉透明。胎土黄灰。	胎土は黄灰色でやや粗な土。高台を除き施釉。 内面に1ヶ所。製作地不明。	系統 18・19C
621-6	縄文土器 深鉢	5-164覆土内 破片	厚・1.3	酸化・並。灰黄2.5Y6/2 細砂粒・夾雑物少	LR原体を横転施文する。	接・無し
621-7	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・白色微粒子	無筋Rを横転施文する。	接・2点
621-8	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し、口唇部は尖る。LR原体を横 転施文する。	接・3点
621-9	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	RL原体を横転施文する。	接・無し
621-10	縄文土器 深鉢	5-165覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄7.5YR4/2 含繊維・白色微粒子	波状口縁。口唇部は平直。LR原体による類似 形状縄文を施文する。	接・8点
621-11	石器 石皿	5-165覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・400	長・8.4、幅・7.7。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面両面に集中打痕を残す。	
621-12	石器 磨石	5-165覆土内 完存	粗粒輝石安山岩 重・590	長・9.9、幅・8.6。厚・5.4 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面両面に集中打痕を残し、磨滅す る。	
621-13	石器 石皿	5-165覆土内 1/4	粗粒輝石安山岩 重・2105	残存長・16.7。残存幅・14.3 高・8.3。厚・7.5	使用面は浅く皿状に窪む。	
621-14	石器 磨石	5-165覆土内 2/3	粗粒輝石安山岩 重・440	残存長・8.4、幅・8.8 厚・3.9。粗粒輝石安山岩	表面の平坦面両面に集中打痕を残す。	
622-1	縄文土器 深鉢	5-166覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒子・砂粒	口縁部は内湾する。口唇部直下に2条の平行 沈線を描す。地紋にRL原体を横転施文する。	接・無し
622-2	縄文土器 深鉢	5-166覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 砂粒・白色微粒子	波状口縁。帯状把手を具備する。LR原体を施 文する。	接・無し
622-3	石器 磨石	5-166、No.1 1/2	溶結凝灰岩 重・455	長・9.2、幅・8.5。厚・4.2 溶結凝灰岩	表面平坦面が磨滅し、敲打痕が認められる。	
622-4	石器 石皿	5-166、No.10 破片	粗粒輝石安山岩 重・420	残存長・7.7。残存幅・10.0。 厚・5.7。粗粒輝石安山岩	下縁部の破片。掘出部の左側の残存。表面は 多孔石として利用する。	
622-5	石器 磨石	5-166、No.2 完存	粗粒輝石安山岩 重・607	長・10.6、幅・8.0。厚・5.0 粗粒輝石安山岩	扁平面が磨滅し、右側部に集中敲打痕が認め られる。	
622-6	石造品 水輪か	5-173覆土 完形	粗粒輝石安山岩 15500g	遺存長・25.5、幅・25.4。 厚・14.6	水輪の再加工か。図上面中央の小穴あり。側 面は極めて丁寧な仕上げ、上・下面少し粗。	
623-1 209-7	縄文土器 深鉢	5-174覆土内 1/8	口・(43.0)	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 角粒粗粒砂	口縁は平縁。沈線による「X」字状区画を施し 、交互にLR原体を横転施文する。	接・8点
623-2	縄文土器 深鉢	5-180、No.1 破片	厚・1.3	酸化・並。赤褐2.5YR4/8 シルト粒・粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、懸垂Lを縦位施文する。	接・無し
623-3	石器 不詳	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・3.6	長・12.0、幅・6.7、厚・3.0	側縁、先端側を加工する。	
623-4	石器 磨り石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・5.6	長・10.7、幅・9.4、厚・5.5	表裏面平坦面が磨滅し、敲打痕が認められる。	
623-5	石器 甲石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・4.7	長・14.0、幅・8.9、厚・4.5	表裏面の平坦面が磨滅する。小口・側部は敲 打により積立っている。	
623-6	石器 甲石	1号集積 完形	粗粒輝石安山岩 厚・4.6	長・10.7、幅・6.8、厚・5.5	表裏面の平坦面が磨滅する。小口・側部は敲 打により積立っている。	

第6区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
624-1	縄文土器 深鉢	6-7覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 シルト粒・粗粒砂	器面の風化顯著。RL原体を横転施文する。	接・無し
624-2	縄文土器 深鉢	6-15覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 細砂粒・白色微粒子	胎物の一部が残存するのみで他の文様は認め られない。	接・無し

第6区土坑

採回番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
624-3	軟質陶器 火入	6-19、No.9	長・14.3±α	還元・並。灰N4/0。粗、やや軽。 白色粒、黒炭物含、他少。	全体に消耗。底面ハゼ剥落。内面磨、外面下 方と底面に石目状磨痕。焼成黒黒、外壁5層。	小泉か
624-4	軟質陶器 内耳筒	6-19、No.7 破片	口・(36.4) 底・(37.8)	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4。 粗、軽。黒炭物含、他炭物少。	底面に石目状の磨痕あり、外部体部下 方におよぶ。底面にハゼ、被熱色あり。	19・20C 小泉か
624-5	瓦 瓦葺	6-19覆土 破片	厚・1.3	還元・並。灰7.5YR5/1。 粗、軽。黒炭物多、他少。	表面に石目状の光沢。裏面に磨痕 と磨痕。焼成は赤黒灰色、外壁で5層気味。	小泉か
624-6	瓦 破瓦	6-19、No.14 破片	厚・1.6	還元・硬。灰4/0。並、やや重。 黒炭物多、他炭物少。	外面に雲母状光沢と研磨状光沢あり。 側面取直2、内面に少し子葉厚痕か。	尋岡か 小泉
624-7	縄文土器 深鉢	6-27覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・シルト粒	口縁部は外傾し口唇部は平直。文様は認め られない。内外面横位の研磨を施す。	接・無し
624-8	軟質陶器 不明	6-25覆土 口縁部片	厚・1.4	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3。 並、やや重。白・褐粒含、他含。	口縁玉縁となる。外面回転磨。内面研磨あり。 割れ口消耗あり。	接・不明
625-1 209-9	軟質陶器 烙柄内耳	6-47覆土 1/4	口・(35.8) 底・(32.4)	還元・還元・緑。褐灰10YR5/1。 並、重。白・褐粒含、炭物少。	口縁部下縁と接合痕。底面から体部外面下 方まで石目状の磨痕。焼成5層で外面煤と焼。	18・19C 小泉焼
625-2	陶器 壁か	6-47覆土 破片	厚・0.8	還元・還元・緑。釉暗赤褐5YR5/3。 (鉄粒)。密。重。炭粒微。	内面の約半分が磨損となるほか外面に鉄粒、 磨損目あり。	接・不明
625-3	施釉陶器 灯火皿	6-47覆土 1/3	口・(9.0) 底・(4.0)	還元・緑。釉透明調。胎土灰。	内面と口縁部外面に施釉。灯芯の割り込み あり。体部外面から底にかけ回転乗直焼。	18・19C 産不明
626-1 209-10	土師器 婁	6-43覆土 1/2	口・(21.2)	酸化・硬。明赤褐2.5YR5/6。 並、重。炭物含。	頸部内面に接合痕。胴部縦作。器内面は寛幅、 指圧痕を残し、胴部に煤付着。	接・15片
626-2	軟質陶器 火入	6-43覆土 火入	厚・1.2	還元・並。暗灰N3/。粗、 やや軽。炭物含。	消耗。内外面に磨。焼成黒黒、表面煤を含め 5層気味。	小泉か
626-3	土師質土器 皿	6-48、No.4 3/1	口・(10.0)	酸化・硬。橙5YR6/6。粗、 軽。白粒、炭物含。	輪縁成形(左回転)。底部は回転余切りらしい。 口縁部厚。胎土に二種粘土混あり。	17・18C か
626-4 209-11	土師質土器 皿	6-48覆土No.2 1/2	口・10.0 底・6.2	酸化・並。鈍黄橙10YR8/4。 粗、軽。白・褐粒、炭物含。	輪縁成形(左回転)。底部は回転余切り。内面 工具による磨損目あり。割れ口消耗。	16C以降
626-5	陶器 香炉	6-48、No.12 口縁部片	口・(10.0)	中性・緑。釉黄赤褐。胎土灰土。	外面に菊花様の印文らしき施文あり。内外と も下半が磨損となる。	18C前半 瀬戸美濃
626-6	陶器 碗	6-48覆土 3/1	口・(9.0) 底・(3.0)	還元・緑。釉透明調。胎土灰。	体部外面下方から底面にかけ磨削で、それを 除去施釉。高台、器内面に煤出しか。	18・19C 京焼系
626-7 209-12	軟質陶器 内耳	6-48覆土No.8 1/8	口・(38.0) 底・(35.0)	中性・並。灰褐10YR5/1。 並、軽。白・褐粒、炭物含。	外面下方に石目状の磨痕。口縁部の内外面横 傾。消耗少。	接・9片
626-8	軟質陶器 手拵か	6-48、No.2+15	口・(26.4)	還元・並。灰5Y4/1。並。 白色粒、黒炭物含、他少。	表面に研磨あり。黒色化は全面。内外ハゼ 多。口縁部厚。消耗。	接・3片 小泉か
627-1	瓦 瓦葺瓦?	6-53覆土 破片	6.8+ 7.0+	還元・硬。灰7.5Y4/1。粗、 軽。灰色粘土粒含、他少。	表面、雲母状光沢と研磨状光沢あり。裏面や 凹凸多い。焼成は赤・黄黒か。	深谷か
627-2	磁器 小碗	6-53覆土 破片	口・(7.2) 底・(7.1)	還元・緑。釉暗青(染付)、白磁 釉淡青々。胎土白。	外面に菊花文と文花間に格子文の染付あり。 内面に2条の圈縁あり。	18C 伊万里系
627-3	瓦 十徳瓦	6-53覆土 破片	厚・0.8	還元・並。黄灰2.5Y5/6。粗、 軽。白粒、黒炭物含、他少。	表面に磨痕。裏面に石目状の磨痕あり。側 部磨。焼成は赤・黄の浅い焼。志黒5層気味。	小泉か
627-4	石器 砥石	6-53覆土 破片	縦貫片若 19	長・4.9±α。幅・4.4。 幅・4.4	使用は上面のみ。合せの痕跡。極めて平ら。左 側部は鋭利切断面。奥小口、右側部は旧部理面。	砥石の砥石 か
627-5	縄文土器 深鉢	6-58覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙5YR6/4 粗粒砂・白色炭物	隆帯の一部が残存。	接・無し
627-6	石器 打製石斧	ホルンフェルス 重・160	長・12.1。幅・5.4。厚・1.8 ホルンフェルス	片岩使用のため扁平。基部の割込みは強い。 使用痕は全体に認められ、刃部は再磨製。	接	
627-7	須恵器 底片	6-66・67覆土 破片	厚・0.4	還元・硬。灰白7.5Y8/2。並、 軽。黒・灰炭物含、他含。	付け高台後磨製。内面回転磨。底部は回転 余切り。割れ口消耗。	粘
627-8	縄文土器 深鉢	6-75覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙5YR5/6 白色粒砂・粗粒砂	把手の上平部。無での整形が認められる。	接・無し
627-9	土師質土器 口縁部片	6-76覆土 破片	厚・0.5	還元・軟。鈍橙7.5YR7/4 粗、軽。白粒含、炭物含。	小片で厚は推定できず。体部外面に磨損目 あり。割れ口消耗。	15・16C り
627-10	縄文土器 深鉢	6-19覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 白色炭物・砂粒・黄褐粒	破片で文様は認められない。口縁部下磨の 破片と考えられる。	接・無し
627-11	石器 凹石	粗粒輝石安山岩 重・3420	長・21.0。幅・12.4。厚・9.2 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面に孔が認められる。	接	
627-12	石器 多孔石	粗粒輝石安山岩 重・520	残存長・10.5。幅・9.5 厚・4.3。粗粒輝石安山岩	両面の中央が磨削し、孔が認められる。縁 には敲打痕を顕著に残す。	接	

第6区土坑

発掘番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	成目 (cm) 重量 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
627-13	石 磨石	6-79、No13 完存	粗粒輝石安山岩 重・1270	長・11.9、幅・11.1、厚・7.8	上面側は多くの打痕が認められ摩滅する。 裏面は摩滅のみが認められる。	
628-1	土師器 壺	6-84覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。黒5YR6/1、並、 やや重。白色粒、他鉱物含。	器内深い。外底黒色焼もしくは吸灰。内面無 整形。割れ口に接合面見え、消耗は甚。	
628-2	土師器 高坏	6-84覆土 破片	厚・0.6	酸化・軟。橙7.5YR6/6、並、 軽。白色・褐粒含、他無。	外面に莖彫、無あり。内面に撫、莖無あり。 割れ口消耗大。	
628-3	土師器 豆	6-84覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化・軟。橙7.5YR6/6、並、 軽。白色・褐粒含、他含。	内・外面ハゼ多い。割れ口消耗多し。内外面 横撫あり。	
628-4	土師器 6-84覆土 坏	口縁部片	口・13.0	酸化・並。暗赤褐2.5YR3/1、 並、やや軽。金贗母、褐粒含。	内・外面小ハゼ、口縁部周辺横撫あり。外面 下半無整形。割れ口少し消耗。	
628-5	土師器 壺	6-84覆土 頸部片	頸・(15.2)	酸化・並。鈍橙5Y7/4、並、 やや軽。褐・白色粒含。	外面は莖彫り、ハゼ多。内面は横撫で小ハゼ。 口縁部は横撫で。割れ口消耗大。	
628-6	土師器 壺	6-84覆土 破片	口・(20.0)	酸化・硬。鈍橙5YR6/4、並、 やや軽。白色・褐粒含、他少。	口縁部の粘土接合が割れ口に見え。内面浅い 刷毛目様の撫。外面ハゼ。器面少し磨耗。	
628-7	土師器 209-13	6-84、No2覆土 1/3	口・(13.0) 底・6.0	酸化・軟。暗赤褐5YR4/4、 並、軽。白色・褐粒少、鉱物含。	外面無整形。ハゼ多い。内面上方縦痕4条以 上あり。さらに傾あり。底面少し凹み底。	21片
628-8	土師器 210-1	6-84、No1 1/3	口・(15.4) 径・(23.6)	酸化・軟。鈍黄橙10YR7/4、 粗、やや軽。褐粒含。	底部は欠損。器厚は厚い。器内・外面全体に ハゼ。器外面に縦方向の風削り。傷付き。	接・17片
628-9	土師器 壺	6-88覆土 破片	厚・0.8	酸化・軟。明赤褐5YR5/8、 並、軽。褐粒多、他鉱物含。	胴部平。器厚は厚い。外面は、扉状方向の莖 削り、焼もしくは浅い吸灰あり。	
628-10	須恵器 坏	6-89覆土 底部片	底・(10.0)	還元・並。鈍黄2.5Y6/3、並、 やや重。白色・黒粒含、他少。	縦輪成形。底部は縦輪右回転推。割れ口消 耗あり。	笠か
628-11	土師器 壺	6-90覆土 口縁片	口・(19.4)	酸化・並。明赤褐5YR5/6、 並、やや重。褐粒多、他鉱物少。	内・外面にハゼ多い。外面は莖彫り、内面は 横撫と接合面。口縁部は横撫で。	接・4片
628-12	土師器 高坏	6-92、No2 底部片	底・(6.0)	酸化・軟。橙2.5YR6/8、並、 軽。白色粒粗、暗褐粒、他少。	内外面に撫あり。割れ口消耗。外面の酸化味 強い。	
628-13	須恵器 坏	6-93覆土 破片	厚・0.5	還元・軟。灰10Y6/1、並、 やや軽。白色粒含、他無。	器内薄く、9世紀前半頃の坏か。割れ口消耗 大。	8・9C粘
628-14	土師器 壺	6-94覆土 破片	厚・0.6	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6、 並、軽。白色・褐粒含、他少。	外面横撫。内面消耗大で整形不明。割れ口消 耗大。	
628-15	須恵器 坏	6-95覆土 破片	厚・0.4	還元・硬。灰N5/0、密、やや重。 白色・黒粒含、他鉱物微。	縦輪成形。体部外面に縦輪目あり、内面は目 立ず。割れ口消耗微。	笠・太田
628-16	埴輪か 形象か	6-96覆土 破片	厚・1.2	酸化・並。明赤褐2.5YR5/6、 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	土師器かもしれないが、器面消耗大のため不 明。割れ口に接合面明確で地輪か。	
628-17	土師器 壺	6-97、No1 体部破片	厚・0.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6、 並、やや軽。褐粒含、他含。	内面に刷毛。少し吸灰色変あり、接熱か。外 面に莖彫目。焼成前の小粘土付着。	
628-18	須恵器 坏	6-101、No1 坏	口・(13.4)	還元・並。灰10N5/6、並。 褐粒多、白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。縦輪成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底少し摩耗。	粘
628-19	土師貫土 皿	6-102覆土 破片	口・(12.6)	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4、 粗、軽。白色・褐粒含。	縦輪成形。割れ口に消耗あり。器内深い。	中世か
629-1	土師器 壺	6-115覆土 破片	厚・0.3	酸化・硬。鈍褐7.5YR5/4、 並、やや重。鉱物粒微。	外面に莖彫目あり、内面に横撫あり。割れ口 の消耗少ない。	
629-2	須恵器 坏	6-116覆土 破片	厚・0.5	還元・硬。灰オリーブ5Y6/2、 並、やや重。鉱物微。	口縁部は欠損する。縦輪成形で内外面に縦輪 目あり。割れ口少し消耗。	粘・陶
629-3	土師器 壺	6-120覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。黒褐10YR3/1、 並、やや軽。白色・褐粒含。	小形台付型の破片か。外面横撫、無敷。内面 接合面。割れ口消耗あり。	
629-4	須恵器 壺	6-121覆土 破片	口・(15.1)	中性・硬。鈍黄2.5Y6/3、並、 やや重。白色粒・黒粒物多。	坏蓋。口縁部やや丸い。割れ口少し消耗。	
629-5	土師器 壺	6-123、覆土 破片	厚・1.0	酸化・硬。橙7.5YR7/6、並、 やや重。白色粒含、鉱物少。	外面横撫あり、内面撫、接合痕あり。割れ口 の消耗大。	
629-6	須恵器 坏	6-126覆土 破片	厚・0.8	還元・硬。灰オリーブ5Y5/2、 密、重。白色粒含、他少。	縦輪成形。外面回転糸痕あり。内面に浅い輪 輪目あり。割れ口消耗。	
629-7	須恵器 坏	6-127覆土 2/3	口・(12.4) 底・(7.2)	還元・軟。灰黄2.5Y6/2、並、 やや重。白色粒、鉱物多、他無。	縦輪成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 に少し窪みかかる。内面使用摩耗。	2片 粘・陶
629-8	須恵器 坏	6-128覆土 破片	底・(7.6)	還元・硬。灰黄2.5Y6/2、並、 やや重。白色・褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。縦輪成形。切り離し不明。 割れ口消耗。	
629-9	土師貫土 皿	6-131覆土 破片	口・(8.7) 底・(5.4)	酸化・硬。浅黄橙10YR8/3、 粗、軽。黒粒物含、他無。	縦輪成形。底部は回転糸切り。全体に茶色気 味。内外撫あり。割れ口消耗少。	

第6区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
629-10	軟質陶器 口縁部片	6-131覆土	厚・1.3	還元・硬。黒褐5YR2/1。 粗、やや軽。	口縁部周辺横断。外面下方から底面に石目状の彫溝。焼成志黒色。外面煤付着。	17~19C 小泉か
629-11	石器 磨石	6-133覆土内 胎石	粗粒輝石安山岩 重・230	長・8.7。幅・7.2。厚・3.0 粗粒輝石安山岩	片面中央部に集中打痕を残す。	
629-12	軟質陶器 植木鉢か	6-137覆土 底部片	底・(22.2)	還元・硬。暗灰N3/0。並、 軽。白色・黒粒含。他鉱物少。	内外面に回転痕。外面少し研磨され光沢あり。 脚部は三足か。胎土やや緻密で非小泉焼。	産不明。 粘。
629-13	土師貢土器 皿	6-141覆土 4/1	口・(7.2) 底・(4.0)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。黒粒多。シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口 縁部に油埋付着し、煙火黒。黄斑あり。	14~15C
629-14	軟質陶器 焙烙か	6-141覆土 破片	厚・1.3	中性・硬。鈍黄橙6/3。粗、 軽。褐粒含。他少。	外面石目状の前後の撫あり。内面撫痕。焼成 志黒。外面浅い撫で5層気味。消耗少。	照外か 小泉か
629-15 209-15	土師貢土器 皿	6-142覆土 一部欠損	口・(10.6) 底・(5.2)	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4。 粗、軽。白色粒含。鉄物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に轆轤少し入る。作例少し粗雑。	近世か
629-16	石造品 石臼、上臼	6-142、№1 石臼、破片	照粒輝石安山岩 1450g	遺存長・(37.4)	石質は、やや軽く、軟らかそう。裏面に4+ α条の太い筋目あり。全体に消耗。	中世か
629-17	須恵器 環	6-150覆土 破片	底・(7.3)	中～酸化・硬。明赤褐5YR5/6。 並、やや重。褐粒含。他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転痕あり。割れ口消耗あり。	笠か
629-18	軟質陶器 口縁部片	6-150覆土 口縁破片	厚・1.0	還元・硬。黒褐10YR3/1。 粗、軽。黒粒多。他少。	外面下方に石目状の彫溝。口縁部の内外面横 断。焼成志黒。外撫で5層気味。消耗あり。	18~19C 小泉か
629-19	軟質陶器 内耳始烙	6-153覆土 破片	口・(31.2) 底・(25.8)	中～酸化・並。鈍黄橙10YR6/3。 粗、軽。黒粒多。他含。	外面に接合痕、横撫。内面轆轤目と撫で。割 れ口少し消耗。焼成志黒3層気味。	17・18C
630-1	須恵器 土師か	6-156覆土 破片	厚・1.3	酸化・軟。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。褐粒、黒粒物含。他少。	産不明。外面に波状文。内面の灰痕、回転痕 強。割れ口接合痕。割れ口消耗少。	粘
630-2	須恵器 環	6-157覆土 破片	厚・0.3	酸化・軟。鈍黄橙10YR7/3。 並、軽。褐粒含。他少。	外面に轆轤目あり。形状から9Cの環か。割 れ口の消耗大。	粘
630-3	須恵器 碗	6-160覆土 底部片	底・7.5	還元・細。灰7.5YR5/1。密、 重。白色粒多。他鉄物少。	口縁部欠損。轆轤成形(右回転)。高台付け高 台。底部は回転彫痕あり。内面使用摩耗あり。	太田か
630-4	須恵器 破片	6-161覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰5Y5/1。密、重。 白色粒物含。他少。	轆轤成形。器部膨付け。内・外面回転痕。割 れ口消耗少。	太田
630-5	土師器 器種不明	6-162覆土 破片	厚・0.7	酸～中性・硬。鈍黄橙10YR7/3。 並、やや重。黒粒物多。	外面に撫あり。内面滑らか。焼成志黒で3層 気味。割れ口消耗大。	粘
630-6	須恵器 土師か	6-164覆土 破片	口・(26.0)	還元・硬。灰7.5YR4/1。密、 重。白色粒物含。他鉄。	内外面轆轤彫糸痕あり。割れ口消耗少。胎 土は陶質は無い。	西毛・埴 玉か
630-7	土師器 土台壺	6-165覆土 破片	厚・0.7	酸化・硬。明赤褐5YR5/8。 並、やや軽。白・褐粒少。他少。	内外面に横撫あり。割れ口消耗大。内外少し 被熱色変あり。	
630-8	陶器 土師か	6-167覆土 破片	厚・1.2	酸化・硬。 密、重。石英粒含。他少。	外面に茶褐色の自然撫。内面横撫痕。割れ口 作痕。割れ口消耗大。	常番

第7区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
630-9	土師貢土器 皿	7-234耕作覆 口縁片	厚・0.5	酸化・硬。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。黒・褐粒含。他含。	轆轤成形。内外回転糸痕。割れ口消耗大。	中世か
630-10	軟質陶器 不明	7-3覆土 破片	厚・0.6	酸化・軟。橙7.5Y6/6。粗、 軽。白色粒含。他鉄物少。	底面に石目状の型溝あり。内面の撫整形不明 瞭。割れ口消耗大。	
630-11	土師貢土器 皿	7-5覆土 1/4	口・(7.9) 底・(5.1)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4。 粗、軽。金雲母、褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。欠損 は旧時。内面底工機の轆轤目。割れ口旧欠。	15・16C
630-12	軟質陶器 焙烙	7-7覆土 口縁部片	厚・0.9	酸化・硬。黒2.5Y2/1。粗、 やや軽。鉄物少。	内外面横断。全体に吸炭あり。割れ口の消耗 少ない。	小泉か
630-13	軟質陶器 焙烙か	7-8覆土 破片	厚・0.6	酸化・硬。黒褐2.5Y3/1。粗、 やや軽。金雲母含。他含。	内外面に撫痕あり。外側吸炭あり。割れ口消 耗大。	18~20C 小泉か
630-14	陶輪陶器 碗	7-8覆土 口縁片	口・(11.6)	中～還元・細。施乳滑白灰(長 石換か)。胎土黄灰。	内外面志野形の施釉があり、白天目様。陶輪 厚く、貫入あり。割れ口少し消耗。	
630-15	軟質陶器 塊	7-9覆土 小片	厚・0.9	中性・軟。灰黄2.5YR6/2。 並。褐粒多。他鉄物含。	内外面ハゼ割落多。外出現。内・外の器面に 横。割れ口の消耗大。	
630-16	土師貢土器 皿	7-10覆土 口縁片	厚・0.4	酸化・硬。橙5Y6/6。並、やや 軽。白色・褐・黒粒含。他含。	轆轤成形。外面に左回転の轆轤目あり。割れ 口の消耗少。	
630-17	土師器 土師か	7-16-17覆土 口縁片	厚・0.5	酸化・硬。橙5Y6/6。並、軽。 褐粒多。白色・黒粒少。他少。	「コ」の字状口縁。蓋作りか。口縁部は横撫 で。割れ口消耗大。	

第7区土坑

博物館番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	直径 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備考
630-18	石器 石核	覆土内 充存	黒色安山岩 重・220	長・8.1、幅・6.5、厚・3.9、 黒色安山岩	小規模の薄片素材石器の石核。	
630-19	土師質土器 皿	7-18覆土 底部片	底・(5.4)	酸化・硬、橙7.5Y7/6、並、 やや重。金雲母、褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に 円形工具痕らしき凹みあり。消耗少。	中世。
630-20	土師質土器 皿	7-18覆土 口縁片	厚・0.4 厚・0.5	酸化・硬、鈍橙7.5Y7/4、並、 軽。白色粒、黒鉱粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。外面に轆轤目あり。内面 滑らか。割れ口消耗大。	中世
630-21	瓦葺か 部位不明	7-18覆土	厚・1.2	酸化・並、鈍橙7.5Y7/4、やや粗、 軽。褐粒含、他鉱物含。	外面に片切山形の隆部3条あり。内面に回転 糸痕らしき無あり。割れ口の消耗大。	
631-1	土師質土器 皿	7-25覆土 口縁片	厚・0.4	酸化・並、鈍黄橙10Y6/4、 並、軽。褐粒含、他含。	轆轤成形(左回転)。外面に轆轤目あり。割れ 口の消耗大。	中世
631-2	石器 礫石	7-23覆土	顆粒輝石安山岩 1590g	長・29.7+α	台面に複連弁を刻み修整形。内側は円形状に 切り込まれ、整形寛い。内側に燻かがる。	
632-1	石造品 五輪地輪	7-23、№3 2/3	顆粒輝石安山岩 14400g	長・21.5	石質は重く硬い。上面手前縁周辺に再用の研 磨痕らしき部分、裏面除き整形、部分燻。	
632-2	石造品 五輪地輪	7-23、№4 ほぼ充形	顆粒輝石安山岩 17760g	長・22.0	石質硬質、重い。部分的に燻付着。裏面を除 き修整形。上面に削り跡と再時の研磨痕。	
633-1	須置器 蓋	7-29覆土 蓋片	厚・0.5	還元・並。灰オリーブ5Y6/2、 並、軽。白色・黒粒含、他少。	口縁部は折り返し。轆轤成形。底部欠損のた め切り履し技法不詳。割れ口消耗大。	粘
633-2	石造品 五輪地輪	7-29、№3 ほぼ充形	顆粒輝石安山岩 14100g	長・21.0、巾・20.8、厚・16.0	外面は被蝕と燻付着。裏面にの痕跡があり、 裏面整形は甘い。転用か表・側面に研磨痕。	
633-3	石器 礫石	7-29、№4 充形	顆粒輝石安山岩 6000g	長・31.4、巾・15.65、厚・7.3	大形圓錐で側部の使用摩耗が大きく、埋め込 みで使用か、両小口には河原石面が残される。	
633-4	石造品 基台石	7-29、№2 破片	顆粒輝石安山岩 9200+α	長・20.5+α、高・12.5、 巾・26.0	上面に旧時の摩耗あり。整形は裏面が最も寛 い丁字。欠損欠角。石質は重く硬い。	
634-1	須置器 椀	7-30、№4 破片	厚・1.1	還元・焼締、灰オリーブ5Y6/2、 並、重。黒粒多含、他少。	外面平付叩。内面当具不明。磨あり。黒粒多 く杖圓製より重い。割れ口消耗少。	産不明。
634-2	軟質陶器 破片	7-35覆土 破片	厚・0.9	中世・硬、黒10Y2/1。粗、軽。 金雲母、白・褐粒含、他含。	内外面に燻あり。焼成燻かかり、芯酸化気味 の3層。割れ口の消耗大。	
634-3	石造品 宝篋輪軸	7-35、№6 1/3	顆粒輝石安山岩 重・1490g	幅・9.7、高・13.6。	丸輪部旧欠。粗粒安山岩ながら硬質、やや重 い。花弁は少し浅く彫られ立体感少。	
634-4	石造品 敷石	7-35、№1 敷石	顆粒輝石安山岩 重・4550g	長・25.2+α、厚・6.5。	割れ口は旧欠。表・裏とも鉱物粒突出し、軟 質の物質による燻痕。側部は川原石面。	
634-5	軟質陶器 埴か	7-39覆土 破片	厚・0.9	中性・並。灰白2.5Y8/2。粗、 軽。褐粒含、シルト質。	外面に燻痕。内面に指の圧痕らしき凹みあり。 割れ口の消耗大。焼成単一気味。	18~20C 小泉か
634-6	土師質土器 皿	7-43覆土 口縁片	厚・0.3	酸化・並、橙7.5Y7/6。粗、 軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外面回転痕。割れ口の消耗大 のため特徴見い出せず。	中世か
634-7	土製質土器 円盤	7-43覆土	厚・0.9	酸化・並、明褐7.5Y5/6。粗、 軽。金雲母、褐粒含、他含。	旧状は縄文土器か。側部は打ち欠き後、研磨 整形か。全体の消耗大。	
634-8	陶器 埴	7-44覆土 破片	厚・1.1	還元・軟、灰白5Y7/2。粗、 やや軽。白色・灰鉱物含。	内外面燻痕あり。外面凹み多い。粗質な土で あるものの子。割れ口消耗大。	県内産か
634-9	軟質陶器 埴	7-45覆土 破片	厚・0.6	中性・軟、灰白5Y7/2。粗、 軽。黒粒含、他少。	底面に石目状の燻層あり。内面燻痕あり。焼 成芯黒く外面中性気味の3層。消耗大。	18・19C 小泉か
634-10	軟質陶器 埴	7-48覆土 破片	厚・0.6	酸化・硬、明黄褐10Y7/4。 粗、軽。褐粒含、他少。	底面に壺腹状の跡あり。内面に燻痕。焼成は 単一気味。消耗少。	18~20C 小泉か
634-11	土師質土器 皿	7-59覆土 破片	厚・0.5	酸化・並、橙7.5Y7/6。並、 軽。白色粒多、他鉱物含。	轆轤成形(左回転)。内外に轆轤目あり。焼成 単一気味。割れ口消耗少。	中世か
634-12	石器 礫石	7-49覆土内 充存	粗粒輝石安山岩 920g	長・13.0、幅・9.3、厚・5.3	扁平面の片割が摩滅する。	
634-13 210-2	土師質土器 皿	7-62、№1 ほぼ充形	口・8.7 底・5.4	酸化・並、鈍橙7.5Y8/4。 粗、軽。白色粒含、鉱物少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 轆轤目あり。突縁あり。	16~19C
634-14	土師器 皿	7-63覆土 口縁片	厚・0.6	酸化・並、鈍橙7.5Y7/4。並、 重。白色・褐粒含、他含。	口縁部の内外面に燻痕あり。焼成は芯と内面 の一部黒色炭化。割れ口の消耗少。	
634-15	土師質土器 皿	7-65覆土 底部片	底・(7.6)	酸化・硬、橙5Y6/6。粗、軽。 褐・白色粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。焼成 単一気味。割れ口の消耗。	中・近世か
634-16	胎輪陶器 新	7-67覆土 口縁片	厚・0.4	還元・焼。輪状青緑(青磁)、 胎土白。	内面に斜書様の劃文あり。口縁地面白。胎 は小気泡多く透明感あり。消耗大。	18Cか 伊万里系
634-17	土師質土器 皿	7-67覆土 底部片	底・(7.0)	酸化・並、鈍橙7.5Y6/4。並、 やや重。白色・褐粒含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内外 回転痕あり。内面一方向無。消耗あり。	中世

第7区土坑

標記番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
635-1	軟質陶器 内耳場	7-81覆土 破片	厚・0.8	還元・硬。灰5Y4/1。粗。軽。 白色粒含。他鉱物含。	内面撫痕。外面指爪痕と擦。内耳口掘跡。焼 成芯黒。内外面に2層灰化。	17・18C
635-2	磁器	7-81覆土 底破片	底・(8.0)	還元・締。輪深孔青(染付)。青 白釉(淡青白)。胎土白。	断面鉄足状酸化。内面青色の青花。意匠不明。 高台外2条線。消耗微。内面撫痕。	16C末。 景徳鎮
635-3	石製 皿	7-83覆土内 穴存	溶結凝灰岩 293g	長・13.2。幅・4.0。厚・3.8	両端部に集中敲打痕が認められる。腹。焼芯 黒。外壁で5層灰味。消耗少。	
635-4 210-3	磁器	7-92、№1 2/3	口・(11.4) 底・(6.2)	酸化・並。褐7.5YR4/6。 粗。軽。白色粒多。鉱物含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り後擦痕。 内面轆轤目あり。割れ口少し消耗。	中・近世
635-5	軟質陶器 焙烙	7-96覆土	厚・1.0	酸化・並。灰5Y4/1。粗。軽。 褐粒含。他鉱物少。	外面研削光沢が部分的にあり。内面に撫あり。 割れ口の消耗大。	18・19C か
635-6	須恵器 杯	7-97覆土 破片	厚・0.4	中性・並。暗灰青2.5Y5/2。 並。軽。白色・褐粒含。他含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。切り離し技法 不詳。全体に擦。割れ口消耗少。	
635-7	磁器 口縁片	7-98覆土 破片	口・(9.0)	還元・締。輪深青(染付)。白磁 釉(白)。胎土白。	外面に染付施文。白磁釉は内外面にあり。 割れ口消耗微。	19C 伊万里系
635-8	磁器	7-106覆土 底破片	底・(4.4)	還元・締。輪淡青緑(青磁釉)。 胎土純白。	釉は透明感強く、生掛り様に見えないので伊 万里系か。底厚く古様。割れ口消耗大。	伊万里系 か。18C
635-9	土師貫土 皿。杯か	7-107覆土 底破片	底・(5.0)	酸化・硬。鈍黄褐10Y5/3。 粗。軽。金雲母。鉱物少。	須恵器の可能性も有。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面轆轤目立す。割れ口消耗大。	
635-10	石製品 板碑	7-107覆土 1/4	緑色片岩 重・6900g	縦・44.3。横・30.5。高・3.2	断面浅いV字状で、キリクを閉み、他に2 条線。磨琢あり。器面少し荒れる。	
635-11	軟質陶器 焙烙か	7-113覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。明赤褐7.5Y7/2。 粗。軽。褐粒多。白粒含。他少。	消耗顯著で、整形不明。さらに磨琢不明瞭。 焼成酸化に傾き単一不明。	
635-12	土師貫土 皿	7-117覆土 底破片	底・(5.2)	酸化・硬。橙7.5Y7/6。粗。 軽。金雲母。褐粒含。他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面 回転撫痕。割れ口の消耗あり。	中世か
635-13	軟質陶器 内耳場か	7-126覆土 破片	口・(29.0)	還元・並。黒7.5YR1.7/1。 粗。軽。褐粒。鉱物含。	内外回転撫痕あり。内外灰あり。中・近世か不 明。	
636-1	土師貫土 皿	7-130覆土 破片	口・(10.5) 底・(7.0)	酸化・並。橙5YR7/8。粗。 軽。白色・褐粒多。他多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。色 調赤味強い。	
636-2	軟質陶器 内耳場か	7-132覆土 底破片	厚・0.8	酸化・硬。灰褐7.5Y4/2。粗。 軽。金雲母。褐粒含。他少。	内面に撫痕あり。外面も滑らか。焼成外面に 少し煙あり。割れ口少し消耗。	15・16C か
636-3 210-3	旋軸陶器 鉢	7-132覆土? 1/2	口・(8.0) 底・(2.8)	中性・締。輪黒褐(鉄軸)。 胎土黄灰。	外面下方を除き無軸。裏面に置目あり。 内面目2カ所+α。高台削出しみ。	18Cか 美濃
636-4	土師貫土 皿	7-133覆土 底破片	底・(6.4)	酸化・硬。橙5Y6/6。	轆轤成形。底部は左回転糸切り。板状圧痕あ り。内面一方向撫。被熱吸炭。消耗あり。	
636-5	軟質陶器 不明	7-135覆土	厚・1.4	還元・硬。灰7.5Y5/1。 粗。やや重。鉱物少。	全体の残存少なく器種不明。全体に横と芯の 吸炭化進む。消耗大。	18~20C 小泉か
636-6	土師貫土 皿	7-136覆土 口縁片	口・(10.0)	酸化・並。鈍橙7.5Y7/4。粗。 軽。褐粒含。他鉱物含。	轆轤成形(回転不明)。底部は旧欠。内外面に 回転糸痕。黄斑あり。割れ口消耗。	
636-7	旋軸陶器 鉢	7-137覆土 破片	厚・0.8	酸~中性・締。輪暗茶(鉄軸 光沢)。胎土黄灰。	外面に回転糸痕あり。内面不明瞭。軸は内外 にあり。割れ口少し消耗。	美濃 18・19C
636-8	土師貫土 皿	7-139覆土 底破片	厚・0.5	酸化・硬。橙7.5Y7/6。並。 褐粒。他物含。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面底は回転 撫。割れ口の消耗大。	
636-9	軟質陶器 焙烙	7-139覆土 破片	厚・0.5	酸化・硬。鈍黄2.5Y6/3。並。 軽。褐・白色粒含。他少。	底面に石目状の整痕。内面に撫痕。焼成芯黒。 外面酸化気味で3層。割れ口消耗。	
636-10	焼締陶器 壺	7-141覆土 破片	厚・0.9	酸化・締。淡褐。胎土淡褐。 石灰灰多く。他鉱物含。	内外撫痕あり。外面は酸化。割れ口の消耗 大。	中世か 常滑
636-11	石製品 鏡白。下白	7-142、№4 1/2	粗粒輝石安山岩 重・6900g	径・28.1	硬質。重い安山岩で角閃石含む。目撃し臼状 で目の条痕わずか。裏面瓦葺形のまま。	
636-12	石製品 破片	7-142、№2 破片	溶結凝灰岩 重・4700g	長・22。厚・12.2。	全体に擦痕。吸炭あり。各割れ口もろく。新 しそう。図表面に研ぎなどの摩耗あり。	
636-13	土師貫土 皿	7-143覆土 口縁片	口・(12.0)	酸化・硬。鈍黄橙10Y6/4。 粗。軽。白色・褐粒含。他含。	轆轤成形(回転不明)。内外に回転撫痕あり。 割れ口消耗あり。	中世か
636-14	軟質陶器 破片	7-146覆土 破片	厚・0.7	酸~還元・硬。鈍黄橙10Y6/3。 粗。軽。褐粒含。他含。	底面に石目状の整痕あり。内面撫痕あり。焼 成芯黒く。外面酸化気味の3層。消耗あり。	17~19C 小泉か

第 8 区土坑

探出番号 図版番号	種 別	出土位置 覆土層 存在 度	直径 (cm) 量目 (g)	焼物・土調・土質	形状・技法等の特徴	備 考
636-15	須恵器 坏	8-2 覆土 破片	口・(13.9)	還元・締。灰5Y5/1。密、重。 白色鉱物多、他少。	口縁部に重ねた色実あり。薄作。外面に轆轤 目あり。割れ口消耗大。	2片 太田
636-16	土師器 土師器	8-7 覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/3。 粗、軽。白色・黒粒含、他多。	口縁部は外反する。外面は寛削り、内面は撫、 割れ口消耗少。	
636-17	縄文土器 深鉢	8-8 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色5YR6/4 角粒粗粒砂・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
636-18	須恵器 坏	8-12 覆土 破片	口・(12.4)	還元・軟。灰5Y6/1。並、 やや軽。白色粒含、他少。	内外面轆轤目あり。内面滑らか。割れ口消耗 あり。	笠か
636-19	縄文土器 深鉢	8-14 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。褐灰10YR5/1。 白色微粒子	縦位の隆帯を施し、LR 原体を縦位施文する。	接・無し
637-1	縄文土器 深鉢	8-10 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 角粒粗粒砂・白色粒・チャート	横位の隆帯の直下に懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
637-2	縄文土器 深鉢	8-10 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。暗灰黄2.5YR5/2 粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・無し
637-3	縄文土器 深鉢	8-10 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 角粒粗粒砂・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL 原体を縦位施文する。	接・7点
637-4	須恵器 坏	8-20、No.3 破片	厚・1.2	還元・硬。灰5Y5/1。並、 やや重。白色粒含、他少。	外面は斜格子様印き、内面当て具は素文。	太田か
637-5	須恵器 坏	8-20、覆No.1 破片	厚・0.8	還元・並。灰白5Y1/2。密、 やや重。白色・黒粒含、他少。	縦作り後印き整形。外面は平行印きを無消し、 内面当て具は格子状と下方寛削り。	2片 太田か
638-1	須恵器 土師器	8-22 覆土 破片	底・(6.0)	還元・並・硬。灰5Y5/1。並、 やや重。白色粒多、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部回転削削。 底部回転削削。割れ口消耗あり。	笠か
638-2	土師器 土師器	8-24 覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。褐10YR4/4。並、 やや重。白色粒含、他少。	外面寛削削。内面撫。内外全体吸炭あり。体部に 型溝、口縁部・胴内面横撫整形。割口の消耗少。	
638-3	須恵器 坏	8-27 覆土 底1/4	底・(6.8)	還元・並。灰白5Y1/1。並、 軽。白色粒、他鉱物含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転系 削削。割れ口消耗あり。	粘
638-4	須恵器 坏	8-30 覆土 破片	底・(8.0)	還元・並。暗灰黄2.5Y5/2。 並、やや軽。白色粒、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転削 削。全体吸炭。割れ口消耗。	粘
638-5	須恵器 土師器	8-30 覆土 破片	底・(10.0)	中性・軟。灰5Y4/1。並、軽。 白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。高台付け高台。 底部は回転削削整形。割れ口消耗少。	笠か
638-6	須恵器 坏	8-31 覆土 破片	底・(7.4)	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。黒鉱物含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転系 削削。割れ口消耗。	粘・陶
638-7	須恵器 土師器	8-31 覆土 底1/5	底・(7.2)	還元・並。灰7.5Y6/1。並、 軽。黒粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転系削削。割れ口消耗。	粘
638-8	土製品 土師器	8-31 覆土 完形	縦2.2・横0.9 2.63g	酸化・並。鈍褐色5YR6/6。並、 やや重。鉱物微。	器面滑らか。使用厚耗少。消耗微。全体に吸 炭化微。	
638-9	埴輪 円筒	8-31 覆土 破片	厚・1.5	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/3。並、 やや重。白・黒粒含、他含。	外面刷毛目。内面縦作痕、撫あり。透あり。 割れ口消耗大。焼成不良・気味。	
638-10	軟質陶器 不明	8-32 覆土 体部片	厚・1.0	還元・並。黄灰2.5Y5/1。 並、軽。白色・褐粒含、他少。	焙烙か。内外面撫あり。全体に消耗大。焼成 不良、外面撫で黒色気味。	18・19C 小泉か
638-11	須恵器 坏か	8-34 覆土 破片	厚・0.4	還元・密。灰5Y5/1。密、 やや重。白色粒含、他鉱物少。	轆轤成形。外面轆轤目。割れ口消耗。	笠か
638-12	須恵器 坏	8-35 覆土 破片	厚・0.3	還元・軟。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白色・黒粒含。	外面に轆轤目あり。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
638-13	須恵器 坏	8-35 覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰5Y6/1。並、 やや重。白色・黒粒含。	口縁部は小作り、小形変か。内外回転削削。 割れ口消耗大。	笠か
638-14	土師器 土師器	8-40 覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。灰褐色5YR5/2。並、 やや軽。白色・褐粒含。	口縁部に横撫。型作りか。底部は寛削り、体 部に型溝。割れ口少し消耗。	
638-15	須恵器 長頸壺か	8-41 覆土 破片	厚・0.7	還元・並。黄灰2.5YR5/1。並、 やや重。針状多。白含、他少。	縦作り後印き整形か、内外面は回転削削。 割れ口消耗少。	埼玉
638-16	須恵器 坏	8-43 覆土 破片	厚・0.3	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色粒物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内外に回転削削。 割れ口少し消耗。	2片 粘・陶
638-17	土師器 坏	8-44 覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/3。 並、軽。鉱物微、シルト質。	型作りか。底部は寛削りか、体部に型溝。器 内面は横撫で整形。割れ口消耗。	
638-18	須恵器 坏	8-45 覆土 破片	底・(6.6)	還元・軟。灰黄2.5Y7/2。並、 やや軽。白色粒含、他少。シルト質。	口縁部は欠損する。轆轤成形。外面に轆轤目。 底部は回転系削削。割れ口消耗。	粘
638-19	須恵器 坏	8-45 覆土 破片	厚・0.7	還元・締。灰 N5/0。並、 やや重。白色粒物含、他少。	縦作り後印き整形。外面は格子印き、内面当 て具は青銅波文。割れ口消耗。	太田

第8区土坑

探出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・粘土	形状・技法等の特徴	備 考
638-20	須恵器 环蓋	8-45覆土 破片	口・(19.0)	中性・並。鈍黄2.5Y6/3。密、 やや重。白色粒含、他少。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転覆削り。下 方回転蓋。割れ口消耗。	笠・太田 か
638-21	土師器 环蓋	8-46覆土 破片	厚・0.3	酸化・並。鈍橙5YR6/4。並、 やや重。白色粒含、他少。	加焼かもしれない。口縁部は外傾気味。口縁 部・内面は横撫で。割れ口消耗。	
638-22	須恵器 环蓋	8-47覆土 破片	底・(8.0)	酸化・並。灰白5Y7/1。並、 やや重。褐・黒粒含、シルト質。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	
638-23	須恵器 环	8-50覆土 破片	厚・0.7	還元・並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや重。白色鉱物、他少。	内面ハゼ大。底面糸切痕。割れ口他の消耗大。	笠か
638-24	須恵器 环蓋	8-54覆土 破片	厚・0.4	還元・並。褐灰10YR6/1。並、 やや軽。白色鉱物含、他少。	轆轤成形。内外面に轆轤目。少し横あり。 割れ口の消耗大。	
638-25	須恵器 环蓋	8-57覆土 破片	底・(7.0)	還元・並。黄伏2.5Y6/1。並、 やや重。白・黒・褐粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗大。	粘
638-26	土製品 土罐	8-57覆土 ほぼ完形	縦4.3・横1.0 4.09g	酸化・並。浅黄2.5Y7/3。並、 やや重。鉱物少。	外面滑らか。使用摩耗あり。両小口旧時欠損。 炭灰少ない。	
638-27	須恵器 环蓋	8-65覆土 破片	厚・0.7	還元・硬。灰黄2.5Y7/2。並、 やや重。鉱物少ない。	轆轤成形。上半部は回転覆削り。割れ口消耗 少。	笠か
638-28	須恵器 环	8-67覆土 破片	底・(7.0)	還元・硬。暗灰黄2.5Y5/2。並、 やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切りらしい。割れ口消耗大。	粘
639-1	須恵器 环	8-68覆土 破片	厚・0.3	還元・並。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白色・黒粒含、他少。	口縁部は外傾気味。轆轤成形。外面に轆轤目。 割れ口消耗大。	粘
639-2	土師器 土台付壺 破片	8-69覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2。 並、軽。白色粒含。	外面に吸炭の痕あり。外面は覆削り、下方に 撫。割れ口消耗あり。	
639-3	縄文土器 深鉢	8-71覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色微粒子	懸垂文(?)が認められる。	接・無し
639-4	縄文土器 深鉢	8-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。暗褐色7.5YR6/3 白色微粒子・細砂粒	懸垂文を垂下させ、R1 厚体を縦位施文する。	接・無し
639-5	縄文土器 深鉢	8-72覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 角粒粗粒砂・白色粒子	9本+a 1単位の縦位の波状文を施文する。	接・無し
639-6	土師器 土罐	8-74覆土 破片	厚・0.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白色粒含、他少。	体部外面に覆削り。内面に覆あり。内外に被熱 の感あり。割れ口消耗あり。	
639-7	須恵器 鉄底	8-75覆土 1/3	底・(9.0)	口縁部・軟。灰白5Y7/2。並、軽。 白色粒含、他少。シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台付け 高台。底部は回転蓋横撫形。	粘
639-8	縄文土器 深鉢	8-78覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色微粒子	弧線紋線が認められる。	接・無し

第9区土坑

探出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・粘土	形状・技法等の特徴	備 考
640-1	土師器 环	9-3 覆土 破片	厚・0.5	酸化・並。におい褐7.5YR5/4。 並、やや重。褐粒多、他微。	底部の外周覆削り。内面撫あり。割れ口少し消 耗。	限外搬入 粘
640-2	須恵器 不明	9-5 覆土 破片	口・(30.0)	還元・硬。灰N5/0。密。軽。 白粒、白色粒物含、他少。	不明種の脚部か。口縁部は付近に4mm幅の長 方形形迹。内・外面に回転糸切。割れ口少し消耗。	粘
640-3	土師器 环(平底)	9-6 覆土 口縁部片	口・(11.0)	酸化・並。におい橙7.5YR6/4。 並、軽。褐粒含、他少。	口縁部は内・外面横撫。型作りか。体部に懸 垂状あり。割れ口消耗少。	
640-4	須恵器 内蓋 环か	9-7 覆土	最大径・(7.0)	酸化・硬。におい橙7.5YR6/4。	轆轤成形。器内面に研削。外面にも研削され ていたらしいが消耗。消耗少。底部回転糸切。 戻	限外へ西 国
640-5	須恵器 环	9-9 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元・硬。灰白5Y7/1。粗。軽。 鉱物少。シルト質。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部外面に 重ね吸炭あり。割れ口消耗。	粘
640-6	須恵器 环	9-10 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元・硬。におい橙2.5Y6/3。 粗。軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部は消耗大 のため整形の回転糸痕不明。	粘
640-7	土師器 环	9-12 覆土 1/3	口・(12.0) 底・(7.2)	酸化・硬。橙5YR6/6。並。 やや重。	口縁部は外傾気味。底部は覆削り、体部にハ ゼ。口縁部・内面は横撫で。割れ口消耗。	接合2片 粘
640-8	土師器 环・蓋	9-13 覆土 破片	厚・0.4	酸化・軟。橙5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含、他少。	器種不明。薄作り。傾き不明。内面撫あり。 割れ口消耗。	
640-9	土師器 土罐	9-15 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化・硬。におい赤褐5YR4/6。	口縁部は外反。口縁部は内・外面横撫で。内 面に接合痕。割れ口少し消耗。	接合3片 粘・陶
640-10	須恵器 环	9-17 No 4 1/4	口・(12.6) 底・(7.8)	還元・並。灰5Y6/1。並、やや軽。 白色粒含、鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は手押覆削り。重ね 色変あり。	

第9区土坑

探検番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存状況	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
640-11	須恵器 内黒 環	9-17 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並。やや重。褐粒。鉱物少。	内面に研磨、黒色化あり。底面に轆轤右回転 の痕跡さらに不規則字あり。	墨書-142
640-12	須恵器 高環	9-17 №2 脚部片	最大径・(5.5)	還元。硬。灰白5Y7/1。粗。軽。 白・褐粒含。鉱物多。	内・外面轆轤目立す。外面少し消耗。上方環 部と下方は旧欠。	粘
640-13	須恵器 内黒 環	9-17 №5 一部欠損	口・14.5 底・8.7	酸化。並。黄橙7.5YR7/8。並。 やや重。白・褐粒含。他鉱物含。	轆轤成形(右回転)。内面に研磨。底部は手付 と回転気味の差あり。	粘・陶 墨書-143
640-14	土師器 210-5	9-17 №3 1/2	底・4.6 高・(21.0)	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並。やや重。鉱物含。	器厚は薄い。器外面は縦位方向の磨削を施す。 内面に接合部あり。保付着。被熱色変。	接合34片
640-15	須恵器 環	9-19 覆土 破片	口・(13.0)	還元。軟。黄灰2.5Y4/1。 並。軽。白粒。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部欠 損のため切り離し技法不詳。外面少し磨。	接合2片 粘・陶
640-16	無軸陶器 須	9-22 覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。緑。釉灰白2.5Y7/1。 (灰軸)。胎土灰沢。	外面の口縁部付近。内面に灰軸指輪。器内薄 い。割れ口消耗あり。	10C
641-1	須恵器 壺	9-23 覆土 口縁部片	口・(24.0)	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。 密。やや軽。白色粒含。他少。	内・外面横溝あり。内面に小ハゼあり。割れ 口に紐作痕あり。全体に消耗あり。	笠か
641-2	須恵器 環蓋	9-24 覆土 口縁部片	厚・0.9	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。白色粒含。他少。	轆轤成形。内・外面回転。割れ口少し消耗。	笠か
641-3	土師器 壺	9-25 覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・褐粒含。他少。	胴部片。傾き不明。器厚は薄い。外面は縦位 方向の磨削。割れ口消耗あり。	
641-4	須恵器 壺か	9-25 覆土	厚・0.7	還元。並。にぶい黄6/3。並。 軽。褐色粒含。他少。	胴付部か。割れ口消耗大。各面に撫整形あり。 胴部の長さ特徴的。	笠か
641-5	土師器 環	9-26 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。軟。明赤褐5YR5/8。並。 軽。白色粒含。他少。	口縁部付近の破片。口縁部・器内面は横溝で。 割れ口消耗少。	
641-6	須恵器 環	9-26 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。暗灰 N3/0。密。 やや重。白粒物多。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部外面に 重焼色変あり。割れ口消耗少。	太田
641-7	土師器 壺	9-28 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白色粒。他鉱物含。	胴部片。器厚は薄い。外面は斜位方向の磨削 あり。内面横溝。割れ口消耗あり。	
641-8	須恵器 埴か	9-28 覆土 口縁部片	口・(14.0)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白色粒含。他少。	内・外面に轆轤目あり。部分的に酸化斑あり。 割れ口の消耗あり。	笠か
641-9	土師器 壺・環か	9-29 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや軽。白色粒含。他少。	小片のため壺・環不明。器厚は薄い。器外面 は斜位方向の磨削。割れ口消耗あり。	
641-10	須恵器 内黒・環か	9-30 覆土 口縁部片	口・(14.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。硬。白・褐粒含。他少。	器種として環か蓋か不明。轆轤成形。内面に 研磨を施す。外面に横溝。割れ口消耗少。	粘
641-11	須恵器 不明	9-31 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。白・褐粒少。他少。	傾き不明。外面磨削。内面磨削。割れ口の消耗 あり。	
641-12	須恵器 内黒 環	9-34 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。にぶい黄褐10YR5/4。 並。軽。白色粒含。他少。	轆轤成形。外面轆轤目あり。器内面に研磨を 施す。割れ口の消耗少。	粘
641-13	須恵器 環か	9-34 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。白・褐粒含。他少。	口縁部付近少しなくなる。轆轤成形。口縁部 周辺外面に重焼色変。割れ口消耗少。	
641-14	土師器 壺	9-35 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/8。並。 軽。白・褐粒含。他少。	内・外面に横溝。割れ口消耗あり。部分的に 漂白的な斑文あり。	
641-15	土師器 環(平底)	9-36 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・金雲母。褐粒含。他少。	体部外面に寛削。額あり。口縁部・内面は横 溝で。割れ口の消耗大。	
641-16	土師器 環	9-37 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄7.5YR5/4。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	口縁部は内湾気味。体部外面は寛削り。内面 研磨少。口縁部・内面は横溝で。割れ口消耗。	
641-17	須恵器 蓋か	9-39 覆土 口縁部片	厚・1.2	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。白粒含。他少。	土師質で器種名称不明。内・外面に回転痕 があり。割れ口に紐作痕。消耗少。	粘
641-18	須恵器 環	9-40 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。重。白色粒多。他少。	口縁部は欠損。回転糸切。内面使用摩耗。円 盤加工か。割れ口打欠あり。割れ口少し消耗。	太田
641-19	須恵器 環	9-52 覆土 破片	厚・0.6	還元。硬。か。灰5Y6/1。並。軽。 白・黒粒含。他少。	轆轤成形。外面にわずかに轆轤目あり。割れ口 消耗。	粘
641-20	須恵器 長瓶	9-54 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。硬。灰 N5/0。密。重。 白粒物含。他少。	内・外面回転糸切。自然熱。薄作。口縁部下 に浅い凹み。消耗少。	太田か
641-21	須恵器 環	9-55 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。底部は右回転糸 切り。割れ口消耗。	粘
641-22	須恵器 埴	9-56 覆土 底部片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい橙7.5YR5/4。 並。軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は旧欠す。轆轤成形。高台付け高台。 割れ口の消耗顕著。	
641-23	土師器 石籠	9-56 覆土 先端欠損	黒色安山岩 重・1.64	遺存径・2.635+α。 幅・1.815。厚・0.455	無基長平根三角形伏式。	

第9区土坑

邦国番号 図版番号	種別	出土位置 遺存	厚目 (cm) 重量 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
641-24	須恵器 坏	9-57 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y6/1。並。靑。 白色粒含、他少。	口縁部の内・外面に回転糸痕あり。割れ口消 耗少。	
641-25	須恵器 坏	9-58 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 靑。白・褐粒含、他少。	外面に縦轆目あり。内面滑らか。割れ口消耗 大。	笠か
641-26	陶胎陶器 皿	9-59 覆土 口縁部片	厚・0.5	中性。軟チーク状。輪淡黄緑 (陶胎、緑胎)。胎土黄灰。	内・外に縦胎。外面に工具による縦轆の回転 痕。内面の口縁部下に沈線一条、削耗あり。	西国輸入
641-27	土師器 坏か壺か	9-61 覆土 破片	厚・0.4	酸化。軟。にぶい赤褐2.5YR 5/4。並。靑。白色粒含、他少。	小片のため器種不明。薄作。外面に削目。内 面に施あり。割れ口消耗あり。	
641-28	須恵器 坏	9-61 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。暗灰褐2.5Y4/2。	口縁部内・外面に縦轆の回転糸痕あり。割れ 口摩耗。	
641-29	麗文土器 破片	9-61 覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 金雲母・白色鉱物	横門隆帯区画を施し、隆帯部に押し指文を 施す。	接・無し
641-30	須恵器 坏	9-63 覆土 底部片	厚・0.4	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 やや靑。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。縦轆成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	笠か
641-31	須恵器 坏	9-64 覆土 口縁部片	口・(13.0)	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや靑。白・褐粒含。	外面に縦轆目。小ハズあり。内面にもハズあ り。割れ口消耗。	太田付近 か
641-32	土師器 坏	9-65 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐5YR5/8。並。 靑。白・褐粒含、他少。	外面は磨耗し、彫形不明。内面磨。割れ口消 耗大。	19・20C 産不明
642-1	瓦 棧瓦 小片	9-79 №29 小片	長・6.7+α	還元。並。褐10YR4/4。並。 やや靑。チャート含鉱物。	表面は縦線。裏面に木様の彫痕。焼成は焼燥 のようであるが表面は僅ざれず二次焼成か。	18・19C 小泉焼か
642-2	軟質陶器 破片	9-79 №28 破片	底・(39.0)	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 赤。白・褐粒含、鉱物少。	外面下方縦轆右回転の寛肩。内面縦轆目あり。 外・外面磨。	18・19C 小泉焼か
642-3	硝子 瓶か	9-79 覆土 破片	厚・0.4	ガラスで透明、無色。 酸化部が各所にある。	器面少しラスター生じ、酸化層はルーペで雲 母状に見える。小気泡を含み古色あり。	
642-4	石器 磨石	9-79 №2 完存	溶結凝灰岩 重・3730	長・13.1。幅・18.1。 厚・11.1	平坦面側を利用する。	
642-5	石製品 砥石	9-79 覆土 破片	粗粒輝石安山岩 2050g	遺存長・9.0。遺存幅・6.8。 厚・4.0。	小口が平坦になる状態まで摩減する。扁平面 も摩減する。	
642-6	石器 破片	9-79 覆土 破片	珪質粘板岩 20g	長・5.5+α 幅・5.1+α	側面に縦轆目あり。表・裏の本来の面は磨 し、現状はその面上を非金属の研削磨あり。	桐生の砥 石
642-7	石器 砥石	9-79 №21 破片	砂岩 重・2050	残存長・14.9。幅・6.3 厚・6.8	礫面の平坦面と側面を砥面としている。	
643-1	石器 磨石	9-79 №3 破片	かこう斑岩 重・2400	長・20.7。幅・10.0。厚・7.4	平坦面の両面を利用する。所々に敲打痕が認 められる。	
643-2	石器 磨石	9-79 №21 完存	砂岩 重・730	長・18.0。幅・6.0。厚・4.9	両端の小口に特に多く集中打痕が認められ、 下半部側に打痕が多く認められる。	
643-3	石器 磨石	9-79 №14 完存	粗粒輝石安山岩 重・1300	長・20.2。幅・8.0。厚・5.7	礫の平坦面側を使用する。	
643-4	石器 凹石	9-79 覆土 1/2	粗粒輝石安山岩 6770g	遺存長・17.3。幅・19.7。 厚・13.0。	扁平面の両側に摩減し、敲打痕が認められる。 厚・13.0。	
643-5	石造品 石敷材か	9-79 №7 破片	溶結凝灰岩 重・3650	残存長・21.0。幅・19.5 厚・6.3	石質は重く、硬い。上面は旧時の磨耗。上面 と側面の側面に段段あり。被熱か。	
643-6	石器 磨石	9-79 №24 完存	溶結凝灰岩 重・690	長・25.3。幅・21.0。 厚・10.3	山石を大雑把に方形状に加工する。所々に小 単位に敲打痕が認められる。	
644-1	須恵器 坏か	9-67 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。密。 やや靑。白色粒含、他無。	外面に縦轆目あり。内面は滑らか。割れ口の 消耗微。	笠か
644-2	須恵器 坏	9-69 覆土 底部片	底・(6.0)	還元。硬。灰 N4/0。密。やや靑。 白色粒、白炭物含、他少。	口縁部は欠損する。縦轆成形(右回転)。底部 は回転糸切り。割れ口消耗少。	笠か
644-3	須恵器 坏か	9-71 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。並。 靑。白・黒粒含、他少。	外面に縦轆目あり。内面はやや滑らか。割れ 口消耗。	粘
644-4	軟質陶器 埴輪か	9-75 底部片	厚・0.5	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。靑。白粒、黒炭物含、他含。	底面に石目状の溝あり。内面無痕あり。割れ 口消耗少。	18~19C 小泉焼か
644-5	陶胎陶器 埴輪	最大径・(12.6)		中性。緑。輪黄灰と、白土地上 に灰色長石様物。胎土黄灰。	外面下方から高台裏を除いて施軸。外面中位 灰色軸。外面下方露胎部は縦轆右回転寛肩。	18C 美濃
644-6	石器 砥石	9-75 一部欠損	砥灰石 90g	遺存長・9.5 幅・2.8 厚・2.3	刃付砥。使用は表・裏の2面。側面縞縞様の 彫形あり。平面手前は調査時欠損。	18・19C
644-7	軟質陶器 埴輪	9-76覆土 破片	厚・1.1	酸化。並。明黄褐10YR6/6。 並。靑。白粒、黒炭物含、他含。	底面に石目状の溝あり。内面無痕あり。割れ 口消耗少。	

第9区土坑

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
644-8	石器 砥石	9-77 覆土 破片	砥沢石 29g	長・2.2+α	使用は表・裏、右側部、手前小口の4面。右側部に整形痕あり。左側部は旧欠面。	
644-9	軟質陶器 埴輪か	9-77 覆土 底面片	厚・0.9	酸化。硬。黄褐色10YR6/3。並。やや軽。白・褐粒含。	内面に溝。外面に乾燥時の小ヒビあり。焼成単一実施。割れ口消耗。	
644-10	鉄輪陶器 笠口壺	9-76 覆土 破片	口・(15.0)	中性。締。釉灰青色(鉄輪、光沢にぶい)。胎土黄灰。	内・外面ともに、外面に沈線2条。口縁部外面側、使用摩耗。釉灰に劣る。	18・19C 瀬戸美濃
644-11	軟質陶器 埴輪	9-78 破片	厚・1.1	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。軽。白・褐粒含。黒炭物含。	口縁部の内・外面に横溝あり。外面に煤付着。	19・20C 小泉焼か
644-12	施釉陶器 罎	9-78 覆土 破片	厚・0.5	酸〜中。締。釉透明調淡黄橙。胎土淡黄橙。	内面と外面上方に施釉あり。外面下方は回転痕あり。割れ口消耗あり。	18C 伊万里系
644-13	磁器 壺	9-80 覆土 破片	口・(10.0)	還元。締。釉淡青(染付)。白磁釉。胎土淡灰白。	外面に沢面と圓線を、内面に圓線を染付。白磁釉は青み強い。	17C 信楽か
644-14	焼締陶器 罎鉢	9-80 №3・4 口縁部片	口・(33.2)	酸化。締。釉淡鉄釉か自然釉か不明。胎土赤黒。	口縁部外面に3条の隆帯あり。内面に10本を1単位とする節目。外面口縁付近微光沢。	19C 伊万里系
644-15	磁器 小壺	9-80 №2 2/3	口・7.3 底・3.5	還元。締。染付青。白磁色淡青白。胎土白。	外面に梅花文と永文文様の染付施文あり。高台肩部を除き白磁釉。	17~19C 小泉焼か
644-16	軟質陶器 羽蓋	9-80 №1 破片	口・(29.1)	還元。並。暗灰 N3/0。並。やや軽。白色粒含。炭物微。	内・外ともハゼ割痕著。外面に溝。内面は被熱色変か。成形は紐作り。粘土塊目長い。	18C 伊万里系
644-17	須恵器 土師	9-81 底面片	底・(9.0)	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。粗。白・黒粒含。他含。シムト。	底面に轆轤右回転の糸切痕あり。内・外面に回転痕あり。割れ口消耗。	粘
644-18	土師質土器 皿	9-83 覆土 破片	底・5.8	酸化。硬。橙5YR6/6。並。やや重。白・褐粒含。他含。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面一方の指跡少し。割れ口消耗大。	中世
644-19	土師器 内黒 埴輪	9-85 破片	底・(8.9)	酸。並。黄褐色10YR7/3。並。軽。褐粒少。黒炭物含。	高台黄と藍色なし。器内面に研磨・内黒を施す。内・外面に回転痕あり。割れ口消耗少。	粘
644-20	施釉陶器 灯火皿	9-86 破片	口・(9.0)	中性。締。釉にぶい黄2.5Y6/4。(濃い胎調)。胎土灰。	内・外面に濃い胎調の施釉あり。油受けや低い。外面回転痕。消耗。	18・19C 産不明
645-1	土師器 罎	9-87 底面片	底・(5.8)	酸化。並。灰褐7.5YR4/2。粗。軽。白・黒・茶褐粒含。他含。	消耗大。底面整形不可解。内面摩耗あり。全体に被熱色変大。	
645-2	打製石器 下半部欠	9-87 覆土内 重・66	遺存長・7.05。幅・4.2。	厚・1.45	両面共に磨減が認められるが、両面の削削の方向が異なる。新痕は磨減と新旧関係がある。	
645-3	須恵器 埴輪	9-88 覆土 破片	口・(14.0)	中性。並。浅黄5Y7/3。並。軽。白・黒粒含。他炭物含。	内・外面に轆轤目あり。口縁部に重熱色変染あり。割れ口消耗大。	接合2片 粘
645-4	施釉陶器 皿	9-88 覆土 2/3	口・(12.6)	還元・締。釉透明調と緑(銅輪か)。胎土白。	内面に蛇目刻割ざりあり。外面釉透明調。内面緑釉。外面の釉は剥し掛。	18C前
645-5	軟質陶器 火入	9-89 覆土 体部片	長・31.4+α	還元。硬。5Y4/1。粗。重。白色粒含。他少。	内面側、外面施釉で平滑。底面わずかに残存し、磨痕あり。焼成志黒。外壁で5層気味。	小泉焼か 美濃
645-6	施釉陶器 壺か	9-91 覆土 破片	厚・0.4	中性。締。釉淡黄2.5Y7/4。(透明調)。胎土淡黄灰。	内・外面に施釉。細質入り。小片のため器種不明。割れ口消耗少。	18。19C 美濃
645-7	須恵器 罎	9-92 覆土 破片	厚・0.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。やや重。白・褐粒多。他含。	外面縦方向溝あり。内面回転痕。褐目粒多。割れ口少し消耗。	
645-8	土師器 罎	9-94 覆土 破片(頸部)	厚・0.7	酸化。並。浅黄6.0YR8/3。並。やや重。黒・褐粒含。他含。	頸部片。釉厚は薄い。外面は上下方向の刷毛目を目を無で消す。内面無痕。割れ口消耗。	5Cか
645-9	石器 砥石	9-94 覆土 一部欠損	砥沢石 162g	遺存長・12.3 幅・4.0 厚・1.8	使用は表・裏、側部の4面で手前の小口は旧時の材料の面。側部に刃乃至し傷あり。	
645-10	土師器 壺台付	9-98 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。やや重。白・褐粒含。他炭物含。	台部片。釉厚はやや薄い。内・外面に無あり。外面吸込あり。割れ口の消耗大。	
645-11	土師器 罎	9-103 覆土 頸部片	厚・0.6	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。並。軽。褐粒多。白粒少。他含。	頸部片。釉厚はやや厚い。内・外面はほとんど割痕。少し厚白気味なの白っぽい。	5~6C 初
645-12	土師質土器 底面片	9-106 覆土 底面片	底・(5.0)	酸化。並。黄褐色7.5YR7/4。粗。白・褐粒含。他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面一方の指跡。割れ口消耗。	中世
645-13	石器 磨石	9-106 覆土 宛存	須賀野石安山岩 重・285	長・9.0。幅・6.4。厚・3.9。	扁平面が磨減する。	
645-14	軟質陶器 埴輪	9-109 覆土 底面片か	厚・0.7	軟。並。灰5Y5/1。粗。軽。炭物微。	外面製作時のヒビ割れ。無あり。内面に回転痕あり。割れ口消耗少。	17~19C
645-15	須恵器 壺	9-110 体部片	厚・0.4	中性。軟。黄褐色2.5Y6/3。粗。並。黒粒含。他炭物少。	体部外面に轆轤目あり。内面ハゼ多。焼成粘甘い。割れ口消耗少。轆轤成形(右回転)。	粘
646-1	須恵器 埴輪	9-114 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰10Y5/1。密。やや重。白色粒含。他炭物少。	全体に薄汚。外面に轆轤目1条。割れ口の消耗甚。	笠か

第9区土坑

探頭番号 区画番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法の特徴	摘 要
646-2	土師器 甕	9-116 頸部片	厚・0.4	酸化。並。焼7.5YR6/5。並。 やや重。黒胎物少。	頸厚は薄い。外面は斜位方向の寛削り。内面 無。割れ口消耗少。	
646-3	石造品 紡錘車	9-118 完形	デイクイト貫 灰岩か 27.42g	縦・4.3 横・4.3 厚・1.1	扁平で薄い。穿孔は直線の。側部は使用摩耗。 表面ざらつき。砥面微わずかに摩耗。	
646-4	須恵器 環	9-119 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。締。灰5Y5/1。密。 やや重。白色粒多。他微。	内・外面に轆轤目あり。口縁部周辺に重焼色 変あり。消耗少。	笠か
646-5	土師器 甕台付か	9-119 覆土 体部片	厚・0.9	酸化。並。黒焼2.5YR7/2。並。 やや重。茶褐粒含。他少。	外面は斜位方向の寛削り。塚付着。内面に寛 削痕。割れ口消耗少。	
646-6	須恵器 環	9-121 覆土 破片	口・(11.9) 底・(7.2)	還元。締。 密。やや重。白色粒多。他微。	轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。口縁部周 辺に重焼色変あり。消耗少。	笠か
646-7	須恵器 環	9-126 覆土 底部片	厚・5.0	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 粗。やや軽。白粒含。シルト質。	轆轤成形。底部は轆轤右回転糸切り。内面使 用摩耗。割れ口消耗大。	接合2片 粘
646-8	須恵器 埴	9-216 底・1/2	底・7.2	還元。並。黒焼10YR3/1。並。 やや軽。白・黒粒含。他少。	付け高台。底部は右回転糸切り。外面強。内 面工具痕。不明墨字。外面に「口カ」墨字。	墨書-144 粘
646-9	土師器 甕	9-127 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。焼7.5YR6/5。並。 白色粒多。黒粒含。他少。	外面ササ状の削目あり。内面無。割れ口消 耗少。	9 Cか
646-10	土師器 甕か	9-128 覆土 体部片	厚・0.3	酸化。並。焼7.5YR4/3。並。 やや重。白・褐粒含。他含。	外面に寛削。内面に横溝。内・外面少し吸灰。 割れ口少し消耗。	
646-11	須恵器 環	9-128 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。にぶい黄焼10YR 7/4。粗。白・褐粒含。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。 少し酸化気味。	粘 シルト質
646-12	土師器 甕片	9-131 覆土 頸部片	厚・0.5	酸化。並。焼7.5YR4/3。並。 やや重。金雲母。白色粒。他含。	外面に寛削目。横溝あり。内面横溝。少し吸 灰あり。割れ口消耗あり。	
646-13	須恵器 環	9-132 覆土 底部片	底・(6.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。密。やや 重。白色粒含。白胎物。他含。	轆轤成形。底部は糸切り。内・外面に轆轤 目あり。割れ口消耗。	笠か
646-14	土師器 環	9-133 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい焼7.5YR5/3。 並。やや重。黒・褐粒含。他少。	外面に寛削目と少し吸灰。内面に横溝。割れ 口消耗少。	9 C
646-15	軟質陶器 鍋か火鉢	9-136 覆土 破片	厚・0.8	還元。並。にぶい黄焼10YR6/3。 並。やや軽。黒粒含。他胎物含。	内・外面回転に伴う無あり。内面に少し吸灰 あり。外面に重焼色変あり。割れ口消耗少。	17~19C 小泉焼か
646-16	軟質陶器 器種不明	9-137 覆土 破片	厚・0.9	還元。軟。灰黄2.5YR6/2。粗。 やや軽。白・褐粒含。他少。	外面に横。頂。横溝。内面に無あり。焼成 は外面のみ。割れ口消耗少。	17~19C 小泉か
646-17	須恵器 鉢か	9-139 覆土 破片	厚・0.8	酸化。軟。焼7.5YR6/6。並。 軽。白色粒。黒胎物含。他含。	器種不明で鉢か。外面回転糸痕。内面黒色 吸灰。吸灰外面一部および。	粘 内黒
646-18	土師器 甕	9-142 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。にぶい焼7.5YR7/4。 並。軽。胎物少。	「コ」の字状口縁。器作りか。外面は寛削り。 器内面は無で。口縁部は横溝で。割れ口消耗。	
646-19	土師器 小形壺か	9-146 覆土 口縁部片	口・(7.0)	酸化。並。にぶい焼5YR6/4。 並。やや軽。白色粒含。他少。	器厚はやや厚い。外面に無痕。内面に紐作痕。 口縁部内・外面横溝。	
646-20	土師器 内黒	9-146 覆土 体部片	厚・0.6	酸化。並。焼7.5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含。他胎物少。	器内面に研磨らしき痕跡。黒色化あり。外面 に寛削目あり。	
646-21	須恵器 環	9-148 覆土 底部片	厚・0.5	還元。並。暗灰黄2.5YR5/2。 並。やや重。胎物少。シルト質。	轆轤成形。底部は轆轤右回転糸切り。内・外 面に轆轤目あり。割れ口消耗少。	笠か
646-22	須恵器 環	9-148 覆土 破片	口・(13.5)	中～還元。並。にぶい黄焼7/3。 並。軽。白・褐粒含。他微。	口縁部は外傾す。轆轤成形。底部は回転糸 切り。外面に轆轤目あり。	接合2片 粘
646-23	須恵器 環	9-149 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。	口縁部は外傾。轆轤成形。外面に轆轤目。底 部欠割のため切り離し技法不詳。内面に摩耗。	割れ口消 耗 粘
646-24 210-9	地軸陶器 皿	9-150 覆土 底・2/3	口・(15.4) 底・7.8	還元。締。灰白5Y7/1。密。重。 胎物見えず。	高台は削り出しか不明。小作で古様。内・外 面上方輪軸。地味不明。底面磨轆轤右回転。	
646-25 210-10	須恵器 環	9-150 覆土 底・2/3	口・14.0 底・7.0	還元。硬。灰白5Y7/1。密。重。 白色粒少。胎物微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内・ 外面の轆轤目少。重焼色変あり。	太田か
647-1	土師器 甕か	9-152 覆土 体部片	厚・0.2	酸化。並。にぶい焼7.5YR5/3。 並。やや軽。黒粒含。他含。	外面に寛削目あり。内面無痕あり。割れ口消 耗微。	
647-2	須恵器 環	9-152 覆土 破片	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 やや軽。黒粒含。他微。	口縁部は外反する。轆轤成形。内・外面に横 溝あり。割れ口消耗大。	粘
647-3	土師器 甕・環	9-156 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。並。焼7.5YR6/6。並。 やや軽。白色粒。黒胎物。他少。	外面に寛削目あり。内面に無へざあり。割れ 口消耗少。	
647-4	須恵器 土師器	9-157 覆土 破片	口・(13.2) 底・(8.2)	中～還元。硬。にぶい焼7.5YR 5/4。並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は外傾。轆轤成形。底部は回転糸切り。 内・外面大きくへざっている。	接合2片 粘
647-5	土師器 甕	9-157 頸部片	厚・0.4	酸化。並。明赤焼5Y5/6。並。 やや軽。白色粒含。他胎物少。	「コ」の字状口縁。内・外面に横溝。内面少 し腫れる。割れ口消耗あり。	

第9区土坑

押出番号 図版番号	種別	出位置 遺存度	厚度 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
647-6	土師青土器 皿	9-159 覆土 破片	口・(9.6)	酸化。硃。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。褐粒散。黒炭物散。	轆轤成形(左回転)。内・外面に横溝あり。 この種の皿としては重い。割れ口消耗少。	17C以降
647-7	土師青土器 皿	9-160 覆土 口縁部片	口・(12.6)	酸化。並。にぶい黄褐10YR7/4。 並。軽。褐粒散。他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。 焼成色変あり。	
647-8	須恵器 坏か	9-161 №3 破片	口・(12.8)	還元。並。灰オリブ5Y6/2。 胎土白。	器内やや重い。内・外面に轆轤目あり。割れ 口消耗大。外面使用摩耗あり。	笠か
647-9	磁器 香合	9-161 直上 蓋2/3 身完形	蓋最大径・5.35 身最大径・5.25	還元。硝。釉淡青白(青白磁)。 胎土白。	器のように蓋部と施物部あり。身部蓋は無胎 型腐あり。蓋部上面に漣文印花文。型作り。	12C 登壇前
647-10	須恵器 坏	9-162 覆土 破片	口・(13.4)	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや軽。白褐粒散。他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。体部外面に轆 轤目あり。割れ口消耗あり。	粘
647-11	土師品 土師	9-162 覆土 ほぼ完形	厚・0.6	還元。並。暗赤灰2.5YR3/1。 並。やや軽。鉱物少。	手前小口の半分ほど欠欠。全体に滑らか。穿 孔円形。全体に吸炭強く。黒色。	粘
647-12	須恵器 坏	9-165 覆土 破片	口・(12.0)	酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。 軽。金粟母含。他鉱物含。	口縁部は外反する。轆轤成形。轆轤目立ず。 全体に被熱色変。吸炭あり。消耗大。	粘
647-13	土師器 甕か	9-166 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。並。にぶい黄7.5YR5/3。 並。やや重。白・黒粒散。他少。	外面に寛溝あり。内面に細い工具様の撫で と無あり。割れ口少し消耗。	
647-14	土師器 甕か	9-168 覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。橙7.5YR6/5。並。 やや重。白色粒。小炭物含。	外面に寛溝あり。内面に細小ハズあり。割れ 口消耗大。	
647-15	土師器 甕	9-168 覆土 頸部片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。やや重。白・黒粒散。他少。	外面に撫。寛溝。内面に撫あり。さらに吸炭 あり。割れ口消耗大。	
647-16	土師器 口縁部片	9-169 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硃。橙5YR6/6。並。やや 重。白色粒。黒粒散。他少。	口縁部は内・外面横溝。割れ口消耗あり。焼 成は赤褐色や黄色気味色の3層。	
647-17	須恵器 内黒 坏	9-169 覆土 底部2/3	底・13.0	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 胎土白。	轆轤成形。器内面に研磨内黒を施し。内面底 に轆轤目。底部は不定方向の撫。割れ口消耗大。	粘・陶
647-18	須恵器 広口甕	9-170 覆土 口縁部片	口・(25.3)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 密。やや重。白・黒粒散。他少。	轆轤成形。内・外面に回転糸痕あり。内面の ハズ大。割れ口消耗大。	近接溝か
647-19	須恵器 坏	9-170-172 覆土 破片	口・(13.4)	還元。軟。淡黄2.5YR7/3。並。 軽。白・黒粒散。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に淡 い轆轤目あり。割れ口消耗大。	粘
647-20	須恵器 坏	9-170-172 覆土 破片	口・(12.0)	還元。並。灰5Y5/1。並。 白色粒。白炭物含。他少。	焼き歪。割れあり。口縁部は外傾する。轆轤 成形。内・外面に淡い轆轤目。割れ口消耗あり。	粘
647-21	土師器 甕	9-171 体部片	厚・0.4	酸化。硃。橙5YR6/6。並。やや 重。白・黒粒散。他少。	外面無胎。研磨状の寛溝1条。内面撫。割れ 口の消耗少。	
647-22	須恵器 甕	9-171 破片	厚・1.0	還元。硃。灰3Y5/1。密。重。 針状物物多。白色粒散。他少。	紐作り。外面平行印。回転溝。内面に素文 の当て目と敷敷形と摩耗痕。割れ口少し消耗。	北埼玉
647-23	須恵器 甕	9-172 破片	厚・0.5	還元。硝。赤黒10YR2/1。密。 やや重。白・黒炭物含。他少。	内・外面に回転糸痕。外面に黒色の自然釉。 割れ口の消耗少。	東海麓入
648-1	土師器 甕	9-175 覆土 破片	厚・0.4	酸。並。にぶい黄褐10YR5/3。 密。やや重。白色粒散。他少。	口縁部周辺横溝。外面斜め方向の撫が下地 にあり。内面少し吸炭。割れ口消耗大。	
648-2	須恵器 坏	9-175 覆土 破片	口・(13.2)	還元。並。灰5Y5/1。並。 やや軽。白色粒散。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面の轆 轤目立ず。外面吸炭あり。割れ口消耗少。	笠か
648-3	須恵器 坏	9-178 覆土 破片	口・(12.0)	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 やや軽。白色粒散。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口消耗大。	近接溝か
648-4	土師器 甕	9-179 覆土 体部片	厚・0.6	酸化。並。橙5YR6/8。並。やや 軽。黒・白炭物含。他少。	外面に寛溝あり。内面撫。寛溝あり。割れ 口の消耗少。	
648-5	須恵器 坏	9-179 覆土 破片	口・(11.6)	還元。並。灰7.5Y5/1。並。 やや重。白色粒散。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。底部欠損のため切り履し技法不詳。	笠か 割 れ口消耗少。
648-6	須恵器 甕	9-182 覆土 破片	厚・1.1	還元。硃。灰5Y6/1。密。やや重。 針状・白色粒散。他少。	紐作り後平行印の整形。内面の当目は磨り消 す。破片断面に研磨痕。内面中央摩耗。	接合2片す
648-7	須恵器 坏	9-183 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。並。灰オリブ5Y6/2。 密。やや重。白・黒炭物含。	口縁部は付直に重褐色変。轆轤成形。体部外 面に轆轤目あり。割れ口消耗少。	太田か
648-8	土師器 内黒 坏	9-184 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 軽。白・黒粒散。他少。	内面に研磨内黒を施す。外面に無胎。割れ口 消耗少。黒色化一帯口縁におよぶ。	粘
648-9	須恵器 坏	9-185 覆土 破片	厚・0.4	還元。並。灰3Y6/1。並。軽。 白色粒。白炭物含。他含。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。内面に回転横 溝。割れ口消耗大。	粘
648-10 210-11	土師器 内黒 坏	9-186 №3 1/2	口・(15.3) 底・5.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 密。やや重。他少。	器内面に研磨を施す。器外面には指痕板を多 く残す。口縁部の内・外面無胎。	接合3片く
648-11	土師器 甕	9-186 覆土 体部片	厚・0.7	酸。並。にぶい黄褐10YR5/3。 並。やや重。白色粒散。他少。	菓下部の破片。外面に寛溝。少し吸炭。内面 に轆轤。全体に被熱色変あり。割れ口消耗少。	

第9区土坑

標記番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存状況	寸目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
648-12	土師器 高杯	9-186 No.2 脚部片	最・(8.4)	酸化。軟。橙5YR5/8。 並。軽。褐粒含、他鉱物多。	脚部は細作り並指と寛開り成形。整形は寛開 で後研削。坯部は欠損。内・外面割高気味。	接合3片
648-13	土師器 罌	9-186 No.1 破片	厚・1.0	酸化。並。明褐7.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒多。	胴部片。器内は厚い。外面に斜方向の傷跡。 内面に細作り痕とハゼ剥落多。	
648-14	土師器 坏の 底部片	9-188 破片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5YR7/6。並。 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面被熱色変染。寛開目。内面消耗大。摺 あり。割れ口消耗大。	
648-15	土師器土器 皿	9-189 覆土 破片	口・(8.0)	酸化。並。灰白5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。灯火皿らしく、内・外 被熱吸炭少。外面いぼれ鈍落。割れ口消耗大。	17C以降 灯火皿か
648-16	須恵器 器 環	9-190 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。白色粒見え、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。内・外面に少 し轆轤目と被熱吸炭あり。割れ口消耗大。	粘
648-17	土師器 坏	9-191 覆土 破片	底・(5.0)	酸化。並。灰白10YR8/2。 粗。軽。白・黒・褐粒含。	質は中世土師質か。消耗大で内面の回転痕 が見えるもの他は不明。色はピンク状。	12・13C か
648-18	石器 磨石	9-191 覆土 1/2	粗粒輝石安山岩 重・325	遺存長・8.75。幅・8.1。 厚・4.4。	扁平面が割減する。	
648-19	軟質陶器 火入	9-194 覆土	口・(17.0)	還元。軟。灰5Y4/1。粗。軽。 白・黒粒含、他少。	内・外面に回転痕。小へざあり。焼成芯黒。 外面端で5層気味。割れ口消耗少。	18~19C 小泉焼か
649-1	埴輪 円筒	9-195 覆土 円筒	厚・2.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・黒粒含、他含。	円筒筒輪。内・外面に横筋。周囲を打ち欠 き。研削多。少し摩耗か。焼成で3層。	
649-2	須恵器 坏	9-196 覆土 底部片	厚・0.7	還元。灰オリーブ黒5Y3/1。 並。軽。白・黒粒含、他少。	底部内面側に轆轤目使用摩耗。外面側余切痕。 割れ口消耗大。	粘
649-3	埴輪 円筒	9-197 覆土 円筒破片	厚・2.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 白・褐・黒粒含、多量多。	外面に横毛目あり。内面に貫削目。割れ口 に粗作痕。割れ口は打ち欠きか。	
649-4	須恵器 瓶	9-197 覆土 破片	厚・0.7	還元。並。灰白5Y7/1。密。重。	轆轤成形。内・外面に轆轤目。外面に自然熱。 割れ口の消耗少。	西毛〜均 玉
649-5	ガラス 瓶	9-201 覆土 胴部片	厚・0.3	透明。淡青緑。	吹きガラスを思わせる光沢で、気泡は少なく、 大正以降に見える色調。	
649-6	須恵器 坏	9-201 覆土 口縁部片	口・(11.8)	還元。硬。灰5Y4/1。密。 やや重。白色粒多、他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内面滑らか。 消耗少。	接合2片 近接縁部
649-7	須恵器 坏	9-201 覆土 底部片	底・(7.2)	還元。硬。灰5Y4/1。密。 やや重。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤目回転 痕。割れ口消耗少。	太田か
649-8	施釉陶器 蓋	9-202 覆土 1/2	口・(7.2)	酸化。締。釉茶褐(鉄釉)。 胎土茶褐。	茶入れの蓋か。外面上方のみ施釉。鉄釉は に、外光沢がある。	産不明 17~19C
649-9	磁器 小皿	9-202 覆土 完形	口・2.45 底・0.8	還元。締。釉透明調淡青白(白 磁釉)。胎土白。灰白10Y8/1。	型押施文か型作り。外面に騎縁の細文あり。 施釉は内面ののみ。	19C 伊万里系
649-10	施釉陶器 場	9-202 No.2 把手	一	酸化。締。釉暗褐(自然熱 の鉄釉)。胎土黒褐。	行平。中空の把手で外面に自然熱にしては不 自然な鉄釉かかる。場内面にも施釉あり。	産不明 19・20C
649-11	施釉陶器 埴	9-202 覆土 1/4	口・(8.2)	中性。締。釉淡黄灰(透明調)。 胎土淡黄灰。	内・外面に施釉。貫入あり。外面下方端がわ ずか露胎となる。外面下方に回転の削目あり。	18・19C 京焼系
649-12	軟質陶器 内耳	9-202 覆土 破片	口・(29.8) 底・(30.0)	還元。硬。オリーブ黒5Y7/2。 粗。軽。黒粒含、他少。	底面に石目状の磨面あり。口縁部周辺から 内面にかけ横削。外面に接合痕。	17~19C 小泉焼か
649-13	軟質陶器 手盛り	9-202 覆土 破片	底・(16.1)	還元。並。灰7.5Y4/1。粗。 軽。黒粒含、他鉱物少。	内面に轆轤目あり。外面に結状を思わせる施 文あり。焼成は黒で器面傷を含む5層気味。	小泉焼か 19・20C
649-14	石器 砥石	9-202 覆土 一部欠損	砥石 110g	遺存長・9.3 幅・3.25 厚・2.85	欠損因欠。使用は表・裏、左側面の3面。美 小口旧材質。手前は旧時欠損。表中央強状。	
649-15	石器 砥石	9-202 覆土 完形	チャート 重・280	厚・11.2。幅・4.5。 厚・2.95。	棒状を呈し、断面隅丸三角形を呈する。小口 の先端に片側からの打撃に伴う割痕がある。	
650-1	土師器土器 皿	9-203 No.1 ほぼ完形	口・9.8 底・5.7	酸化。硬。並。灰白2.5YR6/4。 粗。やや重。褐粒含、他物多。	轆轤成形(左回転)。底部は回転余切り。内面 に工具による轆轤目あり。	接合10片 16・17C
650-2	土師器土器 皿	9-206 覆土 底部片	底・(5.6)	酸化。並。淡黄2.5Y7/2。粗。 軽。褐粒。灰鉱物含。	轆轤成形。底部は回転余切り。内面に不定方 向らしき磨あり。割れ口消耗大。	中世か
650-3	土師器 罌	9-210 覆土 底部片	底・(7.4)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒他、他少。	外面に貫染。被熱色変あり。底面窪開・寛開 あり。内面被熱剥落多。	接合4片 あり
650-4	須恵器 罌	9-211 覆土 胴部片	厚・0.9	還元。締。黄灰2.5YR4/1。密。 重。白鉱物含、他少。	外面に平行叩、自然熱あり。内面に同心円当 目と貫削目。割れ口消耗少。	太田か
650-5	施釉陶器 罌	9-212 覆土 胴部片	厚・0.8	中性。締。釉鈍(光沢弱)。 胎土淡黄2.5Y7/3。	内面に叩目。外面に回転痕。釉あり。 割れ口消耗あり。	17~19C 美濃
650-6	軟質陶器 埴	9-213 破片	口・(30.0) 底・(27.0)	中一還。硬。並。灰白2.5Y6/3。 粗。軽。黒粒含、他鉱物少。	内面に内耳あり。体部外面に接合痕あり。底 面に石目状の磨面あり。口縁部内・外面あり。	18C 小泉焼か

第9区土坑

探出番号 図面番号	種別	出土位置 埋 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
650-7	土師器 土師器 口縁部片	9-215 覆土	厚・0.7	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並。軽。白・黒粒含、他微。	口縁部は外反する。口縁部は横断を施す。 割れ口の消耗少。	
650-8 210-13	須恵器 埴 1/2	9-216 覆土	底・7.2	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	付け高台。底部は右回転余切り。外面横。内 面工具痕跡。不明胎土。外面に「口大」印字。	3片 粘 3436同一
650-9 210-15	土師器 埴 3/4	9-222 №1+2	口・(19.8)	酸化。硬。並。黄灰2.5Y6/4。 並。白・褐粒、胎物多。	口縁部は外反する。器外面は磨削り。器内面 は磨削で、口縁部は横断を施す。	接合12片
651-1	須恵器 埴 3/4	9-231 覆土	口・12.8 底・5.4	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。	轆轤成形(右回転)。底部は回転余切り。外面 に「百」か墨字あり。内面小ハゼ。	接合4片 墨書-145
651-2	須恵器 埴 底部分	9-234 覆土	底・(7.0)	還元。軟。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや重。白色粒含、他微。	轆轤成形。底部は回転余切り。外面に轆轤目。 内面底使用厚紙。割れ口消耗大。	笠懸
651-3	須恵器 埴 底部分	9-234 覆土	口・(14.0) 底・(9.5)	中～還元。硬。並。黄2.5Y6/3。 並。重。白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。底部の切り離 し、残存少なく不明。	笠懸か
651-4	土師青土器 埴 底部分	9-246 覆土	底・(6.0)	酸化。並。並。黄灰7.5YR6/4。 粗。白粒。黒胎物含、他含。	轆轤成形。底部は回転余切り。外部外面に轆 轤目あり。割れ口少し消耗。	
651-5	軟質陶器 不明 埴部分	9-247 覆土	厚・1.3	還元。軟。黄灰2.5Y5/1。 粗。軽。白色粒少、他少。	剥落と消耗顯著で、器種不明。焼成は芯黒で 3層気味。	
651-6	軟質陶器 不明 埴部分	9-248 覆土	厚・0.5	酸化。並。並。黄灰7.5YR6/4。 並。やや重。白色粒。黒胎物含。	底面に石目状の磨りあり。内面に黒光沢あり。 割れ口の消耗少。焼成単一色。	19Cか
651-7	軟質陶器 内面7号格 埴部分	9-250 覆土	厚・1.2	還元。並。黄灰2.5Y5/1。 粗。軽。白・褐粒含、他少。	外面に手による割め方向の擦。内面に轆轤目 あり。割れ口の消耗大。焼成は芯灰内。割れ口	17～19Cか
651-8	土師器 埴 底部分?	9-252 覆土	厚・0.3	酸化。硬。赤褐5YR4/6。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	原作りか。底部は隆起り。内面は横断で、割 れ口消耗少。	
651-9	施釉陶器 德利 埴部分	9-250 覆土	厚・0.3	還元。粘。胎青(染付)。透明調。 胎土灰白5Y7/1。	外面に透明調。呉須による施文。施釉あり。 内面無胎轆轤目。	19・20C 産不明
651-10	施釉陶器 埴 底部分	9-252 覆土	底・(7.2)	中～還元。緑。輪茶褐(鉄輪)。 胎淡黄灰。	内面に無胎轆轤目。外面は上方のみ施釉。外面に煤 付着。外面付着部は露胎となる。	
651-11 210-18	施釉陶器 白花瓶小 埴部分	9-252 覆土	脚端径・8.0	酸化。緑。輪茶褐(鉄輪)。 胎土淡黄。	仏花蓋か。欠損後。内面厚肉し。平滑。内面 脚端部を除き施釉。上面厚肉。	18Cか
651-12 210-16	磁器 埴 底部分	9-252 覆土	口・6.4 底・3.2	還元。緑。輪茶付胎青、白細粒 白。胎土白。	外面に秋草文様施文あり。胎付はベロ藍。白 磁輪は高台部を除去懸胎。外面下半7割面体。	19・20C 伊万里系
651-13	軟質陶器 埴 底部分	9-252 覆土	口・(30.3)	還元。並。灰10Y5/1。並。軽。 白・黒粒含、他胎物多。	内面磨りおろし厚肉あり。内・外面少し磨か かる。外面に指圧痕と口縁周辺横断。	14・15C 粘
651-14	軟質陶器 内耳始格 埴部分	9-252 覆土	厚・0.5	酸化。並。黒褐10YR3/1。並。 やや重。白・黒粒含、他少。	底面に石目状の磨りあり。内面に擦あり。焼成 は外面底のみ。割れ口消耗少。	18～19C 産不明
651-15	軟質陶器 内耳始格 底部分	9-252 覆土	厚・0.8	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	底面に石目状の磨りあり。内面内耳縁と腫あり。 割れ口消耗少。焼成は芯灰で3層気味。	17～19C 小量機か
651-16	土師器 砥石 一部欠損	9-252 覆土	埋背粘板石 285g	還元。長・10.6 幅・5.45 厚・2.9	表面磨削。両側部、小口面に研磨痕。上方小 口は断面面積。裏面のわずかに研磨痕。	柄石の砥石
652-1	土師器 埴 底部分	9-254 覆土	厚・0.3	酸化。並。赤褐5YR4/6。	傾斜き不明。外面に磨削。内面に横断。割れ口 消耗少。	
652-2	軟質陶器 鉢 口縁部片	9-256 覆土	厚・1.1	還元。並。灰5Y5/1。粗。軽。 白・黒胎物含、他少。	内・外面に横断あり。外面下半部に磨削痕の粘 土よじれあり。胎土の目混。割れ口消耗少。	
652-3	須恵器 埴 口縁部片	9-259 覆土	厚・0.4	還元。灰。灰5Y4/1。密。重。 白色粒含、他微。	口縁部は外反する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口消耗。	近接鼻
652-4	軟質陶器 不明 埴部分	9-259 覆土	厚・0.7	還元。並。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。白・褐粒含、他少。	割れ口に底面接合の跡のみあり。粘土目跡濃。 内面回転余断。外面磨削。割れ口消耗大。	
652-5	須恵器 埴 底部分	9-263 覆土	厚・0.9	還元。硬。灰5Y4/1。密。重。 白・褐粒含、他少。	外面に印目。内面に当目。擦で消しあり。内 面の当て目は同心円か。割れ口消耗大。	太田
652-6	須恵器 内裏 坏小 埴部分	9-265 覆土	厚・0.6	酸化。並。並。黄灰10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。	轆轤成形。内・外面に研磨を施し、内黒炭吸。 質は土師器。穿孔あり。	粘
652-7	須恵器 埴 底部分	9-268 覆土	厚・0.5	還元。硬。灰5Y4/1。密。やや軽。 白色粒。白胎物含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。底面回転磨削。割れ口少し消耗。	太田・笠 懸
652-8	土師器 埴 底部分	9-268 覆土	厚・0.3	酸化。並。並。黄灰7.5YR5/4。 並。軽。黒胎物含。シルト質。	傾き不明。外面に磨削。内面に横断。割れ口 少し消耗。	
652-9	土師器 埴 底部分	9-269 覆土	厚・0.4	還元。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	外面に横断あり。内面にも擦あるが方向不 定。内面少し炭吸。割れ口少し消耗。	
652-10	土師器 埴 底部分	9-270 覆土	厚・0.4	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 軽。白・黒粒含、他少。	底面に内面斜目あり。内面に無胎あり。割れ口 の消耗大。	

第9区土坑

探頭番号 因図番号	種別 器種	出土位置 遺存灰	産目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
652-11	須恵器 環	9-272 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。暗灰黄2.5Y/2。並。 軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。	
652-12	須恵器 口縁部片	9-273 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y5/2。 並。軽。白・黒粒粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。切り離し技法不詳。割れ口消耗。	粘
652-13	土師器 小形甕	9-274 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。にぶい黄緑10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面に寛削目あり。内面に撫整形あり。	
652-14	土師器 小形甕	9-275 覆土？ 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白色粒含、他少。	台付鑿か不明。口縁部は横溝で、割れ口消耗。	
652-15	土師器 小形甕	9-275 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	台付鑿にくび箇所あり。外面に粘土付着、庵材か。内面荒減。割れ口消耗少。	接合4片？
652-16	須恵器 環か	9-276 覆土 胴部片	厚・0.5	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白色粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
652-17	須恵器 環	9-276 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。灰オリーブ5Y5/2。 並。軽。白粒・白黒物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。割れ口の消耗大。	接合2片 笠懸か
652-18	土師器 口縁部片	9-277 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。鉱物微、シルト質。	口縁部は直口気味。型作り。体部に空腐。口縁部・内面は横溝で整形。消耗少。	
652-19	須恵器 環	9-277 覆土 底部片	底・(6.8)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 重。白・黒粒粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転赤切り。	笠懸か
652-20	須恵器 環	9-280 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。白・黒粒含、他少。	口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。体部外面に轆轤目あり。割れ口消耗大。	
652-21	土師器 環	9-282 覆土 胴部片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。白・黒粒含、他少。	傾き不明。外面荒削。内面横溝あり。割れ口消耗少。	
652-22	土製品 土鉢	9-282 覆土 1/2	幅・(1.9)	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。重。鉱物微。	平底で割れる。手前の小口は旧状、奥小口は旧欠。穿孔は木太への巻き込みか。消耗少。	
652-23	須恵器 環	9-284 覆土 1/4	口・(12.5) 底・(7.6)	還元。軟。灰5Y5/1。密。 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部は回転赤切り後面調整。	接合3片 笠懸
652-24	須恵器 環	9-284 覆土 底部片	底・(7.0)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白粒・黒粒物少。他微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部は回転赤切り。割れ口消耗大。	粘
652-25	須恵器 環	9-284 覆土 胴部片	厚・1.1	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 密。やや重。横状見えず、他少。	傾き不明。外面に平行削。内面に同心円文当て目。鑿あり。割れ口消耗。	周辺部か
652-26	須恵器 環	9-286 覆土 破片	底・(7.2)	中性。硬。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。白・黒粒粒含、他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転赤切り。内面底少し摩耗。	粘
652-27	須恵器 環	9-286 No 1 底部片	底・6.8	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。重。白・黒粒含、他含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転赤切り、不詳墨字。体部外面にも不明墨字。	笠懸 墨書146
652-28	須恵器 環	9-286 No 3 底部片	底・(8.0)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。 やや重。白色粒含、他微物少。	底部は切り離し後磨削。底面は手持ちか。内面少し使用摩耗。底面に不詳墨字あり。	笠懸 墨書147
652-29	須恵器 環	9-286 No 4 破片	底・(7.4)	中～還元・並。鈍黄褐10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含、他微物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部は回転赤切り。	粘
652-30	須恵器 環	9-286 No 2 破片	口・(15.9) 底・(8.8)	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白・黒粒含、他微物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。回転方向不明。底部は回転調整型。器面消耗。	粘
652-31	須恵器 環	9-291 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒・白黒粒、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に轆轤目あり。内面にもあり。割れ口少し消耗。	笠か
653-1	須恵器 環	9-294 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒・黒粒物多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部内・外面に轆轤目。切り離し技法不詳。割れ口消耗。	
653-2	須恵器 環	9-297 覆土 胴部片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y4/1。密。やや重。 白色粒・白黒物含、他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。体部外面に轆轤目あり。割れ口消耗。	太田か
653-3	土師器 小形甕	9-298 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。硬。暗褐7.5YR3/4。並。 やや重。白・黒粒物含、他少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は斜位方向の寛削。無、少し吸灰。内面に無。割れ口消耗微。	接合3片
653-4	須恵器 環	9-299 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。軟。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや軽。白色粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目あり。切り離し技法不詳。割れ口少し消耗。	粘か
653-5	軟質陶器 焙烙か	9-300 覆土 口縁部片	厚・0.7	酸化。並。にぶい黄緑10YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含、他少。	割れ口。器面消耗大。内・外面撫らし痕跡少しあり。地成土黒灰で3層気味。	17～19C
653-6	須恵器 環	9-301 覆土 破片	底・(6.6)	中～還元。硬。にぶい黄緑10YR 5/4。並。やや重。鉱物含。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転赤切り。	粘
653-7	須恵器 環	9-301 覆土 破片	口・(13.0)	中～還元・硬。鈍黄褐10YR5/3。 並。やや重。黒粒粒含、他少。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部欠損のため切り離し技法不詳。	粘
653-8	須恵器 環	9-301 覆土 破片	口・(14.0)	還元。並。淡黄2.5Y7/3。並。 やや軽。鉱物少。	内面帯ろか、外面轆轤目と不明墨字あり。割れ口消耗。口縁部付近外面・内面少し鑿あり。	粘 墨書148

第9区土坑

探検番号 図録番号	種別	出土位置 遺存度	径目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
653-9	須恵器 瓶	9-301 覆土 破片(口~体)	口・(18.2)	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並。 白色粒、灰色鉱物含。他少。	縦作り後轆轤成形(右回転)。内面ハゼ少しあり。部分的に焼熱による微塵あり。	接合6片 粘・陶
653-10	須恵器 小瓶か	9-308 覆土 破片	底・(6.3)	還元。硬。褐灰10YR6/1。密。 重。白色鉱物含。他少。	灰釉か須恵器か不明。轆轤成形(右回転)痕あり。高台貼付。白鉱物が多い点は須恵器か。	東海搬入
653-11	須恵器 埴	9-308 覆土 破片	口・(20.0)	還元。硬。オリーブ黒5Y3/1。 並。軽。白色粒含。鉱物含。	口縁部は肥厚する。轆轤成形。高台部は欠損する。内・外面平滑。	粘
653-12	須恵器 埴	9-309 覆土 破片	口・(12.0)	還元。軟。にぶい褐7.5YR5/4。 並。軽。黒鉱物微。他微。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に不明黒字あり。割れ口少し消滅。	墨書-149
653-13	須恵器 埴	9-309 覆土 破片	口・(14.2)	還元。並。黒褐10YR3/1。並。 軽。白色粒、灰色鉱物、他微。	口縁部は外傾。轆轤成形。底部切り離し不詳。内・外面とも微塵く黒色気味。	接合2片
653-14	須恵器 埴	9-309 覆土 破片	口・(12.0)	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 軽。白色粒含。他少。	口縁部は外反する。轆轤成形。切り離し不詳。内・外面微塵くかかるとか黄斑もあり。	接合2片 粘
653-15	須恵器 埴	9-309 覆土 破片	底・(7.0)	還元。並。にぶい黄褐10YR5/4。 並。軽。黒粒含。他微物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面不明黒字あり。	粘 墨書-150
653-16	土師器土 底部片	9-310 覆土 底部片	底・(5.5)	中~酸。軟。にぶい黄褐10YR 7/3。粗。軽。鉱物微、シルト質。	轆轤成形。底部は回転糸切りか。内面回転による凹凸あり。割れ口消滅。	14~16℃
653-17	土師器 埴	9-310 覆土 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒少。他微。	外面に黄斑と指圧痕。内面に黄斑あり。割れ口消滅あり。	
653-18	須恵器 口縁部片	9-310 覆土 破片	口・(11.4)	還元。硬。黒7.5YR1.7/1。 並。軽。鉱物含。	内・外面黒色微現。回転糸痕あり。割れ口の消滅少。	粘
653-19	須恵器 埴	9-311 覆土 底部片	底・(9.2)	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 白色粒多。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。高台貼付後黄斑、黄斑あり。割れ口消滅。	笠懸か
653-20	須恵器 埴	9-312 覆土 破片	底・(6.0)	還元。並。灰黄褐10YR6/2。 並。重。鉱物少。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面いく分歪曲される。	粘
653-21	土師器 底部片	9-315 覆土 底部片	底・3.6	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	側面に打穴き面取り整形痕あり。円盤。	
653-22	須恵器 口縁部片	9-316 覆土 厚・0.5	厚・0.5	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。鉱物少、シルト質。	外面に轆轤目あり。内面は平滑。割れ口消滅。	
653-23	須恵器 脚部片	9-316 覆土 厚・0.7	厚・0.7	還元。硬。灰白7.5Y7/1。密。 重。鉱物見えず。	縦作り後轆轤成形か。内・外面に浅い轆轤目あり。割れ口消滅。	東海搬入
654-1	須恵器 埴	9-317 覆土 底部片	底・(7.8)	中性。並。橙2.5YR7/6。並。 やや重。黒鉱物含。他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台貼付後整形あり。変黄色変りあり。	粘・陶
654-2	須恵器 埴	9-318 底 1/3	底・(8.0)	還元。並。灰7.5YR6/1。並。 やや軽。白色粒含。鉱物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台付け高台。底部は回転無整形。	粘
654-3	土師器 内環 埴	9-320 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい褐7.5YR5/4。 並。やや重。金雲母。他少。	器内薄。底面中央に砂付着。周囲黄斑と黒。割れ口消滅少。	
654-4	土師器 口縁部片	9-323 覆土 厚・0.4	厚・0.4	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 並。やや重。鉱物少。	口縁部の内・外面に横溝。外面下方黄斑。その上方黄斑微。割れ口消滅。白味あり。	景外搬入
654-5	須恵器 埴	9-325 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 密。やや重。白色粒含。他少。	口縁部は欠損する。底部は轆轤右回転微。内面轆轤目。割れ口消滅。	笠懸
654-6	須恵器 底部片	9-326 覆土 底部片	底・(5.0)	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。粗。 軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転糸切り。割れ口消滅大。	粘
654-7	須恵器 埴	9-327 覆土 底部片	底・(6.7)	還元。硬。褐灰10YR6/1。密。 重。鉱物微。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。割れ口の消滅大。	市付近か
654-8	須恵器 埴	9-328 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰5Y5/1。並。軽。 白色粒多。他少。	内・外面に回転糸痕あり。胎土極めて軽い。割れ口の消滅大。	粘
654-9	須恵器 瓶	9-328 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。密。 重。鉱物微。ガラス質強。	外面轆轤目、自然釉。内面轆轤目。割れ口の消滅少。	東海搬入
654-10	須恵器 口縁部片	9-331 覆土 厚・(14.4)	厚・(14.4)	還元。硬。灰N6/0。密。重。 黒粒。白鉱物含。他少。	内・外面に轆轤目あり。口縁部付近に重焼色変りあり。割れ口消滅少。	太田か
654-11	土師器 埴	9-331 覆土 厚・0.5	厚・0.5	酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含。他微。	外面下方に黄斑。内・外面に横溝あり。赤味の強い焼成。割れ口消滅。	
654-12 210-20	須恵器 埴	9-332 №4 底部片	底・9.0	還元。軟。明灰黄2.5Y4/2。並。 やや重。白色粒。他微物含。	底面に轆轤右回転の糸切目。その周辺を回転。中央に不明黒字。割れ口消滅。	笠懸か 墨書-151
654-13 210-19	須恵器 埴	9-332 №3 一部欠損	口・13.4 底・8.5	還元。軟。灰白5Y7/1。並。 やや重。白色粒含。他含。	底部は回転糸切り後轆轤左回転微。さらに不明黒字あり。内面底使用摩耗。	笠懸か 墨書-152
654-14 211-1	土師器 埴	9-332 覆土 3/4	口・13.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。金雲母、赤褐粒含。	口縁部は丸味気味。型作り。底部は黄斑あり。体部に黄斑。口縁部・器内面は横溝で整形。	接合13片

第9区土坑

探訪番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	層目 (cm) 量目 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
654-15	須恵器 埴 底部分	9-333 覆土	底 (9.8)	還元。硬。灰5Y6/1。密。 やや重。白色粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。高台付後、周囲を 撫でる。内面少し使用摩耗。割れ口消耗あり。	笠懸か
654-16	磁器 埴 破片	9-334 覆土	厚・0.3	還元。硬。輪淡青(染付)、白磁 釉淡々青。胎土白。	外面に染付施文、内・外面に白磁釉。割れ口 少し消耗。	18C 伊万里系
654-17	須恵器 埴 口縁部片	9-335 覆土	厚・0.4	還元。並。にふい青2.5Y6/3。 並。軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に浅 い轆轤目あり。割れ口消耗あり。	粘
654-18	須恵器 埴 口縁部片	9-336 覆土	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。密。 重。藍物少。	口縁部は大きく外反する。轆轤成形。内・外 面に回転糸痕あり。割れ口少し消耗。	北埼玉か
654-19	陶器 磁鉢 破片	9-338 覆土	厚・0.5	酸化。硬。にふい橙2.5YR6/4。 密。重。白胎物多、他微。	内面に開口あり、使用摩耗少ない。外面に回 転糸痕あり。割れ口の消耗少。	信楽か
654-20	土師器 埴 口縁部片	9-339 覆土	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。 並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は外傾気味。体部に型痕。口縁部・内 面は横撫で。割れ口消耗少。	粘
654-21	土師器 埴 破片	9-341 覆土	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR6/8。並。 やや軽。黒炭物含、他少。	内面は撫で、底部は覆削り、体部に撫で。割 れ口消耗。	粘
654-22	須恵器 埴 破片	9-342 覆土	厚・0.4	酸化。軟。橙7.5YR6/6。粗。 軽。白色粒多、シルト質。	外面ハゼ剥落多く、わずかに轆轤目あり。内 面にも轆轤目。割れ口消耗大。	10Cか 粘
654-23	土師器 埴 口縁部片	9-343 覆土	厚・0.5	酸化。硬。赤褐2.5YR4/6。並。 重。藍物少。	口縁部は外傾気味。外面に接合痕あり。口縁 部・内面は横撫で。割れ口消耗大。	粘
654-24	土製品 土師 完形	9-348 覆土	13.46g	酸化。硬。黄灰2.5Y4/1。並。 やや重。藍物微。	全体に帯か、細かな滑りともあり。全体に 種か。穿孔は正円形。少し重たい。	粘
654-25	土師器 埴 口縁部片	9-349 覆土	厚・0.4	酸化。硬。にふい橙5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含。	口縁部は内湾気味。底部は覆削り、体部に型 痕。口縁部・内面は横撫で。消耗少。	粘
654-26	須恵器 埴 底部分	9-349 覆土	口 (12.1)	還元。硬。灰 N5/0。並。 やや重。白色粒、白胎物含。	内面摩耗甚。脚部返し1カ所7.5mm幅見え。 側、底に回転糸痕あり。割れ口消耗少。	笠懸
655-1	土師器 埴 口縁部片	9-355 覆土	厚・0.5	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 密。重。藍物微。	小形台付要か。外面に撫、小ハゼ、工具によ る撫。内面横撫あり。割れ口消耗少。	粘
655-2	須恵器 埴 破片	9-356 覆土	厚・1.0	還元。硬。灰5Y5/1。密。 やや重。白・黒粒含、他少。	外面回転。内面横撫あり。割れ口消耗少。	市付近か
655-3	須恵器 埴 口縁部片	9-357 覆土	厚・0.5	還元。硬。灰 N5/0。密。重。 黒胎物入、他微。	口縁部は少し内厚。轆轤成形。内・外面回 転糸痕あり。割れ口消耗微。	市付近か
655-4	須恵器 埴 破片	9-363 覆土	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。並。軽。 藍物少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内・外面 回転糸痕。割れ口消耗。	粘
655-5	須恵器 埴 破片	9-363 覆土	厚・0.9	還元。締。オリブ灰10Y5/2。 密。重。藍物少。	頸部3段接合か。内・外面に回転糸痕あり。 外面に自然釉。割れ口消耗大。	東海輸入
655-6	須恵器 埴 底部分	9-363 覆土	底 (5.9)	還元。並。灰白5Y7/1。並。 やや軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸痕あり。割れ口消耗大。	粘
655-7	須恵器 埴 底部分	9-363 覆土	底 (7.0)	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 締。並。白色粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形 (右回転)。 底部は回転糸痕。消耗大。	笠懸・大 田
655-8	軟質陶器 焙烙 破片	9-366 覆土	厚・0.9	還元。硬。灰白10Y7/1。並。 軽。白色粒、黒炭物含。	焙烙内耳体部片の破片か。外面横撫あり、 内面不明。割れ口消耗大。	粘
655-9	須恵器 埴 破片	9-368 覆土	厚・0.5	還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 白・黒粒含、少しシルト質。	轆轤成形。外面回転糸。口縁部外面に重ね 焼吸吸あり。消耗少しあり。	粘
655-10	須恵器 羽釜 破片	9-371 覆土	口 (18.2)	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。褐粒含、他少。	轆轤成形。突帯の貼付接合面あり。内・外面 横撫。消耗微。	粘
655-11	土師器 埴 破片	9-372 覆土	口 (13.1)	酸化。並。灰黄褐10YR5/2。 並。軽。褐粒、藍物少。	口縁部は内・外面横撫。外面下方指溝。内・ 面は若干撫される。	粘
655-12	土師器 埴 破片	9-372 覆土	厚・0.4	酸化。硬。にふい黄橙10YR6/3。 並。軽。藍物少。	胴部片。器厚は薄い。器外面は縦位方向の覆 削りを施す。消耗あり。	粘
655-13	軟質陶器 不明 破片	9-372 覆土	厚・1.0	還元。硬。暗赤灰2.5YR3/1。 並。軽。白色粒含、他少。	塊か。口縁部の内・外に横撫、種吸あり。 割れ口の消耗少。	粘
655-14	土師器 埴 破片	9-374 覆土	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 軽。藍物少。	外面に覆削り、内面に撫。消耗微。	粘
655-15	灰胎陶器 埴 口縁部片	9-373 覆土	口 (15.3)	還元。締。輪透明調 (灰胎)。 胎土灰。	内・外面施釉。回転糸痕あり。口縁部内面下 に浅い凹み一条あり。消耗。	粘
655-16	須恵器 羽釜 破片	9-373 覆土	厚・0.8	酸化。硬。にふい赤褐2.5YR 4/4。並。やや重。藍物少。	轆轤成形。外面に横方向の工具磨痕、その下 面に覆削目あり。消耗少。	粘
655-17	土師器 埴 破片	9-376 覆土	厚・0.2	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。	胴部片。器厚は薄い。外面は縦位方向の覆 削りを施す。内面撫。消耗少しあり。	粘

第9区土坑

発掘番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚さ (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	調査
655-18	陶器 甕	9-377 覆土 破片	厚・0.5	還元。緑。軸透明調(灰軸) 胎土灰。	外面に施釉と回転痕あり。内面縦目あり。割れ口は外側。	東海搬入
655-19	須恵器 環か	9-380 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白色粒含。他少。	口縁部は外側する。轆轤成形。内・外面に回転痕あり。消耗あり。	粘
655-20	土師器 壺台付か	9-381 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。褐灰5YR4/1。並。 やや重。褐粒含。他少。	台付壺の壺部至近の壺側から外面に覆削。内面に不定方向の無。割れ口に少し消耗あり。	
655-21	陶器 蓋か	9-390 覆土 破片	厚・0.6	還元。緑。軸透明調と白土調。 胎土黄灰。	内面側に白土と透明様の施釉。外面側は無釉で回転痕あり。消耗微。	18・19C 産不明
655-22	須恵器 環	9-390 覆土 底部片	並・(7.5)	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒多。黒粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸切り。内面縦目。割れ口消耗あり。	笠懸
655-23	炊貫陶器 焙烙か	9-392 覆土 破片	厚・0.9	還元。硬。黒褐10YR3/1。並。 やや重。褐・黒粒含。	内・外面に横溝。外面下方に覆削目あり。内・外溝かかり。芯部で5層灰様。割れ口消耗。	17・18C
655-24	土師器 環(平底)	9-393 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。ふい焼7.5YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は覆削り。口縁部・内面は横溝で。消耗少。	墨書-153
655-25	須恵器 壺	9-393 覆土 破片	厚・1.0	還元。硬。灰7.5Y4/1。密。重。 白色粒多。他少。	内・外面に回転の横溝あり。割れ口に接合面見え。消耗少。	太田
655-26	須恵器 壺	9-395 覆土 口縁部片	口・(4.55)	還元。硬。灰5Y5/1。並。やや重。 白色粒多。黒粒含。他少。	内・外面に回転痕あり。端部の尖り少く新様。消耗大。	笠懸か
655-27	須恵器 底部片	9-395 覆土 底部片	並・(8.0)	還元。硬。褐灰5YR4/1。密。 やや重。白色粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り後。周囲右回転痕あり。消耗大。	笠懸
655-28	土師器 環	9-397 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。黒粒多。他含。	底面に覆削あり。内面に無あり。割れ口の消耗大。	
655-29	土師器 環	9-399 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。褐7.5YR4/3。並。 軽。胎物少。	口縁部は外傾気味。体部に皮膚。口縁部・内面は横溝で。消耗あり。	
655-30	土師器 壺	9-400 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。他5YR6/6。並。 やや重。褐粒含。他少。	口縁部は外反する。口縁部は横溝で。外面下方指圧痕。割れ口消耗あり。	
655-31	焼締陶器	9-400 覆土 厚・1.1	厚・1.1	還元。緑。灰7.5Y4/1。密。重。 胎物あり。	外面自然釉あり。内面に無釉あり。割れ口に縦作痕あり。割れ口消耗。	蓋美か中世
656-1	須恵器 底部片	9-401 覆土 底部片	並・(6.5)	還元。並。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並。やや重。白粒多。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口は消耗大。	粘
656-2	施釉陶器 段皿	9-401 覆土 底部片	高台・(6.9)	還元。緑。軸透明調(灰軸) 胎土灰。	内面に段部と灰軸施釉あり。高台小作りで古様。底部右回転の無。割れ口消耗少。	9Cか 東海搬入
656-3	須恵器 蓋か	9-401 覆土 破片	厚・0.7	還元。並。ふい焼5YR6/4。 並。やや重。胎物微。他少。	外面に回転の工具痕あり。内面に横溝。割れ口に縦作痕。さらに消耗少。	粘
656-4	須恵器 環	9-404 覆土 底部片	並・(6.5)	還元。並。ふい焼2.5Y6/3。 並。やや軽。胎物微。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗少あり。	粘
656-5	須恵器 環か	9-404 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸。軟。ふい焼10YR6/4。 並。軽。白・褐粒含。他胎物少。	口縁部は少し外反する。轆轤成形。底部欠損のため切り離し不評。割れ口消耗。	粘
656-6	須恵器 環	9-404 覆土 底部片	並・(6.2)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 密。やや重。白色粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗大。	笠懸か
656-7	須恵器 底部片	9-404 覆土 底部片	並・(6.4)	還元。並。灰白10Y7/1。並。 やや軽。白黒粒少。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回転糸切りがつかすかに見え。消耗大。	粘
656-8	須恵器 塊	9-405 覆土 底部片	並・(8.1)	還元。硬。ふい焼10YR6/3。 並。軽。胎物少。	口縁部は旧時欠損する。底部は轆轤右回転糸切り。割れ口の消耗少あり。	粘
656-9	土師器 壺か	9-406 覆土 破片	厚・0.4	酸～還元。硬。赤黒2.5YR1.7/1。 並。軽。胎物少。	外面黒色噴染。胴。内面横溝あり。酸化。割れ口消耗微。	
656-10	須恵器 211-2 環	9-407 覆土 1/3 並・(4.9)	口・(12.6) 並・(4.9)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並。 軽。胎物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面に重焼らしき色度あり。	粘
656-11	須恵器 211-3 環	9-407 覆土 1/5	口・(14.0)	還元。並。黄褐2.5YR5/3。並。 軽。胎物微。	口縁部は外反する。轆轤成形(右回転)。底部は欠損。体部に縦目多い。	粘
656-12	土師器 壺	9-408 覆土 口縁部片	厚・0.6	酸化。硬。他2.5YR6/6。並。 軽。胎物少。シルト質。	口縁部は外反する。口縁部は横溝で。割れ口の消耗あり。	
656-13	須恵器 環か	9-412 覆土 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや軽。白色粒多。他少。	轆轤成形。内・外面に縦目あり。割れ口消耗あり。	粘
656-14	須恵器 211-3 内馬 環	9-412 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。並。ふい焼10YR6/3。 並。やや軽。シルト質。	轆轤成形。器内面に研磨を施す。底部は回転糸切り。割れ口の消耗あり。	粘
656-15	土師器 環	9-413 覆土 底部片	厚・0.5	酸化。硬。他5YR6/6。並。 やや軽。白・褐粒含。他少。	底部は覆削り。内面に無あり。割れ口の消耗微。	

第9区土坑

探跡番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	深目 (cm) 量目 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
656-16	須恵器 坏	9-413 覆土 1/2	口・(12.4) 底・6.0	還元。軟。灰5Y7/1。並。 やや軽。白色粒。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。轆轤目多い。割れ口少し消耗。	粘
656-17	土師器 坏	9-413 覆土 口縁部片	口・(12.6)	酸化。硬。橙5YR6/6。並。 やや重。金雲母含。他少。	口縁部は外傾気味。型作りか。体部に指圧痕。 口縁部・器内面は横撫で。消耗あり。	粘
656-18	教育陶器 始輪 口縁部片	9-414 覆土 厚・0.8		還元。硬。灰7.5Y5/1。粗。軽。 褐粒含。他少。少しシルト質。	外面黒色焼。回転糸痕。内面横撫。割れ口の 消耗大きくあり。	17・18C
656-19	土師器 坏	9-415 覆土 頸部片	厚・0.6	酸化。並。および橙7.5YR6/4。 並。やや軽。鉱物少。	口縁部は外反する。内・外面に横撫で。割れ 口消耗あり。	
656-20	教育陶器 鉢 底部片	9-415-117覆土 厚・1.0		還元。硬。灰7.5Y6/1。並。粗。 黒粒含。他少。	内面に使用消耗大。外面大きく剥落。表面高 台様の跡。体部割損。消耗しあり。	16-18C 東外か
656-21	須恵器 坏	9-416 覆土 口縁部片	口・(12.0)	還元。硬。灰7.5Y6/1。密。重。 白色粒。白鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。口縁部下外面 に重焼色あり。消耗微。	太田か
656-22	須恵器 坏	9-416 覆土 1/5	底・(7.8)	還元。並。黄灰2.5YR6/1。並。 軽。黒粒。鉱物少。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り後周辺を回転覆削。全体に消耗。	
656-23	輪軸陶器 皿 底部片	9-417 覆土 底・(5.0)		還元。締。軸茶褐(鉄輪)。 胎土灰。	外面轆轤右回転覆削目あり。内面輪軸あり。 割れ口消耗大。	灯火皿 18・19C
656-24	須恵器 坏	9-418 覆土 底部片	厚・0.7	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや重。白鉱物含。他少。	内面回転糸痕。底部は回転糸切り。割れ口消 耗少。	粘
656-25	土師器 破片	9-421 覆土 底・(8.4)		酸化。硬。橙2.5YR6/8。並。 やや軽。褐粒含。他含。	口縁部は旧時欠損。底部は覆削り。体部に型 産を残し。口縁部・内面は横撫で。消耗あり。	
656-26	土師器 甕 体部片	9-422 覆土 厚・0.5		酸化。並。明赤褐5YR3/6。並。 やや重。黒褐粒含。他少。	傾き不明。外面に黒削。炭灰少しあり。内面 横あり。割れ口の消耗しあり。	
656-27	須恵器 坏か 口縁部片	9-424 覆土 厚・0.5		還元。硬。灰10Y5/1。並。 白色粒。白鉱物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面回転 痕。割れ口消耗あり。	笠懸か
656-28	須恵器 坏	9-425 覆土 底・(7.1)		還元。硬。灰10Y6/1。並。やや 重。白色粒・白鉱物含。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。外面下方 に蓋削目。割れ口の消耗少。	笠懸か
656-29	須恵器 坏	9-426 覆土 底・(6.1)		還元。並。および黄2.5Y6/3。 並。軽。白色粒少。他微。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口の消耗大。	笠懸か
656-30	輪軸陶器 德利 頸部片	9-429 覆土 頸径・(3.0)		中性。締。輪黄灰。胎土黄灰。	外面に輪軸あり。内面に轆轤による紋目あり。 割れ口消耗少。	18・19C 産不明
657-1	須恵器 坏	9-430 覆土 底部片	底・(7.9)	還元。硬。灰オリブ5Y6/2。 並。やや軽。少しシルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口の消耗少しあり。	粘
657-2	須恵器 内裏 坏	9-432 覆土 1/4	底・(5.8)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。鉱物少。	口縁部欠損。轆轤成形(右回転)。器内面に研 磨を施す。	
657-3	須恵器 坏	9-432 覆土 破片	口・(13.0)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。やや 重。白色粒。灰鉱物含。他少。	外面に不明黒字あり。割れ口消耗。内・外面 の轆轤目立す。	墨書-15d
657-4	土師器土量 皿	9-433 覆土 1/3	底・(5.6)	酸化。並。および橙7.5YR6/4。 並。やや重。褐粒微。鉱物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。口縁 部欠損。内面底の轆轤目立す。	中世
657-5	須恵器 底 破片	9-434 覆土 厚・0.7		還元。硬。黄灰2.5Y6/1。密。 やや重。黒粒含。他少。	内・外面回転糸痕あり。割れ口に紐作痕。割 れ口の消耗少。	市付近か
657-6	土師器 坏	9-437 覆土 口縁部片	厚・0.4	酸化。並。橙2.5YR6/6。並。 やや軽。金雲母含。	口縁部は外傾気味。体部に型覆削目。口縁 部・内面に横撫で。割れ口消耗あり。	
657-7	須恵器 坏	9-438 覆土 底部片	底・(8.7)	還元。軟。黒褐10YR3/1。並。 軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口の消耗あり。	粘
657-8	須恵器 埴 底部片	9-439 覆土 底・(6.5)		還元。軟。灰白5Y7/2。並。 軽。鉱物少。シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。高台付け 高台。底部は回転痕。割れ口消耗あり。	粘
657-9	須恵器 坏	9-441 覆土 底部片	底・(8.0)	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並。 軽。白色粒含。他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は回 転糸切り後轆轤右回転覆削。割れ口消耗あり。	笠懸か
657-10	須恵器 広口甕 坏	9-444 覆土 口・(32.0)		還。硬。オリブ灰2.5GY6/1。 密。重。白・褐粒含。鉱物微。	内・外面に無跡。割れ口に紐作痕。割れ口は 少し消耗。轆轤回転方向不明。	太田か
657-11	須恵器 坏 口縁部片	9-447 覆土 厚・0.3		還元。並。灰白5Y7/2。並。軽。 黒・褐粒含。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。割れ 口に消耗あり。	粘
657-12	須恵器 坏	9-448 覆土 口縁部片	厚・0.5	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。並。 軽。鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。内・外面に回 転糸痕。割れ口の消耗あり。	粘
657-13	須恵器 破片	9-449 覆土 厚・0.7		還元。硬。灰白5Y7/1。並。 やや重。黒・褐粒含。他少。	轆轤成形(右回転)。上半部は轆轤右回転覆削 あり。割れ口の消耗大。	粘・陶
657-14	須恵器 坏	9-452 覆土 底・(7.7)		還元。並。灰黄2.5Y6/2。並。 軽。黒粒・灰鉱物含。シルト質。	口縁部は欠損する。底部は轆轤右回転糸切り 後周辺を回転覆削。消耗少。	笠懸か

第9区土坑

探訪番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
657-15	須恵器 環	9-452 覆土 破片	口・(13.0)	中性。硬。黒褐5YR3/1。並。 やや重。褐粒多。他少。	轆轤成形。内・外面轆轤目あり。底部は回転 痕跡。全体に炭灰あり。割れ口消耗。	粘
657-16	土製品 土鍋	9-452 覆土	重・3.57g	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。磁物少。	手前小口は旧欠。全体に粗。穿孔小円形。割 れ口の消耗あり。	
657-17	土師器 環(平底)	9-455 覆土 破片		酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 磁物少。シルト質。	厚作り。外面磨面。内面粗。割れ口消耗大。 焼成赤味強い。	
657-18	須恵器 環	9-455 覆土	底・(6.0)	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。内・外面に轆 轤目あり。底部は回転未切り。割れ口消耗。	粘
657-19	須恵器 環	9-455 覆土 破片	底・(7.9)	中性。軟。黄褐2.5Y5/3。並。 軽。白色粒含。他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転磨 面。割れ口消耗。	粘
657-20	土製品 土鍋	9-455 覆土	重・1.54g	酸化。硬。にぶい橙7.5YR6/3。 並。やや重。磁物少。	手前小口は旧欠。外面は滑らか。少し煙かか る。穿孔小円形。	
657-21	須恵器 環	9-455 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 重。白・褐粒含。他少。	轆轤成形。内・外面に轆轤目あり。底部は欠 損。割れ口消耗少。	粘
657-22	土師器 環	9-456 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/8。	口縁部は少し外反。底部は寛削り。体部に磨 面。口縁部・内面は横撫で。少し消耗。	
657-23	土師器 環(平底)	9-456 覆土 破片	底・(6.4)	酸化。硬。明赤褐6YR5/6。並。 やや重。白色粒含。他少。	口縁部は欠損する。底部は寛削り。体部に磨 面。割れ口消耗少。	
657-24	軟質陶器 コンロ中置	9-459 覆土	厚・1.0	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 金雲母。褐粒含。他少。	内面は滑らか。上表面磨面あり。割れ 口消耗あり。	20C
657-25	陶器 埴	9-459	厚・0.3	還元。細。釉透明調(灰釉)。 胎土灰。	内面上方・外面に灰釉施。内・外面回転磨 面。割れ口消耗少。	10Cか 東海搬入
657-26	土師器 壺	9-460 覆土 体部片	厚・0.4	酸化。硬。黒褐10YR3/2。並。 軽。磁物少。	外面磨面。煙かか。内面粗。割れ口消耗少。	
657-27	土師器 環	9-461 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。暗赤褐5YR3/2。並。 やや軽。金雲母含。他少。	口縁部は外傾気味。体部に指圧痕。寛削。口 縁部・内面は横撫で。消耗少。	
658-1	須恵器 環か	9-462 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。淡黄2.5Y7/3。並。 軽。磁物少。	内・外面に回転痕跡。外面吸灰斑あり。割れ 口消耗大。	笠懸か 粘
658-2	土師器 壺	9-462 覆土 破片	厚・0.3	酸化。硬。褐灰5YR4/1。並。 やや重。褐粒多。他少。	外面に寛削りあり。外面に寛削り。少し吸灰あ り。内面に寛削。並あり。割れ口消耗少。	
658-3	土師器 壺	9-462 覆土 破片	厚・0.7	酸。硬。にぶい黄褐10YR6/4。 並。やや重。褐粒含。他少。	口縁部は外反。口縁部は横撫でを施す。割れ 口少し消耗。全体に被熱色あり。	
658-4	須恵器 埴	9-462 覆土 底部片	厚・0.7	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。褐粒多。	内・外面に轆轤目。部分的に自然釉かか る。割れ口の消耗あり。	粘
658-5	須恵器 瓶	9-462 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。灰青2.5Y6/2。密。 重。黒・褐粒含。他少。	内・外面に轆轤目。部分的に自然釉かか る。割れ口の消耗あり。	西毛〜埼 玉
658-6	須恵器 環か	9-464 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並。重。 白色粒多。他少。	外面に轆轤目あり。内面滑らか。割れ口消耗 大。	笠懸か
658-7	須恵器 環	9-464 覆土 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	底面は回転未切り後轆轤右回転の磨面。内面 少し使用摩耗。底面に「主」か墨字あり。	笠懸 墨書-155
658-8	土師器 壺	9-464 覆土 体部片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	傾き不明。外面磨面。内面粗。酸化赤味強い。 消耗少。	接合2片 消耗少
658-9	須恵器 瓶	9-464 覆土 破片	厚・0.5	中性。細。灰黄2.5Y7/2。密。 重。白粒物。他少。	外面に自然釉。内面に轆轤目あり。割れ口消 耗あり。	東海搬入
658-10	須恵器 環	9-464 覆土 破片	口・(13.2)	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒多。他少。	口縁部は内湾気味。外面に轆轤目あり。内面 は滑らか。割れ口消耗少。	笠懸か
658-11	須恵器 環	9-465 覆土 破片	底・(8.0)	還元。硬。灰青2.5Y6/2。並。 やや重。白・褐粒入。他少。	口縁部は欠損。底部は回転磨面。内面使用摩 耗。割れ口消耗。	
658-12	須恵器 環	9-467 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。軽。 磁物少。シルト質。	轆轤成形。内面に回転痕跡。内面へざりあり。 全体に被熱色あり。底部回転未切り。	粘 割れ 口消耗大。
658-13	土師器 環	9-468 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 やや軽。白・褐粒含。他少。	口縁部は外反気味。体部に寛削。口縁部・内 面は横撫で。割れ口消耗少。	
658-14	須恵器 埴	9-468 覆土 破片	厚・0.6	酸化。並。暗褐10YR3/3。並。 やや重。褐粒。他少。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。高台付け高台。 全体に吸灰。消耗大。	粘
658-15	陶器 瓶類	9-469 覆土 底部片	厚・0.7	中〜還。細。釉透明調(灰釉)。 胎土淡黄灰。	内・外面に施釉あり。内・外面とも回転系痕 跡あり。割れ口少し消耗。	東海搬入
658-16	土師器 壺	9-469 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含。他少。	「フ」の字状口縁。内・外面は横撫で。割れ 口消耗大。	

第9区土坑

博覧番号 図版番号	種別	出土位置 遺存	寸法 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備考
658-17	須恵器 坏か	9-471 覆土 破片	厚・0.3	中。軟。にぶい黄褐色10YR5/3。 並。やや軽。白・褐粒含。他少。	口縁部の外面に轆轤目。内面に回転糸痕あり。 割れ口の消耗少。	粘
658-18	須恵器 釜	9-476 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。赤褐色5YR4/8。並。 やや重。胎土微。	外面に工具による条痕。内面に回転糸痕。内・ 外とも被熱色変あり。割れ口消耗微。	陶か 産不明
668-19	須恵器 坏	9-477 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 密。やや重。白色粒含。他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口少し消耗。	笠懸か
658-20	土師器 坏	9-477 覆土 破片	口・(12.2)	酸化。硬。褐色5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	口縁部は外傾。体部に厚肌。口縁部・内面は 横撫で。割れ口少し消耗。	
658-21	土師器 台付壺	9-477 覆土 台部分	底・(9.0)	酸化。硬。褐色5Y6/6。並。やや重。 白・褐・黒粒含。他少。	台部の内・外面横撫。台部内面最上端まで撫 で較く。内・外面に被熱色変あり。	
658-22	土師器 須恵	9-479 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。褐色5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	傾き不明。外面磨削。内面撫で。割れ口消耗大。 酸化味強い。	
658-23	須恵器 埴	9-482 覆土 底部分	底・(7.2)	還元。硬。にぶい黄2.5Y6/3。 並。やや重。胎土少。	内面に回転糸痕。轆轤成形。底部は高台台付後 撫。割れ口消耗大。	笠懸・太 田
658-24	須恵器 坏	9-483 覆土 底部分	厚・0.4	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 密。やや重。白胎物多。	口縁部は旧欠損する。轆轤成形。底部は回転 糸切り。割れ口少し消耗。	太田
658-25	陶器 植木鉢か	9-484 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。赤褐色(鉄胎)。密。 重。胎土微。	外面に鉄胎。回転糸痕あり。内面回転糸痕あり。 割れ口少し消耗。	20C 産不明
658-26	須恵器 坏	9-485 覆土 破片	口・(13.6)	還元。硬。灰5Y1/4。密。重。 白色粒微。他胎物微。	内・外面に自然釉およぶ。胎土は酸化気味で 外面僅かから。	東海
658-27	須恵器 坏蓋	9-485 覆土 坏蓋	口・(17.5)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。 黒粒多。白色粒微。他胎物少。	轆轤成形。回転方向不明瞭。上半部は回転寛 面あり。高台部を除去白胎物。	粘
658-28 211-4	土師器 内周 坏	9-486 №1 一部欠損	口・12.0 高・3.8	酸化。硬。褐色5YR6/8。密。重。 胎土微。	器内面に硝文内周を施す。器外面に厚削り横 撫でを獲す。底面中央砂付残。	
659-1 211-5	土師器 土蓋	9-487 №1 3/4	口・10.2 底・5.3	酸化。硬。にぶい黄7.5YR6/4。 並。白色粒・胎土微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に轆轤目あり。	粘
659-2 211-6	磁器 鉢	9-488 覆土 3/4	口・7.2 高・6.2	還元。輝。棕色絵上給青・暗青 淡緑・黄・白・黒粒。胎土少。	外面に菊花紋文。志黄・花卉青・紫濃青と奥 側赤。高台部を除去白胎物。	[鳴海製 陶]
659-3	軟質陶器 植木鉢	9-488 覆土 破片	厚・0.8	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/8。 並。重。白・褐粒含。他少。	型押しか外面にちぢれぬの土あり。内面にも あり。焼調に近い焼成。土は紫質。	20C
659-4	軟質陶器 植木鉢	9-488 口縁部分	口・(15.0)	酸化。硬。明赤褐色2.5YR5/8。 並。重。金雲母含。他微。	内・外面に回転糸痕あり。型目。不明瞭。端 部しっかりしている。割れ口消耗微。	接合2片 部
659-5	軟質陶器 植木鉢	9-488 口縁部分	口・(14.4)	酸化。硬。褐色5YR6/8。並。 やや重。白・褐粒含。他含。	内・外面に回転糸痕あり。外面に型目見え ず。端部しっかりしている。割れ口消耗微。	接合3片 部
659-6	須恵器 坏か	9-490 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。重。白色粒含。他少。	口縁部は外傾。轆轤成形。外面に轆轤目。重 撫き痕あり。割れ口消耗少。	笠懸か
659-7	須恵器 坏	9-490 覆土 底部分	厚・0.7	還元。硬。灰5Y5/1。並。 やや重。白・黒粒含。他少。	口縁部は旧欠損する。轆轤目内面にあり。底 部は回転糸切り。割れ口消耗少。	粘・陶
659-8	土師器 壺	9-493 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい黄7.5YR5/4。 並。軽。白色粒含。他少。	口縁部の内・外面に横撫あり。割れ口の消耗 少。	
659-9	須恵器 坏か	9-494 覆土 破片	厚・0.6	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。白色粒含。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目 あり。割れ口少し消耗。	笠懸か
659-10	須恵器 土師	9-501 覆土 1/4	口・(11.4)	酸化。硬。灰7.5Y4/1。並。 やや重。白色粒。灰灰胎物含。	口縁部は外傾する。轆轤成形。高台は欠損す る。(付け高台)。内・外面黒色焼。	接合2片 粘
659-11	土師器 土蓋	9-504 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。褐色5YR6/8。並。 やや重。白色粒含。他少。	轆轤成形(左回転)。赤褐色味強い。割れ口消 耗。	
659-12	土師器 壺	9-509 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい黄褐色10YR5/4。 並。やや重。褐粒含。他含。	外面磨削。被熱色変。内面撫で。少し横 撫あり。割れ口消耗少。	接合5片 あり
659-13	土師器 壺	9-509 覆土 破片	厚・0.4	酸化。硬。明赤褐色5YR5/8。並。 やや重。白・褐粒含。他含。	外面に厚削り。内面に撫。厚削り。被熱色変。割 れ口消耗少。	
659-14	土師器 壺	9-510 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。明赤褐色5YR5/8。並。 やや重。胎土少。	内・外面横撫あり。割れ口の消耗少。酸化味 強い。	
659-15	須恵器 土師	9-511 覆土 底部分	底・(10.0)	還元。並。灰7.5Y5/1。密。 やや重。胎土微。	口縁部は欠損。轆轤成形(右回転)。付け高台。 底部は回転糸痕。内面重焼色変。	
659-16	土師器 坏	9-515 覆土 破片	厚・0.6	酸化。硬。褐色5YR6/6。並。 やや軽。褐粒含。他多。	外面磨削あり。内面ハゼと消耗で消耗見え ず。割れ口消耗。	
659-17	須恵器 坏	9-517 覆土 破片	底・(7.1)	還元。並。灰5Y8/1。並。やや 重。白色粒。灰胎物含。他少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内面 に「勝」の墨字あり。割れ口厚肌。	太田か 墨書-166

第9区土坑

探区番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	径目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	備 考
659-18	須恵器 環	9-521 覆土 1/3	口・(12.4) 底・6.7	還元。並。灰白5Y7/2。並。 白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転無整形。	接合2片 笠懸か
660-1 211-7	須恵器 環	6-514 覆土 1/4	口・10.8 底・5.0	酸化。硬。灰黄橙10YR6/2。 並。やや重。白・褐粒・鉱物多。	口縁部は外傾。轆轤成形(右回転)。底部は回 転糸切り。少し傾かかる。作調粗雑。	接合3片 粘・陶
660-2	土師器 壺	9-514 覆土 底部片	底・(4.8)	酸化。硬。灰黄帯10Y4/2。並。 軽。白・褐粒含。他少。	外面に寛削りと吸成あり。内面に寛撫で。底 面に砂付着。	
660-3	土師器 口縁部片	9-514 覆土 口縁部片	口・(16.0)	酸化。硬。にぶい黄橙10Y5/3。 並。やや重。角稜鉱物多。	口縁部は外傾する。外面は寛撫。内面は寛撫。 口縁部は横撫でを施す。欠損後被熱あり。	粘・陶
660-4	土師器 壺	9-514 覆土 口縁部片	口・(18.0)	酸。硬。にぶい黄橙10YR6/4。 並。やや軽。褐粒含。他少。	口縁部は外反する。器外面は寛削り、黄内面 は寛撫で、口縁部は横撫で、外面被熱色変。	接合3片
660-5	土師器 壺	9-514 口 口~胴部	口・(20.2)	酸化。硬。明赤黄5Y5/6。並。 金雲母含。白・褐粒少。	口縁部は外傾する。外面は撫整形。内面は寛 撫でと撫。口縁部は横撫で。	接合2片 粘
660-6	土師器 壺	9-514 覆土 口縁部片	口・(20.2)	酸化。並。橙5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含。シルト質。	体部外面に縦作痕と粘土跡見える。外面は寛 削り、内面は寛撫で。口縁部は横撫で。	接合3片 粘
660-7 211-9	須恵器 環	9-522 覆土 3/4	口・12.0 底・5.4	還元。並。灰白5Y7/1。粗。軽。 鉱物なし。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部外面に横撫多。	接合7片 粘
660-8 211-10	須恵器 環	9-522 覆土 2/3	口・12.4 高・4.6	還元。軟。灰白5Y7/2。粗。軽。 黒粒含。鉱物少し摩粒。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。外面 轆轤目多い。底面少し摩粒。	接合8片 粘
660-9 211-11	須恵器 環	9-522 覆土 1/3	口・(12.8) 底・5.5	酸。並。にぶい黄橙10YR6/4。 密。重。鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。体部轆轤目多い。	接合2片 粘
660-10 211-12	土師質 埴	9-522 覆土 一部欠損	口・14.2 底・7.15	酸化。並。浅黄橙10YR8/4。 粗。軽。鉱物微。	口縁部は外傾する。寛削り整形。付け高台。 底部に回転無整形。内面ハゼ多。	接合4片 粘
660-11	土師器 壺	9-522 覆土 破片	口・(18.0)	酸化。硬。暗赤黄2.5Y5/2。粗。 軽。白色粒含。鉱物多。	外面は寛削り寛撫。内面はハゼ多。接合部 あり。口縁部は横撫でを施す。	
660-12	土師器 口縁部片	9-522 覆土 口縁部片	口・(12.4)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒含。他微。	口縁部は外反する。型作りか。器外面は寛削り、 器内面は撫でとハゼ。口縁部は横撫でを施す。	接合2片 粘
660-13	土師器 壺	9-522 覆土 破片	最大・(21.8)	酸化。硬。明赤黄5Y5/6。	胴部片。器厚は薄い。外面は斜。縦位方向の 寛削り。内面にハゼと接合面。	接合3片 粘
661-1	土師器 破片	9-523 覆土 破片	口・(11.6)	酸化。硬。明赤黄5Y5/6。並。 やや重。白・褐粒少。他微。	口縁部は外傾気味。型作りか。体部に撫で。 口縁部・器内面は横撫で整形。	
661-2	須恵器 環	9-525 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。オリーブ灰2.5GY5/1。 並。やや軽。白色粒・白鉱物少。	口縁部の内・外面回転痕。轆轤成形。割れ口 消耗あり。	粘
661-3	土師器 壺	9-526 覆土 破片	口・(18.0)	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並。軽。 白・褐粒少。他鉱物少。	「コ」の字状口縁。型作りか。器外面は寛削り、 器内面寛撫で、口縁部は横撫でを施す。	
661-4 211-13	須恵器 環	9-526 覆土 底部片	底・6.2	酸化。並。橙5YR6/6。密。重。 鉱物微。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。外面轆轤目多い。	接合2片 笠・太田
661-5	土製品 土鏝	9-523 重	重・8.60g	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並。 やや軽。白鉱物他含。	外面滑らか。横はほとんどなし。欠損は旧時。 穿孔小円形。	
661-6	輪軸 形象	9-526 覆土 体部片	厚・1.7	酸化。硬。明赤黄5YR5/8。並。 やや重。金雲母。他多。	外面に隆帯。刷毛目。内面刷毛目。撫。繕作 痕。種は馬・人物など多。割れ口の消耗少。	
662-1	土師器 高杯	9-527 覆土 破片	厚・0.7	酸化。硬。明赤黄6YR5/8。並。 やや重。白・褐粒。他多。	外面に撫あり。内面に撫。ハゼあり。割れ口 消耗大。酸化の赤褐味強い。	
662-2	須恵器 環	9-527 覆土 底部片	底・(7.5)	中性。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 粗。軽。粗粒多。白粒含。他少。	底面は轆轤右回転の寛削り。内面内消耗あり、使 用時不明。割れ口消耗。	粘 10C後半
662-3	土師器 環	9-532 覆土 破片	口・(11.2)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。 鉱物含。	口縁部は内湾気味。型作り。底部は寛削り、 体部に整形。口縁部・器内面は横撫で整形。	
662-4	須恵器 環	9-532 覆土 破片	底・(6.8)	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 白色粒多。黒粒微。他微。	口縁部は欠損。轆轤成形。高台付け高台。底 部は回転糸切り。	笠懸か
662-5	須恵器 環	9-532 覆土 破片	底・(8.0)	酸化。並。にぶい黄橙10Y6/4。 並。重。黒粒微。他微。	轆轤成形。内面に密な研磨があるものの黒色 化なし。外面の轆轤目数多い。	
662-6	須恵器 環	9-532 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白10YR7/1。密。 土質微。	内面轆轤目。外面轆轤右回転の寛削り。破片中 中央にブクあり。撫みは旧欠。	東海輸入
662-7	須恵器 環	9-534 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並。やや重。白色粒含。他少。	口縁部下の内・外面に轆轤目あり。割れ口消 耗あり。	粘
662-8	須恵器 環	9-537 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰オリーブ7.5Y5/2。 並。やや重。白色粒含。他少。	外面に轆轤目あり。内面滑らか。割れ口の消 耗少ない。	粘
662-9	須恵器 皿か	9-541 覆土 破片	底・(7.8)	還元。軟。灰白5Y7/2。並。 やや軽。白色粒含。他少。	轆轤成形。外面に轆轤目あり。割れ口の消耗 大。	粘

第9区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
662-10	須志器 環	9-541 覆土 1/4	底・(8.0)	中性。軟。浅黄2.5Y7/4。並。 やや軽。白・黒粒含。鉱物少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後その周辺を回転調整。	粘
662-11	土師器 環	9-541 覆土 破片	厚・0.3	酸化。並。ふい粉7.5YR5/3。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	外面は寛削り、器内面は撫で、外面に保存層 剥れ口消耗少。	
662-12	須志器 環	9-542 №4 完形	口・12.5 底・5.0	還元。並。淡黄2.5Y8/3。密。 やや重。透明灰鉱物含。他少。	口縁部は外傾する。底部は轆轤右回転糸切り。体 部外面に「百」墨字あり。	接合4片 墨書-157
662-13	須志器 環	9-542 №2 一部欠損	口・12.7 底・5.3	還元。並。橙7.5YR6/6。密。 重。白色粒微。透明鉱物含。	口縁部は外傾する。底部は回転糸切り。体部 外面に「百」墨字あり。	陶・産不明 墨書-158
662-14	須志器 環	9-542 №5 完形	口・13.0 底・5.0	還元。並。浅黄2.5Y7/3。粗。 軽。白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。	接合4片 粘
662-15	須志器 環	9-542 №1 3/4	口・12.8 底・5.5	還元。並。灰白10Y7/1。粗。 軽。白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内・外面口縁部に塗層付着。	接合3片 粘
662-16	須志器 環	9-542 №3 ほぼ完形	口・14.4 底・7.6	還元。並。灰白5Y8/1。密。 やや重。白色粒。白鉱物多。	転用磁で外面底を利用。墨灰。口縁は歪大で、 当初から不良品あり。口縁部り合直しが消耗。	粘・陶
663-1	須志器 環か	9-548 覆土 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白色粒含。他少。	外面に轆轤目あり。割れ口の消耗少。形は8 →9 C前半の環か。	笠型か
663-2	石磨 スタンプ	9-548 覆土 完形	黒色頁岩 重・80	長・7.1。幅・5.2。厚・1.9	周辺加工後刃部整形を行う。方面に磨面を残す。	
663-3	須志器 環	9-550 覆土 破片	厚・0.3	還元。硬。灰黄褐10YR6/2。 並。やや重。白色粒含。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口消耗少。	笠型か
663-4	土師器 環(平底)	9-551 覆土 破片	口・(11.6) 底・(7.2)	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。 白色粒微。鉱物微。シルト質。	内面に放射状研削。型作り。底部は塗層あり、 体部に型溝。口縁部。器内面は轆轤。	
663-5	須志器 環	9-551 覆土 1/4	口・(12.2) 底・(7.5)	還元。硬。灰 N5/0。密。重。 白色粒含。他鉱物少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。歪む。内面使用摩耗。	太田か
663-6	須志器 環	9-551 №2 1/2	口・(12.35) 底・(7.2)	還元。硬。灰 N4/0。密。重。 白色粒・鉱物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り後回転調整形。	接合3片 笠・太田
663-7	土師器 環	9-551 覆土 1/2	口・8.8 底・5.35	酸化。硬。ふい粉5Y4/4。並。 軽。鉱物微。シルト質。	口縁部は内湾気味。底部は寛削り、体部に圧 縮。口縁部。器内面は模造整形。	粘・シルト 質
663-8	須志器 環	9-551 覆土 底部片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。密。重。 白鉱物含。他少。	口縁部は欠損。底部は轆轤右回転糸切り後周辺 を回転調整。内面使用摩耗。割れ口少し消耗。	太田
663-9	須志器 環	9-551 №4 1/4	口・(12.8) 底・(7.4)	還元。硬。灰白5Y7/1。並。 白・黒粒含。他鉱物少。	口縁部は外傾する。底部は轆轤右回転糸切り。 体部外面に不明墨字。内面底摩耗あり。	粘 墨書-159
663-10	須志器 環	9-551 №1 3/4	口・13.4 底・9.0	還元。硬。明オリブ灰2.5GY 7/1。粗。鉱物微。	口縁部に沈線一条。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転糸切り後調整形。	粘
664-1	須志器 環	9-552 覆土 底部片	底・(7.2)	還元。硬。黄灰2.5Y5/1。並。 やや重。鉱物微。	轆轤成形。底部は回転糸切り後周辺磨面。さら に「主」墨字あり。僅少あり。	笠型か 墨書-160
664-2	須志器 環	9-552 №1 1/4	底・(9.6)	中性。並。灰オリブ5Y6/2。 密。重。黒粒含。他少。	口縁部は欠損する。轆轤成形(右回転)。高台 付け高台。底部は回転調整形。	粘・陶 器外か
664-3	須志器 環	9-553 覆土 破片	厚・0.5	中。軟。ふい粉10YR6/3。並。 軽。白・褐粒微。他微。	外面に轆轤目、下に蒸熱痕あり。割れ口消耗大。 成形(右回転)。底部欠損のため切離技法不詳。	粘
664-4	須志器 蓋か	9-554 覆土 体部片	厚・1.0	酸化。並。 密。やや重。白・灰鉱物。他含。	外面に寛削り無整形あり。型作後轆轤成形か。 内面燻。外面も少し褐色。	陶・太田 ・笠型か
664-5	須志器 環	9-554 覆土 破片	厚・0.7	還元。軟。灰2.5Y7/1。粗。軽。 白色粒・鉱物少。シルト質。	轆轤成形。高台付け高台。底部は回転糸切り。 後高台周辺は無。消耗大。	粘
664-6	須志器 環	9-555 覆土 破片	厚・0.2	還元。硬。灰5Y5/1。密。やや重。 白色粒含。他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。外面に轆轤目。 割れ口消耗少。	太田か
664-7	土師器 環	9-557 覆土 破片	厚・0.2	酸化。並。ふい粉5YR5/3。 並。軽。白色粒多。他少。	型作り。器外面は寛削り、器内面は撫で、割 れ口消耗少。	
664-8	須志器 環	9-559 覆土 底1/4	底・(4.0)	還元。硬。灰 N5/0。密。重。	口縁部は旧欠損する。轆轤成形。底部は回転 糸切り後周辺は回転調整。割れ口消耗少。	太田か

第10区土坑

探出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
664-9	須志器 環	10-3 覆土 破片	厚・0.9	還元。硬。灰10Y4/1。密。 やや重。白鉱物多。他微。	傾き不明。外面に平行円あり。内面に素文の 当て目あり。割れ口消耗大。	太田
664-10	須志器 環	10-12-44 覆土 底部片	底・(5.9)	酸化。並。橙5YR6/6。並。 やや重。白・褐粒含。他少。	轆轤成形(右回転)。器内面に研削を施す。 底部は回転糸切り。外面底磨面調整。	

第10区土坑

神国番号 因幡番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 最目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
664-11	須恵器 羽釜か	10-13 覆土 破片	厚・1.0	酸化。硬。明褐色5Y5/6。並。軽。白・褐粒含、他含。	器形不明瞭。傾き不明。外面に漣らしき痕跡。割れ口消耗。	粘
664-12 211-24	土師土器 坏	10-18 覆土 底部片	底・(5.0)	酸化。硬。橙5YR5/8。並。やや軽。白・褐粒含、鉱物少。	轆轤成形。底部縦線状圧痕。内面に焼成後の旧時穿孔あり。底一舟底付存。	接合2片 中世
664-13	土師土器	10-23 №1	口・10.6	中性。並。灰白2.5Y8/2。粗。軽。鉱物なしシルト質。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。内面に一方の轆であり。色の黄灰色は特徴的。	14C 粘
664-14	軟質陶器 埴輪か	10-24 覆土 破片	厚・0.9	酸化。硬。黒褐10Y3/2。並。軽。白・黒粒含、他少。	内・外面に回転糸痕。焼成芯黒。外面少し吸灰し5層気味。割れ口消耗大。	
664-15 211-26	土師土器 皿	10-25 覆土 底部片	底・4.5	酸化。硬。および橙7.5YR7/4。白・褐粒。シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。黄斑あり。内面一方の轆。	中世
664-16	軟質陶器 埴輪か	10-37 覆土 底部片	厚・1.1	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。白・黒粒含、他含。	器種不明瞭。外面滑らか。底面黄斑あり。割れ口消耗。焼成芯黒で3層気味。	近世か
664-17 211-27	土師土器 皿	10-40 覆土 2/3	口・(12.0) 底・(6.0)	酸化。硬。橙2.5YR6/6。並。やや軽。白・褐粒。他鉱物多。	轆轤成形。底部は回転糸切り。外面黄斑。内面縦線目。全体に赤味強い。	接合12片 15C
664-18	軟質陶器 埴輪か	10-45 覆土 口縁部片	厚・0.8	還元。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。軽。黒粒多、白色粒含、他含。	内・外面横線。内・外面溝あり。口縁部尖る。割れ口少し消耗。	17~19C 小泉焼か
664-19	軟質陶器 埴輪か	10-45 覆土 破片	厚・0.9	中性。硬。および黄2.5Y6/3。並。軽。黒鉱物多、他含。	底面に彫像様の割れあり。内面消耗あり。使用時か。割れ口少し消耗。	
664-20	土師土器 破片	10-48 覆土 破片	厚・0.7	酸化。並。橙7.5Y6/6。並。軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口の消耗大。	15~18C か
664-21 211-28	土師土器 破片	10-48 覆土 破片	底・(5.0)	酸化。並。橙5YR6/8。粗。軽。黄雲母・白色粒含、他少。	轆轤左回転。底部回転糸切り。内面底一方の指痕。底が板状圧痕。器面汚染。	中世
664-22	軟質陶器 内耳瓶の 破片	10-49 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。黒褐10Y3/2。粗。軽。黒・白・灰黒物含、他含。	内面の割れ割がれハズレ状。外面横線。外面吸灰あり。蒸熱窯か。割れ口少し消耗。	15~18C
664-23 211-29	土師土器 皿	10-49 覆土 底部片	底・(5.6)	酸化。硬。および橙5YR7/4。並。軽。白・褐粒含、鉱物少。	轆轤成形。底部は回転糸切りの失敗痕あり。割れ口少し消耗。	中世
665-1	土師器 壺	10-51 覆土 破片	厚・0.2	酸化。硬。明赤褐5Y5/6。並。軽。褐粒含、他少。	傾き不明。外面ササラ状の窪みあり。内面溝あり。割れ口少し消耗。	
665-2	軟質陶器 破片	10-53 覆土 破片	厚・1.2	酸化。硬。黒10Y2/1。並。軽。白・黒粒物、他含。	傾き不明。器種不明。外面に底付存。割れ口消耗少。	
665-3	土師土器 皿	10-55 覆土 口縁部片	口・(10.4)	酸化。軟。および黄橙10Y7/4。粗。軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。体部外面に轆轤回転糸痕あり。割れ口の消耗大。	中世か
665-4	軟質陶器 埴輪か	10-58 覆土 破片	厚・1.0	酸~還元。硬。黒褐2.5Y3/1。粗。軽。黒粒物多、他含。	外面に鉄線による光沢面。僅あり。内面に横線あり。割れ口少し消耗。	
665-5	軟質陶器 内耳瓶 破片	10-58 覆土 破片	厚・0.9	酸~還元。並。黒褐10YR3/2。並。軽。白・褐粒含、鉱物少。	外面上方横線。その下方に石目状の彫溝あり。さらに煤様の横。内面は横線。	
665-6	軟質陶器 鉢	10-64 覆土 破片	厚・1.0	酸化。硬。および褐7.5Y6/3。並。軽。白・褐粒、黒粒物含。	内面に6条の卸目。使用摩耗痕。外面指痕か。底面不明瞭あり。焼成5層気味。消耗少。	16・17C
665-7	土師土器 破片	10-66 覆土 破片	厚・0.7	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面に回転糸痕あり。割れ口消耗少。	15・16C か
665-8	軟質陶器 口縁部片	10-69 覆土 破片	厚・0.7	還元。硬。黒褐10Y3/1。並。軽。白色粒、黒粒物含。	内・外面横線。外面ハズレ部底付存。内面小ハズレあり。消耗大。焼成芯黒。外面横の5層。	15~17C
665-9	軟質陶器 内耳瓶 破片	10-71 覆土 破片	口・(32.0)	還~中。硬。および黄橙10YR7/2。並。軽。黒粒含、他鉱物少。	内・外面に回転糸痕。口縁部内面に使用摩耗痕。外面に底付存。焼成芯黒。外面横5層。	粘
665-10	土師器 不明	10-75 覆土 破片	厚・0.9	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。白・黒粒多、他少。	内・外面斜多。割れ口も消耗し。明確な彫像の突起あり。高坪か。	
665-11	土師土器 皿	10-78 覆土 口縁部片	厚・0.5	酸化。硬。および黄橙10Y7/3。並。軽。褐粒、黒粒物含。	轆轤成形。内・外面の消耗大。焼成少し黄斑か。気味の個所あり。	15・16C か
665-12	陶器 埴輪	10-79 覆土 底部片	底・(5.4)	中。粘。釉透明調。暗茶(鉄粒)。土は黄灰。	外面に鉄線。内・外面透明調釉あり。欠部下方は、黄灰になるらしい。割れ口消耗。	18・19C 京焼系
665-13 211-30	鉄胎陶器 破片	10-79 覆土 破片	底・(10.0)	中性。緑。輪暗褐色(胎~鉄胎)。	外面に部分的に鉄胎あり。内面縦線目あり。外面回転糸痕目あり。高台剛出しか。	18Cか 美濃
665-14	軟質陶器 埴輪	10-79 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。暗灰黄2.5Y5/2。粗。軽。白色粒含、他含。	内面横であり。外面彫像様の割れあり。内面底が熱成あり。	18・19C
665-15	軟質陶器 不明	10-79 覆土 底部片	厚・0.8	還~中。硬。灰黄褐10YR5/2。粗。軽。白・褐粒含、他少。	底面に石目状の彫溝あり。内面に割み状の圧痕らしき特徴。焼成芯黒で3層気味。	
665-16 211-31	軟質陶器 埴内耳	10-84 覆土 破片	底・20.6	酸化。硬。および橙7.5YR6/4。粗。黒粒多。	底部外面に指圧痕。紐作痕。内面回転糸痕。底面原膚状痕跡。底面は粘土板か。焼成3層。	

第10区土坑

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
665-17	土師質土器 皿 口縁部片	10-87 覆土 口縁部片	□・(10.0)	酸化。焼。橙7.5Y6/6。並。粗。 白色粒、黒炭物含。	轆轤成形(左回転)。内・外面に回転痕あり。 割れ口少消費。	17~19C か
665-18	土師質土器 皿小形 口縁部片	10-96 覆土 口縁部片	□・(9.4)	酸化。並。にぶい橙7.5Y7/4。 粗。軽。白・褐粒含、他。少。	小形。轆轤成形(左回転)。内・外面に回転痕。 割れ口消耗あり。	15・16C か

第11区土坑

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
665-19	須恵器 環 口縁部片	11-1 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。軟。灰5Y6/1。並。やや粗。 白色粒多、他。微。	内・外面轆轤目立。割れ口少消費あり。 形状から9C中〜後半頃の製作を思わせる。	粘
665-20	須恵器 環 口縁部片	11-2 覆土 口縁部片	厚・0.3	還元。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並。軽。白色粒多、他。微。	内・外面に轆轤目あり。割れ口消耗あり。形 状から9C中頃の製作を思わせる。	粘
665-21	石磨 礮石	11-2 覆土 1/2	重・570	残存長・6.7。幅・13.1。 厚・5.0	鎌刃の扁平面を利用する。小口側に敲打痕を 残す。	

ピット出土遺物

探出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
666-1	縄文土器 深鉢 破片	1-1P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 砂粒・粗粒砂・白色胎物	文様の施文は認められない。	接・2点
666-2	縄文土器 深鉢 破片	1-22P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄2.5YR6/3 砂粒・白色胎物	文様の施文は認められない。	接・無し
666-3	縄文土器 内盤 完存	1-23P 覆土内 完存	長・2.5 幅・2.2	酸化・並。暗赤褐5YR3/3 砂粒・白色粒子・白色胎物	深鉢の胴部片を転用する。文様は隆帯の一部 が残存する。	接・無し
666-4	縄文土器 深鉢 破片	1-29P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 細砂粒・夾雑物少	縁杉状に浅い条線を施し、2乃至3を1単位 とする半縁竹管による平行肋付文を施す。	接・無し 389と同一
666-5	縄文土器 深鉢 破片	1-47P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒	縁杉状に半縁竹管により波線を施し、蓋文間 に横位の半縁竹管による平行条線を施す。	接・無し
666-6	縄文土器 深鉢 破片	1-48P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 砂粒・白色胎物	文様の施文は認められない。	接・無し
666-7	縄文土器 深鉢 破片	1-49P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。暗黄灰2.5Y5/2 金雲母・白色胎物	口縁部破内湾しキャリパー状口縁を呈する。	接・無し
666-8	縄文土器 深鉢 破片	1-49P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・黒色胎物粒	文様の施文は認められない。	接・無し
666-9	縄文土器 深鉢 破片	1-50P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐5YR5/8 金雲母・白色胎物	無筋I原体を斜位施文する。	接・無し
666-10	縄文土器 深鉢 破片	1-69P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 砂粒・細塵	RI 原体を縦位施文する。	接・無し
666-11	縄文土器 深鉢 破片	1-91P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 角粒粗粒砂・砂粒	平行の押引文を弧状に施文する。	接・無し
666-12	縄文土器 深鉢 破片	1-92P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-13	縄文土器 深鉢 破片	1-52P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-14	縄文土器 深鉢 破片	2-8P 覆土内 破片	厚・0.4	酸化・並。黒2.5Y2/1 砂粒・夾雑物少	口縁部は強く内湾し、複合口縁状に強い稜を 有する。口唇部直下に刺突文を施す。	接・無し
666-15	縄文土器 深鉢 破片	2-10P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 細砂粒	RI 原体を横位施文する。	接・無し
666-16	縄文土器 深鉢 破片	2-19P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/8 含繊維・白色胎物	器面の風化顯著。無筋R(?) 原体によるか。	接・無し
666-17	縄文土器 深鉢 破片	2-24P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗粒砂・白色胎物	RI 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
666-18	縄文土器 深鉢 破片	2-77P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂・細塵	横位に隆帯を施文する。	接・無し
666-19	縄文土器 深鉢 破片	2-90P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR6/4 細砂粒	RI 原体を縦位施文する。	接・無し
666-20	石磨 礮石	2-102P 覆土内 完存	砂岩 重・310	長・12.0。幅・5.1。厚・4.3 砂岩	鎌刃の扁平面を利用する。	

採掘番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼割・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
666-22	石磨 磨石	2-102P 覆土内 完存	海蛤層灰岩 重・320	長・11.2、幅・5.3、厚・3.7 溶結凝灰岩	鎌面の扁平面を利用する。	
666-23	石磨 砥石	2-102P 覆土内	砥沢石 90g	遺存長・7.9、幅・4.0 厚・3.2	大半を欠損する。手持紙。	
666-24	石磨か 小円盤	2-115P 覆土内	チャート	長径1.67、短径・1.5	自然石か、磨石石か。	
666-25	縄文土器 深鉢	2-296P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。黄緑10YR8/6 砂粒・赤褐色粒子	RL 原体を縦軸施文する。懸垂文を垂下させる。	接・無し
666-26	土師質土器 深鉢	3-76ビット	口・(11.0)	酸化。硬。浅黄緑7.5YR8/4。 並。やや重。白・褐粒、他含。	縦軸成形(左回転)。底部は回転糸切り板状厚紙。内面使用摩耗。割れ口消耗。	16・17C
666-27	縄文土器 深鉢	4-10P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。黒緑7.5YR3/2 角粒粗粒砂	横門隆帯を施す。	接・無し
666-28	縄文土器 深鉢	4-27P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。黒緑7.5YR7/4 含繊維・雲母石英片岩	無筋R原体を横軸施文する。	接・無し
666-29	縄文土器 深鉢	4-32P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/3 角粒粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
666-30	縄文土器 深鉢	4-33P 覆土内 破片	厚・1.4	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
666-31	縄文土器 深鉢	4-35P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 含繊維・角粒粗粒砂	羽状縄文を施文し、連続爪形文を2段に施文する。	接・無し
667-1	縄文土器 深鉢	4-76P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄緑10YR6/4 粗粒砂・赤褐色粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
667-2	縄文土器 深鉢	4-153P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄緑10YR7/4 シルト質・微砂粒	文様の施文は認められない。	接・無し
667-3	縄文土器 深鉢	4-225P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。10YR7/3 含繊維・砂粒	無筋R原体を横軸施文する。	接・無し
667-4	石磨 スタンパー	4-257P 覆土内 完存	砂岩 重・4.27	長・2.5、幅・2.4、厚・0.8 砂岩	割片を不整形に刃部加工する。加工はピエスに類似するがピエス石磨と異なる。	
667-5	縄文土器 深鉢	4-257P 覆土内 破片	厚・0.7+α	酸化・並。灰白2.5Y8/1 角粒粗粒砂・粗粒砂	器面の風化顯著。原体施文が有るも原体不詳。	接・無し
667-6	縄文土器 深鉢	4-291P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄緑10YR7/4 砂粒・赤褐色粒子	0段3条の多条RL縄文を縦軸施文する。	接・無し
667-7	縄文土器 深鉢	4-292P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。暗灰黄2.5Y4/2 砂粒多	LR 原体を縦軸施文する。	接・無し
667-8	縄文土器 深鉢	4-293P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 砂粒・赤褐色粒子	LR 原体を縦軸施文する。	接・無し
667-9	縄文土器 深鉢	4-294P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄緑10YR4/3 金雲母・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
667-10	縄文土器 深鉢	4-295P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐色7.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	口縁部は外反し口唇部は平坦。付加条第2種RL+2R原体を横軸施文施文する。	接・無し
667-11	縄文土器 深鉢	4-295P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。暗7.5YR4/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	羽状縄文を施文する。	接・無し
667-12	縄文土器 深鉢	4-297P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。赤褐色5YR4/8 粗粒砂多	縄文原体を施文するが原体は不詳。	接・無し
667-13	土師質 勾玉か	4-370P 覆土内 破片	遺存長3.5 厚・1.3	酸化・並。淡黄2.5Y8/3 粗粒砂	頸部を欠損する。頸部に「T」字状の方向に穿孔を施す。	接・無し
667-14	縄文土器 深鉢	4-370P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 金雲母・白色鉱物	文様の施文は認められない。	接・無し
667-15	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 細粒白色鉱物少	半截竹管による横位隆帯と縦位隆帯を施し、区画内に連続爪形文を施す。	接・無し
667-16	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄緑10YR7/4 金雲母・白色鉱物	境面に懸垂Lを斜位に施文し、片流れの隆帯を施し、波状沈線文を施す。	接・無し
667-17	縄文土器 深鉢	4-381P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄緑10YR7/4 金雲母・白色鉱物	構内区画部隆帯を配置し、縄文原体・沈線文により加飾を施す。原体は不詳。	接・無し
667-18	縄文土器 深鉢	4-383P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。黒10YR2/1 含繊維・砂粒	多条原体による羽状施文。	接・無し
667-19	縄文土器 深鉢	4-387P 覆土内 破片	厚・(14.2) 厚・0.8	酸化・並。鈍黄緑10YR7/4 細砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し

押図番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
667-21	縄文土器 深鉢	4-467P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。焼5YR6/8 細砂粒	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
667-22	縄文土器 深鉢	4-541P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。焼7.5YR6/6 白色胎物少・砂粒少	口縁部は短く外反し口唇部は平坦。横位施文帯を介し半股竹管の区画文・山形押引文を施文。	接・無し
667-23	縄文土器 深鉢	4-520P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。焼10YR4/4 含繊維・白色微粒・細白色胎物	羽状縄文を施文する。	接・無し
667-24	土製品 円盤	4-532P 覆土内 破片	長・2.7 幅・4.0	酸化・並。焼5YR6/8 砂粒	深鉢の胴部下平部の破片を転用する。文様はRL 原体を縦位施文。	接・無し
667-25	縄文土器 深鉢	4-533P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。焼5YR6/6 砂粒	RL 原体を縦位施文する。	接・無し
667-26	縄文土器 深鉢	4-534P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 細砂粒多	縦位の帯条縄文を施す。原体は RL。	接・無し
667-27	縄文土器 深鉢	4-535P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
667-28	縄文土器 深鉢	4-536P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。焼7.5YR6/8 粗粒砂	文様の施文は認められない。	接・無し
668-1	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 細粒・粗粒砂	「S」乃至「J」字状文の一部と考えられる。縄文の施文は認められない。	接・無し
668-2	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 粗粒砂・白色胎物	口縁部底内湾気味。口唇部は平坦。帯条縄文を施文する。原体は LR。	接・無し
668-3	縄文土器 深鉢	4-543P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂・細粒	無銘 LR 原体を縦位施文する。	接・無し
668-4	縄文土器 深鉢	4-544P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 粗粒砂・白色胎物	縦位の沈線間に LR 原体を縦位施文する。	接・無し
668-5	石製 刺片石器	4-544P 覆土内 完存	チャート 重・6.97	長・3.5。幅・2.5。厚・0.9	縦長刺片の1個縁に加工を施し、もう一方の側縁に微細刺痕が認められる。	接・無し
668-6	縄文土器 深鉢	4-546P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂	縦位の弧線沈線文間に RL 原体を施文する。	接・無し
668-7	縄文土器 深鉢	4-546P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 粗粒砂・白色胎物	幅広い三叉状帯条縄文。原体は RL。	接・無し
668-8	縄文土器 深鉢	4-554P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 粗粒砂	口縁は内湾する。口唇部直下に RL 原体を横位施文し、直下に横線を施す。	接・無し
668-9	縄文土器 深鉢	4-558P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・砂粒	無銘 L (?) 原体を横位施文する。	接・無し
668-10	縄文土器 深鉢	4-561P 覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。焼7.5YR6/6 細砂粒・白色微粒子	横位の帯条縄文と弧線区画が認められる。胎土は当遺跡出土の晩期阿形赤土に類似。	接・無し
668-11	縄文土器 深鉢	4-563P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。淡黄褐10YR8/4 白色胎物・粗粒砂	弧線沈線文が施されるが原体の施文は認められない。	接・無し
668-12	縄文土器 深鉢	4-563P 覆土内 破片	底・6.0 厚・0.7	酸化・並。焼7.5YR7/6 細砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
668-13	縄文土器 深鉢	4-568P 覆土内 破片	厚・0.6	酸化・並。焼7.5YR7/6 粗粒砂	RL 原体を横位施文し、無銘 R の付加原体を横位施文する。繊維は含まれない。	接・無し 晚期か
668-14	縄文土器 深鉢	4-576P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。淡黄2.5Y7/3 粗粒砂	縦位の弧線文が認められる。原体の施文は認められない。	接・無し
668-15	縄文土器 深鉢	4-577P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 砂粒	器面は皺状の状態で認められるが、文様は認められない。	接・無し
668-16	縄文土器 深鉢	4-578P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。淡黄2.5Y8/4 粗粒砂	縦位の弧線文を施し、LR 原体を縦位施文する。	接・無し
668-17	縄文土器 深鉢	4-582P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。焼7.5YR6/6 粗粒砂・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
668-18	縄文土器 深鉢	4-不明P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 粗粒砂・細粒	懸垂文を垂下させ、LR 原体を縦位施文する。	接・無し
668-19	縄文土器 深鉢	5-146P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 細粒・白色微粒子・雲母片岩	文様の施文は認められない。	接・無し
668-20	縄文土器 深鉢	5-184P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。赤褐5YR4/6 砂粒・白色胎物	0段多糸 LR 原体を横位施文する。	接・無し
668-21	縄文土器 深鉢	5-190P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。オリブ黒5Y3/2 砂粒	縦位に隆帯を施し、下端を半股竹管の平行沈線で加飾し、LR 原体を縦位施文する。	接・無し
668-22	土製品 円盤	5-191P 覆土内 破片	長・3.1 幅・3.2	酸化・並。焼7.5YR4/6 砂粒・黒色胎物粒	深鉢の胴部片を転用する。文様は半股竹管による平行沈線文が認められる。	接・無し

博覧番号 図案番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
668-23	縄文土器 深鉢	5-197P 覆土内 破片	厚・0.8 底・(13.0)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 砂粒	文様の施文は認められない。	接・無し
668-24	土製品 円盤	5-198P 覆土内 破片	長・3.3 幅・3.3	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・細粒	無銘L原体(?)を横転施文する。	接・無し
668-25	縄文土器 深鉢	5-206P 覆土内 破片	底・(7.0)	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 粗粒砂・赤褐色粒・白色微粒	文様の施文は認められない。	接・無し
668-26	土師器 甕	5-220P ビット 口縁部片	口・(23.0)	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並。 やや重。白・褐粒含。他含。	口縁部下外面に接合面。器外面は篋削り、器 内面は篋削り、口縁部は横撫でを施す。	
668-27	土師器 甕	5-220P ビット 口縁片	口・(17.8)	酸化。軟。ぶい。橙7.5YR6/4 並。軽。褐粒少。他少。シルト質。	頸部に一条の沈線。内外に横撫あり。割れ口 消耗あり。	
669-1	土師器 甕	5-221P ビット№1 破片	厚・0.9	酸化。並。褐7.5YR4/6。粗。粒。 褐粒多。他少。シルト質。	胴部片、器厚は厚い。器外面は縦位方向の篋 削りを施す。割れ口消耗。	
669-2	縄文土器 深鉢	5-225P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐2.5Y3/3 粗粒砂	LR 原体を横転施文する。	接・無し
669-3	土製品 円盤	5-232P 覆土内 破片	長・2.5 幅・2.5	酸化・並。鈍赤褐2.5YR4/3 砂粒	深鉢の胴部片を転用する。文様の施文は認め られない。	接・無し
669-4	縄文土器 深鉢	5-243P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 砂粒・白色微粒子	複節 LR 原体を縦転施文する。	接・無し
669-5	縄文土器 深鉢	5-265P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 白色微粒子・夾雑物少	薬手文状の沈線文を施文する。	接・無し
669-6	縄文土器 深鉢	5-266P 覆土内 破片	厚・1.2	酸化・並。赤褐5YR4/6 粗粒砂・白色粒子	地紋に LR 原体を横転施文し、弧線沈線文を 施す。	接・無し
669-7	縄文土器 深鉢	5-290P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR5/4 砂粒・細粒	文様の施文は認められない。	接・無し
669-8	縄文土器 深鉢	5-294P 覆土内 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR5/4 金雲母・白色微物	楕円状隆帯の一部か。横位に平行沈線を施す。	接・無し
669-9	縄文土器 深鉢	5-298P 覆土内 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 砂粒・白色微粒子	文様の施文は認められない。	接・無し
669-10	須恵器 環	5-409P ビット 破片	底・(7.6)	酸化。軟。ぶい。黄2.5Y6/3。 並。軽。白・褐粒含。他少。	轆轤成形。外面に磨目あり。底部は回転赤 切り。割れ口消耗。	
669-11	軟質陶器 不明	6-74P ビット 破片	厚・0.7	酸化。並。ぶい。橙7.5YR6/4。 並。軽。褐粒含。他少。	小片。消耗大で、整形が見えず。同時に種は 土師器、土質とも。器種も不明。	
669-12	土師質土器 211-32	6-209P ビット№4 1/2	口・9.6 底・5.6	酸化。並。ぶい。黄橙10YR7/2。 粗。軽。灰物少。	轆轤成形。底部は回転赤切り。内外面被熱色 染。器面少消耗。	3片
669-13	軟質陶器 培塔	6-209P ビット№1 底部片	厚・0.8	還元。軟。灰オリブ7.5Y4/2。 粗。軽。白・褐粒含。他含。	底面石目状の膚。内面に回転肌。体部外面 付着。割れ口消耗あり。	18・19C 小泉か
669-14	軟質陶器 不明	6-220P ビット 破片	厚・1.0	酸化。並。ぶい。黄橙10YR7/4。 並。軽。白・黒粒含。他少。	小片。消耗大のため焼物種不明。器種不明。 焼成は黒色で3層気味。	
669-15	土師器 壺・甕か	(6区289P) 覆土 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5Y6/6。並。軽。 褐粒含。他少。	傾き不明。外面に研削状の工具擦痕。割れ口 消耗大。	
669-16	土師質土器 皿	6-366P ビット 口縁部片	口・(7.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。粗。粒。 白・褐粒含。他少。	轆轤成形。底部は欠損。内外面擦痕。割れ口 消耗少。	15-17C か
669-17	瓦 十能瓦	6-369P ビット 破片	厚・1.0	還元。並。オリブ黒7.5Y3/2。 粗。軽。	片割に施磨。他方に石目状の膚あり。焼成 黒。外面撫で5層気味。消耗あり。	20C 小泉焼き
669-18	縄文土器 深鉢	6-407P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。赤褐2.5Y4/8 白色微粒子	沈線文が認められる。	接・無し
669-19	土師器 環か	6-423P ビット 破片	厚・0.5	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。 並。軽。褐粒含。他少。	内外面擦痕。割れ口の消耗大。外面少し黒 色み吸込か。	
669-20	縄文土器 深鉢	6-716P 覆土内 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 粗粒砂・角粒粗粒砂	LR 原体を横転施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
669-21	縄文土器 深鉢	6-937P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色微粒子・夾雑物少	RL 原体を縦位施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
669-22	縄文土器 深鉢	6-1168P 覆土内 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐色7.5YR5/4 砂粒・角粒粗粒砂・白色微粒子	横位帯状施文を施文する。原体は LR 原体の 横転施文。	接・無し
669-23	須恵器 環	6-1204P ビット 破片	厚・0.4	還元。並。灰オリブ5Y6/2。 粗。軽。黒・白粒含。シルト質。	溝作り。轆轤成形内外に回転条痕あり。割れ 口消耗あり。	粘
669-24	土師器 壺か	6-1207P ビット 底部片	底・(7.0)	酸化。並。ぶい。黄橙10YR6/4。 並。軽。灰物少。	器外面は篋削り。内面は篋削り。内面は吸込 気味。	5～6C 初
669-25	須恵器 環	6-340G1207P 小片	口・(17.2)	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白・黒粒含。灰物少。	口縁部は外肌。轆轤成形(右回転)。底部欠損 底面技法不詳。内外磨目多い。	粘

博覧番号 図版番号	種 別	出土位置 遺存度	寸目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
609-26 211-33	須恵器 環	6-1216ビット 1/3	口・(12.2) 底・(7.2)	還元。締。オリブ灰2.5GY 5/1。並、やや重。白粒多、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面底面使用摩耗あり。	笠か 小泉様か
609-27	須恵器 底底片	6-1218ビット 底底片	厚・0.7	還元。硬。灰オリブ5Y4/2。 並、軽。白粒含、他少。	底面に糸切り。轆轤成形。内面に使用摩耗 あり。割れ口消耗あり。	粘
670-1	須恵器 環	6-1124ビット 破片	厚・0.7	還元。並。灰オリブ5Y6/2。 並、軽。灰物少、シト質あり。	外面、底面割落大。内面回転糸状。割れ口の 消耗大。	粘
670-2	軟質陶器 焙烙か	6-1866ビット 破片	厚・0.9	酸化。並。灰黄2.5Y6/2。粗。軽。 白・褐粒含、他少。	内面に寛削目。無灰。内面に回転糸状あり。 底面に石目状腐あり。割れ口消耗。	16~19C
670-3 211-34	軟質陶器 焙烙	6-311ビット 底底片	厚・0.7	還元。硬。灰オリブ5Y4/2。 並、軽。褐粒。黒紅物含、他少。	内面に指圧痕。外面石目状腐。割れ口消耗 あり。焼成外面に傷あり。	18~20C 小泉か
670-4	軟質陶器 内耳皿。壺	6-311ビット 1/5	口・(37.0) 底・(34.8)	還元。並。灰褐7.5YR4/2。 並、軽。褐粒微。灰物少。	内耳。外面上方横溝。接合面下方から底面 にかけ石目状の彫溝。外面に傷付着。焼一。	3片 小泉様か
671-1	軟質陶器 内耳網	6-311ビット 1/8	口・(36.6) 底・(34.2)	還元。中。並。黒褐2.5Y3/2。 並、軽。褐粒。灰物含。	内耳2つあり。耳は扁平化している。外面に 接合面。厚溝は底に至る。焼成3期。	2片
671-2	土師質土器 皿	7-52ビット 底底片	底・(4.6)	還元。並。オリブ黒5Y3/2。 並、やや重。白粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。内面に1方向の溝。底部は 回転糸切りと板状圧痕。煤かか。割れ口消耗。	中世か
671-3	軟質陶器 焙烙か	7-52ビット 破片	厚・0.9	還元。硬。オリブ黒5Y3/2。 粗。軽。灰物少。	外面に指圧痕。内面に回転糸状あり。内外と も煤かか。割れ口消耗。	16~19C 小泉か
671-4	軟質陶器 焙烙	7-94ビット 口縁部片	口・(31.0)	還元。軟。粗。軽。 褐粒含、他灰物少。	内耳か。消耗著。焼成は内・外面に淺く、 煤かか。芯まで灰色。	17~19C 小泉か
671-5	石器 棒石	7-70P 覆土内 底	粗粒輝石安山岩 重・245	長・8.8。残存幅・7.2。厚・3。 7粗粒輝石安山岩	縦面の扁平面を利用する。小口の縁面に最打 痕を残し、両側の中央部に集中打痕を残す。	
672-1	土師質土器 皿	7-138ビット 破片	底・(7.0)	酸化。並。橙7.5YR7/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内面に回転糸 状。割れ口消耗。	中世か
672-2	石器 敲石	7-138P 覆土内 底	ホルンフェルス 重・310	長・11.7。幅・5.6。厚・2.9。 ホルンフェルス	小口の縁面に最打痕を残し、側縁の一部に割 落の認められる。	
672-3	陶器 皿	7-147ビット 破片	厚・0.3	還元。硬。軸灰白7.5Y7/1。 (灰輪)。胎土灰白。	内外面に淺し黒の灰輪あり。外面下方回転糸 状あり。割れ口消耗少。	東海輸入
672-4	土師質土器 皿。内盤か	7-147ビット 破片	厚・1.1	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形(左回転)。底部は回転糸切り。周辺 が打ち欠かれ。内盤。消耗少。	中世か
672-5	土師質土器 皿	7-177ビット 破片	口・(10.5) 底・(7.2)	酸化。軟。橙5YR6/6。粗。軽。 白・褐粒含、他灰物少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内外面に回転 痕。割れ口の消耗大。	
672-6	須恵器 鉢鉢	7-179ビット 口縁片	厚・1.4	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや重。 灰物少。	轆轤成形。口縁部周辺横溝あり。外面下方指 圧痕。割れ口消耗大。使用摩耗あり。	粘
672-7	軟質陶器 焙烙か	7-187ビット 破片	厚・0.7	還元。硬。暗灰黄2.5Y4/2。 並、軽。灰物少。	底面に石目状の腐あり。内面に使用摩耗あり。 整形見えず。焼成黒3層灰味。消耗あり。	18~20C 小泉か
672-8	輪軸陶器 鉢鉢	7-192ビット 体部片	厚・1.0	中性。締。輪軸褐(錆色。光沢 弱)。胎土黄灰。	内外面に施軸。轆轤目あり。内面に即日あり。 内面摩耗。割れ口消耗あり。	17~18C 美濃
672-9	土師質土器 皿	7-212ビット 破片	口・(9.0)	酸化。並。にぶい橙5Y7/8。 並、軽。褐粒含、灰物少。	轆轤成形。底部は回転糸切り。内外面に回転 無痕。割れ口消耗少。	17~19C
672-10	土師器 鉢	7-216ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。灰物少。	破片。薄片。外面上方横溝。下方置削。割 れ口消耗大。	
672-11	土師質土器 皿	7-240ビット 口縁片	厚・0.6	酸化。硬。明赤褐2.5YR5/6。 並、軽。灰物少。	轆轤成形。内外面に回転糸状あり。割れ口消 耗あり。酸化赤味強。	
672-12	軟質陶器 火鉢か	7-289ビット 破片	厚・0.9	還元。並。黒5Y2/1。並、軽。 灰物含。	外面回転。内面不定方向溝。焼成外面煤黒 色化強く3層灰味。消耗あり。	
672-13	土師質土器 皿	7-291ビット 破片	厚・0.6	酸化。軟。にぶい橙7.5YR7/4。 粗。軽。金黄。褐粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り不明。内面に のりみ痕。割れ口消耗大。	14~16C
672-14	土師質土器 皿	7-315ビット 破片	口・(12.0)	酸化。軟。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。白・褐粒少、他少。	轆轤成形。内外面に回転糸状あり。割れ口の 消耗大。寛理あり。	中世か
672-15	土師器 鉢	7-322ビット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 灰物少。	破片。小形。割れ口消耗大。内外面の 整形不明。	
672-16	輪軸陶器 瓶か	7-331ビット 破片	厚・0.4	還元。焼締。軸茶褐(鉄輪)。 胎土灰10Y5/1。	大き目の彫りか。外面鉄輪。内面轆轤に伴う 挽工具の痕。割れ口消耗少。	18~20C 産不明
672-17	土師質土器 皿	7-341ビット 破片	底・(4.8)	酸化。軟。にぶい黄橙10YR7/3。 粗。軽。白・褐粒含、他含。	轆轤成形。底部は回転糸切りか。内面に指痕。 割れ口消耗大。	15~16C
672-18	軟質陶器 不明	7-356ビット 破片	厚・0.8	還元。硬。オリブ黒5Y3/2。 並、軽。灰物少。	内面無痕。底面砂付着。内外面吸込強い。割 れ口消耗。	
672-19	土師器 鉢	7-368ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、灰物少。	割れ口消耗大。薄片。外面に寛削。内面無 らしき状態あり。	

押出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	径目 (cm)	重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考	
672-20	土師器 埴か	7-383ピット 破片	厚・0.8		酸化。並。明赤褐5YR5/6。並。軽。褐粒含、他少。	裏か、割れ片か。割れ口の消耗大。表面磨削。内面消耗形不明。		
672-21	軟質陶器 埴か	7-412ピット 破片	厚・0.9		還元。並。オリープ黒5Y3/1。並。軽。雲母粒、鉱物含。	外面に指爪痕、傷付等あり。内面整形不明。割れ口消耗あり。	15~17C	
672-22	土師器 埴か	7-437ピット 破片	厚・0.6		酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。並。軽。褐粒含、他少。	外面に傷、ハズレあり。内面に凹み。割れ口の消耗大。外面に被色変あり。		
672-23	土師質土器 底面	7-438ピット 底面	底・(5.8)		酸化。硬。橙5YR7/6。粗。軽。褐粒、金雲母粒含、他微。	轆轤成形(左回転)。底部は回転未切り。体部外面に工具圧痕。内面円形工具押圧。	中世か	
672-24	埴輪か 不明	7-449ピット 破片	厚・1.9		酸化。並。赤褐2.5YR4/8。並。やや軽。白・黒粒含、他少。	外面におずか刷毛目らしき痕跡あり。内面凹み懸垂存わず。割れ口消耗顯著。		
672-25	土師質土器 埴か	7-468ピット 破片	厚・0.6		酸化。並。灰黄2.5Y7/2。並。軽。褐粒含、他少。	軟陶か不明。内面に回転痕あり。底面轆轤成形は剥落多く切り離し不明。割れ口消耗大。		
672-26	土師質土器 底面	7-473ピット№1 完形	口・8.0 底・4.3		酸化。並。橙7.5YR6/6。粗。軽。白・褐粒含。鉱物多。	底面は糸切痕あり。口縁部に油煙あり。石灰多。蓋面少し消耗。		
673-1	土師器 埴か	7-475ピット 破片	厚・0.4		酸化。並。におい黄褐10YR7/4。粗。軽。褐粒多、他少。	外面に横線痕。下方磨削あり。内面横線。焼成芯黒で3層。割れ口消耗少。		
673-2	軟質陶器 火入	7-478ピット 破片	底・(18.0)		還元。硬。黄灰2.5Y4/1。粗。軽。白・褐粒多、他少。	外面に炭文あり。甲か格状か不明。内面に回転痕。内外吸脱。割れ口少し消耗。	19・20C 小塚か	
673-3	土師器 埴か	7-478ピット 破片	厚・0.9		還元。硬。灰黄2.5Y6/2。重。並。白鉱物多、他少。	外面自然焼あり。不定方向の内面不定方向の傷、破痕あり。割れ口少し消耗。		
673-4	土師器 埴か	7-479ピット 破片	厚・0.9		酸化。軟。橙5YR6/6。並。軽。白・褐粒多、他少。	割れ口消耗大で、焼物種、器種不明。外面焼痕目あり。		
673-5	土師質土器 蓋口、下白	7-479ピット№1 1/2		径・(31.8)		表面に6分割の目溝あり。溝は更刻らしく、別溝少し存。軸穴1。整形は裏面が広い。	旧欠	
673-6	土師質土器 口縁片	7-482ピット 口縁片	口・(11.0)		酸化。軟。淡黄橙10YR8/4。並。軽。白・褐粒多、他多。	轆轤成形(左回転)。底部は欠損。割れ口消耗少。傷、灰斑かある。	中世か	
673-7	須恵器 埴か	7-482ピット 口縁部片	口・(12.0)		酸化。軟。におい橙7.5YR6/4。粗。軽。白・褐粒含、他少。	外面に轆轤目。外面に残り。割れ口消耗少。	10末~11C 前半	
673-8	軟質陶器 埴か	7-486ピット 口縁片	厚・0.8		酸化。並。におい黄褐10YR5/3。並。軽。鉱物含。	内外面横線あり。割れ口消耗少。口縁端部に特徴あり。	16~18C	
673-9	土師質土器 底面	7-507ピット 破片	底・(5.9)		酸化。軟。淡黄橙10YR8/4。粗。軽。鉱物微。シルト質。	轆轤成形。消耗大。内外に回転痕あり。底面は消耗のなめ切り離し不明。	14~16C 中世	
673-10	軟質陶器 火鉢か	7-513ピット 口縁片	厚・1.2		酸化。並。におい褐7.5YR5/4。並。やや重。褐粒含、他少。	内・外面横線あり。割れ口消耗大。焼成外面傷、芯黒で5層あり。	18~19C	
673-11	土師質土器 底面	7-523ピット№1 2/3	口・11.0 底・5.0		酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。褐粒含、他鉱物少。	口縁は内湾気味。底部に板状圧痕。内面に一方方向の指の圧痕あり。	6片	
673-12	土師質土器 破片	7-551ピット 破片	厚・0.4		酸化。並。におい橙7.5YR7/4。粗。軽。鉱物少。	轆轤成形内外面横線あり。割れ口消耗大。		
673-13	軟質陶器 埴か	7-564ピット 破片	厚・0.9		還元。並。オリープ黒5Y3/1。並。軽。褐粒含、他少。	焼成は内外に煤がかかり3層気味。割れ口消耗大。	18~19C	
673-14	土師質土器 底面	7-590ピット 1/4	口・(12.8)		中性。並。灰白 YR8/2。粗。軽。褐粒多。白粒少、他鉱物微。	轆轤成形(左回転)。底部は旧時欠損。全体に黄灰色。内側に外に穿孔。内面轆轤目。	14・15C 中世	
673-15	土師質土器 底面	7-594ピット№2 1/4		径・(26.4)		石質は重く、硬い。目無し。軸穴あり。裏面の整形広い。割れ口旧欠で消耗。		
673-16	土師器 埴か	7-637ピット 破片	厚・0.4		酸化。並。暗褐10YR3/3。	割れ片、器厚は薄い。外面は横方向の磨削あり。割れ口消耗少。内外線かある。		
673-17	須恵器 埴か	7-664ピット 破片	厚・0.9		酸化。並。橙7.5YR4/3。並。やや重。白・褐色粒含。	轆轤成形。回転方向は右回転か。		
673-18	土師質土器 口縁片	7-689ピット 口縁片	厚・0.8		酸化。並。におい橙7.5YR6/4。並。軽。鉱物含。	轆轤成形。内外に回転痕あり。割れ口の消耗大。	16~19C	
673-19	陶器 鉢鉢	7-690ピット 破片	厚・1.5		還元。硬。釉面褐(鉄錆面鉄赤)。胎土灰白2.5Y8/1。	内外面磨削。内面節目あり。外面に轆轤目あり。使用摩耗不明。割れ口消耗大。	17・18C 美濃	
673-20	土師質土器 口縁片	7-696ピット 口縁片	口・(13.2)		酸化。並。におい橙7.5YR6/4。粗。軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外面に回転痕あり。割れ口消耗大。	15~17C 中世	
674-1	石器 礫石	7-698P 覆土内 完存	割れ礫石 重・420		径・11.8。幅・7.0。厚・3.7。割れ礫石 重・420		踏面の扁平面を利用する。	
674-2	土師質土器 底面	7-698ピット 完形		径・23.8。高・13.8		石質は重く硬め。上面、下面の平部の整形劣少で天地不明。整形丁寧。下面使用摩耗。	再用段階あり	
674-3	石器 礫石	7-698ピット№1 破片	割れ礫石 重・3450g		遺存長・17.55 径・12.65・厚・12.90		石質は、重く、硬い。2面に顕著な研削(軟質)の面あり。拓形磨。割れは旧欠。	中世後

発掘番号 四角番号	種別 器種	出土位置 遺存度	寸目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
674-4	灰結陶器 鉢	7-715ピット 口縁片	厚・0.9	還元。焼。灰5Y6/1。粗、やや軽。 白磁物多、他磁物。	内側に自然釉らしき釉あり。胎土は特徴的 に軽い。内外面被熱。割れ口少し消耗。	東海地区
674-5	灰結陶器 焙烙か	7-715ピット 底部片	厚・0.8	還元。硬。灰黄2.5Y6/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	内面に研ぎあり、底面に乾燥時の小ヒビあり。 外面被熱。割れ口消耗少。	17Cか
674-6	土師器 環	8-2000ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/4。 並、軽。褐粒微、シルト質。	口縁部は外傾気味。型作りか。口縁部・器内 面は横溝で整形。割れ口消耗あり。	
674-7	須恵器 環	8-2002ピット 破片	厚・0.4	還元。並。5Y 灰白7/1。並、軽。 白粒含、磁物少。	底面に轆轤回転の回転痕あり、不明墨字あり。 磨面。割れ口消耗。	粘 墨書-161
674-8	土師器 環	8-2003ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	外面ハゼ、被熱、吸炭、覆削。内面横溝あり。 割れ口消耗大。	
674-9	土師器 環・口縁	8-2005ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他磁物少。	外面に白土質の白灰色粘土付着。口縁部の内 外面に横溝あり。割れ口消耗。	9 Cか
674-10	須恵器 環か	8-2005ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや重。 白粒。白磁物含、他少。	口縁部片。轆轤成形。内外に浅い轆轤目あり。 口縁部周辺に並流らしき色変。割れ口消耗大。	笠か
674-11	須恵器 環	8-2006ピット 体部片	厚・0.4	酸化。軟。白灰2.5Y8/2。粗、軽。 黒粒多、他磁物。	内外に回転条痕あり。質は土師質に近い。割 れ口の消耗近著。	10 Cか 粘
674-12	土師器 環	8-2006ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/2。 並、軽。白・褐粒含、他少。	口縁部並流片らしい。内外面は横溝で整形。 割れ口の消耗大。	
674-13	土師器 小形甕か	8-2013ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。灰褐7.5YR4/3。並、 軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾気味。内面は横溝で整形。割 れ口消耗少。	
674-14	土師器 環か	8-2014ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。白・褐粒、シルト質。	坯体部片らしい。外面に接合痕、下に貫削らし き痕跡、内面に擦らしき痕跡。割れ口消耗大。	
674-15	土師器 環	8-2015ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。灰褐7.5YR5/2。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	頸部下方で、外面に接合痕、被熱吸炭あり。 内面。割れ口少し消耗。	笠
674-16	須恵器 環	8-2021ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。密、重。 黒粒目立つ。他磁。	外面平行印き。内面当具は素文で撫か。内面 に工具傷らしきあり。少し消耗。	
674-17	土師器 環	8-2024ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重・白・褐粒含、他少。	頸部破片、薄汚。外面は無灰。内面は無で。 割れ口消耗あり。	
674-18	土師器 環・甕	8-2028ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。白粒、他含。	細片のため種不詳。薄汚。外面覆削。内面。割 れ口消耗。	
674-19	土師器 環・甕	8-2029ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	細片のため器種不詳。外面覆削。内面。割 れ口消耗あり。	
674-20	灰結陶器 不明	8-2030ピット 破片	厚・0.8	還元。並。にぶい黄橙10YR 6/3。並、軽。白・褐粒含、他少。	裏面割削著し、内面側のみ残存。胎土中の砂 粒多い。割れ口消耗。	
674-21	須恵器 環	8-2033ピット 口縁部片	厚・0.4	中性。軟。にぶい黄橙10YR6/3。 並、軽。白・褐粒含、他微。	内外面に回転条痕。割れ口消耗大。砂状は9 C中頃～10C。	粘
674-22	土師器 甕か	8-2033ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。明褐7.5YR5/5。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に被熱の覆。覆削。内面に横溝あり。割 れ口消耗あり。	2片
674-23	土師器 環か	8-2034ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5Y6/4。 並、やや軽。白・褐粒含。	傾き不明。内面。外面覆削。被熱吸炭。割 れ口消耗。	
674-24	土師器 環	8-2037ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。明褐7.5YR5/8。 並、やや重。白粒、他含。	頸部片。外面。内面。割れ口消耗大。	
675-1	土師器 小形甕	8-2042ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、やや軽。白・褐粒微、他微。	内面。外面。覆削。全体に被熱吸炭あり。 割れ口消耗。	
675-2	須恵器 環	8-2052ピット 1/2	口・(12.5) 底・(7.2)	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 白粒含、他磁物少。	口縁に重ね焼色変あり、底部は右回転糸切り。 内面に轆轤目多い。	笠懸か
675-3	須恵器 環	8-2053ピット 1/5	厚・0.3	還元。硬。灰7.5Y4/1。密、 やや重。白・灰磁物含、他少。	口縁部は欠損す。轆轤成形。底部は回転糸 切り。割れ口消耗。	太田か
675-4	須恵器 環	8-2054ピット 底部片	厚・0.5	還元。硬。オリブ灰2.5GY6/1。 並、やや軽。白・黒粒含、他少。	口縁部は旧時欠損す。轆轤成形。底部は回 転糸切り。割れ口少し消耗。	粘
675-5	須恵器 環	8-2055ピット 口縁部片	厚・0.3	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒微。	口縁部は外傾す。轆轤成形。口縁部外面下 重ね焼色変。	太田か
675-6	須恵器 環	8-2055ピット 口縁部片	厚・0.4	還元。軟。灰白10Y7/1。並、軽。 白・黒粒含、他少。	口縁部は外傾す。轆轤成形。内外面轆轤目 あり。割れ口消耗大。	粘
675-7	須恵器 環か	8-2189ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白磁物含、他少。	内外面に轆轤目あり。轆轤成形。割れ口少し 消耗。	
675-8	土師器 甕か	8-2193ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい褐色7.5YR6/3。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	割れ口消耗大のため器種不明。外面覆削。内 面。割れ口消耗。	
675-9	須恵器 環	8-2233ピット 破片	厚・0.5	還元。軟。にぶい黄2.5Y6/3。 並、軽。白・黒粒含、他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り内面轆轤目。 割れ口消耗少。	粘

標記番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	径目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
675-10	土師器 土師器 環	8-2245ビット	厚・0.6	酸化。並。暗褐色10YR3/4。並、 軽。白・褐粒含、他鉱物少。	口縁部は「コ」の字状、型作り。 口縁部・器内面は横撫で。外面少し 焼される。	
675-11	須恵器 土師器 環	8-2262ビット	厚・0.5	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	縦輪成形。底部は回転糸切り。割れ口 消耗大。	笠・太田
675-12	土師器 環	8-2268ビット	厚・0.2	酸化。並。明褐色7.5YR5/6。並、 やや重。白・黒粒含、他含。	傾き不明。器厚は薄い。器外面は縦位 方向の寛削り。割れ口消耗あり。	
675-13	土師器 環	8-2277ビット	厚・0.3	酸化。並。にぶい黄褐色10YR5/4。 並、やや重。白粒含、他含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器外 面は縦位方向の寛削り。外面熱色化、 割れ口少し消耗。	
675-14	土師器 環か	8-2280ビット	厚・0.4	酸化。並。明赤褐色5YR5/6。並、 やや軽。白粒、灰・鉄物含、他少。	傾き不明。外面斜方向の寛削り、内 面撫あり。割れ口少し消耗。	
675-15	須恵器 環	9-5ビット	底・(6.8)	酸化。軟。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。縦輪成形。 底部は回転糸切り。割れ口消耗大。	粘
675-16	土師器 環	9-7ビット	厚・0.3	酸化。硬。橙5YR7/6。	底部は寛削り、内面に撫。割れ口消 耗あり。	
675-17	須恵器 環	9-9ビット	厚・0.4	還元。硬。灰10Y6/1。密、軽。 並、白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。縦輪成形。 底部は回転糸切り。消耗あり。	粘
675-18	土師器 環	9-10ビット	厚・0.3	酸化。硬。赤褐色5YK4/6。並、 やや軽。白粒多、他含。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外 面は斜位方向の寛削り。割れ口消 耗。	
675-19	須恵器 環	9-11ビット	底・(8.6)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。縦輪成形 (右回転)。底部は回転寛削り。消 耗あり。	笠か
675-20	須恵器 環か	9-12ビット	厚・0.3	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 並、軽。白粒含、他少。	縦輪成形。内外に縦輪の回転糸 切り。消耗あり。	粘
675-21	土師器 環	9-14ビット	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含。	口縁部は外傾気味。口縁部・内面は 横撫で。割れ口に消耗あり。	
675-22	土師器 環	9-20ビット	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含。	体部に形腐。口縁部・内面は横撫 で割れ口は少し消耗あり。	
675-23	土師器 環	9-22ビット	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	口縁部・内面は横撫で。割れ口に 消耗あり。	
675-24	土師器 環	9-23ビット	厚・0.3	酸化。並。橙5YR7/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	底部は黄褐色気味。内面に撫。割れ 口に消耗あり。	
675-25	土師器 環	9-24ビット	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 他物少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は寛削 り。割れ口消耗。	
675-26	土師器 環	9-25ビット	厚・0.2	酸化。並。橙7.5YR6/6。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外 面は縦位方向の寛削り。割れ口消 耗大。	
675-27	土師器 環	9-25ビット	厚・0.5	酸化。硬。黒褐色7.5YR2/2。 並、軽。他物少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器 外面は縦位方向の寛削り。割れ口 少し消耗。	
675-28	土師器 環	9-26ビット	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。器 外面は縦位方向の寛削りを施す。消 耗少しあり。	
675-29	須恵器 環	9-31ビット	厚・0.5	酸化。並。にぶい黄褐色10YR7/4。 並、やや軽。シルト質。	口縁部は外傾する。外面に回転糸 切り。割れ口消耗大。	粘
675-30	須恵器 環・碗	9-33ビット	厚・0.6	還元。硬。灰5Y5/1。並、軽。 白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。縦輪成形 (右回転)。底部は高台の有無不明。 割れ口の消耗あり。	
675-31	土師器 環	9-34ビット	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	体部に黄褐色。型腐。内面横撫。 割れ口消耗あり。	
675-32	土師器 環	9-35ビット	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 やや軽。他物含、他少。	傾き不明。胴部片、器厚は薄い。外 面は縦位方向の寛削り内面撫。 消耗あり。	
675-33	須恵器 碗・盤か	9-39ビット	厚・0.9	還元。並。灰白5Y7/1。やや軽。 白粒含、他少。	器内深く少し大形器種。底部は 縦輪右回転寛削り。割れ口消耗大。	粘
675-34	須恵器 環	9-41ビット	厚・0.7	酸化。軟。にぶい橙10YR7/3。 並、軽。褐粒含、他少。	縦輪成形。底部は回転糸切り。割れ 口の消耗あり。	粘
675-35	須恵器 碗	9-42ビット	厚・0.7	還元。硬。灰7.5Y6/1。密、 やや重。白・黒粒含、他含。	内面傾か。上面ハゼと少し厚肌。回 面回転糸。割れ口の消耗あり。	市外か 陶
675-36	須恵器 環	9-43ビット	厚・0.3	還元。硬。淡黄5Y7/3。並、軽。 白粒含、他少。	縦輪成形。内外面に回転糸。割れ 口に消耗あり。	粘
675-37	須恵器 環	9-44ビット	高・(12.4)	還元。硬。灰白5Y7/1。並、軽。 白・黒粒含。	内外面に縦輪目あり。器内の取り 方に特徴あり。割れ口に消耗あり。	粘
675-38	土師器 環	9-46ビット	厚・0.7	酸化。並。褐色7.5YR4/3。並、 やや軽。金・黄鉄粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。外面は 寛削り内面は横撫で。割れ口に消 耗あり。	
675-39	須恵器 環	9-48ビット	厚・0.5	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや軽。 黒粒含、他物少。	口縁部外反。内外面ろくろ糸。割れ 口の消耗あり。	市内

押印番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存 寸法	度目 (cm) 重量 (g)	焼跡・色調・土質	形状・技法等の特徴	備 考
675-40	須恵器 環か	9-53ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白粒、白藍物含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。割れ口 筋あり。	笠か
676-1	軟質陶器 口縁部	9-70ピット№3 破片	厚・1.3	酸化。並。灰オリーブ5Y5/2。 並、重。褐粒含。他藍物少。	口縁部の内外面に横溝。外面下方に轆轤目と 指などの痕。内面下方に摩耗。内面外側。	粘・陶 15C頃
676-2	焼締陶器 口縁部	9-70ピット 破片	厚・1.7	還元。硬。外面微酸化暗褐色と 自然釉。胎土灰。	内・外面自然熱。外面に紐作溝。内面に轆轤 目。口縁部の大部分破損。	常滑
676-3	軟質陶器 鉢	9-70ピット№2 破片	口・(32.0)	還元。並。灰5Y6/1。並、やや重。 白粒含、藍物微。	内面の縁部付近ハベ。内面最下部少し使用摩 耗。外面ハベ少。口縁部使用摩耗。	太田か
676-4	石造品 磨石	9-70ピット 完存	指紋磨石安山岩 290g	長・8.5 巾・5.0 厚・4.8	平面面が磨滅する。	
676-5	石器 内磨石	9-70P 覆土内 完存	指紋磨石安山岩 重・260	長・10.0。幅・6.8。厚・4.2 粗粒磨石安山岩	表面の中央部全体が磨滅し、部分的に打痕が 認められる。	
676-6	石器 内磨石	9-70P 覆土内 完存	指紋磨石安山岩 重・640	長・11.3。幅・7.2。厚・5.0。 粗粒磨石安山岩	表面の中央全体が磨滅し、裏面は下端右寄り が磨滅する。	
676-7	須恵器 碗か内黒 破片	9-72ピット 破片	口・(15.1)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、重。白色粒。藍物微。	口縁部にも黒色およぶ。轆轤成形 (右回転)。 か。内面研磨あり。	
676-8	須恵器 壺・坏か 破片	9-75ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい橙10YR5/3。 並、やや重。白粒含、密。	口縁部は外反する。口縁部は横溝で。割れ口 筋少しあり。	
676-9	須恵器 壺	9-74ピット 破片	厚・1.3	還元。硬。灰7.5Y1/6。密、 やや重。白藍物多。	紐作り。外面は叩き磨り消し。内面当具は背 海波文状。さらに磨滅。消耗あり。	青外側入
676-10	土師器 壺	9-82ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。にぶい黄橙10YR7/4。 並、やや軽。藍物含。	傾き不明。胴部片。器厚は薄い。外面は縦位 方向の磨削り。割れ口筋あり。	
676-11	須恵器 壺	9-84ピット 破片	厚・0.9	還元。並。灰白10Y7/1。密、 やや白。白粒、藍物含。	紐作か。外面に横。内面に横と凹凸あり。 割れ口筋あり。	笠・太田
676-12	土師器 坏	9-85ピット 破片	厚・0.5	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。黒・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損。外面磨削り目あり。内面 横。割れ口筋あり。	
677-1	須恵器 坏	9-99ピット 破片	厚・0.5	還元。並。灰5Y4/1。並、やや軽。 白・黒粒含、シト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内面に回転 痕あり。厚粒。底部は回転未切り。消耗あり。	
677-2	須恵器 坏	9-105ピット 口縁部片	厚・0.4	酸化。硬。橙7.5YR6/6。並、 やや重。藍物微。	酸化味強い焼成。内外面微酸化。割れ口筋 少。	粘
677-3	須恵器 坏か	9-106ピット 破片	高・(11.8)	還元。硬。灰5Y5/1。密、やや重。 白粒含、他少。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口筋 あり。	西毛〜北 埼玉か
677-4	土師器 壺	9-108ピット 破片	厚・0.9	酸化。並。橙7.5YR7/6。並、軽。 褐粒多、他含。	胴部片。器厚は厚い。器外面は横溝で。割れ 口筋あり。	
677-5	須恵器 坏か	9-112ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。明オリーブ灰2.5GY 7/1。並、やや重い。白粒多、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部整形 不明。割れ口は消耗あり。	粘
677-6	軟質陶器 不明	9-121ピット 破片	厚・0.6	還元。並。にぶい黄2.5Y6/3。 並、やや軽。	須恵器。大形坏かもれない。内面に回転痕。 外面整形不明。割れ口の消耗少。	粘
677-7	須恵器 坏	9-124ピット 破片	底・(6.2)	還元。硬。灰 N6/1。密、やや重。 白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形 (右回転)。 底部は回転未切り。割れ口筋あり。	笠か
677-8	須恵器 壺	9-125ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白 N7/0。密、重。 白粒、白藍物含。	紐作り後叩き整形か。外面は平行叩き。内面 当具は木文状。割れ口の消耗少。	太田か
677-9	土師器 壺	9-160ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい褐7.5YR5/3。 並、やや軽。褐粒少、他少。	胴部片。器厚は薄い。器外面は縦位方向の磨 削り。割れ口少し消耗あり。	
677-10	土師器 壺口縁 破片	9-193ピット 破片	口・(16.8)	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、 褐粒含、他藍物少。	口縁部は「コ」の字状。器外面は横削り。口 縁部は横溝で施す。	
677-11	土師器か 不明	9-207ピット 破片	厚・0.8	酸化。並。明赤褐5YR5/8。並、 やや重。白粒含、他少。	軟陶か。器種不明の底部、大形品。消耗少 あり。	
677-12	須恵器 坏蓋	9-218ピット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰5Y6/1。並、やや軽。 白粒多、他少。	轆轤成形 (左回転)。上半部は回転削り。内 面微酸化あり。割れ口少し消耗あり。	笠か 西河原
677-13	土師器 坏か	9-217ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙2.5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	内外面横溝。部分的に黒色がかかる。消耗少 しあり。	粘
677-14	須恵器 坏	9-221ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。褐粒少含。	轆轤成形か。内外に回転糸痕あり。割れ口少 し消耗あり。	粘
677-15	土師器 壺	9-227ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	傾き不明。胴部片。器厚は薄い。器外面は縦 位方向の磨削り。割れ口少し消耗あり。	
677-16	土師器 坏	9-229ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。白藍粒含、他含。	製作か。底部は横削りと型滑。内面は横溝 整形。割れ口筋あり。	
677-17	須恵器 破片	9-230ピット№1 破片	厚・0.7	還元。硬。灰10Y6/1。並、 やや軽。白粒多、他含。	内面轆轤目あり摩耗。底部高台動付後。轆轤 右回転磨削。割れ口の消耗あり。	笠

採回番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	成目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
677-18	須恵器 壺	9-231ピット 1/3	底・6.3	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形（右回転）、 底部は回転糸切り。割れ口消耗。	
677-19	土師器 壺	9-233ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。灰白赤褐5YR5/4。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	外面に寛削目あり。底面寛削。内面磨。割れ 口の消耗あり。	
677-20	土師器 環	9-234ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。胎物少。	口縁部はやや内湾気味。底部は寛削り、体部 に型磨。口縁部・内面は横削で、消耗あり。	
677-21	須恵器 環	9-616ピット 破片	厚・0.5	還元。並。灰白2.5Y8/2。並、 やや重。灰胎物含、他少。	口縁部片。内外に回転糸状あり。外面に重ね 横削炭あり。割れ口消耗。	粘
677-22	須恵器 環	9-663ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰N5/0。密、やや重。 白粒含、他少。	轆轤成形。内外に回転糸状。割れ口消耗少し あり。	笠か
677-23	土師器 環	9-667ピット 1/4	口・(10.6) 底・(9.9)	酸化。並。灰7.5Y8/2。並、 やや重。褐粒含、他胎物少。	手控か。口縁部は内湾気味。底部指など圧痕。 口縁部・内面は横削で消耗少。	13Cか
677-24	土師器土層 皿	9-688ピット	厚・0.7	酸化。並。橙5YR6/6。粗。軽。 白・褐粒含、他含。	轆轤成形（左回転）。内外面回転糸状あり。割 れ口消耗少ない。焼きは赤味強い。	
677-25	土師器 破片	9-693ピット	厚・0.7	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損気味。底部は寛削り、体部 に寛削。内面は横削で、消耗あり。	
677-26	須恵器 環	9-708ピット 1/5	横み・6.2 口・18.4	還元。硬。灰5Y6/1。密。重。 白粒多。胎物含。	轆轤成形（右回転）。上半部は上方回転糸状、 下方輪軸目。内面平ら。内厚。全体消耗。	太田か
677-27	土師器土層 皿	9-836ピット 破片	口・(14.5) 高・3.5	酸化。並。灰白赤7.5YR7/4。 粗。軽。白・褐粒胎物含。	轆轤成形方向不明。底部は回転糸状らしい。 内・外面輪軸目大まか。	16C以降
677-28	土師器 環	9-842ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐粒多、他少。	口縁部は旧時欠損。底部は寛削り、体部に磨。 内面は横削で、割れ口消耗あり。	
677-29	土師器 壺	9-853ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。淡黄2.5Y7/4。並、 やや軽。	器内厚く、外面寛削。内面磨。外面被熱色変 あり。割れ口消耗あり。	
677-30	縄文土層 漆鉢	9-853P 覆土内 破片	厚・0.8	酸化。並。灰白7.5Y8/2 細砂粒・細白色胎物	文様の可能性は認められない。 土師器の可能性も有る。	接・無し
677-31	土師器 壺	9-862ピット 破片	厚・0.8	酸化。硬。橙5YR6/6。並、 やや重。褐粒含、他少。	割部片、器厚は薄い。外面は横削方向の寛削り あり。割れ口消耗あり。	
677-32	陶胎内面 皿	9-868ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。胎土灰。 胎土灰。	内外面輪軸目と鉄軸あり。軸にやや光沢あり。 割れ口の消耗少しあり。	15・16C 瀬戸美濃
677-33	陶胎内面 水注か	9-878ピット	厚・0.7	還元。硬。胎土灰。 胎土灰。	瓶・水注か。外面に薄く胎物あり。内面継作 後の後目か回転運い。割れ口消耗少。	中世か 瀬戸美濃
677-34	土師器 壺	9-887ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR7/8。並、 やや重。褐粒多、他含。	厚手。外面に寛削。被熱炭灰あり。内面磨 あり。割れ口消耗あり。	
677-35	土師器 壺	9-920ピット 破片	厚・1.0	酸化。並。淡黄橙7.5YR6/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	焼き不明。外面に寛削あり。内面磨あり。割 れ口の消耗あり。	
677-36	須恵器 環	9-942ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。青灰5B5/1。密。重。 胎物胎。	口縁部は肥厚するため北端玉埋か。口縁部外 面に重ね灰色変あり、割れ口の消耗少ない。	隣接品か
678-1	陶胎内面 鉢	9-952ピット	底・(15.0)	酸化。硬。赤褐。密。白粒多、 他少。	内面に節目あり強く消耗。底面石目状の磨。 割れ口の消耗少。	信楽か
678-2	陶胎内面 漆鉢	9-952ピット 破片	底・(6.6)	還元。硬。胎土灰黄灰（透明調、 長石軸）、淡茶（鉄軸）、胎土灰。	内面と外面下。底外面に鉄軸か外面に長石 軸あり。内面輪軸目と、外面削目あり。	19・20C 産不明
678-3	磁器 小碗	9-952ピット 破片	口・(12.0) 高・(3.0)	還元。硬。胎土灰黄灰（染付）、透明。 胎土白。	外面に染付様、内面に口縁下加飾を染付。透 明軸は全周。	20Cか 伊万里系
678-4	須恵器 環	9-954ピット 破片	厚・0.8	還元。並。灰白5Y7/1。並、 やや軽。白粒含、シルト質。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形か、内面に 輪軸目一乘。割れ口消耗大。	粘
678-5	磁器 小碗	9-955ピット	口・(9.0)	還元。硬。胎土灰黄灰（染付）、 白磁軸淡青。胎土白。	外面に竹葉の染付施文。内面に口縁下に加飾の 施文あり。	伊万里系 19C
678-6	軟質陶器 漆鉢	9-955ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白黄橙10YR7/3。 並、やや重。褐粒含、他少。	底面に石目状の磨。内面に磨。割れ口の消耗 あり。	19・20C 小泉か
678-7	土師器 環	9-957ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。暗灰黄2.5Y4/2。並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損。底部は寛削り。内面は横 削で、割れ口消耗あり。	
678-8	磁器 小碗	9-957ピット 破片	底・(4.5)	還元。硬。胎土灰黄灰（染付）、ペロ 藍。白磁軸。胎土白。	赤茶調様の染付施文。高台端部を除き白磁軸。 胎土の白味強い。	19・20C 伊万里系
678-9	陶器 漆鉢	9-957ピット 体部片	厚・0.3	還元。硬。胎土灰黄灰（外面）、淡 茶褐（内面）、胎土灰。	極めて薄作り。外面に飛散施文あり。内面に 薄く鉄軸と口からおんだ薄輪軸。消耗あり。	19C 産不明
678-10	磁器 小碗	9-959ピット	厚・0.5	還元。硬。胎土灰黄灰（染付）、白磁 軸。胎土白。	外面にペロ藍様の染付施文。内外透明軸。割 れ口消耗大。	19・20C 伊万里系
678-11	須恵器 壺	9-1070ピット 破片	底・(6.0)	酸化。並。橙2.5Y6/6。並、 やや重褐粒含。	轆轤成形。底面に糸切り痕。外面に回転糸状。 割れ口消耗あり。	隣接品か

押出番号 図取番号	種別 器種	出土位置 遺存度	径目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
678-12	縄文土器 深鉢	9-105P 覆土内	厚・0.5	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒	低い隆帯を縦位施文する。	接・無し
678-13	土師器 変	9-1080ピット	厚・0.5	酸化・並。橙7.5YR6/6、並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横帯でハゼ。内 面ハゼ。割れ口消耗あり。	美濃 18C
678-14	軟質陶器 大皿・盤 口縁部	9-1098ピット	口・(30.0)	中性。緑。釉茶灰(透明調)。 胎土黄灰。	内外面施釉。透明感強い。外面回転痕跡目。 轆轤目見える。口径から尺皿のみ。	美濃 18C
678-15	軟質陶器 火入か	9-1131ピット	口・(15.9)	酸化・並。にぶい橙7.5YR5/4、 並、やや軽。金盃母倉、他含。	内外面に回転条痕あり。全体に酸化味強い。 割れ口の消耗大。	18~19C
678-16	軟質陶器 鉢	9-1145ピット	厚・1.0	還元・並。オリブ黒7.5Y3/1、 並、やや軽。磁物少。	外面に横。内面に磨痕消耗大。割れ口の消耗 大。	
678-17	軟質陶器 内耳 口縁片	9-1173ピット	厚・1.0	酸化・硬。黒5Y2/1。並。 白粒含、他磁物少。	内面に接合痕。口縁部の内外面横撫面。外面 横付着。	18・19C 小泉か
678-18	土師器 坏	9-1195ピット	口・(15.0) 底・(8.6)	酸化・並。橙5YR8/6、並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	底部は蓋削り、体部に蓋削。口縁部・面内面 は横撫で。割れ口少し消耗あり。	
678-19	土師器 変	9-1217ピット	底・(4.0)	酸化・並。にぶい橙7.5YR6/6、 並、やや軽。褐粒含、他少。	外面に蓋削りあり。内面に無あり。割れ口の 消耗大。	
678-20	土師土器 皿	9-1125ピット	厚・0.6	酸化・並。橙5YR6/6、並、軽。 白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内・外面無。割れ口消耗あり。	
678-21	須恵器 坏か	9-1236ピット	厚・0.6	還元・並。灰10Y7/1。密、 やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。内外回転条痕。消耗 あり。	笠・太田
678-22	土師器 変	9-1236ピット	厚・0.5	酸化・並。橙5YR6/6、並、 やや軽。褐粒含、他含。	内外面に横撫あり。外面下方に工具による条 痕一条。割れ口の消耗少しあり。	
678-23	土師器 不明	9-1237ピット	厚・0.5	酸化・並。橙5YR6/6、並、 やや軽。褐粒多、他少。	外面に蓋削り、内面に無あり。割れ口の消耗 あり。	
678-24	土師器 変か	9-1238ピット	厚・0.7	還元・並。にぶい黄橙10YR4/3、 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面荒削りの痕跡あり、埋あり。 内面荒れあり。割れ口消耗大。	
678-25	須恵器 坏	9-1282ピット	底・(5.8)	酸化・並。にぶい橙7.5YR5/3、 並、やや軽。白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。底部は回転条痕あり。 割れ口平毛あり。	笠か
678-26	縄文土器 深鉢	9-1322ピット	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 粗粒砂・細塵・チャート	文様の施文は認められない。	接・無し
678-27	須恵器 瓶	9-1322ピット 頸部	厚・0.5	還元・硬。灰オリブ7.5Y6/2、 密、重。白磁物少、他少。	内外面に久欠米あり。外面に自然釉。割れ口 の消耗少。	東海掘入
678-28	縄文土器 深鉢	9-1322ピット	厚・1.1	酸化・並。灰7.5Y3/1 砂粒・細白色磁物	RL原体を斜位施文する。	接・無し
678-29	須恵器 碗・鉢 底部片	9-1326ピット	厚・1.0	酸化・軟。橙5YR6/6、並。 白・褐粒多、他少。	胎土と焼成のしつは土師器に近い。底外面手 持痕跡と回転痕跡。内面回転条痕。消耗少。	粘
678-30	土師器 坏	9-1332ピット	厚・0.3	酸化・並。橙5YR6/8、並、軽。 磁物少、シルト質。	底部は蓋削りと型削。内面横撫。割れ口の消 耗あり。	
678-31	須恵器 変か	9-1338ピット	厚・0.9	還元・硬。灰白5Y8/1。密、 やや軽。白粒含、他少。	傾き不明。外面に磨痕。内面に格子様の出具 あり。割れ口消耗大。	粘
679-1	土師土器 皿	9-1342ピット	口・(7.6)	酸化・並。にぶい橙7.5Y6/4、 並、軽。褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に条痕あり。内面黒色。割れ 口消耗。	
679-2	須恵器 坏	9-1349ピット	底・(6.0)	還元・並。灰白5Y5/1。並、 やや重。白粒含、他少。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。内外に回 転条痕あり。割れ口の消耗大。	
679-3	土師器 変・円盤	9-1368ピット	厚・0.7	酸化・並。橙5YR6/6、並、 やや重。褐粒含、他含。	外面に無。内面にも無。割れ口打ち欠きあり。 円盤か。割れ口の消耗大。	
679-4	土師器 変	9-1386ピット	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR6/6、並、 やや軽。白・褐粒含、他含。	外面に横撫。指圧痕、覆削あり。内面に刷毛 目痕。割れ口の消耗少。	
679-5	土師器 変	9-1387ピット	厚・0.4	酸化・並。橙7.5YR6/6、並、 やや軽。白・褐粒含、他少。	口縁部は外反する。口縁部は横撫で。割れ口の 消耗あり。	
679-6	須恵器 坏	9-1404ピット	厚・0.6	還元・硬。灰7.5Y6/1。密、 やや重。白磁物含、他含。	口縁部は旧時欠損する。轆轤成形。底部は轆 轤右回転条痕あり。消耗あり。	太田か
679-7	須恵器 蓋か	9-1425ピット	厚・0.8	酸化・軟。橙5YR7/6、並、軽。 白・褐粒多、他含。	口縁部片で、羽差か。轆轤成形。内外面横撫 痕。割れ口の消耗大。	粘
679-8	須恵器 坏か	9-1489ピット	厚・0.5	還元・並。灰白7.5Y7/1。並、 やや軽。白粒多、他少。	口縁部は旧時に消耗。轆轤成形。割れ口の消 耗大。	粘
679-9	須恵器 皿	9-1535ピット 底部片	厚・0.8	還元・並。にぶい黄橙10YR6/3、 並、やや軽。褐粒含、他磁。	内面轆轤目。底面条痕あり。割れ口の消耗あ り。少しシルト質。消耗あり。	粘
679-10	土師器 変	9-1535ピット	厚・0.4	酸化・並。明赤褐5YR5/6、 並、やや軽。褐粒多、他含。	傾き不明。外面は蓋削り、内面は磨で。割れ 口少し消耗あり。	

博物館 図録番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
679-11	須恵器 坏	9-1544ピット 口縁部片	厚・0.4	還元。硬。灰白5Y7/1。並、 やや軽。褐粒含、他少。	縦輪成形。内外に縦輪目あり。割れ口消耗あり。	笠か粘り
679-12	土師器 甕	9-1546ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや重。褐粒含、他少。	外面にササラ状の覆層。内面無。割れ口の消 耗少しあり。	
679-13	土師器 甕	9-1549ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 褐粒含、他含。	傾き不明。外面ササラ状の覆層。内面無。割 れ口少し消耗あり。	
679-14	土師器 甕	9-4236ピット 破片	厚・0.5	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや軽。褐・白粒含、他少。	内外面に横溝あり。外面にさらに指圧痕、下方 に寛胎あり。割れ口の消耗あり。	
679-15	土師器 甕	9-1563ピット 破片	厚・0.4	酸化。硬。にぶい赤褐5YR5/4。 並、やや重。白・黒粒含、他少。	傾き不明。器厚は薄い。外面は寛削り。内面 無。割れ口の消耗少。	
679-16	須恵器 坏か	9-1565ピット 口縁部片	厚・0.5	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重。鉱物粒微。	内・外面に回転による横溝あり。酸化気味 強い。割れ口消耗微。	
679-17	土師器 甕か	9-1570ピット 破片	厚・0.5	酸化。硬。黒褐5YR3/1。並、 やや軽。鉱物含、他少。	傾き不明。薄作り。外面に寛削りあり、吸炭 あり。小片のため良く判らず、消耗あり。	
679-18	須恵器 坏	9-1571ピット 破片	厚・0.6	還元。並。灰5Y7/2。並、 やや軽。褐粒含、他少。	内外面に横溝見え、割れ口の消耗大。	シルト質
679-19	須恵器 坏か	9-1579ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰7.5Y5/1。並、 やや重。白粒含、他少。	口縁部は指時欠損する。縦輪成形。内外に回 転条痕あり。割れ口の消耗あり。	
679-20	須恵器 蓋	9-1588ピット 体部片	厚・0.8	酸化。並。橙2.5YR6/6。並、 やや重。白・褐粒含、他含。	外面に工具痕あり。内面無。割れ口消耗 微。羽釜かは不明。	粘・陶
679-21	土師器 坏	9-1593ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 鉱物含。	薄作。底面に寛削り、型腐あり。内面に割。 れ口に消耗あり。	
679-22	須恵器 坏か	9-1600ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。黄灰2.5Y6/1。並、 やや重。白粒含、他少。	消耗少。外面に縦輪目あり。少し薄作り。割 れ口消耗少。	
679-23	須恵器 広口甕	9-1601ピット 口縁部破片	厚・0.6	還元。並。灰N5/0。密、やや重。 白粒物含、他少。	特異な形状、稀少器形。内外面回転条痕。割 れ口消耗少。	太田か
679-24	土師器 不明	9-1604ピット 不明	厚・0.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6。 並、軽。鉱物少。	小片であること、消耗大であることなど、器 種、整形不明。	
679-25	須恵器 坏か	9-1608ピット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや軽。 白粒含、他少。	割れ口少し消耗。内外面に回転条痕あり。焼 成少し雑である。	粘
679-26	土師器 甕か	9-1611ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	口縁部片である。小片のため器種不明。割 れ口消耗少ない。	
679-27	須恵器 甕	9-1611ピット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰黄2.5Y7/2。密、重。 白・黒粒物含、他少。	内外面に回転条痕あり。自然釉外面に少しか かる。割れ口の消耗大。	西毛へ近 幕か
679-28	須恵器 甕	9-1613ピット 破片	厚・0.8	還元。並。灰オリーブ5Y6/2。 並、やや重。白粒物含、他少。	割れ口消耗大。外面平打後、無。内面同心 円当て目後無。割れ口消耗大。	太田か
679-29	土師器 甕か	9-1621ピット 甕部片か	厚・0.6	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並、軽。白・褐粒含、他少。	小片のため器種不明。内・外面無。割れ口 消耗あり。	
679-30	須恵器 甕	9-1624ピット 破片	底・(6.6)	還元。並。にぶい黄橙10YR6/4。 並、軽。白粒含、他含。	底面余切痕。内面縦輪目あり。割れ口消耗大。 色変あり被熱ありか。	
679-31	土師器 甕	9-1625ピット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並、やや軽。白・褐粒含、他少。	頸部下の破片。外面に寛削り、横溝あり。内面 に横あり。割れ口少し消耗。	
679-32	土師器 台付甕か	9-1626ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並、やや重。	傾き不明。器種は台付甕の脚部片に見える。 外面に横溝あり。内面不明。消耗大。	
679-33	須恵器 坏か	9-1626ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。灰5Y5/1。並、やや重。 白粒物・粒含、他少。	内外面に回転条痕あり。器内やや薄い。割れ 口消耗大。	
679-34	土師器 甕	9-1632ピット 破片	厚・0.2	酸化。並。灰黄褐10YR4/2。並、 やや重。	傾き不明。内面無。外面寛削り。外面被熱吸 炭あり。割れ口少し消耗。	
679-35	須恵器 坏	9-1633ピット 底面破片	底・(8.0)	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 並、やや軽。白粒含、他少。	底面に余切痕と回転寛削り痕らしき跡あり。割 れ口の消耗大。	粘
679-36	須恵器 坏	9-1637ピット 口縁破片	厚・0.4	還元。並。灰N6/0。密、やや重。 白粒物含、他少。	内外面回転条痕あり。口縁部付近に重ね焼色 変あり。割れ口消耗あり。	太田か
679-37	土師器 甕	9-1643ピット 破片	厚・0.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	体部片。外面に寛削り。内面に横溝。割れ口消 耗少。	接合2片
679-38	土師器 甕か	9-1648ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。割れ口の消耗大きく、器種の不明 瞭。外面寛削り。	
679-39	須恵器 坏	9-1656ピット 破片	厚・0.4	還元。並。黒褐10YR2/2。密、 やや重。白粒物含、他少。	内外面に回転条痕あり。被熱色変あり。内外吸 炭跡少しあり。割れ口消耗少しあり。	粘
680-1	土師器 甕	9-1653ピット 破片	厚・0.4	酸化。並。赤褐2.5YR4/6。 並、軽。白・褐粒含、他少。	小形碗の頸部で、内外面に横溝。割れ口消耗 大。外面少し吸炭。	

検出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 重量 (g)	焼周・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
680-2	石製品 砥石	9-1653ビット 完形	粗粒輝石安山岩 635	遺存長・9.6 幅・11.1 厚・5.8	欠損は各々他時。部分的に金属も磨いたらしいが、他に軟質の主体を磨いたらしい。	
680-3	須恵器 坏蓋	9-1673ビット L/3	蓋縁 (3.8)	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 白・黒粒含、他少。	掴み端のみあり新磨状。外面上方回転痕あり。内面回転痕あり。割れ口消耗大。	粘
680-4	須恵器 碗	9-1675ビット 底部破片	底部 (9.2)	還元。並。灰白5Y7/1。並、軽。 白・黒粒含、他少。	高台付片。割れ口消耗大。内面底使用摩耗か。割れ口消耗少。	粘
680-5	須恵器 坏か	9-1678ビット 口縁破片	厚・0.3	還元。硬。灰 N4/0。密、重。 白胎物多含。	傾き少し内湾気味。内外回転痕あり。割れ口消耗少ない。	太田か
680-6	須恵器 坏	9-1680ビット 破片	厚・0.9	還元。硬。黄灰2.5Y7/2。並、軽。 黒粒含、他少。	器内少しない。底面に深切痕。内面輪轆目。割れ口消耗あり。	粘
680-7	須恵器 坏	9-1688ビット 口縁破片	口・(13.0)	還元。並。灰7.5Y6/1。並、重。 白・黒粒含、他胎物少。	口縁部は外傾する。輪轆成形 (右回転)。底部欠面のため切り離し技法不詳。	粘・陶
680-8	土師器 甕	9-1700ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並、軽。 白・褐粒多、他少。	傾き不明。外面寛削。撫あり。内面撫あり。割れ口消耗。	
680-9	土師器 甕	9-1701ビット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙5YR6/4。 並、やや重。白・褐粒含、他少。	傾部直下片か。外面寛削。撫。内面撫あり。割れ口消耗大。	
680-10	土師器 甕	9-1706ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。灰褐5YR4/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面寛削。内面撫あり。割れ口消耗あり。	
680-11	須恵器 坏か	9-1716ビット 破片	厚・0.4	還元。並。灰黄2.5Y6/2。並、 やや軽。白粒含、他少。	割れ口消耗あり。内外面回転痕あり。	笠か
680-12	須恵器 坏か	9-1717ビット 破片	厚・0.4	還元。並。灰黄2.5Y7/2。並、軽。 白粒多、他少。	全体に消耗大。内外に回転痕あり。焼成は極めて低質。	粘
680-13	土師器 頸部破片	9-1720ビット 破片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐5YR3/2。 並、軽。胎物少。	内外面に回転痕あり。外面に煤付着。内面横轆目。割れ口少し消耗。	
680-14	須恵器 坏か	9-1721ビット 破片	厚・0.5	酸化。並。にぶい橙7.5YR7/4。 並、軽。胎物少。	酸化味強い。内外面に輪轆目あり。割れ口消耗大。	粘
680-15	土師器 甕	9-1723ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。黒褐5YR3/2。並、軽。 白・褐粒含、他少。	傾き不明。外面寛削。煤付着。内面撫あり。割れ口消耗。	
680-16	土師器 坏	9-1752ビット 破片	厚・0.2	酸化。並。にぶい褐7.5YR7/3。 並、軽。褐粒含、他少。	外面撫。内面撫無形。割れ口の消耗少。白臭味があり根外製品か。	根外製品 か
680-17	須恵器 坏か	9-1731ビット 破片	厚・0.3	還元。並。緑黒10G2/1。並、軽。 白粒含、他少。シルト質。	割れ口消耗あり。内外面に回転痕あり。外面に重く磨痕あり。	
680-18	須恵器 不明	9-1733ビット 破片	厚・0.4	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白胎物多含。	内面のみ目状残存。内面使用摩耗。外底面剥落。割れ口消耗少。	太田か
680-19	土師器 坏	9-1737ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5Y6/6。	体部外面にササラ状の寛削。内面に撫痕。割れ口消耗大。	
680-20	土師器 甕	9-1737ビット 口縁破片	口・(11.0)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/3。 並、軽。白・褐粒含、胎物少。	口縁部の内外に接合面。外面は寛削り。内面は撫で、口縁部は横撫を施す。外面黒斑。	
680-21	土師器 甕	9-1743ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。灰褐5YR4/2。並、 やや重。金雲母。白粒含。	体部下平片か。外面寛削。被熱炭灰。内面撫。割れ口消耗少。	
680-22	土師器 坏	9-1753ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、軽。 白粒多、他少。	傾き不明。薄作。外面撫。内面撫。割れ口消耗大。	
680-23	須恵器 碗	9-1761ビット 底部1/2	底・(7.6)	還元。硬。灰5Y6/1。密、重。 灰色胎物含、他無。	口縁部は欠損する。輪轆成形 (右回転)。高台付け高台。底部は回転糸切り。胎土風風。	横接累か
680-24	須恵器 坏	9-1761ビット L/4	口・(12.6) 底・(6.6)	還元。軟。灰5Y6/1。粗、軽。 白粒含、他胎物無。	口縁部は外傾する。輪轆成形 (右回転)。底部は回転糸切り。内、外面に輪轆目。少し消耗	粘
680-25	土師器 甕	9-1771ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並、軽。白・褐粒含。	傾き不明。外面寛削。撫あり。割れ口消耗大。外面少し収反。	
680-26	須恵器 甕	9-1780ビット 破片	厚・0.6	還元。硬。灰 N6/0。密、重。 白胎物。黒粒含、他少。	傾き不明。外面に平打削。内面に撫痕と出で目あり。割れ口少し消耗。	近接累か
680-27	土師器 坏	9-1780ビット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他含。	薄作。外面底に寛削。内面撫あり。割れ口消耗あり。	
680-28	須恵器 坏	9-1784ビット 底部破片	厚・0.4	還元。硬。灰白5Y7/1。並、 やや軽白粒含、他少。	内外面に回転痕あり。底面に深切痕か。割れ口消耗大。	粘
680-29	須恵器 内風。蓋か	9-1785ビット 破片	厚・0.4	酸化。並。赤褐7.5YR5/3。 並、軽。白粒多、他含。	輪轆成形。内面に研磨を施す。外面に手持寛削。口縁付近横撫。割れ口消耗少。	
681-1	土師器 破片	9-1788ビット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙7.5YR6/6。並、軽。 白・褐粒含、他少。	外面下方に寛削。口縁部の内外面横撫無あり。割れ口全体消耗大。	
681-2	須恵器 破片	9-1788ビット 破片	厚・0.7	還元。硬。灰白7.5Y7/1。並、軽。 白粒多含、褐粒少。	内面に輪轆の回転痕。底面に深切痕。割れ口の消耗大。	粘

神居番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	直径 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・釉土	形状・技法等の特徴	備 考
681-3	土師器 環	9-1795ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 黒土物少。	外面底側に寛削。外面上方に彫溝。内面工具 痕直しき凹みあり。不明。	
681-4	須恵器 環蓋	9-1808ピット 破片	厚・0.3	還元。硬。灰5Y5/1。密。重。 白灰物含。他少。	口縁端部やや丸い。轆轤成形。割れ口消耗大。	太田か
681-5	軟質陶器 燈台か	9-1815ピット	厚・0.7	還元。硬。浅黄橙7.5YR8/4。 粗。やや軽。白・褐粒含。他少。	内面に撫。底面に石目状の膚と砂付着。割れ 口消耗大。	
681-6	軟質陶器 燈台か	9-1815ピット	厚・0.7	還元。並。にぶい黄橙10YR6/3。 粗。軽。黒土物少。	内外面に回転痕あり。割れ口の消耗大。焼 成外面酸化。内面吸炭。	
681-7	土師器 環	9-1848ピット 底部破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/3。 並。軽。褐粒含。他黒土物少。	外面にササラ状の覆層目。内面撫。割れ口の 消耗少ない。	
681-8	土師器 環	9-1850ピット 口縁部破片	厚・0.4	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 褐粒少。他微。シルト質。	内外に横溝あり。割れ口の消耗。シルト質の ためか大。	
681-9	須恵器 環	9-1873ピット 破片	厚・1.3	還元。硬。灰N6/0。密。重。 白灰物少。他微。	外面に平行印と撫あり。内面に素文の当て目 と撫あり。割れ口の消耗あり。	太田か近 接景
681-10	須恵器 環	9-1876ピット 底片	口・11.1 底・7.0	還元。細。灰N6/0。密。重。 白・黒粒含。黒土物微。	口縁部は外縁する。底部は回転糸切り後周辺 のためか大。	太・笠
681-11	須恵器 環	9-1900ピット 破片	底部(8.2)	酸化。並。にぶい赤褐5YR5/4。 並。重。褐粒含。他少。	底部は回転が大まかな手持の覆層か不明の 層。内面小いざあり。	笠か
681-12	須恵器 環	9-1901ピット 1/3	口・(13.2)	還元。並。灰黄2.5YR7/2。 並。やや重。褐粒含。	轆轤成形(右回転)。外面に小いざ。底部欠損。 口縁部周辺に重ねた焼色あり。	接合2片 粘・陶
681-13	須恵器 環	9-1902ピット 底部片	底・(6.0)	還元。細。灰7.5Y5/1。密。重。 白粒・針状物質入。他微。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。胎土 中に多量に針状物質入。少し消耗。	北埼玉
681-14	須恵器 蓋か	9-1910ピット 破片	厚・0.7	酸化。並。浅黄橙10YR8/3。 並。軽。褐粒少。シルト質。	外面に寛削。内面に工具による撫あり。割れ 口の消耗大。	粘
681-15	施釉陶器 瓶類	9-1911ピット 破片	厚・0.3	中性。細。他透明調。鉄粒。 胎土灰。	外面に施釉。上方に鉄粒の小さな掛け流しあ り。内面轆轤目あり。割れ口消耗大。	18・19C 産不明
681-16	土師器 環	9-1911ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。明赤褐5Y5/6。並。軽。 褐粒含。他少。	薄作り。表面に寛削。内面に撫。割れ口少し 消耗あり。	
681-17	土師器 環	9-1911ピット 底部破片	厚・0.4	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/4。 並。軽。褐粒含。他少。	傾き不明。外面寛削と少し吸炭。内面撫。割 れ口少し消耗。	
681-18	土師器 環	9-1920ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。軽。黒土物少。	頸部下片か。外面に寛削。内面に撫。割れ口 少し消耗。	
681-19	須恵器 環	9-2047ピット 底部片	底・(6.6)	還元-酸化。軟。浅黄7.5Y7/3。 粗。やや軽。白粒微。他微。	口縁部欠損。轆轤成形。底部糸切り。内面に不 明層あり。割れ口消耗。	墨書-162
681-20	石製品 灰白。下白	9-1972ピット 1/2	角閃石安山岩 5300g	径・(26.6)	目無し。白。軸欠あり。整形は表面が寛く。側 部はやや整う。石質は重く硬い。欠損凹み。	
681-21	土師器土器 皿	10-17ピット 破片	底・(4.6)	酸化。並。にぶい黄橙10YR7/3。 粗。軽。黒土物少。シルト質。	轆轤成形。底部は回転糸切り。割れ口消耗あ り。	中世
681-22	土師器 環	10-21ピット 破片	厚・0.3	酸化。並。にぶい橙5YR6/6。 並。軽。黒土物少。	傾き不明。外面寛削。内面撫。割れ口消耗あ り。	
681-23	須恵器 環	10-23ピット 口縁部片	厚・0.6	還元。硬。灰オリーブ5Y6/2。 粗。軽。白・黒粒含。他少。	内外面轆轤目あり。割れ口の消耗大。胎土撫 めて軽い。	
681-24	須恵器 環	10-26ピット 破片	厚・0.5	還元。硬。灰10Y6/1。密。重。 褐・灰粒。黒土物少。	口縁部は旧欠損。轆轤成形。外面に轆轤目あ り。割れ口消耗大。	産不明近 接景か
681-25	土師器 環	10-38ピット 破片	厚・0.6	酸化。並。橙2.5YR6/8。並。軽。 褐粒多。他含。	傾き不明。内外面表・裏面消耗し整形不明。	
681-26	陶器 環	10-85ピット 破片	重さ・6g	還元-中性。緑。色黄オリーブR2.5GY 4/1。密。やや重。白灰物含。他少。	黄前焼後形態の差の頸部であるが非輪前胎 土。外面白面釉。内面粗作痕。指圧痕。	16~18C 産不明
681-27	土師器土器 皿	10-199ピット 底部片	底・(5.5)	酸化。並。橙5YR6/6。並。軽。 白・褐粒含。他少。	轆轤成形。底部は回転糸切り回転方向不明。 割れ口消耗大。	中世か
681-28	土師器土器 皿	10-201ピット 口縁部片	厚・0.5	酸化。軟。灰白2.5Y8/2。並。軽。 白・褐粒含。他少。	轆轤成形。内外に回転痕あり。割れ口消耗大。	中世
681-29	硝子 びん	長さ・1.5 巾・1.3			ガラス製。淡緑色白乳濁の硝と 淡緑透明の硝り合せ。	
681-30	軟質陶器 燈台	10-204ピット 口縁部片	厚・0.9	酸化。並。灰褐5YR5/2。粗。軽。 褐粒含。他少。	頸か燈台か不明。内外面に撫あり。口縁端部 特徴的。外面に縦付着。割れ口消耗大。	16~18C
681-1	土師器土器 皿	10-207ピット 破片	口・(10.9)	酸化。並。浅黄橙7.5YR8/4。 粗。軽。黒土物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り。内外 面に轆轤目。荒彫あり。	中世か
681-2	土師器 環	10-211ピット 破片	厚・0.9	酸化。並。明赤褐2.5YR5/6。 並。やや重。白・褐粒含。他少。	小片のため傾き不明。外面吸炭。磨研状単位 2条。撫。内面。割れ口も消耗大。	

押印番号 図版番号	種 別 種 類	出土位置 遺 存 度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
682-3	土師器 高坏	10-240ピット 破片	口・(15.0)	酸化・並。にぶい赤褐色5YR5/4、 並、やや重。白・褐粒含、他微。	外面に覆、置懸、接合痕あり。内面に放射状 喰文あり。内外消耗。	
682-4	軟質陶器 埴か	10-265ピット 破片	厚・0.8	酸化・並。暗色赤褐色5YR3/2。 粗、軽。金雲母、褐粒含、他少。	外面黒、肌、意匠不明の押印施文。内面黒。 割れ口消耗。	17~19C
682-5	須恵器 蓋	10-286ピット 破片	厚・0.7	還元・硬。灰5Y6/1。粗、軽。 白・黒・褐粒含、他含。	体部外面轆轤右回転の寛削あり。内面轆轤目 あり。割れ口消耗大。	粘
682-6	軟質陶器 埴	10-328ピット 破片	厚・1.0	酸化・並。明赤褐色5YR5/6。 粗、やや重。鉱物多。	内外面喰痕。外面研削様の光沢あり。焼成色 黒、褐色、種の5層気味。少し消耗。	16~19C
682-7	土師土器 口縁部片	10-466ピット 破片	厚・0.5	酸化・並。橙5YR6/6。粗、軽。 白・褐・黒粒含、他少。	轆轤成形。割れ口に筋、古あり。古い割れ口 は少し消耗。	16~19C
682-8	軟質陶器 埴火鉢か 底部片	10-466ピット 破片	厚・0.7	酸化・硬。にぶい黄褐色10YR6/4。 並。白・褐粒含、他少。	内面に回転条痕。外面に底状の溝あり。割れ 口消耗少。	16~18C
682-9	土師土器 口縁部片	10-476ピット 破片	口・(11.6)	酸化・並。明赤褐色5YR5/6。並、 やや重。白・褐粒含、他少。	轆轤成形。内外に轆轤右回転条痕あり。割れ 口の消耗少。	15~17C
682-10	軟質陶器 埴鉢	10-476ピット 破片	厚・1.5	酸化・硬。灰、5Y5/1。並、軽。 黒・褐粒含、他少。	内面下方の使用摩耗大。外面下方に置削、上 方直置と無。外面灰色焼、消耗少。	14~16C
682-11	石器 打製石斧	10-476ピット	ホルンフェルス			
682-12	土師器 破片	10-377ピット 破片	厚・0.7	酸化・硬。橙5YR6/6。並、 やや軽。褐・黒粒含、他少。	厚手である。外面黒色焼、下手に置削。内面 赤褐色強く、無あり。割れ口消耗大。	6C
682-13	須恵器 坏か	11-3ピット 口縁部片	厚・0.3	還元・並。にぶい黄褐色10YR6/3。 並、軽。褐粒含、他少。	口縁部の内外面に回転条痕。割れ口の消耗大。 9・10C	

1号窯

押印番号 図版番号	種 別 種 類	出土位置 遺 存 度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
683-1	土師器 土師 破片	覆土 破片	口・(12.4)	酸化・硬。明赤褐色5YR5/6。	口縁部は内両気味。型作り。底部は置削り、 体部に型削。口縁部・器内面は轆轤で整形。	
683-2	土師器 坏・皿 破片	覆土 破片	口・(13.7)	酸化・硬。橙5YR6/6。並。 雲母含、他微。	口縁部は内両気味。型作り。底部は置削。 口縁部・器内面は轆轤で整形。	
683-3	土師器 覆土 口縁部片	覆土 破片	口・(19.0)	酸化・並。明赤褐色2.5YR5/6。 並。白色・褐粒含、他微物多。	口縁部下外面に接合痕。器外面は置削り、器 内面は置削で、口縁部は轆轤で施す。	
683-4 208-1	土師器 台付壺	No.3 脚部1/2	底・(18.8)	酸化・並。鈍褐色5YR6/3。 粗、軽。白・褐粒含、鉱物少。	外面被熱。内外両面。割れ口は旧時欠損。壺 部との接点で割れている。	
683-5	須恵器 坏	覆土 1/4	口・(13.0) 底・(7.4)	酸化・軟。鈍黄褐色2.5Y6/4。並、 やや軽。黒粒・鉱物含。	轆轤成形(右回転)。底部は回転置削り。焼成 甘い。内面は整い滑らか。	焼・陶
683-6	石造品 磨石	覆土 破片	砂岩 170g	幅・3.6+α	川原石を利用し、点部部は転石面。欠損旧時 摩耗状態は、研磨主体か軟らかい凹凸。	
683-7	焼土塊	破片	115g	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。マンガン様小円粒多。	スズほか夾雑物見えず自然材か。マンガン粒 もしくは、数分小塊多々、色色酸化。	
683-8	壁体使用 材か	No.1 破片	600g	酸化・軟。橙7.5YR6/6。粗、 軽。マンガン様小円粒多。	スズほか夾雑物見えず自然材か。表面、臭小 口、右側部に面整形の痕跡あり。	

1区土器溜

押印番号 図版番号	種 別 種 類	出土位置 遺 存 度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
697-1	縄文土器 深鉢	土器溜No.842 破片	口・(27.3)	酸化・軟。褐色5YR4/3 粗粒砂・白色鉱物・赤褐色粒子	4点の合成。 風化顕著。8単位の把手を具備し、波状口縁 になる。把手は、3種類が認められ、箇中正 面を中心把手とし4715がその位置に、4713が 他の6カ所の把手になると考えられる。口縁 文様は、把手から派生する三角形区画の隆帯 をモチーフとし内側に押印文を施し、隆帯の 端は腐化に彫れ、把手寄りには三叉文を施文。	
697-2	縄文土器 深鉢	土器溜No.842 破片	厚・0.7			
697-3	縄文土器 深鉢	土器溜22区 破片	厚・0.7			
697-4	縄文土器 深鉢	土器溜No.358 破片	厚・1.0			
697-5	縄文土器 深鉢	土器溜No.895 破片	厚・0.9	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 金雲母・粗粒砂	横位隆帯間に三角形・楕円内に隆帯を施文し、 隆帯下端にキョクピラ文を施す。	接・無し
697-6	縄文土器 深鉢	土器溜No.520 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/2 金雲母・粗粒角礫	波状口縁(単位数不詳)。口縁直下にキョクピ ラ文を配し、更に直下に連続三叉文を配する。	接・無し
697-7	縄文土器 深鉢	土器溜No.1 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色5YR5/6 粗粒砂角礫多	横位隆帯区画文の内側に連続隆帯文を施し、 隆帯下端に連続純粋文を施す。	接・無し

探出番号 図録番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
697-8	縄文土器 深鉢	土器溜No1000	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 金雲母・白色胎土・粗粒砂	楕円の隆帯区画をモチーフとし、楕円隆帯の内側に押引文・竹管波状文を施す。	接・無し
697-9	縄文土器 深鉢	土器溜No1136	厚・0.9	酸化・並。褐5YR4/4 白色胎土・白色粒子・細砂粒	楕円の隆帯楕円区画を主とし、隆帯の下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-10	縄文土器 深鉢	土器溜No1061	厚・0.8	酸化・並。褐7.5YR4/4 金雲母・白色胎土	大形胴体。縦帯の隆帯を楕円区画文とし、隆帯の下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-11	縄文土器 深鉢	土器溜No1312	厚・1.0	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 白色胎土・粗粒砂	楕円の隆帯楕円区画を主とし、隆帯の下端に連続刺突文・区画内に波状文を施す。	接・無し
697-12	縄文土器 深鉢	土器溜一括	厚・1.1	酸化・並。褐7.5YR4/4 金雲母・細砂粒・白色胎土	平行直下する隆帯を配し、隆帯の下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-13	縄文土器 深鉢	土器溜18区	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR6/3 金雲母・白色微粒子	楕円区画隆帯に重複させ楕円区画隆帯を施す。楕円区画隆帯の内側に連続刺突文を施す。	接・無し
697-14	縄文土器 深鉢	土器溜No198	厚・1.0	酸化・並。褐5YR4/4 金雲母・白色胎土	大形胴体。縦帯直線・弧線の隆帯を直下させ、隆帯の下端に連続刺突文を施す。	接・無し
697-15	縄文土器 深鉢	土器溜18区	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR5/4 金雲母・白色胎土	大形胴体。楕円の隆帯を施文し、直下に弧線隆帯を配す。	接・無し
698-1	縄文土器 深鉢	土器溜No881	厚・0.9	酸化・並。鈍褐7.5YR6/4 金雲母・白色胎土	大形胴体。隆帯より縦帯の区画文を構成する。器面の風化顕著。	接・無し
698-2	縄文土器 深鉢	土器溜No442	厚・1.1	酸化・並。鈍赤褐5YR4/4 角粒粗粒砂・白色胎土	波状口縁の波頂部。冠部直下に孔を穿ち、直下から隆帯を直下させる。	接・無し
698-3	縄文土器 深鉢	土器溜No1440	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 金雲母・白色胎土・粗粒砂	口唇部に刻み施し、耳状の把手を貼付する。口縁部は2条の押引文を施す。	接・無し
698-4	縄文土器 深鉢	土器溜No1407	厚・1.0	酸化・並。灰褐7.5Y4/2 粗粒白色胎土・粗粒砂・金雲母	楕円の楕円状隆帯の両端が淡黄手状に表出し内外に押引文を施す。	接・無し
698-5	縄文土器 深鉢	土器溜No383	厚・0.9	酸化・並。灰白10YR8/2 金雲母・白色胎土	大形胴体の破片。文様は認められない。	接・無し
698-6	縄文土器 深鉢	土器溜No629	厚・0.6	酸化・軟。黄灰2.5Y4/1 金雲母・白色胎土・粗粒砂	8単位の波状口縁。口縁に楕円隆帯区画文を施し、直下に隆帯直線文を施す。	接・無し
698-7	縄文土器 深鉢	土器溜No836	厚・0.8	酸化・並。黒褐色 YR3/1 白色胎土・白色粒子	4単位の波状口縁。波頂部に刻みを施す。口唇部は幅が広く平坦。	接・無し
698-8	縄文土器 鉢類	土器溜No531	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 セライト・細粒角礫	浅鉢の可能性が有る。丸帯を帯強く内傾する。三角形の三叉文の左右に連続刺突文を施す。	接・無し
698-9	縄文土器 深鉢	土器溜No10	厚・0.8+α	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒・白色微粒子・細粒角礫	楕円の隆帯を楕円状に区画する。4733と同一個体。	接・無し 五個々台
698-10	縄文土器 浅鉢	土器溜No865	厚・0.8	酸化・並。鈍褐5YR6/3 角粒粗粒砂・白色微粒子	丸帯を帯びた口縁が内傾する。口縁部に弧状の隆帯文を施す。	接・無し
698-11	縄文土器 深鉢	土器溜一括	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 金雲母・白色胎土・ダイヤイット	器面の風化が著しく、文様を欠損するが、部分的に円形の小刺突文が残存する。	接・無し
698-12	縄文土器 深鉢	土器溜No930	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 金雲母・白色胎土	楕円区画隆帯間に細い縦帯の隆帯を配す。	接・無し
698-13	縄文土器 深鉢	土器溜No7	厚・0.9	酸化・並。褐7.5YR4/3 細砂粒・白色微粒子・細粒角礫	楕円の隆帯を楕円状に区画し、直下に連続文を配し、胴縁に三叉文を施す。	接・無し 五個々台
698-14	縄文土器 深鉢	土器溜No236	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR4/3 金雲母・白色微粒子	連続刺突文により文様を構成する。	接・無し
698-15	縄文土器 深鉢	土器溜まり	厚・1.0	酸化・並。鈍褐5YR6/3 白色胎土・白色粒子・砂粒	深鉢の把手。幾線により人面様の文様を表出。内部は中空。	接・無し
698-16	縄文土器 厚胎土器	土器溜No308	口・(17.0)	酸化・並。鈍褐5YR6/4 角粒粗粒砂・白色胎土	器形は浅形。胴部中に最大径を有すると考えられる。孔は推定15~17個と推定される。	接・無し
698-17	縄文土器 底部充存	土器溜18区	底・9.2	酸化・並。鈍赤褐5YR5/3 金雲母・白色胎土	文様は認められない。器内面に赤褐色顔料が厚く全面に塗られる。	接・無し
698-18	土製品 円盤	土器溜No245	径・3.0	酸化・並。赤褐5YR4/6 金雲母・白色胎土	深鉢の胴部片を転用する。キャップ瓦乃至連続瓦形文が認められる。	接・無し
698-19	土製品 円盤	土器溜No256	径・4.2	酸化・並。鈍褐5YR6/4 金雲母・白色胎土・白色微粒子	深鉢の胴部片を転用する。文様は認められない。	接・無し
699-1	石器 割片石鏝	土器溜まり	チャート 重・12.3	長・3.9、幅・4.45、厚・0.75 チャート	1個縁に刃部加工を施す。	
699-2	石器 割片石鏝	土器溜まり	チャート 重・23.52	長・5.15、幅・3.95、 チャート	1個縁に刃部加工を施す。	
699-3	石器 割片石鏝	土器溜まり	チャート 重・17.9	長・4.15、幅・2.7、厚・1.65 チャート	1個縁に刃部加工を施す。	

検出番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要	
699-4	石器 削片 石器 完存	土器層より 完存	チャート 重・20.89	長・3.6、幅・3.7、厚・1.6 チャート	ドリルか、2側縁に加工を施し、突出を表出している。		
699-5	石器 土器層覆土 完存	ホルンフェルス 重・81	長・4.9、幅・8.6、厚・1.6 ホルンフェルス	縦長削片の片側に刃部加工を施す。片面に礫面を残す。			
699-6	石器 打製石片 完存	土器層№385 重・598	黒色頁岩 重・598	長・10.6、幅・7.6、厚・6.3 黒色頁岩	両側部側に顕著な打痕が認められ、先端側にも顕著が認められる。		
699-7	石器 土器層№883 完存	黒色頁岩 重・28	長・4.0、幅・6.2、厚・1.3 黒色頁岩	長・4.0、幅・6.2、厚・1.3 黒色頁岩	2側面に平坦面を有する。刃部加工は先端側面に施す。		
699-8	石器 土器層№608 完存	流紋岩 重・120	長・10.2、幅・5.6、厚・1.8 流紋岩	長・10.2、幅・5.6、厚・1.8 流紋岩	楕形。刃部・側部の片側に礫面を残す。側部加工は偏りが有る。		
699-9	石器 土器層№32 完存	黒色頁岩 重・70	長・9.2、幅・5.1、厚・1.7 黒色頁岩	長・9.2、幅・5.1、厚・1.7 黒色頁岩	頭部に平坦面を残す。刃部の丸い楕円形状の形状を呈する。刃部は丸い。		
699-10	石器 土器層№3 完存	黒色頁岩 重・29	長・5.9、幅・5.9、厚・1.2 黒色頁岩	長・5.9、幅・5.9、厚・1.2 黒色頁岩	三角形状で、3辺の中段に刃部加工を施す。作りは粗雑。		
699-11	石器 打製石片 1/2	土器層№922 重・348	ホルンフェルス 重・348	長・12.0、幅・6.7、厚・3.2 ホルンフェルス	楕形基調。器厚が厚い。一部に礫面を残す。2側辺加工は顕著で比較的薄い作り。		
699-12	石器 土器層24区 打製石片 完存	ホルンフェルス 重・113	長・9.7、幅・5.6、厚・1.7 ホルンフェルス	長・9.7、幅・5.6、厚・1.7 ホルンフェルス	楕形。表裏面に顕著な割離平坦面を残す。周辺加工は顕著で比較的薄い作り。		
699-13	石器 土器層№321 打製石片 完存	実質安山岩 重・115	残存長・8.4、幅・4.9 厚・2.0、実質安山岩	残存長・8.4、幅・4.9 厚・2.0、実質安山岩	刃部側を欠損。短楕円形基調の。表裏面に礫面を残す。加工は粗雑。		
700-1	石器 土器層№118 打製石片 完存	ホルンフェルス 重・1093	長・19.1、幅・11.8、厚・3.9 ホルンフェルス	長・19.1、幅・11.8、厚・3.9 ホルンフェルス	楕形。表裏面に礫面を残し、大雑把な成形が目立つ。側部調整は片側に偏る。		
700-2	石器 礫石器 完存	土器層№492 重・157	粗粒輝石安山岩 重・157	長・8.5、幅・4.6、厚・3.4 粗粒輝石安山岩	上下両端が打ち叩く行為による欠損状態。石器工場のツールか。		
700-3	石器 礫石器 完存	土器層№464 重・335	粗粒輝石安山岩 重・335	長・10.0、幅・9.0、厚・2.8 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、敲打痕が認められる。小口は割落が認められる。		
700-4	石器 礫石器 完存	土器層№426 重・397	ホルンフェルス 重・397	長・10.0幅・89.2、厚・3.2 ホルンフェルス	長・10.0幅・89.2、厚・3.2 ホルンフェルス	表裏面に礫面を残す。片面には1次割離面が大きく残り、使用に伴う割離が認められる。	
700-5	石器 土器層 一部欠損	雲母石英片岩 重・5259	長・26.0、幅・29.4、厚・4.0 雲母石英岩	長・26.0、幅・29.4、厚・4.0 雲母石英岩	使用面の中央に敲打痕・集中打痕が認められる。裏面には孔が多く認められる。		
701-1	石器 土器層28覆土 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・200	長・6.7、幅・6.2、厚・3.5 粗粒輝石安山岩	長・6.7、幅・6.2、厚・3.5 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅する。		
701-2	石器 土器層覆土 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・87	長・5.4、幅・4.4、厚・3.3 粗粒輝石安山岩	長・5.4、幅・4.4、厚・3.3 粗粒輝石安山岩	顕著な使用痕は認められないが、形状は石器と考えられる。		
701-3	石器 礫石器 完存	土器層№827 重・252	粗粒輝石安山岩 重・252	長・7.8、幅・6.4、厚・4.3 粗粒輝石安山岩	長・7.8、幅・6.4、厚・4.3 粗粒輝石安山岩	裏面の中央部が磨滅する。	
701-4	石器 礫石器 完存	土器層№105 重・478	粗粒輝石安山岩 重・478	長・10.4、幅・8.2、厚・5.9 粗粒輝石安山岩	長・10.4、幅・8.2、厚・5.9 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。側部にも敲打痕が認められる。	
701-5	石器 礫石器 完存	土器層30覆土 重・502	粗粒輝石安山岩 重・502	長・9.5、幅・8.5、厚・3.9 粗粒輝石安山岩	長・9.5、幅・8.5、厚・3.9 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、側部に打痕が認められる。	
701-6	石器 礫石器 完存	土器層№670 重・305	粗粒輝石安山岩 重・305	長・7.9、幅・7.1、厚・5.1 粗粒輝石安山岩	長・7.9、幅・7.1、厚・5.1 粗粒輝石安山岩	風化顕著。恐らく礫石と考えられる。	
701-7	石器 土器層覆土 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・401	長・9.9、幅・8.2、厚・3.5 粗粒輝石安山岩	長・9.9、幅・8.2、厚・3.5 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、孔を穿つ。小口には敲打に伴う割離が認められる。		
701-8	石器 土器層№432 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・442	長・13.0、幅・5.4、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	長・13.0、幅・5.4、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平部が磨滅し、側部に磨滅した集中打痕が認められる。		
701-9	石器 土器層10区 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・543	長・11.0、幅・6.1、厚・5.3 粗粒輝石安山岩	長・11.0、幅・6.1、厚・5.3 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、裏面には被熱による焼きハゼが認められる。		
701-10	石器 土器層№662 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・307	長・10.6、幅・5.9、厚・3.1 粗粒輝石安山岩	長・10.6、幅・5.9、厚・3.1 粗粒輝石安山岩	両面の扁平部が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。		
701-11	石器 礫石器 完存	土器層№345 重・393	粗粒輝石安山岩 重・393	長・12.0、幅・5.5、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	長・12.0、幅・5.5、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、小口・側部にも敲打痕が認められる。	
701-12	石器 土器層№5 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・544	長・10.5、幅・9.0、厚・4.3 粗粒輝石安山岩	長・10.5、幅・9.0、厚・4.3 粗粒輝石安山岩	裏面の平坦面側が磨滅し、孔を穿つ。側部には、顕著な敲打使用により潰れている。		
702-1	石器 土器層№672 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・1063	長・11.0、幅・9.7、厚・7.5 粗粒輝石安山岩	長・11.0、幅・9.7、厚・7.5 粗粒輝石安山岩	小口・側部に敲打痕が認められる。		
702-2	石器 土器層№270 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・192	長・7.8、幅・5.3、厚・3.0 粗粒輝石安山岩	長・7.8、幅・5.3、厚・3.0 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、小口・側部に打痕が認められる。		
702-3	石器 土器層№247 礫石 完存	粗粒輝石安山岩 重・371	長・9.7、幅・7.3、厚・3.9 粗粒輝石安山岩	長・9.7、幅・7.3、厚・3.9 粗粒輝石安山岩	両面の平坦面側が磨滅し、表面は2孔を穿ち、打痕が認められ、裏面も集中打痕が認められる。		

採石番号 図版番号	種 類	別 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
702-4	石器 磨石	土器部№974 完存	粗粒輝石安山岩 重・871	長・11.7、幅・10.0、厚・5.0 粗粒輝石安山岩		裏面の平坦面側が磨減し、側面に敲打痕が認められる。	
702-5	石器 磨石	土器部№315 完存	粗粒輝石安山岩 重・357	長・8.9、幅・7.0、厚・4.2 粗粒輝石安山岩		表面の平坦面側が磨減し、両面の平坦面に集中打痕が認められる。	
702-6	石器 磨石	土器部№656 完存	粗粒輝石安山岩 重・157	長・7.0、幅・5.2、厚・3.6 粗粒輝石安山岩		顕著な使用痕は認められないが、形状は石器と考えられる。	
702-7	石器 磨石	土器部№949 完存	粗粒輝石安山岩 重・737	長・11.3、幅・10.5、厚・4.0 粗粒輝石安山岩		裏面の平坦面側が磨減し、敲打痕が認められ、側部・小口に集中打痕が密集する。	
702-8	石器 磨石	土器部№39 完存	粗粒輝石安山岩 重・368	長・8.1、幅・7.1、厚・4.2 粗粒輝石安山岩		両面の平坦面側が磨減し、中央部に集中打痕を残す。小口に敲打痕が認められる。	
702-9	石器 磨石	土器部 完存	粗粒輝石安山岩 重・319	長・7.1、幅・7.5、厚・4.4 粗粒輝石安山岩		両面の平坦面側が磨減し、中央部に集中打痕を残す。小口に敲打痕が僅かに認められる。	
702-10	石器 磨石	1区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・412	長・9.0、幅・8.0、厚・4.8 粗粒輝石安山岩		表面平坦面側に孔を穿ち、両面の平坦面は磨減し、集中打痕が認められる。	
703-1	石器 磨石	土器部7区覆 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・593	長・11.6、幅・9.0、厚・4.6 粗粒輝石安山岩		両面の平坦面側が磨減し、孔を穿す。小口・側面に敲打痕が顕著に認められる。	
703-2	石器 磨石	土器部№600 完存	粗粒輝石安山岩 重・847	長・12.7、幅・9.0、厚・4.8 粗粒輝石安山岩		両面の扁平中央部に集中打痕を残す。小口に敲打痕・強い敲打痕に伴う割傷がある。	
703-3	土器 磨石	土器部 完存	粗粒輝石安山岩 重・1490	長・17.7、幅・8.6、厚・6.5 粗粒輝石安山岩		縦横断面の両面より傾度が異なる。両端は丸く中央が直線的である。断面は扇形状を呈する。	
703-4	石器 叩石	土器部№235 完存	粗粒輝石安山岩 重・938	長・17.6、幅・8.7、厚・6.0 粗粒輝石安山岩		片側部に集中打痕が帯状に認められ、表裏面の中央部に孔が認められる。	

1 区低地

採石番号 図版番号	種 類	別 種	出土位置 遺 存 度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
704-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。黒濁10YR3/1 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し	
704-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	R原体を横転施文する。	接・無し	
704-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。黒濁10YR3/1 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。補修孔を穿つ。	接・無し	
704-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄濁10YR5/3 含繊維・白色微粒子	L原体を横転施文する。	接・無し	
704-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄2.5YR6/2 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し	
704-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・並。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し	
704-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	L原体を横転施文する。	接・無し	
704-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	粗いL原体を横転施文する。	接・無し	
704-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y7/2 含繊維・白色微粒子	第2種付加糸。L+L原体を回転施文する。	接・無し	
704-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。濁10YR4/4 含繊維・白色微粒子	粗いLR原体を横転施文する。	接・無し	
704-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。明濁7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	第1種付加糸。RL+2LとLR+2L原体の羽状施文する。補修孔を穿つ。	接・無し	
704-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄2.5Y6/3 含繊維・白色微粒子	LR原体を横転施文する。	接・無し	
704-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。黒濁7.5YR3/1 白色鉱物	短く直立する口縁部。RL原体を横転施文し、L原体の末端を刺突押除する。	接・無し 中期	
704-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y7/2 白色鉱物・角粒粗粒砂	LR原体を疑似羽状施文する。	接・無し 加蓋判E4	
704-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加糸。LR+2L原体を施文する。	接・無し	
704-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。濁7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	？のRL原体を横転施文する。	接・2点	
704-17	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄濁10YR5/4 含繊維・白色微粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し	

1区低地

博覧番号 図版番号	種別 図種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
704-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR4/3 含繊維・白色微粒子・砂粒	RL 原体を横断施文する。	接・無し
704-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 含繊維・白色微粒子	RL 原体を横断施文する。	接・無し
704-20	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 含繊維・白色微粒子	細片のため判断しきれないが、2条のRの押捺 に見られる。	接・無し
704-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄2.5Y7/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-22	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色5YR5/6 含繊維・白色微粒子	粗いLR 原体を横断施文する。	接・無し
704-23	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。L+2L 原体を疑似羽状施文 する。	接・無し
704-24	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐色7.5YR6/4 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。RL+2R 原体を疑似羽状施 文する。	接・無し
704-25	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR4/2 含繊維・白色微粒子	LR 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-26	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 含繊維・白色微粒子	羽状施文を施文する。	接・無し
704-27	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子・細礫	第2種付加条。LR+2L 原体を施文する。	接・無し
704-28	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子	底部周辺の破片。 第2種付加条。RL+2R 原体を施文する。	接・無し
704-29	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細礫	第2種付加条乃至異来縄文。付加条の場合は L+2R。	接・無し
704-30	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。L+2R 原体を施文する。	接・無し
704-31	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 含繊維・白色微粒子	第2種付加条。RL+2R 原体を施文する。	接・無し
704-32	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/4 含繊維・白色微粒子・赤褐色微粒子	第2種付加条。RL+2L 原体を施文する。	接・無し
704-33	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色7.5YR7/4 含繊維・赤褐色微・角粒粗粒砂	第2種付加条。軸原体はRだが、付加原体は 磨滅により不詳。	接・無し
704-34	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。褐色10YR5/1 含繊維・白色微粒子・金雲母	強く外傾する口縁部。R 原体のルーブ文を施 文する。	接・無し
704-35	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 含繊維・白色微粒子・白色鉱物	R 原体を疑似羽状施文する。	接・無し
704-36	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 含繊維・砂粒	RL 原体を横断施文し、ルーブ文を2段+a に施文する。	接・無し
704-37	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色7.5YR5/8 含繊維・白色微粒子	第2種付加条R+2R を横断施文する。	接・無し
704-38	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・白色微粒子	軸長施文は不詳。付加はR2条。	接・無し
705-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 含繊維・白色微粒子・赤褐色微	地紋に縦縞を横断施文し、半葦竹管のルーブ 文を施文する。	接・無し
705-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 含繊維・白色微粒子・赤褐色微	地紋に縦縞を横断施文し、半葦竹管のルーブ 文を施文する。4455と同一個体。	接・無し
705-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。褐色7.5YR6/8 含繊維・白色微粒子・赤褐色微	地紋に縦縞を横断施文し、半葦竹管のルーブ 文を施文する。4454と同一個体。	接・無し
705-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/6 含繊維・白色微粒子・赤褐色微	縦縞を横断施文する。	接・無し
705-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 含繊維・白色微粒子・細砂粒	4単位の波状口縁か。半葦竹管による平行波 縞文を施す。	接・無し
705-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 金雲母・白色鉱物	4単位の波状口縁か。口唇部を肥厚気味にし、 波頭部直下の瘤状の貼付文を施す。	接・無し
705-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐色5YR5/8 角粒粗粒砂多	短く外反する口縁部に半葦竹管による平行波 縞文を施し、下位に隆帯を横走させる。	接・無し
705-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/6 含繊維・白色微粒子	口唇部は平坦。口唇部に平走する押引文を施 文する。	接・無し

1 区低地

採集番号 (図版番号)	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 量目 (g)	焼跡・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘要
705-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄7.5YR7/4 含鐵塵・白色胎土	口唇部に刻みを施し、平行沈線文を施し、波状口縁部に向かい半截竹管の連続刷文を施す。	接・無し
705-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。褐10YR4/6 角粒粗粒砂・白色胎土	波状口縁。地紋にLR原体を縦位に施文し、細い半截竹管により平行線文を表出する。	接・無し 漆磯B
705-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐7.5YR5/6 含鐵塵・白色胎土・砂粒	半截竹管による連続的爪形文を山形に施文する。	接・無し
705-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐10YR4/4 白色胎土・角粒粗粒砂	地紋原形はRL。横位の平行条線を施す。	接・無し
705-13	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黒褐10YR3/2 含鐵塵・白色胎土・細砂粒	半截竹管による連続的爪形文を横位・斜位に施文する。	接・無し 漆磯A
705-14	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/8 角粒粗粒砂・細塵	大形の浅鉢形土器で、4単位の波状口縁。文様は認められない。	接・無し
705-15	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐10YR7/3 細塵・白色胎土・赤褐色粒子	半截竹管により押引文と細い平行沈線文を交互に施す。	接・無し 浮島
705-16	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5YR8/1 白色胎土・細砂粒	半截竹管により横走する平行線文により構成する。地紋は認められない。	接・無し 浮島
705-17	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。褐灰10YR4/1 白色胎土・角粒粗粒砂	口縁部は強く内傾し、木の葉文を施す。	接・無し 漆磯A
705-18	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色胎土・デイスイト	横位の平行条線と縦位の平行条線を施す。	接・無し
705-19	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄7.5YR6/3 白色胎土・赤褐色粒子	縦位に平行条線を施し、縦位に平行条線を施す。	接・無し
705-20	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 赤褐色粒子・セリサイト	「X」字状に平行条線を施し、扇状貼付文を施す。	接・無し
705-21	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 赤褐色粒子・白色胎土	縦位の平行条線・「X」字状平行条線を施文し、扇状貼付文を施す。	接・無し
705-22	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 白色胎土・角粒粗粒砂・暗褐色粒	横位の平行条線を施文し付文を貼付する。	接・無し
705-23	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 デイスイト・セリサイト	横位の平行条線を施文する。	接・無し
705-24	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR6/4 白色胎土・角粒粗粒砂	地紋原形は不分明。細い半截竹管の押引文を施す。	接・無し 漆磯B
705-25	縄文土器 不明	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 白色胎土・白色胎土	横位の平行条線を施文する。	接・無し 漆磯C
706-1	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 金雲母・白色胎土	波状口縁の把手部。連続的柵門隆帯文を施す。4478と同一個体。	接・無し 阿玉台
706-2	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐10YR4/3 金雲母・白色胎土	波状口縁の把手部。連続的柵門隆帯文を施す。4477と同一個体。	接・無し
706-3	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄7.5YR7/4 金雲母・角粒粗粒砂・白色胎土	波状口縁の把手部。冠部に刻みを施す。「Y」「Y」字状刻隆帯を施し、押引文を施す。	接・無し
706-4	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。明灰褐7.5YR7/1 金雲母・角粒粗粒砂・細塵	内湾する口縁部の把手部。口唇部把手右側に刻みを施す。把手直下に隆帯を貼付する。	接・無し
706-5	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄7.5YR6/4 金雲母・白色胎土・粗粒砂	扇状の把手部。口唇部は平坦で押引文の加飾を施す。口縁部は押引文を柵門状に施文。	接・無し
706-6	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰褐7.5YR6/3 金雲母・白色胎土	口唇部を欠損する。口唇部直下に山形状に柵門隆帯を施し、口縁下位は柵門状突起に加飾。	接・無し
706-7	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄2.5Y6/4 金雲母・白色胎土	鋭い手状の小突起破片で、隆帯に刻みを施す。突起の口唇部は加飾を施す。	接・無し
706-8	縄文土器 浅鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR8/1 金雲母・白色胎土・角粒粗粒砂	口縁部は短く反折する。肩部に柵門隆帯を施し、隆帯下端に半截竹管による押引文を施文。	接・無し
706-9	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。暗褐10YR3/3 金雲母・白色胎土・角粒粗粒砂	内湾する口縁部。柵門隆帯を施し、隆帯下端に半截竹管による押引文を施す。	接・無し
706-10	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR7/4 粗粒砂・白色胎土	大形個体の把手部。把手部は不整形の隆帯。口縁部は柵門区画隆帯を施す。	接・無し
706-11	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄7.5YR7/3 金雲母・粗粒白色胎土	扇状把手を施し、直下の方形区画の隆帯文。口縁部は柵門隆帯区画文を施す。	接・無し
706-12	縄文土器 深鉢	1 区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/6 金雲母・白色胎土・白色胎土	隆帯直下に山形押引文を施し、下位に押引による派文を表出する。	接・無し

I 区低地

博図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
706-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白10YR7/2 金雲母・白色微粒子・細礫	波状口縁か、口唇直下に細い隆帯を横たわせ、更に楕円隆帯を施し、波状沈線文を施文。	接・無し
706-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。淡黄褐色10YR8/3 金雲母・白色粒子・白色鉱物	内湾気味の口縁部で口唇部は肥厚する。口唇直下に6本1単位の櫛歯連続刺突文を施す。	接・無し
706-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 金雲母・白色鉱物・細礫	2段に楕円区画隆帯を施す。下段は隆帯下部に押引文乃至平行沈線文を施す。	接・無し
707-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/6 金雲母・白色鉱物・白色粒子	隆帯直下に山形押引文を施し、下位に押引による連弧文を表出する。	接・無し
707-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR 黒色6/6 金雲母・白色鉱物	「の」字状隆帯を貼付し、縁辺に連続爪形文、更に外周を取り巻く平行沈線文を施す。	接・無し
707-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 白色鉱物・白色微粒子	横位の2条の隆帯を施す。上位は別隆帯。隙間に楕円区画隆帯を施し、山形文を施文。	接・無し
707-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 金雲母・白色鉱物	波状口縁乃至把手部の破片。連続刺突文を3段に施し、半截竹管の波状文を施文する。	接・無し
707-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 ダイヤサイト・白雲母・白色鉱物	把手部片。肩部が二股に分かれ、中央部に横た把手を配し、周辺に押引文を施す。	接・無し
707-6	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。明褐色5YR5/6 金雲母・白色鉱物	短く立ち上がる口縁部に、連続刺突文により弧線文を表出する。	接・無し
707-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。褐色7.5YR4/6 金雲母・白色鉱物	胴部片。天地線が不分明。連続押引により文様を表出する。貼付文の痕跡が認められる。	接・無し
707-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 角状粗粒砂・白色鉱物	口縁部片か、内湾部に波状隆帯を貼付し、周に沈線により、平行微文・弧線文を表出する。	接・無し
707-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 金雲母・白色鉱物	口縁部は内湾し、横位隆帯間に斜行する連続平行押引文を完成する。4500と同一個体。	接・無し
707-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 金雲母・白色鉱物	内湾する波状口縁。半截竹管による連弧文を施す。	接・無し
707-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 金雲母・白色鉱物	口縁部は内湾し、横位隆帯間に斜行する連続平行押引文を完成する。4490と同一個体。	接・2点
707-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 白色微粒子	縦位に刻みを持つ付文を貼付し、付文の両側に横位の深い隆帯を施す。	接・無し
707-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR8/2 金雲母・白色鉱物	口縁上半部を欠損。隆帯直上に半截竹管の押引文。下位に半截竹管の波状文を施す。	接・無し
707-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 金雲母・白色鉱物	半截竹管の連続刺突により波状文を表出する。直下に縦位の沈線文を施す。	接・無し
707-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐色10YR4/1 金雲母・白色微粒子	外傾して立ち上がった口縁部が更に開く。内面は丸味を帯びず。文様の痕文はない。	接・無し
707-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍褐色10YR7/3 金雲母・白色鉱物・白色微粒子	波状口縁(4単位か)。口縁部は「く」の字状に外傾。波頭部直下に付文を貼付。	接・無し
707-17	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・2.4	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/4 赤褐色粒子・白色微粒子	厚手の把手か。縁辺に刻みを施し、片側部に半截竹管の刺突櫛歯状に施文する。	接・無し
707-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 金雲母・白色鉱物	聞きながら立ち上がる胴部片。2段に半截竹管による波状文が認められる。	接・無し
707-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/3 砂粒・白色粒子	細い隆帯により渦巻文・円文等を施し、一部にキヤピラ文を施す。	接・無し
707-20	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐色10YR4/1 白色微粒子・金雲母	比較的聞き立ち上がる。浅鉢の可能性もある。連続爪形文を横位に施文する。	接・無し
707-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色7.5YR5/3 金雲母・白色鉱物	強いびれを有して立ち上がる口縁部。文様の痕文は認められない。	接・無し
708-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 赤褐色粒子・白色粒子・砂粒	口縁部の把手部の破片。縦位に5条の沈線を施し、左右に三叉文を配する。	接・無し
708-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色5YR5/8 ダイヤサイト・白色粒子・砂粒	口唇部直下に横帯を施す。下位に縦位に長い連弧文を押し文で施文する。	接・無し
708-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色鉱物・粗粒砂	横位隆帯内に楕円隆帯を施し、端部にキヤピラ文を施す。	接・無し
708-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。赤褐色5YR4/6 金雲母・ダイヤサイト・白色鉱物	横位隆帯に交互刺突文を施す。	接・無し
708-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。明褐色7.5YR5/6 白色鉱物・砂粒・黒色鉱物粒	無文帯を介する横位隆帯内に楕円区画の隆帯を4重に施文する。	接・無し

1区低地

簿記番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
708-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色5YR5/4 白色粒子・石英	縦位の別隆帯の際に爪形文を施文する。	接・無し
708-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子・白色微粒子	横位の隆帯の下端にキタピラ文を施文。	接・無し
708-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。橙7.5YR6/6 デイサイト・セリサイト	幅が広く低い隆帯上に、縦位の沈線文(?) を施文する。	接・無し
708-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐色5YR5/4 デイサイト・細砂	キタピラ文・押引文を施文する。	接・無し
708-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明褐色5YR5/6 デイサイト・セリサイト	横位の隆帯区画内に三角形状に隆帯を施文 し、下端に連続爪形文を施す。	接・無しし
708-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。橙7.5YR6/6 デイサイト・砂粒	弧線状に隆帯を施し、下端にキタピラ文を 施す。キタピラ文端部に半最竹管を挿入。	接・無し
708-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色5YR6/4 細砂粒・白色微物	低い横位の隆帯の下端にキタピラ文を施し、 更に内側に連続爪形文を施す。	接・無しし
708-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。褐色7.5YR4/6 白色微物・白色粒子	横位隆帯区画内に三角形状の隆帯区画を施し、 隆帯に丸みを施す。	接・無しし
708-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/4 細砂粒・白色微物	低い横位の隆帯の下端にキタピラ文を施し、 更に内側に連続爪形文を施す。	接・無しし
708-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/4 シルト粒・セリサイト	横位の隆帯区画に楕円隆帯区画文を施し、 下・右端に連続爪形文を施す。	接・無しし
708-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍褐色7.5YR6/4 白色微物・細砂粒	半最竹管の連続列状により左巻き渦巻文を表 出する。	接・無しし
708-17	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。赤褐色5YR4/6 白色微物・白色粒子・粗粒砂	口縁部は「く」の字状に内傾する。肩部に小 単位に放射状隆帯を突出する。	接・無しし
708-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.6	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 白色微粒・白色微物・角粒粗砂	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・無しし
708-18	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/3 赤褐色粒・角粒粗砂・細砂粒	内湾する口縁部。隆帯区画内にRL原体を横 位充填する。	接・無しし
708-19	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 赤褐色粒子・角粒粗砂	低い波状隆帯の下端にキタピラ文を施し、 縦位にキタピラ文を施す。	接・無しし
708-20	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐色5YR5/4 白色微物・角粒粗砂・白色粒子	肩がやや張り気味。口縁部は短く内傾する。 口縁部直下に孔を穿つ。	接・無しし
708-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR6/6 赤褐色粒子・白色微粒子	内湾する口縁部。隆帯区画内にRL原体を横 位充填する。	接・無しし
708-22	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/2 赤褐色粒子・白色粒子・細砂粒	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・無しし
708-23	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色7/3 赤褐色粒・白色微粒・細砂粒	内湾する波状口縁。隆帯文による区画を施し、 隆帯区画内にRL原体を充填する。	接・無しし
708-24	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黄灰2.5Y6/1 赤褐色粒子・砂粒・白色粒子	内湾する波状口縁。隆帯文による区画を施す。 区画内は黄灰により原体施文は不詳。	接・無しし
709-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/4 褐色粒子・砂粒・白色粒子	内湾する口縁部。隆帯区画内にRL原体を横 位充填する。	接・無しし
709-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄褐色2.5Y6/3 白色微粒子	口縁部は内湾する。隆帯の区画内にLR原体 を充填する。	接・無しし
709-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/3 シルト編・砂粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・無しし
709-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍褐色7.5YR7/4 シルト編・白色微粒・赤褐色粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・無しし
709-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 シルト粒・白色微粒子	内湾する波状口縁。隆帯により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・5点
709-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。黄灰10YR4/1 赤褐色粒子・白色微粒子	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を表 出し、RL原体を充填する。	接・無しし
709-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙7.5YR6/6 シルト編・細粒内巻・赤褐色粒	内湾する波状口縁。沈線により弧線文等を表 出す。風化顯著。	接・無しし
709-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐色5Y6/4 シルト編・白色微物・角粒粗砂	小単位の内湾する波状口縁部。沈線文による 弧線文等も表出し、RL原体を充填させる。	接・無しし
709-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 白色微粒子・細砂粒	縦中かを外傾する口縁部。口縁部直下に横線 を巡らせ、直下に多量LR原体を充填させる。	接・無しし

I 区低地

採回番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼跡・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
709-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・細砂粒	4単位の波状口縁から、波頂部から口唇部に沿い太い沈線を施し、直下にRL原体を充塞。	接・無し
709-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・細砂粒	4548と同一個体。	接・無し
709-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。明灰10YR5/1 赤褐色粒・角粒粗砂・白色鉱物	口唇部に大きい刺突文を施す。平行する隆帯で右巻きを施し、RL原体を充塞。	接・無し
709-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.7	酸化・並。黄灰2.5Y5/1 チャート・白色鉱物・白色粒子	左巻きの両巻き隆帯。	接・無し
709-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。明灰7.5YR5/6 チャート・白色微粒子・細砂粒	地紋原体はLR。縦位に隆帯を施し、沈線により孤線文を表出する。	接・無し
709-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 赤褐色粒子・角粒粗砂	風化が顕著。平走する隆帯により逆弧文を表出し、逆弧文から垂下する平行隆帯を施す。	接・無し
710-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 角粒粗砂・石英・シルト質	横位の隆帯を介し、上位は縦文。下位に懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位充塞する。	接・無し
710-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。明灰7.5YR5/6 細砂粒・TYT	半笠竹管型に隆帯を孤線文を表出し、半笠竹管による平行沈線を施し、RL原体を施す。	接・無し
710-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 砂粒・黒色鉱物粒・白色鉱物	斜帯無文帯を介し上下に、平走する隆帯により孤線文を表出し、RL原体を充塞する。	接・無し
710-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰5Y6/1 シルト質・白色微粒子	隆帯により孤線文を表出する。 器面の風化が顕著。	接・無し
710-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白10YR7/1 赤褐色粒子・白色鉱物・砂粒	微隆帯を施し、周囲にRL原体を充塞させる。	接・無し
710-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 白色粒子・細砂粒	平走する隆帯により孤線文を表出し、RL原体を縦位充塞する。	接・無し
710-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 細砂粒・白色鉱物	隆帯による孤線文を入り組ませ、RL原体を縦位充塞する。	接・無し
710-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白10YR7/1 砂粒・白色鉱物	RL原体を充塞する滑潤縄文を施す。	接・無し
710-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 赤褐色粒子・白色微粒子	4565と同一個体。	接・無し
710-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 赤褐色粒子・白色微粒子	RL原体を充塞する滑潤縄文を施し、懸垂文間に加飾を施す。	接・無し
710-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 砂粒・白色粒子	縦位に微隆帯を平走させ、RL原体を縦位充塞する。	接・無し
710-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。灰白10YR8/2 赤褐色粒子・黒色鉱物粒	幅の狭い微隆帯を平走させ周囲にRL原体を充塞する。	接・無し
710-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。浅黄2.5Y7/3 赤褐色粒子・白色微粒子	縦帯の隆帯区画内にRL原体を充塞する。	接・無し
711-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰白Y7/1 白色鉱物・黒色粒子	胴部括弧部に横位に縦位の細長い孤線文を施し、RL原体を縦位充塞する。	接・4点
711-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 白色微粒・赤褐色粒・細砂粒	RL原体を縦位充塞する滑潤縄文を施す。	接・無し
711-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色鉱物・粗砂	口唇部直下に微隆帯を施し、直下に横位に条痕文を施す。	接・無し
711-4	縄文土器 覆土内	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 白色鉱物・チャート・粗砂	横位隆帯を施し、縦位に条痕文を施す。	接・無し
711-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。浅黄2.5Y7/4 シルト粒・細砂粒	RL原体を縦位充塞する滑潤縄文を施す。	接・無し
711-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰7.5Y4/1 白色粒子・粗砂	10本異端の条痕文を縦位に施す。	接・無し
711-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y7/2 角粒粗砂・白色鉱物	風化顕著。9+a本1単位の条痕文を縦位に施す。	接・無し
711-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/6 粗砂粒角粒砂	10本1単位の波状文を縦位に施す。	接・無し
711-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.7	酸化・並。鈍橙7.5YR6/3 シルト質・赤褐色粒子・粗砂	RL原体を縦位充塞する滑潤縄文を施す。	接・無し
711-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。橙7.5YR6/8 赤褐色粒子・白色粒子・角粒砂	風化顕著。7+a本1単位の条痕文を斜位気味に施す。	接・無し

1区低地

簿記番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・土土	形状・技法等の特徴	備考
711-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 角粒砂・白色微粒	割部片。4+α本1単位の波状文を横位に施す。	接・無し
711-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白5Y8/1 赤褐色粒子・角粒粗粒砂	10本1単位の波状文を斜位気味に施す。	接・無し
711-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・淡。灰黄2.5YR7/2 角粒砂・赤褐色粒子・白色微粒	縦位に糸状文を施す。	接・無し
711-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰5Y5/1 シルト粒・角粒粗粒砂・白色微粒	12本1単位の条状文を斜位気味に施す。	接・無し
712-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色微粒・細砂粒	口縁部は内湾する。縦位に長い沈線椀円区画を施し、RL原体を充満する。	接・2点
712-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。暗褐色7.5YR5/4 白色微粒・細砂粒	小把手を有する。口縁に沿った沈線を返し、平行沈線の椀円区画を表出。RL原体を充満。	接・無し
712-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・並。橙 YR7/6 白色粒・赤褐色粒・白色微粒	口縁部は内湾する。沈線により2重の椀円区画を表出し、RL原体を充満する。	接・無し
712-4	縄文土器 深鉢	1区低地破片	厚・0.6	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗粒砂・赤褐色粒子	口縁部は内湾し糸状文を有する。沈線による弧線文で区画し、RL原体を充満する。	接・無し
712-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 粗粒砂	内外両面に縦位の簾織で施す。文様は認められない。	接・3点
712-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰白2.5Y7/1 赤褐色粒子・白色微粒	平行沈線文を施し、外側にRL原体を充満する。	接・無し
712-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰10Y4/1 赤褐色粒子・白色粒子・細砂粒	口縁部は外傾する。沈線により弧線文を表出し、周側にRL原体を充満する。	接・無し
712-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰7.5YR6/1 赤褐色粒子・細砂粒	口縁部は内湾する。沈線により椀円区画を表出し、RL原体を充満する。	接・無し
712-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。暗褐色10YR3/3 白色微粒・角粒粗粒砂・白色粒	口縁部は内湾し小把手を有する。平行沈線で弧線文を表出し、周側にRL原体を充満する。	接・無し
712-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y7/1 角粒粗粒砂・白色微粒	口縁部は小さく内湾し無文帯を有する。平行沈線により弧線文を描き、RL原体を充満。	接・無し
712-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。橙2.5YR7/6 細砂粒・黒褐・白色微粒	口縁部は内湾する。平行沈線により弧線文を描き区画とし、RL原体を充満する。	接・無し
712-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。橙7.5YR7/5 赤褐色粒・白色微粒・細砂粒	口縁部は内湾する。RL原体を充満する。	接・無し
712-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。橙7.5YR7/5 シルト・鈍・赤褐色粒・白色微粒	口縁部は内湾する。横位の隆帯区画で口縁部無文帯を形成。隆帯間をRL原体を充満する。	接・無し
712-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。黒10Y2/1 角粒粗粒砂・白色微粒	縦位に細い隆帯を無し区画文を構成し、内側にLR原体を充満させる。	接・無し
712-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.5	酸化・並。灰白5Y7/1 角粒粗粒砂・黒色微粒	口縁部は内湾し、横位の隆帯により無文帯を形成。下位にRL原体を充満する。	接・無し
712-16	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR4/1 角粒砂・白色微粒・白色微粒	口縁部は内湾気味。口縁部無文帯を有し、細い隆帯の縦横の区画し、LR原体を充満。	接・無し
713-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐色10YR3/3 角粒粗粒砂・白色微粒	横位の2条に隆帯を施し、隆帯間に連続刺突文を施す。下位にLR原体を充満させる。	接・無し
713-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。橙5YR6/8 角粒粗粒砂・白色粒・白色微粒	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充満させる。	接・無し
713-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 赤褐色粒・角粒粗粒砂	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充満させる。	接・無し
713-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白7.5Y8/1 細砂粒・白色微粒	口縁部は内傾気味に立ち上がり、端部は短く外反する。無文帯にLR原体を充満させる。	接・無し
713-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。浅灰2.5Y7/3 チャート・角粒粗粒砂	口縁部は内傾する。口縁部無文帯を有し、横位の隆帯、直下にLR原体を充満させる。	接・無し
713-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。橙5YR7/6 角粒粗粒砂・白色微粒	口縁部は内傾気味。幅の広い無文帯下に横位の隆帯を施す。	接・無し
713-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・淡。鈍赤褐5YR5/3 白色微粒	口唇部はやや肥厚する。文様は認められない。器外面に赤褐色顔料が認められる。	接・無し
713-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.4	酸化・並。灰10YR4/1 角粒粗粒砂・白色微粒	耳状把手。文様は認められない。	接・無し
713-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗粒砂	口唇部は肥厚する。口唇部からやや広い耳状の把手を配する。	接・無し

1 区低地

押出番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	摘 要
713-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR6/8 白色胎物・角粒粗砂	楕円区画の隆帯の間に耳状の把手を具備する。隆帯内はLR原体を横断施文する。	接・無し
713-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白5Y8/2 角粒粗砂・細粒角礫	沈線区画の「X」字状文内に刺突文を配する。	接・無し
713-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 角粒粗砂・白色胎物	口唇部は肥厚し横線を施す。口縁部は、沈線の区画文が認められる。	接・無し
713-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/2 粗粒砂・黒色胎物粒	沈線区画内に粗い列点文を配する。	接・無し
713-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/1 細粒角礫・角粒粗砂	沈線区画内に粗い列点文を配する。	接・無し
713-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 白色胎物・白色微粒子	口唇部に低い加飾を施し、直下に弧線文を施す。	接・無し
714-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐10YR4/4 角粒粗砂・細粒角礫	口唇部は肥厚珠点文を配する。口縁部に2条の横線が認められる。	接・無し
714-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/1 角粒粗砂・白色胎物	口唇部は肥厚し連続の珠点文を配する。口縁直下に列点を伴った「X」字状文を施す。	接・無し
714-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。暗褐10YR3/3 細砂粒・白色微粒子	口唇部に刻みを施し、直下に平行列点を施す。	接・無し
714-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。灰7.5Y3/1 白色胎物・角粒粗砂	口唇部は肥厚し横線を施す。口唇部、直下は沈線が「T」字状に区画する。	接・無し
714-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 粗粒砂・白色粒子	口唇部直下に「8」の字貼付文を施す。	接・無し
714-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。灰白5Y8/2 赤褐色粒子・角粒粗砂	沈線区画の「X」字状文。	接・無し
714-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。灰白5Y7/2 白色粒子・チャート・細砂粒	沈線区画の「X」字状文。	接・無し
714-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白5Y8/2 チャート・白色胎物	沈線区画の「X」字状文間に刺突文を施す。	接・無し
714-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍褐7.5YR7/4 細砂粒・白色粒子・白色胎物	口縁に平走する沈線の下に弧線帯織文を施す。LR原体を施文するが、風化で不明。	接・無し
714-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙7.5YR6/3 砂粒・石英・白色胎物	沈線区画の弧線文入り組む。	接・無し
714-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR7/1 角粒粗砂・白色粒子	沈線区画の刺突文を施す。	接・無し
714-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍褐7.5YR5/3 角粒粗砂・白色胎物	刺突帯に添え沈線を施し、左右に弧線文を施す。	接・無し
714-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.5	酸化・並。灰黄褐10YR4/2 白色微粒子・細砂粒	4単位の波状口縁。波状口縁部の三角形状をなす帯織文。	接・無し 実行田a
715-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐10YR7/3 角粒粗砂・白色胎物	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐10YR6/2 角粒粗砂・白色微粒子	「J」字状帯織文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。灰白10YR7/1 角粒粗砂・白色粒子	沈線区画の刺突文を施す。	接・無し
715-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・硬。灰7.5YR4/1 白色粒子・角粒粗砂	弧線帯織文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍褐7.5YR7/4 チャート・白色粒子	弧線帯織文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐10YR5/3 白色粒子・角粒粗砂	弧線帯織文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐10YR7/3 細砂粒	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。浅黄橙10YR8/3 白色粒子・細砂粒	波頭部を環状に施し、刻み帯部を垂下させる。隆帯に近いLR原体を充填する帯織文を施す。	接・無し
715-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色胎物・粗粒砂	連弧文の上下に刺突文を施し、連弧文を除く部分に不規則に刺突文を施す。	接・無し
715-10			厚・1.2			

I 区低地

簿記番号 図版番号	種別 種類	出土位置 遺存度	度目 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
715-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・硬。灰白10YR8/1 白色微粒子・白色胎物	舌状の把手の中央を窪め、口縁に約平行沈線を描き、器面全体にLR原体を充填させる。	接・無し
715-12	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・硬。洗黄橙7.5YR8/6 白色粒子・粗砂粒	波頂部周辺の破片。帯縄文にLR原体を充填させる。	接・無し
715-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 粗砂粒	沈線区画の「X」字状文内にLR原体を充填させる。	接・無し
715-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。7.5YR4/2 雲母・粗粒砂	波頂部から大きな「8」の字状貼付文を施し、端部から刺突帯を施す。LR原体を加飾。	接・無し
716-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.7	酸化・並。灰白2.5YR8/2 粗粒砂・赤褐色粒子	深鉢の把手部片。波状を呈し、3孔を有する。	接・無し
716-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 シルト粒・白色胎物・砂粒	隆帯を組み手に加飾し、隆帯下端に刺突文を施す。	接・無し
716-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。洗黄2.5Y7/3 粗砂粒・白色胎物	深鉢の把手部片。山形状の中央に孔を穿ち、周辺に刺突文等を加飾する。	接・無し
716-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色粒子・砂粒	把手部片。隆帯を組み手に波頂部に配し、隆帯の下端に刺突文を配し、LR原体を施す。	接・無し
716-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR6/6 シルト粒・白色胎物・砂粒	隆帯を組み手に加飾し、隆帯下端に刺突文を施す。	接・無し
716-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白10YR8/1 チャート・白色胎物・粗砂粒	把手冠部を「の」字に加飾し、下位に孔を穿ち、器内面に三ツ星状に円筒刺突文を施す。	接・無し
716-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。橙5YR7/6 砂粒	口縁部の把手片か。	接・無し
716-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・硬。10YR8/3 微粒砂	冠状把手の破片。	接・無し
716-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・並。灰褐5YR6/2 粗砂粒・白色胎物	把手冠部を馬蹄形状に加飾する。冠部直下に孔を穿ち、左右に弧線文を配す。	接・無し
716-10	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.6	酸化・軟。洗黄5YR8/4 シルト質・粗砂粒・白色胎物	大形器体であるが器厚は薄い。口縁部の耳状の把手。沈線区画の刺突文を施す。	接・無し
716-11	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR1/2 砂粒・白色胎物	把手冠部を馬蹄形状に加飾する。	接・無し
716-12	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。灰白2.5Y8/2 チャート・粗粒角層・粗粒砂	刺突文を上下に配し、器内面に弧線文を施す。	接・無し
716-13	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白5YR8/2 粗砂粒	把手冠部を「8」字に加飾し、下位に孔を穿ち、冠部から「Y」字状に刺突帯を垂下する。	接・無し
716-14	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。7.5Y7/6 粗粒砂	深鉢把手部の破片。ヒトの耳状の形状を呈する。	接・無し
716-15	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	—	酸化・並。灰白7.5YR8/2 粗砂粒	把手冠部の湾曲状の加飾。冠部直下に孔を穿ち縁下に弧線文を施す。	接・無し
717-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。鈍黄橙10YR4/3 白色粒子・粗砂粒	両刺突文を横置きせ、下位にLR原体を斜位に充填させる。	接・無し
717-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR7/6 白色粒子・砂粒・白色微粒子	丸珠を帯びて立ち上がり、胴部に反復して向かう。文様は弧線文が認められる。	接・無し
717-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・0.9	酸化・並。黄赤2.5Y6/1 粗粒砂・白色胎物・白色粒子	4単位目の波状口縁か。波頂部に刺突文を施す。	接・無し
717-4	縄文土器 鉢組	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。洗黄橙10YR8/4 赤褐色粒子・白色胎物・粗砂粒	内筒する口縁。口径は比較的小さい。焼調前の穿孔が2カ所が認められる。	接・無し
717-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色胎物・角粗粒砂	外筒する口縁の口唇直下に横線を描き、末端にメガネ文を配す。	接・無し
717-6	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色胎物	文様の施文は認められない。斜位の強い無でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.1	酸化・並。橙5YR7/6 白色粒子・砂粒・白色微粒子	丸珠を帯びて立ち上がり、胴部に反復して向かう。文様は弧線文が認められる。	接・無し
717-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.0	酸化・並。褐灰10YR6/1 赤褐色粒子・白色粒子	波状把手を1カ所に配する。波頂部直下に8の字文を貼付。胴部にLR原体を横敷施文。	接・無し
717-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 シルト質・粗粒チャート	内筒する口縁。文様の施文は認められない。器面が風化が顕著。	接・無し
717-10	縄文土器 粗製深鉢	1区低地 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト質・白色胎物	外筒する口縁。文様の施文は認められない。斜位の強い無でを施す。器面が風化が顕著。	接・無し

1 区低地

押出番号 図版番号	種 別	出土位置 遺 存 度	厚目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
717-11	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 赤褐色粒子・角粒砂・白色粒子	文様の施文は認められない。斜位の強い楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-12	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.2	酸化・並。浅黄2.5YR8/3 赤褐色粒子・円粒チャート	文様の施文は認められない。斜位の強い楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-13	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・0.8	酸化・明赤褐色5YR5/6 シルト粒多・デイスait	文様の施文は認められない。器面が風化が顕著。	接・無し
717-14	縄文土器 深鉢	1 区低地	厚・1.2	酸化・硬。褐灰10YR4/1 細砂粒・白色胎物	縄代匠産。網代は1本送り3本滑り4本越え。	接・無し
717-15	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.2	酸化・並。橙5YR6/6 チャート・白色胎物・赤褐色粒	文様の施文は認められない。斜位の強い楕で整形。器面が風化が顕著。	接・無し
717-16	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・5.9	酸化・並。鈍橙5YR7/3 角粒砂粒	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。底部は上げ底。	接・無し
717-17	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.1	酸化・並。2.5YR4/1 白色胎物・白色粒子	文様の施文は認められない。斜位の強い楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
717-18	縄文土器 深鉢	1 区低地	厚・0.9	酸化・軟。橙5YR6/6 デイスait・微粒雲母	口唇部を2段に削り、器内面に交互斜突文状の加飾を内段に施す。	接・無し
717-19	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.4	酸化・並。灰白2.5YR8/2 シルト粒・白色胎物	文様の施文は認められない。斜位の強い楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-1	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.3	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 白色胎物・粗粒角粒砂	文様の施文は認められない。強い斜位気味の楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-2	縄文土器 深鉢	1 区低地	厚・0.6	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 白色微粒子・白色胎物・細砂粒	4単位の波状口縁。口唇部直下に帯織文を3条(RL)施し、瘤状の付文を貼付する。	接・無し
718-3	縄文土器 深鉢	1 区低地	厚・1.2	酸化・並。鈍褐色5YR5/4 デイスait・白色胎物	丸味を帯外縁する口縁。太い隆帯を弧線状に貼付。口唇部直下にLR原体の押痕がある。	接・無し
718-4	縄文土器 深鉢	1 区低地	厚・1.0	酸化・並。橙7.5YR7/6 シルト粗粒	外縁する口縁。縁下に深い沈線と施文。	接・無し
718-5	縄文土器 破片	1 区低地	口・(25.2) 底・(26.8)	酸化・軟。浅黄褐色7.5YR8/4 細砂粒・白色胎物	内溝する口縁に2条の隆帯を横位に施文し、丸味の強い隆帯把手を付す。	接・無し
718-6	縄文土器 粗製深鉢	1 区低地	厚・1.3	酸化・並。浅黄褐色10YR8/3 白色胎物・粗粒角粒砂	文様の施文は認められない。強い斜位気味の楕で施す。器面が風化が顕著。	接・無し
718-7	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・(10.2)	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色粒子・砂粒	RL原体を横軸施文する。	接・無し
718-8	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・(8.0)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含礫層・白色胎物(白色石英)	RL原体を横軸施文する。 底部は上げ底。	接・無し
718-9	縄文土器 破片	1 区低地	底・(10.2)	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 含礫層・白色胎物(白色石英)	RL原体を横軸施文する。	接・無し
718-10	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・5.9	酸化・並。鈍橙5YR7/3 角粒砂粒	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。底部は上げ底。	接・無し
718-11	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・12.5	酸化・並。明褐色7.5YR7/2 金雲母・白色胎物(白色石英)	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-12			厚・1.0			
718-13	縄文土器 ミニチュア 口縁欠損	1 区低地	底・3.5	酸化・並。灰白5YR8/2 微粒砂・白色粒子	風化顕著。下半部に原体施文が認められるが、原体は不明瞭(RLか)。	接・無し
718-14	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・(14.4)	酸化・並。鈍赤褐色5YR5/4 角粒粗砂粒	文様は認められない。	接・無し
718-15	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・12.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/2 金雲母・白色胎物(白色石英)	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-16	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・4.7	酸化・軟。橙7.5YR7/6 赤褐色粒子・白色胎物粒子	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-17	縄文土器 注口土器か	1 区低地	底・(8.2)	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 白色胎物・砂粒	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-18	縄文土器 浅鉢	1 区低地	底・(9.2)	酸化・並。明赤褐色5YR5/6 粗粒砂	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。底部に縄代匠産。	接・無し
718-19	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・(6.6)	酸化・並。灰白2.5YR8/1 白色胎物・粗粒砂・粘塵	文様の施文は認められない。	接・無し
718-20	縄文土器 深鉢	1 区低地	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒子・シルト編	文様の施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し

1区低地

探検番号 図版番号	種別 器	出土位置 遺存度	直径 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
718-21	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・6.9	酸化・軟。灰白10YR8/1 角粒砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
718-22	縄文土器 浅鉢	1区低地 破片	底・(10.0)	酸化・並。鈍赤褐5YR5/4 角粒粗砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-1	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・6.2	酸化・並。灰白10YR7/1 白色粒子・長石・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。 底部は丸底気味。	接・無し
719-2	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 白色鉱物粒子・粗砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-3	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・10.8	酸化・並。鈍橙7.5YR7/3 白色鉱物・黒色鉱物・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-4	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・8.5	酸化・並。灰白10YR8/1 粗砂・赤褐色粒子	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-5	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.6	酸化・並。灰白10YR7/1 白色鉱物粒子・細砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-6	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.2	酸化・並。灰白10YR8/1 砂粒・赤褐色粒子・白色鉱物	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-7	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・9.0	酸化・並。灰白10YR7/1 暗赤褐色粒子・粗砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-8	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/2 白色鉱物粒子・粗砂粒	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-9	縄文土器 深鉢	1区低地 破片	底・7.2	酸化・並。鈍橙7.5YR6/4 赤褐色粒子・シルト質	文様施文は認められない。器面の風化顕著。	接・無し
719-10 72-1-1-1?	土偶 一部欠損	1区低地 破片	高・6.7 幅・3.1	酸化・並。鈍橙7.5YR7/4 白色粒子・細砂粒	板状土偶。舌状を呈する。手節は返り状に小さく短い。目は刺突、口は穿孔により表出する。	接・無し
719-11	木製品 木函	1区低地 破片	自然木 長・10.3		古い木端状態は人為に見える。刃傷、切り跡見えず。	
720-1	石器 削片石器 完存	1区低地 完存	黒曜石 重・5.74	長・2.05、幅・2.95、 厚・1.2、黒曜石	端部に刃部加工を施し、側縁に使用痕が見られる。	
720-2	石器 削片石器 完存	1区低地 完存	チャート 重・3.1	長・3.1、幅・2.05・厚・0.7 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
720-3	石器 削片石器 完存	1区低地 完存	チャート 重・9.03	長・4.05、幅・3.0、厚・0.9 チャート	端部に刃部加工を施し、側縁に使用痕が見られる。	
720-4	石器 削片石器 完存	1区低地 完存	チャート 重・22.7	長・4.6、幅・4.0、厚・1.3 チャート	1側縁に刃部加工を施す。	
720-5	石器 削片石器 完存	1区低地 完存	チャート 重・32.15	長・5.15、幅・4.95、厚・1.2 チャート	縁辺に刃部加工を施す。	
720-6	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	ホルンフェルス 150	長・10.2、幅・4.9、厚・2.1 ホルンフェルス	楕形。表裏面に平坦側面を残す。側部の調整が顕著で、基部に潰れが認められる。	
720-7	石器 打製石斧 1/2	1区低地 完存	ホルンフェルス 321	残存長・9.6、幅・10.2 厚・2.5、ホルンフェルス	片面に側面を残し、裏面に斜離平坦面を顕著に残す。周辺加工は裏面側で顕著。	
720-8	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	砂質頁岩 58	長・8.2、幅・4.1、厚・1.6 砂質頁岩	小型楕形。斜離平坦面を残す。欠損品の再調整の可能性も考えられる。	
720-9	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	霞貫安山岩 110	長・12.0、幅・5.1、厚・2.0 霞貫安山岩	分銅形基調か。片面に側面を残し、裏面に斜離平坦面を残す。側部調整はやや縁り込む。	
720-10	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	黒色頁岩 118	長・13.0、幅・4.5、厚・2.0 ホルンフェルス	短冊基調。側部が鎌状に弧を描く。刃部に使用痕が認められる。	
720-11	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	ホルンフェルス 450	長・14.5、幅・8.0、厚・3.8 ホルンフェルス	楕形基調。片側に側面を残し、裏面に斜離平坦面を顕著に残す。右側面に再調整がある。	
720-12	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	ホルンフェルス 912	長・16.5、幅・8.5、厚・5.7 ホルンフェルス	分銅形基調か。一部に側面を残す。器厚は厚く、側部調整が顕著で基部の残込みは少ない。	
721-1	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	変珪岩 重・121	長・10.25、幅・6.75 厚・1.95、変珪岩	分銅形。片側使用のため扁平。基部の残込みは高く深い。	
721-2	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	ホルンフェルス 698	長・13.6、幅・11.1、厚・3.5 ホルンフェルス	分銅形。裏裏面に側面を残し、周辺加工は内側まで達していない。	
721-3	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	砂岩 501	長・12.6、幅・9.3、厚・4.2 砂岩	楕形。刃部の欠損が認められる。側部は入念に調整を行った痕跡が認められる。	
721-4	石器 打製石斧 完存	1区低地 完存	ホルンフェルス 345	長・14.8、幅・6.1、厚・3.1 ホルンフェルス	楕形基調か。刃部の右側に再調整痕が認められる。片面に側面を残す。	

1 区低地

簿記番号 図面番号	種別 器種	出土位置 遺存度	産目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備考
721-5	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・110	長・7.1、幅・6.0、厚・2.3、 粗粒輝石安山岩	端面の扁平面を利用する。両面の中央部に集中打痕を残す。	
721-6	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・226	長・8.8、幅・6.7、厚・2.8 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
721-7	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・441	長・7.0、幅・6.0、厚・5.0 粗粒輝石安山岩	端面の平坦面側が磨滅し、表面は孔を1か所穿ち、裏面は集中打痕により窪む。	
721-8	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・431	長・9.7、幅・8.0、厚・4.2 粗粒輝石安山岩	両面野中央部に孔を施し、小口・側部に敲打痕が認められる。器面の風化顯著。	
721-9	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・437	長・10.5、幅・8.6、厚・3.4 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
721-10	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・551	長・10.8、幅・8.3、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面は磨滅し、集中打痕が認められる。	
722-1	石器 標石	1 区低地 完存	溶結凝灰岩 重・350	長・10.9、幅・5.9、厚・4.2 溶結凝灰岩	表面の平坦面側が磨滅し、側面側に強い打痕が認められる。	
722-2	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・668	遺存長10.0、幅・8.3、厚・5.0 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、側部に敲打痕が認められ、直立状態。	
722-3	石器 甲石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・376	長・11.0、幅・5.8、厚・4.7 粗粒輝石安山岩	両面に孔を施し、敲打痕認められる。側部は、括れが生ずる状態で集中打痕が認められる。	
722-4	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・623	長・10.1、幅・9.1、厚・4.9 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面は磨滅し、敲打痕が認められる。	
722-5	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・649	長・12.5、幅・7.6、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、両面・小口・側部にも敲打痕が認められる。	
722-6	石器 甲石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・368	長・11.3、幅・8.6、厚・4.0 粗粒輝石安山岩	表面の平坦面側が磨滅し、両面共に孔・敲打痕が多量に認められ、小口・側部も磨滅する。	
722-7	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・567	長・10.6、幅・8.2、厚・4.7 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
722-8	石器 標石	1 区低地 完存	溶結凝灰岩 重・518	長・12.6、幅・6.7、厚・4.1 溶結凝灰岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に縦列状に孔を施し、小口・側部に敲打痕が認められる。	
722-9	石器 甲石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・650	長・13.0、幅・8.5、厚・4.2 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面中央部に集中打痕が認められる。器面の風化顯著。	
722-10	石器 標石	1 区低地 完存	溶結凝灰岩 重・674	長・14.1、幅・7.3、厚・4.6 溶結凝灰岩	裏面の平坦面側が磨滅する。	
723-1	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・574	長・12.1、幅・9.0、厚・4.5 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕を残す。小口・側部にも敲打痕が認められる。	
723-2	石器 小形石皿	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 430	長・10.6、幅・8.5、厚・3.1 粗粒輝石安山岩	隅丸方形形状を呈し、使用面は楕円形状を呈する。出土品中最も小形。	
723-3	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・748	長・13.4、幅・8.6、厚・4.4 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に孔を施し、両面・小口・側部にも敲打痕が認められる。	
723-4	石器 標石	1 区低地 完存	粗粒輝石安山岩 重・868	長・14.9、幅・10.1、厚・5.2 粗粒輝石安山岩	両面の扁平面が磨滅し、中央部に集中打痕・孔を施す。全面に打痕が認められる。	
723-5	石器 石皿	1 区低地 破片	粗粒輝石安山岩 重・150	遺存長・11.5、厚・2.3、 粗粒輝石安山岩	底面の曲率はやや強いが、器内面は比較的緩やかで、強く立ち上がる。外面側に敲打成形痕を残す。	
723-6	石器 破片	1 区低地	粗粒輝石安山岩 820	遺存長・13.5、厚・3.0、 高・4.5、粗粒輝石安山岩	器内面は緩やかに立ち上がる。底面に平直で孔を8か所穿つ。側縁・器面に敲打成形痕を残す。風化顯著。	
723-7	石器 石皿	1 区低地 1/2	粗粒輝石安山岩 重・1200	残存長・11.9、幅・14.2 厚・5.7、粗粒輝石安山岩	小形な石皿。形状は隅丸正方形を呈すると考えられる。	
723-8	石器 石皿	1 区低地 破片	粗粒輝石安山岩 2700	遺存長・19.0、厚・5.4、 粗粒輝石安山岩	器内面の立ち上がりは強い。底面は磨き整形、側縁に敲打成形痕を残す。器面に孔を4箇所穿つ。	
724-1	石器 石皿	1 区低地	粗粒輝石安山岩 2190	遺存長19.5、幅・19.1、 厚・4.8、粗粒輝石安山岩	器内面・側縁には敲打成形痕を残す。底面は磨き整形で孔を7箇所穿つ。	
724-2	石器 多孔石	1 区低地	粗粒輝石安山岩 重・1900	長・20.2、残存幅・14.4 厚・5.7、粗粒輝石安山岩	表裏面の中央寄りに孔が認められ、全体に集中打痕が認められる。	
724-3	石器 多孔石	1 区低地 1/2	粗粒輝石安山岩 重・1510	長・19.0、残存幅・12.3 厚・5.5・粗粒輝石安山岩	表面に孔が認められ、裏面に多量の集中打痕が認められ、全体に敲打痕が認められる。	
724-4	石器 多孔石	1 区低地 一部欠損	粗粒輝石安山岩 重・5300	長・20.3、幅・16.9、厚・14.6 粗粒輝石安山岩	表裏面に孔が認められる。	
724-5	石器 多孔石	1 区低地 1/3	粗粒輝石安山岩 重・6560	長・16.6、幅・22.8、厚・14.2 粗粒輝石安山岩	表裏面の中央寄りに、集中打痕が認められ、表面側の中央部が磨滅する。	

遺構外出土遺物

棟号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	尺度 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
725-1 213-20	縄文土器 深鉢	1区表土	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種LR+2Rを横転施文する。	接・無し
726-1			厚・0.7			
726-2	縄文土器 深鉢	1-18Gr	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 繊維・白色微粒・雲母石英片岩	羽状縄文を施文する。頸部に連続爪形文を施文する。	接・4点
726-3	縄文土器 深鉢	1-18Gr	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 含繊維・白色微粒子	羽状縄文を施文する。	接・無し
726-4	縄文土器 深鉢	落ち込み	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色7.5YR6/4 砂粒・含繊維・白色微粒子	付加条第3種原体を施文する。	接・無し
726-5	縄文土器 深鉢	1区表土	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/3 含繊維・白色微粒子	付加条第2種LR+2Rを横転施文する。	接・無し
726-6	縄文土器 深鉢	1-76-77-96-97	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR4/3 細礫・角粒粗粒砂・白色微粒子	口縁部は強く外傾し、横位の条痕を施す。口唇部・口縁部に貼付文を施文する。	接・無し
726-7	縄文土器 深鉢	落ち込み	厚・1.0	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 金雲母・粗粒砂・細礫	胴部上半部は横位の条痕。口縁部は「く」字に内傾し縦位の条痕を施す。	接・無し
726-8	縄文土器 深鉢	落ち込み	厚・0.8	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/3 粗粒砂・黒色鉱物粒・透明鉱物	口縁部は内湾凹み、口唇部は平坦。沈線による三角形状の区画文内にLR原体を充塞施文する。	接・無し
726-9	縄文土器 深鉢	落ち込み	厚・1.5	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/4 粗粒砂・細礫・白色微粒子	横位の粗大な綾杉文を施文する。	接・無し
726-10	縄文土器 深鉢	32号住居土内	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 砂粒・白色微粒子	縦位の平行沈線文に刺突文を施し、弧線状の平行沈線文(S字状文か)も刺突文を施す。	接・無し
726-11	縄文土器 深鉢	32号住居土内	厚・0.7	酸化・並。鈍黄褐色10YR8/4 白色微粒子・砂粒	X字状沈線文の一部。X字状文の傍らに縦位の沈線文を施し、間隙にLR原体を充塞する。	接・無し
726-12	土製品 内箱	1区表土 完存	長・2.6 幅・2.2	酸化・並。灰黄褐色10YR4/2 砂粒	文様の施文は認められない。内箱の割片文を転用する。	接・無し
726-13	石磨 打製石片	1区低地	ホルンフェルス 45	残存長・5.1。幅・3.9。 流紋岩	定角磨製石片。基部半分を欠損。裏面側に磨き成形の痕跡を残す。	
726-13	石磨 打製石片	1区低地	ホルンフェルス 290	長・12.9。幅・8.0。厚・2.25 ホルンフェルス	分割形。基部は大きい。片面に礫面を残す。刃部・端部共に丸い。器面が風化が顕著。	
727-1 727-2 727-3	縄文土器 深鉢	2-20Gr	口・(16.6)	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 砂粒・含繊維・白色微粒子	基部から胴部は連続的に立ち上がり、口縁部直下でやや内湾し、口縁部は直下する。文様は無筋L原体を横転施文する。	接・2点 接・3点
727-4	縄文土器 深鉢	2-20Gr	厚・0.9	酸化・並。灰黄褐色10YR5/2 含繊維・白色微粒子	胴部は強く外反する。無筋L原体の縦転とL/LR原体の横転を交互に施文する。	接・無し
727-5	縄文土器 深鉢	2-20Gr	厚・0.9	酸化・並。鈍黄褐色10YR5/4 含繊維・白色微粒子	円筒刺突文を3段に施文し、LR(?)原体を横転施文する。	接・無し
727-6	縄文土器 深鉢	2-20Gr	厚・1.1	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 粗粒砂・白色微粒子	波状「く」字口縁部口縁。口唇部は短く外反する。5本1単位の条痕による施文。	接・無し
727-7	縄文土器 深鉢	2-300Gr	厚・0.7	酸化・並。鈍赤褐色5YR5/4 砂粒	横位・斜位の平行沈線を施文する。	接・無し
727-8	縄文土器 深鉢	49号住居土内	厚・0.5	酸化・並。暗灰黄2.5Y5/2 白色微粒子・粗粒砂	左上からの綾杉沈線文を施す。	接・無し 加付図
727-9	縄文土器 深鉢	2-75P 覆土内	厚・1.6	酸化・並。鈍黄褐色10YR7/3 砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾し、口唇部は肥厚し丸い。口唇直下にRL原体を縦転施文する。	接・無し
727-10	縄文土器 深鉢	2-20Gr	厚・0.5	酸化・並。鈍黄褐色10YR6/4 細砂粒・黒色鉱物粒	細かいRL原体を横転施文する。	接・無し 発生か
727-11	石磨 打製石片	2区338Gr	黒色頁岩 重・43	残存長・9.1。幅・3.9 厚・1.2。黒色頁岩	短冊形か。片面に礫面を残す。欠損は調整の失敗か。	
727-12	石磨 割片石磨	2-17Gr	黒曜石 重・5.19	長・2.1。幅・2.4。厚・1.1	割片の対称的な位置に刃部加工を施す。	
728-1	石磨 打製石片	2区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・68	長・9.7。幅・4.95。厚・1.0 ホルンフェルス	楕形。一部に礫面を残す。一部に磨減痕が残る。全体の再調整により、長さが短い。	
728-2	石磨 打製石片	2区2井戸 完存	黒色頁岩 重・220	長・11.2。幅・6.3。厚・3.0 黒色頁岩	楕形基調。片面に礫面を残す。刃部は片面からの調整。端部は丸い。	
728-3	石磨 打製石片	2区38グリップ	粗粒輝石安山岩 重・75	長・9.8。幅・4.9。厚・1.45 粗粒輝石安山岩	楕形。片面に礫面を残す。刃部は使用に伴う磨減が顕著。基部に斜線調整がある。	

検出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	直径 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
728-4	石器 石重	2区2井戸 完存	ホルンフェルス 重・234	長・11.3、幅・7.7、厚・2.7 ホルンフェルス	分割形。片面に窪面を残す。基部の朝込みは強い。刃部は丸い。	
728-5	石器 打製石片	2区2井戸 完存	変性岩 重・305	長・11.2、幅・8.6、厚・3.1 変性岩	分割形。基部の朝込みは大きい。片面に窪面を残す。刃部整形は4面構成。	
728-6	石器 破片	2区2井戸 破片	粗粒輝石安山岩 重・400	遺存長9.9、残存幅・9.8、 厚・4.9、粗粒輝石安山岩	破片のため詳細不詳。底面は多孔石として利用する。	
729-1	縄文土器 深鉢	3-11土坑覆土内 破片	厚・1.2	酸化・差。暗灰黄2.5Y5/2 砂粒・白色微粒子	懸垂文を赤下させ、RL原体を縦位充填する。	接・無し
729-2	石器 石核	3区1井戸	チャート 重・755	長・12.5、幅・11.6、厚・4.5 チャート	節理が際立って見られる灰色チャートを素材。4側面を顕著に使用。	
729-3	石器 割片石重	3-28土坑覆土内 完存	チャート 重・6.56	長・3.8、幅・2.6、厚・0.9	縦長割片の1側縁に加工を施す。	
730-1	縄文土器 破片	4区169Gr	厚・0.9	酸化・差。灰黄2.5YR6/2 含繊維・白色微粒子・白色微粒子	LR・RL原体の整形構成。口唇部直下にループ文を施す。	接・2点
730-2	縄文土器 深鉢	4区田層 破片	厚・0.9	酸化・差。褐7.5YR4/4 含繊維・白色微粒子	上段に無彫R原体、下段に多条RL原体を横転施文する。	接・無し
730-3	縄文土器 深鉢	4区田層 破片	厚・1.2	酸化・差。鈍黄橙10YR5/3 含繊維・砂粒・白色微粒子	防骨文を施文する。	接・無し
730-4	縄文土器 深鉢	4区田層 破片	厚・1.1	酸化・差。オリーブ褐2.5YR 4/3。含繊維・白色微粒子	半截竹管による槽円区画及び縦帯状施文。竹管の朝見を施す。	接・無し
731-1	縄文土器 深鉢	4-43・47Gr 田層 破片	口・(24.2)	酸化・差。暗赤褐2.5YR3/4 角粒粗粒砂	胴部は縦や外に外縁して開き、口縁部はキャリパー状になる。多条LR原体を充填させる。	接・3点
731-2	縄文土器 深鉢	4区田層 破片	厚・0.8	酸化・差。鈍黄橙10YR5/3 細粒角礫・粗粒砂	横位に懸帯を施文し、隆帯上に円形刺突を施し、直下にLR原体を縦転施文する。	接・無し
731-3	4区田層	厚・1.1				
731-4	縄文土器 深鉢	4区田層 破片	厚・1.0	酸化・差。鈍黄橙10YR6/4 白色微粒子・赤褐色微粒子・砂粒	6本1単位の垂帯波状文を縦位に施文し、懸垂文を垂下させる。	接・無し
731-5	縄文土器 深鉢	4区45Gr	厚・0.7	酸化・差。鈍橙7.5YR7/4 細砂粒・白色微粒子	「の」字状の波頭文を施す。	接・無し
731-6	縄文土器 深鉢	4-166Gr	厚・0.7	酸化・差。橙7.5YR6/6 砂粒・白色微粒子	口縁部は内湾気味で口唇部は肥厚する。口縁を施文し、LR原体を縦転施文する。	接・無し
731-7	縄文土器 深鉢	4-48Gr	厚・0.8	酸化・差。淡黄2.5YR8/3 粗粒砂・白色微粒子	口縁部は外傾し、口唇部は内側に折れる。外面は強い撫でを施す。無文。	接・無し
731-8	縄文土器 深鉢	4-166Gr	厚・1.3	酸化・差。鈍黄橙10YR7/4 細粒角礫・粗粒砂・赤褐色微粒子	「X」字状施文を施文する。原体はLRを回転施文する。	接・無し
731-9	縄文土器 深鉢	4-68Gr 1/4	括・(5.2) 重・(9.0)	酸化・差。鈍黄橙10Y5/4 細粒白色微粒子・砂粒	上下に披状弧線文を配し、把手部を中心に三叉文を刻凸し、胴内面に割代痕を残す。	調査時の欠損有り。
731-10	石器 割片石重	4-41Gr 完存	チャート 重・19.4	長・4.6、幅・3.6、厚・1.3	楕円形状の割片の1側縁に刃部加工を施す。	
731-11	施釉陶器 塊	4-08G	底・8.8	還元。緑。釉透明調(灰緑)。 胎土灰。	内外面に施釉あり。外面に縦線あり、内面滑らか。	東海搬入
732-1	縄文土器 深鉢	5-341Gr	厚・1.3	酸化・差。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色微粒子	半截竹管による3条の連続爪形文を施す。	接・無し
732-2	縄文土器 深鉢	5-342Gr	厚・0.8	酸化・差。明褐7.5YR5/6 細砂粒・細粒白色微粒子	縦位の半截竹管による隆帯施文。	接・無し
732-3	縄文土器 深鉢	5-343G	厚・1.2	酸化・差。褐7.5YR4/3 粗粒砂・白色微粒子・赤褐色微粒子	隆帯の縁辺に3本1単位の押引を施す。	接・無し
732-4	縄文土器 深鉢	5-244P覆土内 破片	厚・1.0	酸化・差。鈍黄2.5Y6/4 粗粒砂	器面の風化顕著。RL原体を縦位施文する。	接・無し
732-5	縄文土器 深鉢	5-363G	厚・1.1	酸化・差。明褐7.5YR5/6 砂粒・白色微粒子・赤褐色微粒子	地文にRL原体を縦位施文し縦位の懸垂文を施し、縄文を磨り消す。	接・無し
732-6	縄文土器 深鉢	5-230P覆土内 破片	厚・1.1	酸化・差。暗褐10YR3/3 砂粒・黒色微粒子	LR原体を縦転施文する。	接・無し
732-7	縄文土器 深鉢	5-81Gr	底・10.2 厚・0.8	酸化・差。鈍黄橙10YR6/4 粗粒砂・細粒・白色微粒子	底部底面に網代瓦紋が認められる。	接・無し
732-8	縄文土器 深鉢	2-16溝 破片	厚・0.6	酸化・差。暗褐10YR3/3 粗粒砂・細粒・白色微粒子	刻みによる口唇加飾を施し、口唇直下に入り組三叉文を斜位に施す。	接・無し
732-9	石器 石錐	48溝覆土 形状	チャート 重・1.25	長・2.48、幅・1.66、厚・0.45	無茎長平楕三角形伏式。	接・無し

検出番号 図面番号	種別 器種	出土位置 遺存度	尺度 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
732-10	石器 削片石器	5-274Gr 完存	チャート 重・0.42	長・1.8、幅・1.3、厚・0.25	無茎長平根三角形形式。	
733-1	石器 石鏃	46溝 完存	チャート 重・2.82	長・2.7、幅・1.9、厚・0.7	無茎式。	
733-2	漆器 削片石器	5-384Gr 完存	チャート 重・6.05	長・3.4、幅・2.4、厚・1.0	縦長削片の1側縁に加工を施す。	
733-3	石器 削片石器	5-364Gr 不詳	チャート 重・4.76	長・3.3、幅・2.3、厚・0.8	縦長削片の1側縁に加工を施す。	
733-4	石器 打製石斧	5-139坑覆土内 完存	ホルンフェルス 重・163	長・10.3、幅・7.2、厚・2.2 ホルンフェルス	楕形。刃部は直刃。基部は若干凹込む。片面に稜面を残す。	
733-5	石器 打製石斧	旧河道 刃部一部欠損	ホルンフェルス 重・302	残存長・10.6、幅・9.4 厚・3.6、ホルンフェルス	分割形。片面に稜面を残す。側縁調整は4面構成。刃部欠損は調整の失敗か。	5区292Gr
733-6	土師器 土坏	5号竈穴覆土	口 (10.4)	酸化・並・橙7.5YR6/6・並、 やや重。白・褐粒含、他少。	整作りか。体部に梨筒。口縁部・内面は横撫。 内・外ハゼ多。	2片
733-7	土師器 中型埴輪	5号竈穴 跡のみ	底 (7.0)	酸化・並・にぶい橙7.5YR5/4、 並、やや重。白・褐粒含、他少。	並・重・跡か。底面に砂付存。内面割多。 割れ口径大。	
733-8	土師器 台付甕	12号堀立覆土 跡のみ1/2	底 (11.0)	酸化。並、にぶい赤褐色5YR 4/4、並、軽。金雲母含、鉄物少。	内・外面に横撫あり。外面の台部端を尖らせる 特徴あり。上方は頸部との接合面残す。	6片 被熱色変
733-9	須恵器 土坏	5-60G 覆土 破片	厚・0.5	還元。硬。灰 N5/0。並、やや軽。 白粒多。黒粒含、他少。	輪轆成形。わずかに底面残存。割れ口消耗少 ない外面底面に焼き出しの痕あり。	
733-10	施釉陶器 土坏	20号土覆土 破片	底 (5.0)	中〜硬。締。釉茶褐色鉄、天目 釉。胎土茶灰。	内面と外面上方に茶褐色の割り古様な感の鉄粉 あり割り目は横撫左回転か。	国産か不 明
733-11	磁器 胎付	5-158G 破片	厚・0.5	緑。白。明青花	明青花。呉須は発色良く精製呉須を使用する。	
733-12	土製品 砥石	5-255G 表土 破片	砂岩 重70.60g	遺存長・7.2、残存幅・4.8、 厚・1.2	砥面の表面は平坦で裏面は浅く凹状に窪む状 態。研磨主体は鋸刀状か。手持態。	
734-1	縄文土器 土坏	15号井戸覆土 破片	厚・0.7	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 白色粒子・粗粒砂・白色黏土	器面の内外面条痕文を施文する。内面は横撫 に、器外縁は斜位に施文する。	接・無し
734-2	縄文土器 深鉢	6区表土 破片	厚・0.9	酸化・並。橙7.5YR6/6 白色微粒子	肩位斜位の平行比線を施し、無筋L・RL 原形 を羽状施文する。	接・無し
734-3	縄文土器 深鉢	6-317例木 破片	厚・1.0	酸化・並。明黄褐10YR7/6 角粒粗粒砂・白色黏土	酸化・並い裏撫でを施す。	接・無し
734-4	縄文土器 深鉢	6-317例木 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄5/4 白色黏土・砂粒・赤褐色粒子	横位の帯渦文を施文する。原形 LR。	接・無し
734-5	縄文土器 深鉢	6区確認面 破片	厚・0.6	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・白色黏土	逆「T」字状の帯渦文を施文する。原形は LR。	接・無し
734-6	石器 石鏃	6区表土 鉄先欠損	チャート 重・1.95	長・2.22、幅・2.11、厚・0.6	無茎平根三角形状式。	接・無し
734-7	石器 石鏃	6-325G 完形	チャート 重・0.35g	長・1.4、幅・1.4、厚・0.2	無茎平根三角形状式。	接・無し
734-8	埴輪 朝顔	6区覆土 破片	厚・1.3	酸化。硬。にぶい橙7.5YR7/4、 並、やや重。白・褐粒含、他含。	外面に回転力(輪轆か)のある横の割毛目、 内面に紐付帯合面2段。割れ口少消費。	粘。
734-9	土師器 土坏	旧市道 1/2	口 (13.7) 高 (5.4)	酸化。硬。にぶい黄褐10YR6/3、 褐粒含。他物少。	口縁部に粘土帯合面。底面・体部は寛削り、 口縁部・内面は横撫で。内面厚板様付存。	接合2片 墨書
734-10	須恵器 土坏	64号溝覆土 破片	底 (8.0)	還元。並。淡黄5Y8/3。密、重。 白・黒粒含、他少。	横位の横撫右回転彫りあり。さらに「主」墨 字あり。内面に工具痕あり。	笠か 墨書-163
734-11	須恵器 土坏	14号竈穴覆土 破片	厚・0.6	還元・軟・灰白5Y7/1。並、軽。 白粒含、他物物少。	輪轆成形(右回転)。底面は回転赤切り後回転 彫削と「主」の墨字あり。内面使用摩耗。	笠か 墨書-164
734-12	土師器 土坏(平底)	121号溝覆土 底1/3	厚・0.7	酸化・並。明赤褐5YR5/6、 並、軽。白粒含、他少。	底面は寛削り不明文字。内面は横撫で割れ口 消耗大。	墨書-165
734-13	須恵器 土坏	64号溝覆土 1/2	口 (12.5) 底・8.2	還元。並。淡黄5Y8/3。密、重。 白・黒粒、他物物少。	底面は横撫右回転赤切り、回転彫削あり。さらに 「主」墨字、口縁部下面に重ね発痕あり。	笠か 墨書-166
734-14	須恵器 鉢	旧市道下 破片	底 (8.4)	還元。硬。灰5Y5/1。密。	上半旧欠。底面は粘土板で赤切(右)。外面 に自然釉。内面に使用摩耗あり。	東南
735-1	須恵器 土坏	14号井戸覆土 底部片	底 (8.0)	酸化。軟。灰黄7.5YR6/2、 並、軽。褐粒多含、他少。	口縁部は欠損する。底面は横撫右回転彫削整型 形。割れ口の消耗少ない。	粘。
735-2	須恵器 蓋か	表土旧市道下 破片	口 (15.2)	還元。並。灰5Y5/1。並、軽。 白・褐粒含、他少。	外面上方に輪轆目、内面にも輪轆目。割れ口 消耗大。	粘。
735-3	軟質陶器 土坏	6区表土 破片	底 (10.0)	中性。硬。にぶい黄2.5Y6/3、 並、軽。白・褐粒含、他物物少。	紐作り後輪轆整形(左回転か)。内面に節目、	

標記番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	径目 (cm) 重量 (g)	焼跡・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
735-4	軟質陶器 大甕し	旧市道下 破片	口・(15.6) 高・(5.2)	還元。並。黒2/0。粗、軽。 白・褐粒含、鉱物少。	型作りで表面は全面石目状の草蓑。内面輪轆目。持手は割り込み接合。焼成5層気味。	接合1片目 小泉焼か
735-5	陶器	6区表土	口・(12.1)	還元。稀。輪透明調(鉄軸)。 胎土灰。	内外面に輪轆あり。外面に輪轆目あり。内面滑らか。器内薄汚。割れ口消耗甚。	車衡側入
735-6	施釉陶器 深鉢	6-235G表土 破片	口・(29.0)	中性。稀。輪轆灰10YR5/1。 (鉄軸調)。胎土黄灰。	内外面に鉄軸調の輪あり。口縁部旧時の摩耗あり。内面下方の摩耗不顕。	18C 美濃
735-7	軟質陶器 鉢	旧市道下 破片	口・(29.2)	中性。並。灰5Y5/1。粗、やや軽。 鉱物含。	内面に雲母状の粒子と光沢、研磨。外面に回転磨削と磨。口縁小ハズレ。焼成5層気味。	小泉焼か
735-8	軟質陶器 火鉢	6区覆土 破片	最大径・(40.2)	中～還元。並。オリブ黒5Y3/1。並、やや軽。視粒含、鉱物少。	内面に右回転の輪轆目。外面に麻葉様の印文施文あり。焼成は赤灰色。外面煙の5層。	小泉焼か
735-9	軟質陶器 不明	旧市道下 破片	厚・2.2	還元。硬。灰黄褐10YR4/2。 並、軽。鉱物微、シルト質。	表面・側面に無あり。他の面は旧時欠損。煙かかり、焼成5層気味。割れ口消耗。	17C以降
735-10	施釉陶器 小形香炉	6区破片	口・5.3	還元。稀。輪透明調。胎土灰。	外面下方から底にかけ裏施。前出し高台で轆轆右回転。	18・19C 瀬戸か
735-11	施釉陶器 仏花瓶	6区破片	厚・0.6	中性。稀。輪轆茶(外)。 鉄褐(内)。胎土黄灰。	外面に光沢の弱い鉄軸。内面に薄い透明調の視軸あり。双耳か。割れ口旧欠。	18C 美濃
735-12	陶胎焼付 碗	6区確認面 2/3	口・7.7 底・3.7			
735-13	施釉陶器 鉄軸	1号井戸 底部	底・(11.0)	中性。稀。輪轆茶(鉄軸)。 灰土黄灰。	内面10～15条を1単位とする節目。顕著な使用摩耗あり。内外面施釉。底右回転赤切。	17・18C 瀬戸美濃
735-14	軟質陶器 鉢か	旧市道下 破片	厚・1.0	還元。並。オリブ黒7.5Y2/2。 粗、軽。白粒含、備含。	内面に節目状の条線刻み。摩耗あり。内外黒色備かか。割れ口消耗あり。	18C以降 小泉か
735-15	土製品 門盤	6区表土 穴存	厚・0.8	酸化・並。焼5YR6/6 金雲母・白色鉱物	深鉢調破片の転用。文様は認められない。	接・無し
736-1	石製品 磁石 突起	旧市道下 破片	長径 85g	長・11.4 幅・3.0	虎砥本様に目がつみ、漢茶の織入。使用目、表・裏、小口、側部の6面。形は刃付焼。	
736-2	石製品 磁石 1/2	6区確認面 1/2	長径 90g	長・8.1 幅・4.2	小口は先尖り、上方は旧欠。使用表・裏と側部の4面。實は目がつみ磨かの中砥。	中砥
736-3	瓦 女瓦	表土 破片	厚・2.0	還元・酸化。並。灰黄褐10YR6/2。 並、軽。白・黒・褐粒、鉱物多。	全体に焼結大。被熱あり。色調並あり。側面面取り2面。整形状態表面。	中世瓦か
736-4	瓦 本瓦か残瓦	6区破片	厚・1.5	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉱物少。	黒色備しがかかる。表面は丁寧なで整形。裏面は瓦型備。	
736-5	瓦 残瓦	6区破片	厚・1.4	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉱物少。	表面に雲母状光沢。裏面に型状の痕跡と横磨痕。	
736-6	瓦 残瓦・軒瓦 1/3	旧市道下 破片	縦・(8.5) 横・(20.2)	還元。並。灰5Y5/1。並、やや重。 灰色粘土粒含、鉱物少。	表面に銀化状。雲母粒あり。右側部に角欠きあり。焼成は黒色備があり3層気味。	近代以降 深谷か
736-7	瓦 残瓦 1/4	6区破片	厚・1.3	還元。並。灰5Y5/1。並、やや重。 灰色粘土粒含、鉱物少。	字部残存。意匠は均整磨草文。巴部欠損。表面に銀化状。雲母粒あり。巴部欠損。	
736-8	瓦 残瓦	旧市道覆土 1/2	長・21.7+α 巾・18.9+α	還元。硬。灰5Y6/1。並、重。 灰粒含、鉱物少。	表面に雲母状光沢。裏面に型状の痕跡と横磨痕。隅部切り取りは長い。焼成3層気味。	深谷か
737-1	須恵器 14号井戸覆土 坏	14号井戸覆土 1/2	口・(12.0) 底・(6.0)	中性。軟。および黄2.5Y6/4。 並、軽。白粒含、鉱物少。	底部は右回転赤切。内面に「丁」字。外面に不明墨字あり。	墨書-167 粘
737-2	須恵器 14号井戸覆土 坏	14号井戸覆土 1/3	口・(13.0) 底・(6.4)	還元。稀。灰N5/0。並、やや軽。 白粒含、鉱物少。	底部は外傾する。輪轆成形(右回転)。底部は回転赤切。口縁部に産色変あり。	粘
737-3	須恵器 3号井戸覆土 坏	3号井戸覆土 1/4	口・(13.8) 底・(7.2)	中性。並。黄灰2.5YR5/1。並、 やや軽。白粒含、他鉱物少。	口縁部は外傾する。輪轆成形(右回転)。底部は回転磨削形。内外とも横。	粘
737-4	施釉陶器 深鉢	7-378G表土 破片	口・(37.1)	還元・酸化。稀。暗赤褐5YR3/4。 密、重。白鉱物多、他鉱物含。	口縁部に雲母、片口部至近。内面に節目状の輪轆。口縁部旧摩耗。外面磨削目と指圧痕。	16～18C 信楽か
737-5	石製品 磁石 突起	7-314G覆土 破片	ダイヤサイト 270g	長・14.1 幅・4.9	旧材は、原材割れと、転石の面あり。使用は主として表・裏・少左側部。刃付焼か。	古代～中 世か
737-6	石製品 7-359G覆土 石白、下口	相模原山山石 4500g	径・(32.0)		石質は重く、硬い。表面に8条前後を1単位とし、全体で推定6分割目あり。輪欠あり。	
738-1	縄文土器 深鉢	8-218P覆土 破片	厚・1.0	酸化・並。褐7.5YR6/3 砂粒・白色粒子	懸垂文を垂下させ、RL原体を縦位施文する。	接・無し
738-2	縄文土器 小形浅鉢か	8区15住層土 破片	厚・0.4	酸化・並。灰黄褐10YR5/2 白色鉱物・黒色鉱物	RL原体を施文。	
738-3	石器 石鏃	17号住層土内 穴存	チャート 重・0.9	長・1.9。幅・1.5。厚・0.4	無茎平根三角形形式。	
738-4	石器 刺片石器	17号住層土内 穴存	チャート 重・3.56	長・2.4。幅・2.2。厚・0.8	縁辺の一部に加工が認められる。	

標記番号 図版番号	種別 別種	出土位置 遺存度	厚目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
738-5	石器 剥片石礫	18号住覆土内 完存	珪質実質岩 重・2.92	長・2.6、幅・1.9、厚・0.8	隅丸の三角形状を呈する。表面の剥片に刃部加工が認められる。	
738-6	石器 石礫	15号住覆土内 完存	チャート 重・5.56	長・2.9、幅・2.5、厚・0.9	無基平根五角形決式。	26住居跡の可能性
739-1	石器 ドリル	96号住覆土内 先端欠損	チャート 重・6.47	長・3.15、幅・2.0、厚・1.4	剥片の須部側に刃部加工を施す。	
739-2	石器 剥片石礫	95号住覆土内 完存	チャート 重・12.3	長・4.32、幅・2.9、厚・1.0	表面の一部に加工が認められる。	
739-3	石器 磨製石斧	8-101G 覆土内 一部欠損	蛇紋岩 重・18.72	長・5.2、幅・2.7、厚・1.05	刃部側の半分を欠損する。表面に不定方向の削痕が認められる。	
739-4	埴輪 朝顔	8-51G 表土 破片	厚・2.0	酸化。並。橙2.5YR6/8、並、やや重。白・褐粒含、他多。	外面に刷毛目、突帯あり。内面に接合痕あり。突帯後の刷毛目。焼成単一突味。	粘、陶
739-5	埴輪 円筒	8-29G 表土 破片	底・(24.3)	酸化。並。橙7.5YR7/6、並、重。白・褐粒含、他胎物少。	基部は粘土帯か、上方は粗作か。外面に刷毛目突帯刻痕。内面は指掻き、組作痕、焼成3層。	粘、小穴 織羅か
739-6	須恵陶 土	99号住覆土 破片	厚・0.8	還元。硬。灰10Y5/1、密、やや重。白粒、白胎物多。	組作り後叩き整形。外面は格子印入り、内面当目は背海抜文。	太田
739-7	土師土質土 磁	8区 一部欠損	口・7.8 底・6.0	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/6、軽。胎物少。	輪轆成形。内外に糸痕あり。	
739-8	磁器 碗	8-28G 破片	厚・0.3	還元。締。釉明青灰5BG7/1(青磁輪)。胎土白。	内外面に胎手の厚い貫八のある青磁輪。外面側顔花卉。内面使用傷少。磨耗少。	13C 龍泉窯
739-9	石製品 砥石	10号住 完存	珪質粘板岩 重・0.66g	遺存長・1.6 幅・1.0 厚・0.3	図右平面の右側部側に切り込み削りの残跡あり。それを除き砥石とすべき点なし。	合砥級
740-3	縄文土器 深鉢	110号住覆土内 破片	厚・0.6~0.7	酸化・並。鈍黄橙7.5YR5/3 含繊維・白色粒子	刺突を伴う沈線区画を主文とする。	接・無し
740-2	縄文土器 深鉢	31号穴覆土内 破片	厚・0.8	酸化・並。鈍黄橙10YR7/3 含繊維・白色微粒子	縁部区画内に平行沈線文を施文する。	
740-5	縄文土器 深鉢	15号井戸埋土 破片	厚・1.1	酸化・並。鈍黄橙10YR6/3 含繊維・白色微粒子	穴底土器の底部。内外面に糸痕を施す。	接・無し
740-6	縄文土器 深鉢	15号井戸埋土 破片	厚・0.8	酸化・並。明赤褐5YR5/6 含繊維・白色微粒子	内外面に糸痕文を施し、外面に竹管による小単位の沈線文を施す。	接・無し
740-7	縄文土器 深鉢	9-289G 表土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・細粒白色胎物	口縁部内湾する。口縁部隆帯を施し、RL原体を光順施文する。	接・無し
740-8	縄文土器 深鉢	93号土坑表土 破片	厚・1.3	酸化・並。鈍黄橙10YR7/4 砂粒・細粒白色胎物	口縁部内湾する。口縁部隆帯を施し、RL原体を光順施文する。	接・無し
740-9	軟質陶器 内耳始部 体部片	7号地下式覆土 底部片	径・(10.0)	酸化。並。にぶい黄橙10YR6/4、粗、軽。胎物粒多。	焼物種を胎土から見るに15世紀以降の軟陶に近い。全体の成りは径10cm前後で小さい。	
740-10	土師陶 脚付皿	92号住%25 底部片	口・(10.2)	酸化。硬。橙7.5Y6/6、粗、軽。白・褐粒含、他胎。	全体に削れ大。坏部上面は削落のようにも見える。坏部内面は撫整形。	
740-11	軟質陶器 内耳始部 体部片	7号地下式覆土 底部片	厚・0.7	酸化。並。浅黄2.5Y7/4、粗、軽。白・褐粒含、他胎物少。	底面に石目状の磨痕あり。内面飾。割れ口消純大。焼成黒色で3層突味。	17C以降 小泉焼か
740-12	縄文土器 深鉢	9区旧河辺 破片	厚・1.2	酸化・並。橙7.5YR4/3 細礫・角粒粗砂・白色粒子	肩部に組い隆帯で同心円を施す。	
740-13	石器 石礫	9-201Gr 完存	チャート 重・0.70	長・1.95、幅・1.8、厚・0.35	無基平根三角形決式。	
740-14	石器 石礫	142住覆土 完存	チャート 重・0.92	長・2.25、幅・1.4、厚・0.4	無基平根三角形決式。	
740-15	石器 石礫	9号穴覆土内 完存	チャート 重・2.28	長・2.7、幅・1.9、厚・0.6	無基平根三角形決式。	
740-16	石器 石礫	148住覆土 完存	黒色頁岩 重・2.31	長・3.35、幅・2.15、厚・0.5	有基平根三角形決式。	
741-1	石器 石匙	9-20井戸埋土 先端欠損	チャート 重・1.99	長・1.7、幅・0.7、厚・0.3	縦長剥片の先端側及び1側面に加工を加える。	
741-2	石器 剥片石礫	114号住覆土内 1/2か	チャート 重・9.47	遺存長3.3、幅・2.9、厚・1.1	剥片の片面側に刺痕による面調整が施され、刃部加工が施される。	
741-3	石器 剥片石礫	9区表土 完存か	頁岩 重・22	長・4.5、幅・3.6、厚・1.1	土塊以外に刃部加工が認められる。刃部は鋭利ではない。	
741-4	石器 打製石斧	485土坑覆土内 完存	ホルンフェルス 重・107	長・10.1、幅・5.2、厚・1.7	表面は機面を顕著に残す。側面に小単位の加工が施されている。	

発掘番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
741-5	石器 打製石斧	注記漏れ 完成	ホルンフェルス 重・118	長・13.4、幅・5.6、厚・2.2 ホルンフェルス	短筒形。刃部は丸味を帯びる。基部は直線的だが、割離調整は顕著。	
741-6	石器 打製石斧	9区14井戸 完成	ホルンフェルス 重・498	長・13.8、幅・8.7、厚・3.2 ホルンフェルス	筒形。刃部は曲刀。片面に磨面を残す。刃部・基部調整は、裏面側から顕著。	
741-7	石器 打製石斧	9区2井戸 完成	ホルンフェルス 重・867	長・20.3、幅・11.2、厚・4.1 ホルンフェルス	筒形基部。刃部は曲刀で先端は尖る。基部調整は比較的顕著。片面に磨面を残す。	
741-8	石器 打製石斧	9区内 スクレイパー	黒色頁岩 重・58	長・7.6、幅・4.0、厚・1.5 黒色頁岩	均整のとれた長楕円形状。片面に磨面を残す。刃部調整は片面側のみ認められる。	
741-9	石器 打製石斧	9区2井戸 完成	ホルンフェルス 重・1032	長・17.9、幅・9.7、厚・5.5 ホルンフェルス	器厚も厚く、刃部・基部の調整が不完全で、未製品と考えられる。片面に磨面を残す。	
741-10	石器 磨斧	102号溝 刃部欠損	蛇紋岩 重・239	遺存長・9.9、幅・5.3 厚・3.25	刃部は一撃により欠損している。	
741-11	石器 磨製石斧	1号堀 磨製石斧 1/2	実質安山岩 重・293	遺存長・10.0、幅・3.4、 厚・2.3、実質安山岩	定角磨製石斧。刃部側を欠損。	
742-1	埴輪 形象土	14号井戸覆土 一部破片	—	酸化。並。および焼5YR7/3、並。 やや軽。褐粘土。白粒少。他、少。	形象人物の頭部か。外面に刷毛目あり。下方に軽く接合面あり。全体に鋭い稜あり。	6 C
742-2	埴輪 円筒	9区	厚・1.4	酸化。並。明赤褐5YR5/6、並。 やや重。白・褐粒含。	外面突起と、回転による横刷毛目。内面粗作痕。割れ口消耗。	
742-3	埴輪 円筒	9区1号溝覆土	最大径・(29.4)	酸化。硬。明赤褐5Y5/6、並。 やや重。石英含。他、他物含。	外面突起と、回転による横刷毛目。内面粗作痕。横・斜刷毛目。割れ口消耗。	粘
742-4	土師器 埴輪円筒	(162区内?) 割断片	厚・1.9	酸化。並。明赤褐5YR5/6、並。 やや軽。白・褐粒含。	外面刷毛目。突起割断部。内面に刷毛目とその工具痕。粘土接合痕。外面消耗。割れ口消耗大。	粘
742-5	埴輪 円筒	26号井戸覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6、並。 やや重。白・褐粒含。	外面刷毛目。突起付近横溝。内面刷毛目、粘土接合痕。焼成芯黒で3層気味。消耗少。	
742-6	埴輪 円筒	26号井戸覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6、並。 金雲母、白粒少。他、他物少。	外面突起と横溝。内面指などの擦ナラシ整形。粗作痕。割れ口消耗少。焼成芯黒3層。	
742-7	埴輪 形象土	26号井戸覆土 体部片	厚・1.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6、並。 やや重。白・黒・褐粒含。他、含。	内外面に刷毛目あり。内面に粗作痕あり。割れ口の消耗大。	金雲母含
742-8	埴輪 円筒	14号井戸覆土 破片	厚・1.2	酸化。硬。焼7.5Y6/6、並。 やや重。白・黒粒含。他、含。	外面に突起あり、その割落下に刷毛目あり。内面刷毛目あり。割れ口の消耗大。	
742-9	埴輪 円筒	14号井戸覆土 破片	厚・1.4	酸化。硬。焼7.5Y6/6、並。 白粒・白黒粒含。他、含。	外面刷毛目。突起、膨。内面横溝。割れ口粗作痕。割れ口消耗大。外面模様付着。	焼成単一 気味
743-1	石器 磨石	9区51グリッド	溶結凝灰岩 重・657	長・10.5、幅・7.7、厚・5.8 溶結凝灰岩	所謂スタンプ形石器。截断面を平坦に調整後に使用している。	
743-2	石器 石皿	1号堀 破片	粗粒輝石安山岩 重・1990	残存長・15.6、幅・17.3 厚・7.7。粗粒輝石安山岩	中央が凹状に窪む。打痕も内面まで磨滅する。裏面も広範囲に磨滅。	
743-3	埴輪 形象土	26号井戸覆土 体部片	厚・1.3	酸化。硬。明赤褐5YR5/6、並。 やや重。白・褐粒含。他、含。	内外刷毛目。外面上方に突起下の横溝らしき横痕。割れ口に粗作痕。焼成芯黒3層。	
743-4	土師 土師	9-316G 表土 完形	長・5.0 重・15.34g	酸化。並。焼7.5YR6/5、並。 重。他物少。	外面滑らか。小口の面輪えは寛狭。鼻孔は円形気味。	
743-5	土師 土師	9区表土 完形	長・4.6 重・9.62g	酸化。並。および焼7.5YR6/4、 並。夾雑物少。白・黒・褐粒含。	表面滑らか。少し使用摩耗あり。穿孔正門。消耗少あり。	
743-6	土師器 環	9区覆土 破片	口・(11.6)	酸化。軟。焼5YR6/6、並。軽。 白・褐粒含。他、少。	底面は底削。体部外面中に整齊あり。割れ口消耗。口縁部の内外面に横溝。	
743-7	土師器 環	9区覆土 1/4	口・(12.8)	酸化。並。焼5YR6/6、並。 やや重。白・褐粒含。他、少。	底面に底削。外面中に整齊。口縁周辺から体部にかげ横溝。割れ口少し消耗。	
743-8	土師器 環	26号井戸 破片	底・(6.0)	酸化。並。および焼5YR6/4、 並。軽。褐粒含。他、他物少。	外面底削あり。内面横溝あり。頸目直立ち。坏ではないかもしれない。薄作。	
743-9	土師器 環	9区覆土 破片	口・(12.9)	酸化。並。焼5YR6/6、並。 金雲母含。褐粒多。他、少。	底面に底削。外面中に整齊。口縁周辺に横溝。割れ口新鮮。	
743-10	土師器 環	9区	脚端8.1	酸化。硬。焼2.5YR6/8、並。 やや軽。褐粒含。他、含。	口縁部は横溝。体部・底面は底削。内面輪は横立つ。体部外面に「長」の墨字。	墨書-168
743-11	土師器 環	表土旧市道下 破片	口・(14.1)	酸化。並。および焼5YR6/3、 並。	口縁部の内・外面横溝。底面底削。体部外面整齊。割れ口少し消耗。	
743-12	須石器 環	6号堀穴覆土 破片	厚・0.4	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2、並。 少し重。白粒含。他、他物少。	口縁部は欠失。輪縁成形。体部外面に「太」かの墨字あり。割れ口消耗少。	笠か 墨書-169
743-13	土師器 環	9-394グリッド 部分欠損	口・14.0 底・7.1	酸化。並。成黄緑10YR8/4、 粗。軽。他物少。	口縁部は外傾する。寛削り整形。付け高台。底面に回転磨削形。内面ハズ多い。	
743-13-2	須石器 環	9-28グリッド 破片	厚・0.3	中性。並。および黄緑10YR6/3、 密。やや重。他物少。	口縁外面に不詳墨字。	墨書-170

押出番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度目 (cm) 数量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
743-14	土師器 土台	9-334G 表土 台部片	直径 (5.6)	酸化。並。にぶい橙7.5YR6/3。 並。重。白・褐粒粒合、他少。	外面に細い、少ない研磨線あり。内面埋割。 透し4次あり。割れ口消耗。	
743-15	土師器 土台	188号住№5 脚部周辺	底・8.1	酸化。並。にぶい赤褐5YR4/4。 並。やや軽。白・褐粒粒合、他微。	外面部は覆削り。内面部は覆削り。脚部 内・外面縁線状無断。外面被熱色変。	接合10片 内
743-16	須恵器 坏小形	8号整穴覆土 破片	口 (10.5)	還元。締。灰7.5Y5/1。密、 やや重。白・黒粒合、他微。	小形は稀少。口縁部は外傾する。轆轤成形 轆目あり。割れ口消耗少ない。	太田か
743-17	須恵器 坏	188号住№4 3/4	口・(13.5) 底・6.8	還元。硬。灰5Y4/1。密、重い。 白色粒粒。胎物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。底面少し摩耗。	接合3片 意外か
743-18	須恵器 坏	188号住№5 ほぼ完形	口・14.0 底・8.0	中性。並。にぶい黄橙10YR6/3。 密、やや重。胎物微。	口縁部は外傾する。轆轤成形(右回転)。底部 は回転糸切り。内面の口縁部に接付着。	接合8片 並・太か
743-19	須恵器 碗	9-148G 破片	口・(14.4)	中性。軟。黄灰2.5Y。粗、軽。 白・褐粒合、他微、シルト質。	轆轤成形(右回転)。底部は高台貼付後の塊。 内面に後代痕あり。	接合2片 粘
743-20	須恵器 坏	4号整穴覆土 底のみ	底 (4.5)	還元。並。灰5Y6/1。並。軽。 白・黒粒合、他少。	口縁部欠損。底部は轆轤右回転糸切り。割れ 口消耗。	粘
743-21	須恵器 坏か	9-148G 破片	口・16.2	還元。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 少し重。白粒合、他胎物少。	底部欠損。内面ハゼ多い。	
743-22	須恵器 碗	(162住内) 口縁部	厚・0.5	還元。軟。黄灰2.5Y5/1。粗、軽。 白粒多。他合。	口縁部は外傾する。轆轤成形。割れ口消耗大。	粘
743-23	須恵器 坏蓋	9区表土 1/4	調 (4.1)	中性。軟。浅黄2.5Y7/3。並、 やや軽。白・褐粒合、他少。	狭み貼り付け、周囲横断。外面上方轆轤右回 転痕跡。割れ口消耗。	
743-24	須恵器 坏蓋	9区表土	縁 (16.1)	中性。並。暗灰黄2.5Y5/2。並。 やや軽。白粒合、他胎物合。	轆轤成形(右回転)。上半部は回転糸切り。内 面轆轤目多い。割れ口少し消耗。	接合2片 面轆轤目
743-25	須恵器 破片	9区表土	直径 (18.0)	還元。硬。灰5Y6/1。密、やや重。 白粒多。褐粒少。他少。	外面上方にくろくろ右回転の磨削。端部尖り甘 い。外面に突端あり。	笠か
743-26	須恵器 鉢	9-48-49G 表土 破片	厚・0.9	還元。締。褐灰10YR5/1。密、 重。黒粒合、他少。	鉄線形。内面自然軸と横断。外面轆轤目。割 れ口の消耗大。	西毛〜埼玉
743-27	須恵器 瓶	9区覆土 破片	口・(18.1)	還元。締。灰オリーブ5Y5/2。密、 重。白・黒胎物合。他少。	内外面に自然軸。割れ口消耗あるが、旧割れ と使用小欠との区別無断。口付近小欠多。	東南畿入 〜西毛
744-1	須恵器 長頸瓶	9区覆土 首部破片	首部 (5.3)	還元。締。浅黄2.5Y8/4。密、重。 白粒合、他胎物少。	内面に頸部3段接合面あり。外面自然軸。胎 土緻密。割れ口消耗大。	東南〜西 毛〜埼玉
744-2	須恵器 瓶	9-366表土 破片	厚・0.8	還元。締。灰5Y6/1。密、重。 白胎物多。黒胎物少。	外面に自然軸。内面轆轤目と頸部3段接合面 らしき箇所あり。割れ口消耗少。	西毛〜埼玉
744-3	須恵器 広口壺	9-336G 破片	口 (17.4)	中性。硬。灰N5/0。密、重。 白・黒粒合。	外面黒褐色の自然軸かかり。2条、1条の沈 線あり。内面轆轤右回転の轆轤目あり。	接合2片 産不詳
744-4	須恵器 壺	9-148G 口縁部破片	口・(30.8)	還元。軟。灰白5Y7/1。並。軽。 褐粒合、シルト質。	内外面回転糸痕あり。内面にハゼあり。割 れ口少し消耗。	接合2片 粘
744-5	須恵器 羽釜	9区覆土 破片	口・(27.6)	酸化。並。橙5YR6/6。並、 やや重。褐粒多。他胎物合。	紐作り後右回転轆轤成形。体部外面に紐作 り工具による整形糸痕あり。内面埋割。	粘・陶
744-6	須恵器 羽釜	9区覆土 口縁破片	口 (21.0)	酸化。並。明赤褐2.5YR5/8。並、 やや重。褐粒合、他合。	内外面轆轤。内面紐作痕。割れ口に鉤掛付 痕見え。内面に被熱吸痕あり。	粘・陶
744-7	須恵器 破片	9-148G 破片	口・(25.6)	還元。軟。浅黄2.5Y7/3。並。軽。 暗褐粒多。他胎物少。	内外面に回転糸痕多い。割れ口消耗あり。外 面被熱色変あり。	1片 粘
744-8	須恵器 羽釜	87号清麗土 口縁部片	厚・0.9	酸化。硬。橙7.5Y6/6。並、 やや重。白・褐粒合、他合。	外面、口縁部以下に横断、錐以下不定方向 の塊。内面肩方向の塊。割れ口消耗少。	
744-9	須恵器 壺	9-148G 破片	厚・0.9	還元。軟。灰黄2.5Y7/2。並。軽。 暗褐粒多。他胎物少。	内外面に回転糸痕多い。割れ口消耗あり。粘 面被熱色変あり。	粘
744-10	須恵器 瓶	80號覆土、C点 破片	底・(21.0)	還元〜中性。硬。暗灰黄5Y5/2。粗、 軽。黒粒多。白粒少。他微。	轆轤成形(右回転)。内面竹管状の棒差し込み 穴あり。内外面被熱ハゼ。内面粗断。焼成5層。 あり	内外面 腐あり
745-1	須恵器 壺	9-169G 覆土 破片	厚・1.2	還元。締。黒10YR2/1。密、重。 白胎物多。他合。	紐作り後平形整形。外面に波状文、4段見え る。内面に自然軸のかかる？	太田
745-2	須恵器 壺	9-366G 表土 破片	厚・1.0	酸〜還元。並。褐灰7.5YR5/1。 密、やや重。白胎物合、他少。	紐作り後平形整形。外面は平行叩き。内面は 当て目線で消し。割れ口消耗少。	太田
745-3	須恵器 壺	9-148G 表土 破片	厚・1.8	還元。締。浅黄2.5Y7/3。密、重。 白胎物多。黒胎物他微。	外面に自然軸、平行叩。内面に同心円文、紐 作痕。欠損後の利用か、内面に浅い摩耗。	西毛か
745-4	軟質陶器 壺	69住東カマF、重 破片	厚・1.3	還元。並。黒7.5Y2/1。粗、軽。 白・褐粒合、他胎物微。	内面ハゼ割落。外面紐作の凹凸とハゼ。割れ 口には紐作痕。焼成5層。	中・近世 か不明
745-5	軟質陶器 壺	188号住№1 底・(16.9)	底・(16.9)	中性。軟。灰黄2.5Y6/2。並。軽。 微白粒多。他胎物少。	須恵器か。内・外面ハゼ多。割落。外面に 指の整形痕、紐作痕あり。内面無整形痕。	接合2片 粘
745-6	土師器 電材か	147号住覆土 破片	厚・2.95	酸化。軟。明赤褐5YR5/6。並。 白・褐粒合、他胎物微。	粘土板か。一部を除き旧欠。内外面の整形痕 不明瞭。粘土目筋は水平気味。	

探図番号 図版番号	種別 器種	出土位置 遺存度	寸目 (cm) 重量 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
745-7	須志蓋 磁片	102清瀬土	長・11.0+α	還元。硬。灰N6/0。密、やや重。 白磁物多、他少。	顔字痕で表面に使用の光沢、摩耗あり、墨波 見えず。外周部に自然釉光沢。割れ口消耗少。	太田か
746-1	施釉陶器 碗片	9区 破片	口・11.6	還元。締。釉明緑灰7.5G7/1。 (灰釉)。胎土淡灰。	外面の口縁部付近から内面全面厚く施釉。	東海搬入
746-2	施釉陶器 段皿	9区 破片	口・(15.6)	還元。締。釉明緑灰7.5G7/1。 (灰釉)。胎土淡灰。	外面の口縁部付近から内面全面厚く施釉。外 面に回転痕あり。割れ口消耗あり。	東海搬入
746-3	施釉陶器 皿	9区 破片	底(8.0)	還元。締。釉灰白2.5YR7/1 (灰釉)。胎土灰。	内面のみ灰釉厚く施釉。使用摩耗あり。高台 小作りで古拙。割れ口少し消耗。	9Cか
746-4	瓦 瓦葺屋蓋	15号井戸覆土 破片	長・5.0+α	還元。硬。灰10Y5/1。密、重。 白磁色。他磁物少。	屋蓋部片。棟表現が竹管で飾られ、接する女 瓦表現が置でなされる。塔屋根でないらしい。	産県内ノ 近県
746-5	木瓦 女瓦	14号井戸覆土 破片	長・7.4+α 幅・7.3+α	還元。硬。灰10Y5/1。密、 やや重。白磁物多、他含。	表面に布目痕あり。粘土割き取り条痕見えず。 表面に撫痕あり。小口窪削り2回面取。	太田か
746-6	木瓦 女瓦	89覆土 破片	長・5.6 幅・6.7	還元。硬。灰オリーブ5Y5/2。 並、やや重。白磁多、他含。	表面に撫。表面に布目痕。粘土板割取条痕あり 。色調の還元は芯まで。割れ口少し消耗。	9C陶
746-7	瓦 女・枕瓦	9区表土 破片	縁巾(7.0)	還元。並～軟。灰5Y6/1。粗、軽。 黒磁物多、他少。	表面滑らかで滑り。表面に撫あるもの凹 凸多い。割れ口消耗。焼成は薄なり。	小泉か 中～小
746-8	土層質土器 小皿	9区 部分欠損	口・6.4 底・3.1	酸化。並。灰黄緑10YR7/3。 粗、軽。胎土少、シルト質。	縦横成形。表面は回転痕あり。割れ口消耗あり 。底面板目より成り。	14・15C
746-9	軟質陶器 火鉢角形	9-450G 表土 破片	長・20.8+α	還元。硬。灰白N7/0。粗、 やや軽。白・褐粒含、他少。	外面研磨、平縁部研磨。内面撫。内・外傷あり 。内面側に被焼色変あり。接合中 小泉か	接合2片 り
746-10	軟質陶器 内耳鍋	9区東カマド覆 破片	底・(41.0)	還元。並、黒2/0。並、やや重。 白粒含、胎土少。	外面下方に、底面粘土板の接合面。中に撫や 整形線あり。その上方横線。内面研磨と腫あり。	接合2片 り
746-11	陶器 鉢	9-6G 覆土 口縁部	口・(32.2)	還元。締。灰N5/0。密、重。 石灰やや多く、黒粒、他磁物含。	内外面輪轆回転条痕あり。内面の使用摩耗。 内面から口縁にかけ自然釉。	13Cか 常滑系
746-12	軟質陶器 鉢	9-184G 表土 破片	厚・1.0	酸化。軟。灰黄2.5Y6/2。並、軽。 白・黒粒粒含、他含。	内外・割れ口と消耗大。わずかに外面側に撫 痕見える。	19Cか
746-13	施釉陶器 小碗か	9区遺構外 4/5	口・7.4 底・4.0	中性焙。締。釉灰オリーブ5Y 6/2。胎土淡灰。	体部外側下方、高台裏を除き給輪を施釉。体 部外面に黒滑りあり。	18・19C 瀬戸美濃
746-14	施釉陶器 小碗	9区遺構外 2/3	口・7.8 底・4.0	中性。締。釉灰オリーブ5Y6/2。 胎土淡灰。	外面下方、高台裏に給輪が掛けられる。体部 外面に黒滑り。	18・19C 瀬戸美濃
746-15	磁器 小鉢	9-6G 覆土 1/2	口・(7.8) 高・(4.0)	還元。締。釉透明。胎土灰。	外面下方から底にかけ黒釉。前出し高台で輪 轆右回転。	18・19C 瀬戸か
747-1	施釉陶器 実形皿	18区キマフ、重土 破片	厚・0.7	還元。締。釉灰黄緑(灰釉輪 透明感)。胎土灰白7.5Y7/1。	内・外に施釉(深い割深井開)。内面に輪轆目。 外面に刺文と小形刺刺文。割れ口消耗。	美濃 18C
747-2	施釉陶器 瓶・徳利	162号覆土 肩部片	厚・0.7	中性。締。釉輪轆調でやや厚い が古代灰釉陶かも。胎土黄灰。	外面に輪轆目と輪轆。内面に紐作様の接合面 様こぼ。外面の輪は青みがかかる縦溝あり。	美濃
747-3	施釉陶器 鉢	9-183グリッド 破片	厚・1.2	中性焙。締。釉灰オリーブ5Y 6/2。胎土淡灰。	口唇部は平縁。内面の使用摩耗微。	美濃 18C
747-4	石造品 石版	9区表土内遺構 破片	長・13.09g 厚・0.35	長・5.1+α 厚・0.35	両表・裏・脚部のみ旧時面。割れは旧欠で、 欠損部に消耗少。	
747-5	石製品 砥石	9-244G 破片	硬灰質砂岩 96g	長・6.1 幅・3.0	使用は表・裏と両側部の4面。両小口のうち 片側が旧時欠損。他方が旧小口か。	中～元砥
747-6	石造品 五輪、地輪	9区遺構外 完形	粗粒輝石安山岩 820g	長・18.3 幅・18.3	表・裏・側部計6面に整形のラシシ後の研磨 あり。裏面に彫り整型残存。石質重いが軟。	
747-7	木製品 酒桶	9区表土 酒桶た	広葉樹 長さ・20.0	図平面側と左側部のみ旧状あり り、他は自然消耗で極めて不良。	枕先に削りあり。削り方は荒くない。自然消 耗部はスゴシジ状となる。	
748-1	縄文土器 深鉢	10-26土坑No1 破片	厚・1.0	酸化・黄・鈍黄緑10YR5/4 金雲母・白色磁物	文様の施文は認められない。	接・無し
748-2	土器器 土環	5号地下式覆土 口縁部	厚・0.5	酸化。並。明赤褐5YR5/6。	外面口縁部は横線。	
748-3	土器器 土環(平紙)	5号地下式覆土 破片	口・(12.2) 底・(7.6)	酸化。並。明赤褐5YR5/6。並、 やや重。褐粒多、他含。	口縁部は外傾する。底部は寛削り、口縁部・器 内面は横線で。外面段状。	2片
748-4	須恵器 土環	5号地下式覆土 底部片	厚・0.9	酸化。並。明褐7.5YR5/6。	底面は回転線・磨削の磨削、ハゼ多あり。内面底は回 転無あり。割れ口少し消耗。	
748-5	須恵器 埴	10区西側 部分欠損	口・(20.0)	還元。硬。オリーブ黒5Y3/1。 並、軽。白色粒含、胎土含。	口縁部は肥厚する。縦横成形。高台部は欠損 する。内・外面黒色化。	粘
748-6	須恵器 瓶	10区覆土 胴部片	厚・0.6	還元。締。釉灰明緑(灰釉か自然 釉)。胎土暗褐色。	外面に古様な淡緑か自然釉あり、内面無釉で 輪轆目あり。他は淡緑色がかかり美しい。	東海搬入
748-7	須恵器 瓶	10-383G 破片	厚・0.6	還元。締。オリーブ黒5Y3/2。 密、重。白磁物含、他少。	外面に暗黒オリーブ色の自然釉あり。内面に 輪轆目あり。帯削り。割れ口消耗少。	東海搬入

採回番号 図版番号	種別	出土位置 遺存度	度量 (cm) 量目 (g)	焼調・色調・胎土	形状・技法等の特徴	備 考
748-8	磁器 皿	16-36G 聖地階 破片	底・(7.2)	還元。珪。軸淡青～濃青(染付)。 青白(淡青白)。胎土白。	内面に玉獅子の一端、外面に唐草文の染付あり。 透明釉は青白磁釉。高台生掛削り。	16C 後 景徳鎮
748-9	教育陶器 内耳瓶	10区表土 破片	口・(35.6) 底・(32.0)	酸化。並。黒濁10YR3/1。並。 軽。白粒含、胎符合。	口縁部外面下に接合面。外面に横溝、指圧痕、 石目状の型腐れ。内面に無灰内耳あり。	小泉か
749-1	須恵器 環	出土地不明 1/4	口・(12.4) 底・(7.2)	還元。硬。灰7.5Y5/1。並。やや 重。黒・白粒含。他灰物少。	轆轤成形(右回転)。底部は回転糸切り後両辺 を回転調整。口縁部に重み褐色皮。	笠か
749-2	須恵器 破片	出土地不明 破片	口・(13.0)	還元。硬。5Y 灰6/1。密。軽。 黒粒含、他微。シルト質。	内・外面轆轤目あり、条数少ない。体部外面 に「主」力墨字あり。消耗ほとんどない。	粘・陶 墨書-171
749-3	須恵器 環	出土地不明 破片	底・(8.0)	還元。硬。10Y 灰白7/1。並。 白粒微、黒粒含、他灰物微。	底部回転糸切り後轆轤右回転の削り、さら に不明の墨字。内面摩耗微。割れ口消耗。	墨書-172
749-4	須恵器 蓋	表層外 破片	厚・1.8	中性。軟。灰白5Y7/2。並。 やや軽。白・黒粒微、他微。	轆轤成形。消耗大。積みはキノコ状で端部尖 り古様。積み形態は例内中特異。	近接泉か
749-5	施釉陶器 罐鉢	覆土 破片	底・(10.0)	酸化。硬。軸暗褐(鉄軸錆調)。 胎土黄灰。	精調のよび光沢の鉄軸が内外に施軸され る。内面に12+α 条、単位の細目少し摩耗。	17・18C 美濃
749-6	石製品 砥石	確認面 破片	流紋岩 35g	長・6.0 幅・2.8	使用は表・裏と両側部の4面。両側部は、製 作時の鋸挿状ナラシ整形痕あり。	中砥級
749-7	木製品 杖	出土地不明 上方欠損	ウツギ 長・14.8+α	上方は調査時欠損。先端一部調 査時欠損。単年木で芯抜ける。	先端部は刃物による削りあり。樹皮の残存なく、 当初の作業らしい。	
749-8	木製品 杖	出土地不明 上方欠損	ウツギ 長・23.2+α	上方は調査時以降の欠損。軟化 し、芯は抜ける。単年材。	先端部に削り目あり。部分的に炭化し、熱処 置か。樹皮は見えず、当初の作業か。	
749-9	木製品 棒	出土地不明 端部欠損	アカマツ 長・25.8+α	端部は調査時欠損。中途小欠も 同様。	外面は樹皮を削り剥したらしく、細かな長い 削り目多数、途中の削りは横式。幼年木	
749-10	木製品 杖状道具	出土地不明 欠損少	エゾノキ属 長・36.0	平面両面にわずかに樹皮が残さ れるが、旧状は削って加工か。	両端を削り、さらに中央に削り部あり、中央 部に摩耗あり。道具らしい。	
749-11	木製品 杖	出土地不明 上方欠損	トネリコ属 長・51.6+α	上方は調査時欠損。全体に自然 消耗強く、年輪浮き出す。	先端に削り目が見えるが、自然消耗のため削り 目は硬味である。樹皮は残されていない。	
750-1	木製品 加工品	出土地不明 旧状残存	ケンボナシ属 長・32.8	部分的な調査時欠損微。全体に 細かな微孔材の木目発達。軟。	両端部は丸みおび、使用摩耗の感あり。さ らに後出の削り目あり、別目的に利用か。	
750-2	木製品 棒	出土地不明 杖	クリ	上方のくびれ部は調査かもしれ ない。樹皮残る。	端部は長軸に対しほぼ直角に面取りされ、小 さな節は削られている。機能不明。	

群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第257集

東長岡戸井口遺跡
《第1分冊・本文編》

東長岡住宅団地建設工事に
伴う埋蔵文化財調査報告書

平成11年12月20日 印刷

平成11年12月25日 発行

編集／群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-0061 群馬県北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

発行／群馬県考古資料普及会

〒377-0061 群馬県北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社